

文化財保存修理用資材(植物性屋根)の長期需要予測  
(国産良質材使用推進・供給地活性化事業)

報告書

令和3年3月

文化庁

文化財保存修理用資材(植物性屋根)の長期需要予測  
(国産良質材使用推進・供給地活性化事業)

令和 3年 3月

文化庁

様式第 15 (無断複製等禁止の標記)

**無断複製等禁止の標記について**

委託業務に係る成果報告書の無断複製等の禁止の標記については、次によるものとする。

本報告書は、文化庁の委託業務として、株式会社 建文が実施した

令和2年度

文化財保存修理用資材(植物性屋根)の長期需要予測  
(国産良質材使用推進・供給地活性化事業)

の成果を取りまとめたものです。

従って、本報告書の複製、転載、引用等には文化庁の承認手続きが必要です。

<b>第1章 業務概要</b>		<b>第5節 草本類(H1-28 実績 DB)</b>	-47
<b>第1節 業務概要</b>	-1	1 実績報告書の数量算出状況	-47
1 事業名	-1	2 算出条件	-47
2 趣旨	-1	3 集計結果	-49
3 業務内容	-1	4 分析及び考察	-59
4 業務対象	-1		
5 事業期間	-1	<b>第4章 長期需要予測に関する各設定</b>	
6 業務項目	-2	<b>第1節 長期需要予測方法</b>	-62
7 業務実施工程	-4	<b>第2節 長期予測 DB 概要</b>	-63
8 事業経過	-8	<b>第3節 予測詳細条件及び実績 DB</b>	
<b>第2節 業務フロー</b>	-9	分析による各設定	-64
		1 木材薄板類	-64
<b>第2章 周期的な修理を要する植物性屋根建造物</b>		2 樹皮類	-68
1 抽出条件	-11	3 草本類	-72
2 抽出方法	-12		
3 周期的な修理を要する植物性屋根建造物 (長期需要予測建物)	-12	<b>第5章 長期需要予測結果</b>	
		<b>第1節 木材薄板類</b>	-77
<b>第3章 資料調査及び実績 DB</b>		1 予測結果	-77
<b>第1節 資料調査(実績報告書調査)</b>	-15	2 分析及び考察	-81
1 調査目的・対象条件	-15	<b>第2節 樹皮類</b>	-82
2 調査対象の抽出	-15	1 予測結果(檜皮葺)	-82
3 収集方法	-16	2 分析及び考察(檜皮葺)	-87
4 収集結果	-16	3 予測結果(杉皮葺)	-88
5 調書の作成	-16	4 分析及び考察(杉皮葺)	-93
<b>第2節 実績 DB 概要</b>	-20	<b>第3節 草本類</b>	-94
<b>第3節 木材薄板類(H1-28 実績 DB)</b>	-21	1 予測結果	-94
1 実績報告書の数量算出状況	-21	2 分析及び考察	-99
2 算出条件	-21		
3 集計結果	-22	<b>第6章 まとめ</b>	-101
4 分析及び考察	-33	1 調査結果総括	-101
<b>第4節 樹皮類(檜皮 S60-H29・杉皮 H1-28 実績 DB)</b>	-36	2 課題整理と将来展望	-111
1 実績報告書の数量算出状況	-36		
2 算出条件	-36	<b>巻末資料</b>	
3 集計結果	-37	1 実績報告書調査対象リスト(H1-28)	
4 分析及び考察	-45	2 実績報告書調査対象リスト(S60-63, H29)	
		3 長期需要予測建物リスト	
		-----	
		<b>【別冊資料】</b>	
		1 [木材薄板類]H1-28 実績データベース	
		2 [木材薄板類]H1-28 各棟調書	
		3 [木材薄板類]長期需要予測データベース	
		4 [樹皮類]檜皮 S60-H29・杉皮 H1-28 実績データベース	
		5 [樹皮類]檜皮 S60-H29・杉皮 H1-28 各棟調書	
		6 [樹皮類]長期需要予測データベース	
		7 [草本類]H1-28 実績データベース	
		8 [草本類]H1-28 各棟調書	
		9 [草本類]長期需要予測データベース	



# 第1章 業務概要

## 第1節 業務概要

### 1 事業名

文化財保存修理用資材(植物性屋根)の長期需要予測(国産良質材使用推進・供給地活性化事業)

### 2 趣旨

国宝・重要文化財建造物の修理にあたっては、在来と同品種、同品質の資材を確保することが必要不可欠である。しかし、社会経済の急激な変化により、修理用資材の地域における安定的な供給が困難な状況にある。この状況を改善するため、国宝・重要文化財建造物の保存修理用資材の長期需要予測調査を実施する。あわせて関係省庁と情報共有及び連携することで、国産良質材の地域における安定的な供給体制の構築を図るものである。

草木を材料とする木材薄板類(こけら葺、とち葺、板葺)、樹皮類(檜皮葺、杉皮葺)、草本類(茅葺)の屋根(以下、植物性屋根)は、神社の社殿から民家に至るまで様々な建築物に広く用いられ、豊かな山河に培われた我が国の風土の一部をなしてきた。しかし戦後は、急速な国土開発の発展や建築物の不燃化の推進など様々な不測の要因が重なり、特に近年は、良質な国産の植物性資材の不足が顕著になってきている。

本業務では、国宝・重要文化財建造物における植物性屋根の面積を算出するとともに、これまでの実績に基づく適切な修理周期の検討を行い、木材薄板類(こけら葺、とち葺、板葺)、樹皮類(檜皮葺、杉皮葺)、草本類(茅葺)の長期需要量を予測する。

### 3 業務内容

令和2年度は、平成30年度の「文化財保存修理用資材(植物性屋根)の長期需要予測(国産良質材使用推進・供給地活性化事業)」報告書を基に、今年度追加調査した檜皮葺の各数量を更新し、各建造物の修理周期を勘案して、地理・気候が共通する地域ごとに、年間における木材薄板類(こけら葺、とち葺、板葺)、樹皮類(檜皮葺、杉皮葺)、草本類(茅葺)の需要量を予測する。

[本事業の今年度及び過去に実施した各年度の業務内容は、本節6項及び2節 参照]

### 4 業務対象

国宝・重要文化財建造物のうち、主体部を植物性屋根とする寺院、神社、住宅及び民家の建造物を対象とする。 [業務対象詳細条件は、第2章 周期的な修理を要する植物性屋根建造物 参照]

### 5 事業期間

令和2年度業務 : 令和3年2月8日～令和3年3月31日

## 6 業務項目

平成 29・30 年度業務			
項目	業務の目的	業務の内容・方法	備考
I. 資料調査	対象建物抽出 (長期需要予測対象・実績報告書調査対象)	国宝・重要文化財建造物目録データベース(以下、国 DB)を基に、国宝、重要文化財建造物のうち、主体部分を植物性屋根とする寺院、神社、住宅及び民家の建造物を整理し、長期需要予測建物を抽出した。また、国 DB 修理履歴を基に、実績報告書調査対象建物を抽出した。	H29 年度実施 事務所内作業
	実績報告書の収集	平成元年から平成 28 年までに植物性屋根の保存修理が実施された事業(一部継続中含む)の実績報告書を収集した。収集は、文化庁書庫の実績報告書を借用し、必要頁をスキャンの上、データ化を行った。	H29/30 年度実施 事務所内作業
	調査調書の作成	実績報告書調査の上、所在・数量等を調書(修理実績調書)に記録する。	H29/30 年度実施 事務所内作業
II. H1-28 実績 DB 作成	不足データの追加・更新 平成元年以降の修理履歴の追加/H1-28 実績 DB 作成	平成13-17年度に実施された「ふるさと文化財の森構想調査(財団法人文化財建造物保存技術協会作成)」のH4-14実績DBを基礎資料とした。 文化庁資料(国 DB や実績報告書等の資料)を参照し不足しているデータの追加及び更新を行い、H1-28 実績 DB を作成した。	H29/30 年度実施 事務所内作業
	所在リストの作成・更新	資料調査を基に作成した H1-28 実績 DB を基に、植物性屋根建造物の仕様を把握し、「I. 資料調査」にて作成した長期需要予測建物リストと照合の上、更新した。	H29/30 年度実施 事務所内作業
III. H1-28 実績 DB の分析・長期需要予測方針の作成	実績DBの分析	実績DBを基に、近年の需要量やこけら、檜皮、茅等の材種別使用量や修理周期等の実態把握分析を行った。	H30 年度実施 事務所内作業
	専門業者への聞き取り調査	「公益財団法人全国社寺等屋根工事技術保存会」等に協力を仰ぎ、修理現場で行われている修理仕様、修理使用量算出における留意点等の聞き取り調査を行った。	H30 年度実施
	長期需要予測方針の作成	H1-28 実績DBの分析及び専門業者への聞き取り調査結果を踏まえ「長期需要予測方針」の作成を行った。	H29/30 年度実施 事務所内作業
IV. 屋根面積の算定	面積・使用量の算出	H1-28 実績 DB(資料調査結果)やその他文化庁資料を基にして、予測における面積・使用量を算出した。	H30 年度実施 事務所内作業
	V. 現地調査 現地実測 仕様・劣化・修理履歴調査	※屋根面積不明件数が多かったため、文化庁と協議の上、現地調査は実施せず、平面積等から屋根面積への換算係数を設定の上、推定屋根面積を算出することとした。	-
VI. 長期需要予測	長期需要予測対象建物のDBの作成	長期需要予測方針に基づき、長期需要予測DBを作成し、棟別に修理周期予測を行い、植物性屋根の使用量を算出した。	H30 年度実施 事務所内作業
	需要量の算出	地理・気候が共通する地域ごとに、需要量を算出した。	
VII. まとめ(報告書作成)	課題、将来展望等のまとめ	木材薄板類(こけら葺、とち葺、板葺)、樹皮類(檜皮葺、杉皮葺)、草本類(茅葺)を有する植物性屋根の実態及び予測需要量、課題及び将来展望についてまとめた。	H30 年度実施 事務所内作業 (中間報告書はH29 年度実施)

令和1・2年度業務			
項目	業務の目的	業務の内容・方法	備考
I. 資料調査	資料収集	H30年度作成実績DB、長期需要予測DBの更新のため、屋根面積等の算出、修理周期の検討に必要な資料収集、電子化、収集リスト作成を行った。 [収集した資料] ①各DBの追加・更新の為に収集する資料 ・昭和60年度～63年度及び平成29年度(計5ヵ年)の植物性屋根建造物の文化庁資料。 ②土居葺きデータの追加の為に収集する資料 ・平成29年度の文化庁資料	R1年度実施 事務所内作業
	対象建物抽出	令和元年度に修理履歴データの更新・追加の為に収集した資料のうち、主体部分を「檜皮葺き屋根」とする寺院、神社、住宅及び民家の建造物を抽出した。 [令和元年度に修理履歴データの追加・更新の為に収集した資料] ・昭和60年度～63年度及び平成29年度(計5ヵ年)の植物性屋根建造物の文化庁資料	R2年度実施 事務所内作業
	檜皮葺き調書の作成	主体部分を「檜皮葺き屋根」とするデータベースの作成、屋根面積等の算出、修理周期等の検討のため、各棟の数量等を調査して調書に記録した。	R2年度実施 事務所内作業
II. 実績DB作成	データの追加・更新	植物性屋根建造物を対象として平成13～17年度に実施された「ふるさと文化財の森構想調査」(財団法人文化財建造物保存技術協会作成)のデータベース及び平成29～30年度、令和元年度に実施した文化庁委託調査「文化財保存修理用資材(植物性屋根)の長期需要予測」を基礎に、文化庁資料(文化庁が管理する国宝・重要文化財建造物目録や保存修理工事実績報告書等の資料)を参照し、「檜皮葺き屋根建物」の実績DBにデータの追加及び更新を行った。	R2年度実施 事務所内作業
III. 実績DBの分析・長期需要予測方針の作成	檜皮葺き実績DBの分析	「檜皮葺き屋根追加対象建物」を含む檜皮葺き建物の実績DBを基に、近年の需要量や檜皮葺き修理周期の実態把握等の分析作業を行った。	R2年度実施 事務所内作業
	長期需要予測方針の作成	檜皮葺き実績DBの分析結果を踏まえ、「長期需要予測方針」の更新を行った。	R2年度実施 事務所内作業
IV. 屋根面積の算定	面積・使用量の算出	実績DBと資料調査結果を基にして、檜皮葺き屋根の面積・使用量を算出した。	R2年度実施 事務所内作業
V. 長期需要予測	長期需要予測対象建物のDBの作成	檜皮葺き屋根長期需要予測方針に基づき、長期需要予測DBを作成し、棟別に修理周期予測を行い、檜皮葺き屋根の使用量を算出した。	R2年度実施 事務所内作業
	需要量の算出	地理・気候が共通する地域ごとに、需要量を算出した。	R2年度実施 事務所内作業
VI. まとめ	調査結果まとめ	植物性屋根のうち、檜皮葺き屋根の面積量、需要量、保存修理における課題及び将来展望についてまとめた。	R2年度実施 事務所内作業



## 7 業務実施工程

### 文化財保存修理用資材(植物性屋根)の長期需要予測 平成29年度業務実施工程

業務実施工程表	平成29年度							備考	
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月
☆ 協議記録		9/20打合 ・業務計画内容		11/2打合 ・文化庁提供データ内容について ・長期需要予測対象建物条件 ・実績報告書調査対象条件		1/24打合 ・資料収集進捗と今後の収集予定 ・業務計画の内容変更について ・文建協DBの分析		3/23打合 ・資料調査進捗 ・過去実績DB、長期需要予測DB ・長期需要予測のための各種設定方針	
<b>I 資料調査</b>									
予測調査・実績調査条件整理									
長期需要予測対象建物抽出									
実績報告書調査対象建物抽出									
実績報告書収集① (4府県:京都・奈良・滋賀・和歌山)									
実績報告書収集② (4府県以外)									未収集報告書は次年度引き続き作業を行う
実績報告書収集③ (文化財建造物保存技術協会所有PDF)									
収集資料整理									
<b>II H1-28実績DB作成</b>									
『ふるさと文化財の森構想調査(H13~17)』のH4-14実績DB分析									次年度引き続き作業
H1-28実績DB条件整理									
H1-28実績DB入力項目整理									
H1-28実績DB作成(入力)									次年度作業
<b>III H1-28実績DBの分析 長期需要予測方針の作成</b>									
H1-28実績DBの分析									次年度引き続き作業
長期需要予測のための各設定方針整理									次年度引き続き作業
<b>IV 屋根面積の算定</b>									
各建物の屋根面積算定方法の決定									次年度引き続き作業
実績報告書から算定									次年度引き続き作業
図面から算定									次年度作業
構造及び形式から算定									次年度作業
現地調査により算定									次年度作業
<b>V 現地調査</b>									
現地調査対象建物の抽出									次年度作業
現地調査									次年度作業
<b>VI まとめ</b>									
今後の作業方針及び検討課題整理									
平成29年度 中間報告書作成									

文化財保存修理用資材(植物性屋根)の長期需要予測 平成30年度業務実施工程

業務実施工程表	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	☆ 協議記録			↑			↑		↑	↑	↑	
			7/26打合 ・業務計画内容 ・作業方針/スケジュール打合せ			10/26打合 (専門業者ヒアリング) ・長期予測する単位使用量や 周期の考え方について 打合せ 12/6打合 ・長期予測における 各設定について 打合せ		1/15打合 ・長期予測における 各設定について 打合せ	2/14打合 ・H1-28実績DB 集計結果分析報告 ・長期予測における 各設定について 打合せ		3/29打合 ・成果品提出 ・H1-28実績DB最終 値報告 ・長期需要予測DB 使用量最終値報告	
<b>I 資料調査</b>												
修理実績調書作成												
修理実績調書チェック・修正												
未収集実績報告書の収集												
<b>II H1-28実績DB作成</b>												
H1-28実績DB作成												
予測リスト・H1-28実績リスト更新												
<b>III H1-28実績DBの分析 長期需要予測方針の作成</b>												
H1-28実績DBの分析												
専門業者への聞き取り調査												
長期需要予測のための各設定方針整理												
<b>IV 屋根面積の算定</b>												
面積使用量の算出												
<b>V 現地調査</b>												
取止め												
<b>VI 長期需要予測</b>												
長期需要予測DB作成												
需要量の算出												
<b>VII まとめ</b>												
平成30年度 報告書作成												
課題、将来展望等の整理												
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考



文化財保存修理用資材(植物性屋根)の長期需要予測 令和2年度業務実施工程

業務実施工程表	令和2年度										備考	
	2月					3月						
☆ 協議等記録												
	2/8契約											
I 資料調査												
対象建物抽出(檜皮葺)												
棟別調書作成(檜皮葺)												
II 過去実績データベース作成												
データの追加・更新(檜皮葺)												
III 過去実績データベースの分析・長期需要予測方針の作成												
過去実績データベース分析(檜皮葺)												
長期需要予測方針の作成(檜皮葺)												
IV 屋根面積の算定												
面積・使用量の算出(檜皮葺)												
V 長期需要予測												
長期需要予測対象建物のデータベース作成(檜皮葺)												
需要量の算出(檜皮葺)												
VI まとめ												
令和2年度 報告書作成 (木材薄板類・草本類・樹皮類)												

2月

3月

備考

## 8 事業経過

平成 30 年度に実施した「文化財保存修理用資材(植物性屋根)の長期需要予測(国産良質材使用推進・供給地活性化事業)」業務において、国宝・重要文化財建造物における植物性屋根の面積を算出するとともに、これまでの実績に基づく適切な修理周期の検討を行い、木材薄板類(こけら葺、とち葺、板葺)、樹皮類(檜皮葺、杉皮葺)、草本類(茅葺)の長期需要量を予測した。その際の予測方法は、過去に実施された保存修理事業を調査し、過去の実態数量等(屋根面積、使用量、仕様、修理周期など)を明らかにした上で、それらの数量を基に今後の需要量を予測した。過去に実施された保存修理事業は、平成元年度から 28 年度(以下、H1-28 年)の実績報告書を対象として調査を行った。長期需要予測における葺替周期は、こけら葺 30 年、とち葺 32 年、板葺 22 年、檜皮葺 33 年、茅葺 24 年としており、過去の全面葺替周期平均値としている。しかし、一部の屋根葺材の設定周期は、実績報告書の調査を行った 28 年よりも長いため、予測においては、実態予測建物の 28 年分の使用量の波が、ほぼそのまま設定周期後に予測されることになる結果となった。檜皮葺を例に挙げると、実績報告書調査年数より、予測周期が 5 年長くなるため、その 5 年分は実態予測建物の数量が予測されないことになり、実状とは異なる需要予測量の波が生じることとなった。特に檜皮葺は、長期需要予測数量の大きな波が大きい。以上のことから、平成 30 年度に実施した H1-28 年に加え、その前後の年度を対象に、屋根種別ごとの予測周期年数に合わせて、実績報告書の追加調査が必要と考えられた。追加調査、分析及びデータ更新は、令和元年度、令和 2 年度に分けて実施した。

令和元年度は、H1-28 年の前後となる S 60-63 年及び H29 年の 5 か年度において、植物性屋根の工事を実施している実績報告書を収集し、収集リストを作成した。

令和 2 年度(本業務)は、文化庁と協議の上、追加収集した実績報告書 5 か年度分のうち、檜皮葺に限定して分析調査を行い、実績データベース、長期予測データベースの各数量等更新を実施した。そのため、本報告書の実績データベースは、檜皮葺のみ過去 33 年分、草本類(茅葺)、木材薄板類(こけら葺、とち葺、板葺)、樹皮類(杉皮葺)は過去 28 年分となっている。

第2節 業務フロー



## 第2章 周期的な修理を要する植物性屋根建造物

### 1 抽出条件

国宝・重要文化財建造物のうち、主体部を植物性屋根とする寺院、神社、住宅及び民家の建造物を周期的な修理を要する植物性屋根建造物(長期需要予測対象)とし、以下に詳細条件を記載する。

<p>国宝 重要文化財建造物</p>	<p>平成29年度までに指定されている建造物(4935棟)から抽出。          ※<u>附は対象外</u>とする。          ※<u>外壁を有する覆屋内、その他建物内の厨子、小塔、宮殿は対象外</u>とする。          ※指定されている建物は、文化庁所有の『国宝・重要文化財建造物目録データベース(2017.11.08データ更新版)』を基にしている。</p>
<p>植物性屋根</p>	<p><b>木材板類</b>：こけら葺、とち葺、板葺(長板葺、石置き等)          ※<u>木工事相当の大きな木材を使用する厚板葺、小規模建物に存在する本瓦形板葺は対象外</u>とする。          ※こけら葺、とち葺、板葺等の工法名は、国宝・重要文化財建造物目録データベース(以下、国DB)で設定されている工法名に倣う。こけら葺、とち葺以外は全て板葺とする。</p> <p><b>樹皮類</b>：檜皮葺、杉皮葺          ※<u>鎧葺き(樹皮と木材薄板が混在)は、樹皮を主体屋根とし、木材薄板は予測しない。</u></p> <p><b>草本類</b>：茅葺          ※<u>重ね葺き(茅を樹皮で覆う屋根)は、茅を主体屋根とし、樹皮は予測しない。</u></p> <p>※<u>鉄板葺屋根の下に植物性屋根が存在する場合(鉄板仮葺、銅板仮葺など)は対象。茅葺形、こけら形板金屋根は対象外</u>とする。          ※<u>瓦葺屋根等の土居葺下地は対象外</u>とする。また、<u>植物性屋根の下地(檜皮葺下地の土居葺、茅葺屋根下地の竹など)についても対象外</u>とする。</p>
<p>主体部</p>	<p>主体は、上屋屋根の大半を占める屋根とする(意匠構成の主体となる屋根も含む)。          ※上屋屋根に植物性屋根を有し、下屋屋根等にも植物性屋根を有している場合、<u>主体屋根の上屋のみを対象とし、主体屋根以外の下屋は対象外</u>とする。          ※<u>下屋のみに植物性屋根が存在する場合は対象外</u>とする。          ※<u>上屋の一部(腰葺など)に植物性屋根が存在する場合は対象外</u>とする。</p>
<p>現状変更</p>	<p>平成29年度完了時点までに、<u>植物性屋根に変更する現状変更(板金屋根をこけら葺きに変更するなど)が許可されている建物は対象</u>とする。          ※<u>平成29年度完了時点で工事中(次年度も継続事業)であっても対象</u>とする。          ※現状変更は、文化庁所有の『現状変更台帳 屋根変更のみの抽出版(2017.11.08データ更新版)』を基にしている。</p>



## 2 抽出方法

調査対象の抽出は、前述の抽出条件に倣い、文化庁所有の国宝・重要文化財建造物目録データベース(以下、国DB)<sup>1)</sup>を基に行った。抽出においては、国DB項目の「屋根分類」、「構造及び形式」の記載内容を参照した。また、対象条件である植物性屋根の範囲(植物性屋根を主体部に有しているかどうか)や、覆屋の有無、建物内に施される建造物(厨子、小塔、宮殿など)か否か等は、基本は国DBの記載内容で判断した。ただし、実績報告書調査を行っている建物は、実績報告書に記載されている情報に倣った。

## 3 周期的な修理を要する植物性屋根建造物(長期需要予測建物)

国DBを基に作成した周期的な修理を要する植物性屋根建造物(以下、長期需要予測建物)リストは、巻末資料に掲載する。下表に、屋根種別内訳を整理する。長期需要予測建物は **1,650棟**、そのうち木材薄板類(こけら葺、とち葺、板葺)は **411棟**、樹皮類(檜皮葺、杉皮葺)は **831棟**、草本類(茅葺)は **408棟**であった。樹皮類は一番予測棟数が多く、木材薄板類、草本類の各予測棟数の約2倍であった。

周期的な修理を要する 植物性屋根建造物 <sup>2)</sup> (長期需要予測建物) <b>1,650棟</b>	木材薄板類 : <b>411棟</b>	こけら葺 : <b>327棟</b>
		とち葺 : <b>42棟</b>
		板葺 : <b>42棟</b>
	樹皮類 : <b>831棟</b>	檜皮葺 : <b>823棟</b>
杉皮葺 : <b>8棟</b>		
草本類 : <b>408棟</b>	茅葺 : <b>408棟</b>	

表2-1に都道府県別、表2-2に地域別の予測建物の分布状況を掲載する。

木材薄板類は、京都府が70棟と最も多く、次いで青森県、富山県、長野県、滋賀県、奈良県に多数みられた。木材薄板類の建物を有していない都道府県は、徳島県、香川県、愛媛県、長崎県、沖縄県の四国、九州、沖縄地方にみられるが、ほぼ全国に木材薄板類が分布している状況であった。

樹皮類は、京都府が202棟と最も多く、他と比べて突出している。次いで滋賀県、奈良県、和歌山県に多数みられた。樹皮類は、特に関西地方、東海地方を中心に分布している状況であり、樹皮類の建物を有していない都道府県は、東北地方、四国・九州地方にみられた。

草本類は、神奈川県が19棟と最も多く、次いで、茨城県、栃木県、新潟県、京都府、大阪府に多数みられた。草本類の建物を有していない都道府県は三重県、沖縄県のみであり、ほぼ全国に分布している状況であった。

1) 平成29年度(平成29年11月8日時点)までに登録されている国宝・重要文化財建造物(4935棟)の棟別データ。建造物の件名、棟名、所在、構造及び形式、修理履歴等が記載されている。

2) 本業務は、植物性屋根を有する建造物の中から、周期的な修理を要する植物性屋根建造物として主体屋根のみに限定し、対象条件[P11]を絞っている。主体屋根以外のみ(下屋のみ)に植物性屋根を有する建物を対象条件に加えると、対象棟数は1687棟となる(国DBの記載内容で判断)。本業務では、主体屋根以外に存在する植物性屋根は対象外としているが、材料の需要量が微量と考えられることから、これらを予測対象にしなくても、今後の予測需要量には多く影響しないと判断した。



表 2-1 周期的な修理を要する植物性屋根建造物(長期需要予測建物) 都道府県別一覧表

	植物性屋根建造物						合計棟数
	木材板類棟数			樹皮類棟数		草本類棟数	
	こけら葺	とち葺	板葺	檜皮葺	杉皮葺	茅葺	
北海道	4	0	3	0	0	1	8
青森県	17	2	0	0	0	7	26
岩手県	2	1	0	0	0	15	18
宮城県	3	1	1	10	0	6	21
秋田県	10	5	1	0	1	9	26
山形県	1	0	0	0	1	11	13
福島県	3	1	1	0	0	14	19
茨城県	2	1	0	6	0	18	27
栃木県	4	1	1	1	0	18	25
群馬県	1	0	3	2	0	7	13
埼玉県	3	1	1	0	0	10	15
千葉県	4	1	0	1	0	16	22
東京都	1	0	0	1	0	7	9
神奈川県	2	0	0	5	0	19	26
新潟県	4	1	3	0	0	17	25
富山県	19	2	1	2	0	7	31
石川県	12	2	2	9	0	5	30
福井県	4	0	0	8	0	8	20
山梨県	2	0	0	26	0	16	44
長野県	26	5	5	24	0	13	73
岐阜県	7	0	3	26	0	9	45
静岡県	4	0	0	2	0	15	21
愛知県	13	2	1	36	1	5	58
三重県	2	0	0	11	0	0	13
滋賀県	21	5	0	119	0	7	152
京都府	70	1	2	202	2	18	295
大阪府	2	0	0	44	0	17	63
兵庫県	11	0	5	33	0	5	54
奈良県	19	4	2	97	2	14	138
和歌山県	2	1	0	63	0	5	71
鳥取県	7	1	0	3	0	5	16
島根県	6	1	0	38	1	8	54
岡山県	8	1	0	5	0	5	19
広島県	7	0	1	15	0	7	30
山口県	5	0	0	14	0	1	20
徳島県	0	0	0	0	0	5	5
香川県	0	0	0	2	0	6	8
愛媛県	0	0	0	6	0	6	12
高知県	10	0	0	0	0	4	14
福岡県	4	0	0	8	0	8	20
佐賀県	1	0	0	0	0	3	4
長崎県	0	0	0	0	0	2	2
熊本県	1	1	3	0	0	15	20
大分県	2	0	2	4	0	5	13
宮崎県	0	1	1	0	0	3	5
鹿児島県	1	0	0	0	0	6	7
沖縄県	0	0	0	0	0	0	0
	327	42	42	823	8	408	1650

表 2-2 に、地域別の予測建物の分布状況を掲載する。地域は、地理、気候が共通と考えられる以下の 5 つに区分する。所在棟数は、京都、奈良、滋賀を有する地域 4 が、全て屋根種別において最も多い。木材薄板類は、地域 4 を除いた場合、日本海側となる地域 1 の所在棟数が多い。樹皮類は、地域 4、5 共に地域全体的に分布しているが、その他の地域は所在のない県が目立つ。なお、「ふるさと文化財の森」設定地においても、地域 4、5 に檜皮の産地が集中している。草本類は、各地域全体的に分布している。本業務では、資材の供給や生産地、生産の気候特性等の実態調査は実施していない。今後においては、安定的な需給体制の構築に向けて、供給側の調査が必要になるであろう。

表 2-2 周期的な修理を要する植物性屋根建造物(長期需要予測建物) 地域別一覧表

	植物性屋根建造物						合計棟数
	木材板類棟数			樹皮類棟数		草本類棟数	
	こけら葺	とち葺	板葺	檜皮葺	杉皮葺	茅葺	
<b>地域 1 合計</b>	<b>84</b>	<b>14</b>	<b>10</b>	<b>60</b>	<b>3</b>	<b>78</b>	<b>249</b>
北海道西北半	4	0	3	0	0	1	8
青森県	17	2	0	0	0	7	26
秋田県	10	5	1	0	1	9	26
山形県	1	0	0	0	1	11	13
新潟県	4	1	3	0	0	17	25
富山県	19	2	1	2	0	7	31
石川県	12	2	2	9	0	5	30
福井県	4	0	0	8	0	8	20
鳥取県	7	1	0	3	0	5	16
島根県	6	1	0	38	1	8	54
<b>地域 2 合計</b>	<b>36</b>	<b>7</b>	<b>3</b>	<b>72</b>	<b>1</b>	<b>111</b>	<b>230</b>
北海道東南半	0	0	0	0	0	0	0
岩手県	2	1	0	0	0	15	18
宮城県	3	1	1	10	0	6	21
茨城県	2	1	0	6	0	18	27
埼玉県	3	1	1	0	0	10	15
千葉県	4	1	0	1	0	16	22
東京都	1	0	0	1	0	7	9
神奈川県	2	0	0	5	0	19	26
静岡県	4	0	0	2	0	15	21
愛知県	13	2	1	36	1	5	58
三重県	2	0	0	11	0	0	13
<b>地域 3 合計</b>	<b>19</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>71</b>	<b>0</b>	<b>51</b>	<b>148</b>
和歌山県	2	1	0	63	0	5	71
徳島県	0	0	0	0	0	5	5
高知県	10	0	0	0	0	4	14
福岡県	4	0	0	8	0	8	20
佐賀県	1	0	0	0	0	3	4
長崎県	0	0	0	0	0	2	2
熊本県	1	1	3	0	0	15	20
宮崎県	0	1	1	0	0	3	5
鹿児島県	1	0	0	0	0	6	7
<b>地域 4 合計</b>	<b>153</b>	<b>17</b>	<b>17</b>	<b>497</b>	<b>4</b>	<b>116</b>	<b>804</b>
福島県	3	1	1	0	0	14	19
栃木県	4	1	1	1	0	18	25
群馬県	1	0	3	2	0	7	13
山梨県	2	0	0	26	0	16	44
長野県	26	5	5	24	0	13	73
岐阜県	7	0	3	26	0	9	45
滋賀県	21	5	0	119	0	7	152
京都府	70	1	2	202	2	18	295
奈良県	19	4	2	97	2	14	138
<b>地域 5 合計</b>	<b>35</b>	<b>1</b>	<b>8</b>	<b>123</b>	<b>0</b>	<b>52</b>	<b>219</b>
大阪府	2	0	0	44	0	17	63
兵庫県	11	0	5	33	0	5	54
岡山県	8	1	0	5	0	5	19
広島県	7	0	1	15	0	7	30
山口県	5	0	0	14	0	1	20
香川県	0	0	0	2	0	6	8
愛媛県	0	0	0	6	0	6	12
大分県	2	0	2	4	0	5	13
<b>合計</b>	<b>327</b>	<b>42</b>	<b>42</b>	<b>823</b>	<b>8</b>	<b>408</b>	<b>1650</b>

※北海道の西北半、東南半の区分は日高山脈を境に振り分けたが、本業務における周期的な修理を要する植物性屋根建造物は、北海道西北半にしか存在しない。

## 第3章 資料調査及び実績 DB

### 第1節 資料調査(実績報告書調査)

#### 1 調査目的・対象条件

平成元年から28年(過去28年間)を基本に実績報告書調査を行い(檜皮葺のみ昭和60年から平成29年:過去33年間)、植物性屋根建造物の修理工事に使用された使用量を把握し、実績報告書データベース(以下、実績DB:同章第2節参照)を作成する。実績DBは、過去の実態把握と共に、長期需要予測を行うための基礎資料とすることを目的とした。

実績報告書調査対象事業は、第2章で抽出した予測対象(1,650棟)のうち、屋根修理工事を行った事業とし、自費工事以外で、屋根に関わる全ての屋根修理工事とした(屋根全面修理工事だけでなく、屋根部分修理や屋根災害修理工事も対象)。対象事業年度は、各調査対象の最終年度に事業が完了した建物を基本とし、一部継続中の事業も含むこととした。

調査対象年度のうち、平成4年から14年の事業については、平成13~17年度に実施された「ふるさと文化財の森構想調査(財団法人文化財建造物保存技術協会作成)」の植物性資材需要量データベース(以下、H4-14実績DB)を参考資料とした。ただし、H4-14実績DB分析の結果、H4-14実績DBは、修理範囲が不明(全面若しくは部分)、前回の工事年が不明など、本業務で作成、分析する実績DBにおいては情報が不足していた。そのため、H4-14実績DBはあくまで参考資料とし、H4-14年の実績報告書においても追加で調査を行い、必要情報を収集することとした。

植物性屋根種別	実績報告書調査対象年度
檜皮葺	昭和60年~平成29年(以下、S60-H29)
こけら葺・とち葺・板葺・杉皮葺・茅葺	平成元年~平成28年(以下、H1-28)

#### 2 調査対象の抽出

調査対象工事の抽出は、上記の対象条件に倣い、文化庁所有の国DBを基に行った。抽出においては、国DB項目の「修理履歴」記載内容を参照し、工事完了年度ごとに抽出した。「修理履歴」に記載される工事内容は、〈屋〉、〈解〉、〈半解〉、〈移〉を含むものを抽出した。なお、〈自〉が含まれる場合や、〈部〉、〈災〉のみの場合は抽出から除外した(〈部〉、〈災〉の記載と〈屋〉が両方記載される場合のみ抽出)。

実績報告書の抽出は、国DBの「修理履歴」を基に工事完了年度ごとに抽出したデータと、文化庁所有の『保存修理補助事業竣工年度別一覧(一般修理)』を照らし合わせ、調査対象実績報告書リストを作成した。近年行われた現状変更許可の有無については、文化庁所有の『現状変更台帳 屋根変更のみの抽出版(2017.11.08データ更新版)』を基に判断した。なお、国DBの屋根種別は、その屋根の範囲や詳細工法は記載されていないため、曖昧な建物は実績報告書調査対象とし、その記載内容を確認の上、適宜対象の有無を判断した。

抽出の結果、調査対象事業は 1,019事業であった[実績報告書調査対象リスト 巻末資料参照]。

### 3 収集方法

実績報告書の収集は、文化庁書庫にある実績報告書を借用し、各必要頁をPDF スキャンの上、データ化を行った。文化庁書庫に存在しない実績報告書については、各都道府県や財団法人文化財建造物保存技術協会よりPDF データ或いは複写物を提供いただいた。

### 4 収集結果

平成29・30年度の収集結果は、調査対象1,155棟(983事業)のうち1,121棟(961事業)で、未収集は34棟(22事業)。令和元・2年度の収集結果は、調査対象57棟(36事業)のうち55棟(34事業)で、未収集は2棟(2事業)。各未収集建物は、実績DBから除外した。その結果、長期需要予測棟数1,650棟のうち、実績報告書より実態数量が明らかになる棟数は1,174棟(予測棟数の約7割)となった。

平成 29・30 年度業務 収集結果 [調査対象：H1-28]	実績報告書調査対象 1,155 棟 (983 事業)	収集及び調査済 1,121 棟 (961 事業)	木材薄板類：243 棟	こけら葺：205 棟
			樹皮類：569 棟	とち葺：18 棟
				板葺：20 棟
		草本類：309 棟	檜皮葺：565 棟	
		未収集 34 棟 (22 事業)	木材薄板類：7 棟	杉皮葺：4 棟
				茅葺：309 棟
樹皮類：15 棟	こけら葺：6 棟			
	とち葺：0 棟			
草本類：12 棟	板葺：1 棟			
令和元・2 年度業務 収集結果 [調査対象：S60-63, H29]	実績報告書調査対象 57 棟 (36 事業)	収集及び調査済 55 棟 (34 事業)	樹皮類：55 棟	檜皮葺：55 棟
		未収集 2 棟 (2 事業)	樹皮類：2 棟	檜皮葺：2 棟

※実績報告書調査対象棟数は、調査対象のうち保存修理工事が行われた建物とする。1 棟において複数の工事が行われている場合 (ex H1 年：全面葺替工事、H27 年全面葺替工事)は、1 棟として算出。未収集棟数は、未収集事業が存在する棟数である。

※事業数は、H1-28 年の事業回数のため、1 棟で 2 事業の建物もある (ex H1 年：全面葺替工事、H27 年全面葺替工事)。

### 5 調書の作成

収集した実績報告書から、実績 DB 作成に必要な情報、さらに今後の長期需要予測に必要な情報を、修理実績調書[表 3-1、3-2、3-3]に記録した。修理実績調書は、屋根種別毎に植物性屋根情報(今回竣工年、前回工事年、施工面積、工事範囲、工法、材種、単位面積あたりの使用量、屋根工事期間等)を基本として記録し、集計において、県別、地域別、年度別、材種別等、様々な分析(傾向や特性把握)に対応できるように作成した。

実績報告書における積算内訳記載方法は、施工業者の積算方法によって記載方法が一律ではない。また、単位使用量においては、代価表がないものや、縄締め長さなどの条件記載がないものがみられた。実績報告書の記載情報のままでは、情報不足や各々の数値条件が不統一により、集計不可能と判断された。そのため、各修理実績調書は、左側の実績報告書転記欄に加え、右側(赤枠内)の集計用の採用値(集計のために条件を整える換算設定値)欄を設け、採用値を集計することとした。各採用値は、文化庁と協議の上、実績 DB を基に設定した[採用値への換算設定は同章第 3～5 節参照]。

表 3-1 修理実績調書 (木材薄板類 : こけら葺、とち葺、板葺)

板										実務報告書 転記欄							
code	★CODE	★件名	★棟名	構造形式に 含まれる名称	★棟別	屋根											
報告書	報告書年度	報告書№															
災害	災害復旧																
主要寸法	建物平面積 (㎡)																
	屋根面積 (㎡)																
	板	葺	皮														
	桁行 (m)	梁間 (m)															
	軒の出 (m)	軒面積 (㎡)															
修理周期	今回修理年度	全●or部分○															
	前回修理年度	全●or部分○															
	前々回修理年度	全●or部分○															
	前々々回修理年度	全●or部分○															
今回工事	屋根種類										採用値 (換算等設定値)						
	種	構	とち	厚板	石置	本瓦形	板葺	こぼ				屋根種類					
	平葺材種										平葺材種						
	椽	栗	杉	ヒバ	ねずこ	コウヤマキ					椽		栗	杉	ヒバ	ねずこ	コウヤマキ
	平葺	葺替員数 (㎡)	単位使用量 (㎡/㎡)	合計使用量 (㎡)							平葺		葺替員数 (㎡)	単位使用量 (㎡/㎡)	合計使用量 (㎡)		
	軒付	葺替員数 (㎡)	単位使用量 (㎡/㎡)	合計使用量 (㎡)							軒付		葺替員数 (㎡)	単位使用量 (㎡/㎡)	合計使用量 (㎡)		
	上軒付	葺替員数 (㎡)	単位使用量 (㎡/㎡)	合計使用量 (㎡)							上軒付		葺替員数 (㎡)	単位使用量 (㎡/㎡)	合計使用量 (㎡)		
	下軒付	葺替員数 (㎡)	単位使用量 (㎡/㎡)	合計使用量 (㎡)							下軒付		葺替員数 (㎡)	単位使用量 (㎡/㎡)	合計使用量 (㎡)		
	軒付裏板	葺替員数 (㎡)	単位使用量 (㎡/㎡)	合計使用量 (㎡)							軒付裏板		葺替員数 (㎡)	単位使用量 (㎡/㎡)	合計使用量 (㎡)		
	上軒付裏板	葺替員数 (㎡)	単位使用量 (㎡/㎡)	合計使用量 (㎡)							上軒付裏板		葺替員数 (㎡)	単位使用量 (㎡/㎡)	合計使用量 (㎡)		
	下軒付裏板	葺替員数 (㎡)	単位使用量 (㎡/㎡)	合計使用量 (㎡)							下軒付裏板		葺替員数 (㎡)	単位使用量 (㎡/㎡)	合計使用量 (㎡)		
	品葺	葺替員数 (㎡)	単位使用量 (㎡/㎡)	合計使用量 (㎡)							品葺		葺替員数 (㎡)	単位使用量 (㎡/㎡)	合計使用量 (㎡)		
	上目板	葺替員数 (㎡)	単位使用量 (㎡/㎡)	合計使用量 (㎡)							上目板		葺替員数 (㎡)	単位使用量 (㎡/㎡)	合計使用量 (㎡)		
					堰葺	葺替員数 (㎡)	単位使用量 (㎡/㎡)	合計使用量 (㎡)					堰葺		葺替員数 (㎡)	単位使用量 (㎡/㎡)	合計使用量 (㎡)
					蛇腹	葺替員数 (㎡)	単位使用量 (㎡/㎡)	合計使用量 (㎡)					蛇腹		葺替員数 (㎡)	単位使用量 (㎡/㎡)	合計使用量 (㎡)
					水切銅板	葺(葺)込銅板								水切銅板		葺(葺)込銅板	
	工法										工法 (主たる屋根● or 下屋○) 板		葺		皮		
	工事範囲	全●		平葺													
		部分○		軒付													
	工事期間	屋根工事期間 (月)											メモ				
図面	図面有無																
	平面	立面	断面	屋根伏													
写真	写真有無																
	工事前	工事中	工事後								全体メモ						

表 3-2 修理実績調書（樹皮類：檜皮葺、杉皮葺）

皮				実績報告書 転記欄		
code	★CODE	★件名	★棟名	構造形式に 含まれる名称	★県別	屋根
報告書	報告書年度	報告書No.				
災害	災害復旧					
主要寸法	建物平面積 (㎡)					
	屋根面積 (㎡)					
	板	草	皮			
	桁行 (m)	梁間 (m)				
	軒の出 (m)	軒面積 (㎡)				
修理周期	今回修理年度	全●or部分○				
	前回修理年度	全●or部分○				
	前々回修理年度	全●or部分○				
	前々々回修理年度	全●or部分○				
今回工事	平葺材種					
	檜皮	杉皮				
	平葺 葺替員数 (㎡)	単位使用量 (束/㎡)	合計使用量 (束)			
	軒付 葺替員数 (㎡)	単位使用量 (束/㎡)	合計使用量 (束)			
	上軒付 葺替員数 (㎡)	単位使用量 (束/㎡)	合計使用量 (束)			
	下軒付 葺替員数 (㎡)	単位使用量 (束/㎡)	合計使用量 (束)			
	品軒 葺替員数 (㎡)	単位使用量 (束/㎡)	合計使用量 (束)			
	上目皮 葺替員数 (m)					
工法	工法 (主たる屋根● or 下屋○)					
	板	草	皮			
工事範囲 (全体● or部分○)	平葺					
	軒付					
工事期間	屋根工事期間 (月)					
図面	図面有無					
	平面	立面	断面	屋根伏		
写真	写真有無					
	工事前	工事中	工事後			
採用値 (換算等設定値)						
平葺材種						
檜皮	杉皮					
平葺 葺替員数 (㎡)	単位使用量 (束/㎡)	合計使用量 (束)				
軒付 葺替員数 (㎡)	単位使用量 (束/㎡)	合計使用量 (束)				
上軒付 葺替員数 (㎡)	単位使用量 (束/㎡)	合計使用量 (束)				
下軒付 葺替員数 (㎡)	単位使用量 (束/㎡)	合計使用量 (束)				
品軒 葺替員数 (㎡)	単位使用量 (束/㎡)	合計使用量 (束)				
上目皮 葺替員数 (m)						
メモ						
全体メモ						

表 3-3 修理実績調書（草本類：茅葺）

草	実績報告書 取組欄																				
code	★CODE	★件名	★棟名	構造形式に 含まれる名称	★渠別	屋根															
報告書	報告書年度	報告書№																			
災害	災害復旧																				
主要寸法	建物平面積 (㎡)																				
	屋根面積 (㎡)																				
	板	葦	皮																		
	桁行 (m)	梁間 (m)																			
	軒の出 (m)	軒面積 (㎡)																			
修理周期	今回修理年度	今回修理範囲																			
	前回修理年度	前回修理範囲																			
	前々回修理年度	前々回修理範囲																			
	前々々回修理年度	前々々回修理範囲																			
	前々々々回修理年度	前々々々回修理範囲																			
今回工事	平葦・ヨシ 葺替員数 (㎡)	単位使用量 (束/㎡)	1束あたり 縄締尺 (m)	合計使用量 (束)	平葦・切羽 葺替員数 (㎡)	単位使用量 (束/㎡)	1束あたり 縄締尺 (m)	合計 使用量 (束)													
	平葦・山茅 葺替員数 (㎡)	単位使用量 (束/㎡)	1束あたり 縄締尺 (m)	合計使用量 (束)																	
	平葦・しま茅 葺替員数 (㎡)	単位使用量 (束/㎡)	1束あたり 縄締尺 (m)	合計使用量 (束)																	
	平葦・オギ 葺替員数 (㎡)	単位使用量 (束/㎡)	1束あたり 縄締尺 (m)	合計使用量 (束)																	
	軒付1 葺替員数 (㎡)	単位使用量 (束/㎡)	1束あたり 縄締尺 (m)	合計使用量 (束)	材種	軒付2 葺替員数 (㎡)	単位使用量 (束/㎡)	1束あたり 縄締尺 (m)	合計 使用量 (束)	材種	軒付1 葺替員数 (㎡)	単位使用量 (束/㎡)	1束あたり 縄締尺 (m)	合計使用量 (束)	材種	軒付2 葺替員数 (㎡)	単位使用量 (束/㎡)	1束あたり 縄締尺 (m)	合計 使用量 (束)	材種	
	品軒 葺替員数 (㎡)	単位使用量 (束/㎡)	1束あたり 縄締尺 (m)	合計使用量 (束)		軒付3 葺替員数 (㎡)	単位使用量 (束/㎡)	1束あたり 縄締尺 (m)	合計 使用量 (束)	材種	品軒 葺替員数 (㎡)	単位使用量 (束/㎡)	1束あたり 縄締尺 (m)	合計使用量 (束)		軒付3 葺替員数 (㎡)	単位使用量 (束/㎡)	1束あたり 縄締尺 (m)	合計 使用量 (束)	材種	
	棟頭 葺替員数 (㎡)	単位使用量 (束/㎡)	1束あたり 縄締尺 (m)	合計使用量 (束)																	
	今回工事 (差茅)	差茅・ヨシ 員数 (㎡)	単位使用量 (束/㎡)	1束あたり 縄締尺 (m)	合計使用量 (束)																
		差茅・山茅 員数 (㎡)	単位使用量 (束/㎡)	1束あたり 縄締尺 (m)	合計使用量 (束)																
		差茅・しま茅 員数 (㎡)	単位使用量 (束/㎡)	1束あたり 縄締尺 (m)	合計使用量 (束)																
	差茅・その他 員数 (㎡)	単位使用量 (束/㎡)	1束あたり 縄締尺 (m)	合計使用量 (束)																	
工法	工法 (主たる屋根● or 下屋○) 板 葦 皮																				
工事範囲	平葦 全体葺替● 部分葺替▲ 差茅○ 部分差茅△ 軒付																				
	工事期間 屋根工事期間 (月)																				
図面	図面有無 平面 立面 断面 屋根伏																				
	写真 写真有無 工事前 工事中 工事後																				
										採用品 (換算等設定値)											
										平葦・ヨシ 葺替員数 (㎡) 単位使用量 (束/㎡) 1束あたり 縄締尺 (m) 合計使用量 (束) 平葦・切羽 葺替員数 (㎡) 単位使用量 (束/㎡) 1束あたり 縄締尺 (m) 合計使用量 (束)											
										平葦・山茅 葺替員数 (㎡) 単位使用量 (束/㎡) 1束あたり 縄締尺 (m) 合計使用量 (束)											
										平葦・しま茅 葺替員数 (㎡) 単位使用量 (束/㎡) 1束あたり 縄締尺 (m) 合計使用量 (束)											
										平葦・オギ 葺替員数 (㎡) 単位使用量 (束/㎡) 1束あたり 縄締尺 (m) 合計使用量 (束)											
										軒付1 葺替員数 (㎡) 単位使用量 (束/㎡) 1束あたり 縄締尺 (m) 合計使用量 (束) 材種 軒付2 葺替員数 (㎡) 単位使用量 (束/㎡) 1束あたり 縄締尺 (m) 合計使用量 (束) 材種											
										品軒 葺替員数 (㎡) 単位使用量 (束/㎡) 1束あたり 縄締尺 (m) 合計使用量 (束) 材種 軒付3 葺替員数 (㎡) 単位使用量 (束/㎡) 1束あたり 縄締尺 (m) 合計使用量 (束) 材種											
										棟頭 葺替員数 (㎡) 単位使用量 (束/㎡) 1束あたり 縄締尺 (m) 合計使用量 (束)											
										差茅・ヨシ 員数 (㎡) 単位使用量 (束/㎡) 1束あたり 縄締尺 (m) 合計使用量 (束)											
										差茅・山茅 員数 (㎡) 単位使用量 (束/㎡) 1束あたり 縄締尺 (m) 合計使用量 (束)											
										差茅・しま茅 員数 (㎡) 単位使用量 (束/㎡) 1束あたり 縄締尺 (m) 合計使用量 (束)											
										差茅・その他 員数 (㎡) 単位使用量 (束/㎡) 1束あたり 縄締尺 (m) 合計使用量 (束)											
										メモ											
										全体メモ											



## 第2節 実績 DB 概要

実績 DB は、過去の実態把握を目的とし、棟別、屋根仕様別、県別、地域別、年度別等に容易に抽出、集計ができ、材料や地域毎に傾向分析ができるように構築した。入力項目(抽出可能項目)は下表参照。今後の需要量や修理周期を予測する上で、過去実態は、重要な資料となることが考えられることから、年度別や材種別など様々な分析が可能なデータ構成とした。実績 DB は、「Excel 2013」を使用して作成した。実績 DB の印刷版は、別冊資料に掲載する。

実績 DB は、屋根種別ごとに調査対象年度が異なり、檜皮葺のみ S60-H29、その他の植物性屋根は H1-28 としている。そのため、本報告書内の実績 DB 名称は、檜皮葺を『S60-H29 実績 DB』、その他の植物性屋根を『H1-28 実績 DB』とする。

なお、長期需要予測における各設定(材種等仕様、面積、使用量、全面修理周期、部分修理周期、次回修理年等)は、実績 DB を基に設定した。実績報告書調査対象年度に修理実績がない建物(面積や使用量などを報告書からではなく、図面等から推測しなければならない建物)は、実績 DB の分析により、概算数量算出のための設定値を算出した。

屋根種別毎の実績 DB 作成条件、算出結果、分析及び考察は、同章第 3～5 節参照。また、実績 DB を基にした長期需要予測における各設定は、第 4 章参照。

### 《実績 DB 入力項目(抽出可能項目)》

項目	内容
CODE	国 DB(国宝・重要文化財建造物目録データベース)より転記。国 DB、実績 DB、長期需要 DB は全て同一 CODE を使用しているため、各データ間の情報移植が可能。
件名	国 DB(国宝・重要文化財建造物目録データベース)より転記。
棟名	〃
構造形式に含まれる名称	〃
県別	〃
地域区分	地理、気候が共通と考えられる 5 つに区分した。 地域 1：日本海側気候、地域 2：太平洋側気候 1、地域 3：太平洋側気候 2、地域 4：内陸性気候、地域 5：瀬戸内海気候
屋根種別	木材薄板類(こけら葺、とち葺、板葺)、樹皮類(檜皮葺、杉皮葺)、草本類(茅葺)
報告書年度	事業完了した実績報告書の年度
報告書 No	文化庁所有『保存修理補助事業竣工年度別一覧(一般修理)』の報告書番号
災害復旧	災害復旧工事か否か
主要寸法	建物平面積、屋根面積
修理周期	過去の修理年と工事範囲(全面葺替 or 部分葺替) ※長期需要における予測周期設定のため
使用量	範囲×単位使用量を基本に算出される使用量 詳細は、同章第 3、4、5 節参照
工事範囲	平葺部と軒付部の工事範囲(全面葺替 or 部分葺替) ※長期需要における予測使用量設定のため
工事期間	屋根工事期間(か月) ※長期需要における事業期間設定のため



## 第3節 木材薄板類 (H1-28 実績 DB)

### 1 実績報告書の数量算出状況【木材薄板類】

H1-28年における、木材薄板類の積算部位は、平葺、せきがや、上目板、裏板(蛇腹)、軒付、品軒に分けて算出されている。各部位は全て、面積や長さに単位使用量( $\text{m}^3/\text{m}^2$  or  $\text{m}$ )を乗じて、全て材積( $\text{m}^3$ )として算出されている。

以下に、実績報告書における部位ごとの算出状況を掲載する。

部位	実績報告書数量算出状況
平葺	屋根面積( $\text{m}^2$ )×単位使用量( $\text{m}^3/\text{m}^2$ )
せきがや	長さ (m)×単位使用量( $\text{m}^3/\text{m}$ ) or 面積 ( $\text{m}^2$ )×単位使用量( $\text{m}^3/\text{m}^2$ )
上目板	軒長さ (m)×単位使用量( $\text{m}^3/\text{m}$ )
裏板(蛇腹)	軒長さ (m)×単位使用量( $\text{m}^3/\text{m}$ )
軒付	軒付面積( $\text{m}^2$ )×単位使用量( $\text{m}^3/\text{m}^2$ ) ※一部においてmあたりの単位使用量が存在する
品軒	品軒面積( $\text{m}^2$ )×単位使用量( $\text{m}^3/\text{m}^2$ ) ※一部においてmあたりの単位使用量が存在する

### 2 算出条件【木材薄板類】

#### 2-1 屋根工法分類

木材薄板類は、こけら葺、とち葺、板葺の3つの工法に分け、それぞれ材種別に集計する。この工法分類は、国DBに記載される屋根種別の工法名を基本とする。ただし、国DB上の板葺は、実際には、こけら葺、石置、長板葺など、様々な葺き方が含まれているが、それぞれの棟数が少ないため、板葺の括りで分類した。

#### 2-2 工事範囲

全面葺替工事、部分葺替工事共に算出した。

#### 2-3 算出部位及び集計単位

算出部位及び集計単位は、下表の通り。材積への計算方法は、実績報告書の算出方法に倣った。

算出部位	平葺	せきがや	上目板	裏板・蛇腹	軒付	品軒
集計単位	全て $\text{m}^3$					

#### 2-4 その他

##### ・(平葺) 単位使用量が積算内訳に記載されていない場合

⇒屋根工事に記載されている仕様(厚み、長さ、葺足など)を基に、 $1\text{m}^2$ あたりの単位使用量を算出した。

⇒部分修理などにおいて、一式計上の場合は、使用量は微量と判断し、算出対象外とした。

・(上目板) 単位使用量が積算内訳に記載されていない場合

⇒屋根工事に記載されている仕様(厚み、長さ、重ね枚数など)を基に、1mあたりの単位使用量を算出した。

⇒部分修理などにおいて、一式計上の場合は、使用量は微量と判断し、算出対象外とした。

・(軒付・品軒) 単位使用量が積算内訳に記載されていない場合

⇒公益財団法人全国社寺等屋根工事技術保存会積算資料(平成30年度)(以下、社寺屋根積算資料)に記載される柿葺工事軒付の単位使用量『 $0.15 \text{ m}^3/\text{m}^2$ 』を採用した。品軒も同様とした。

※社寺屋根積算資料には、軒付面積に裏板と上目板が含まれない場合は $0.114 \text{ m}^3/\text{m}^2$ 、裏板と上目板が含まれる場合は $0.15 \text{ m}^3/\text{m}^2$ とあるが、積算内訳上の軒付数量は、裏板と上目板が含まれているかどうか不明であった。H1-28実績DBの実態は、軒付面積に裏板と上目板が含まれる数量の方で算出している建物の割合が多く、算出結果として不利側(多め)の結果が得られることから、文化庁と協議の上、『 $0.15 \text{ m}^3/\text{m}^2$ 』を採用した。

⇒部分修理などにおいて、一式計上の場合は、使用量は微量と判断し、算出対象外とした。

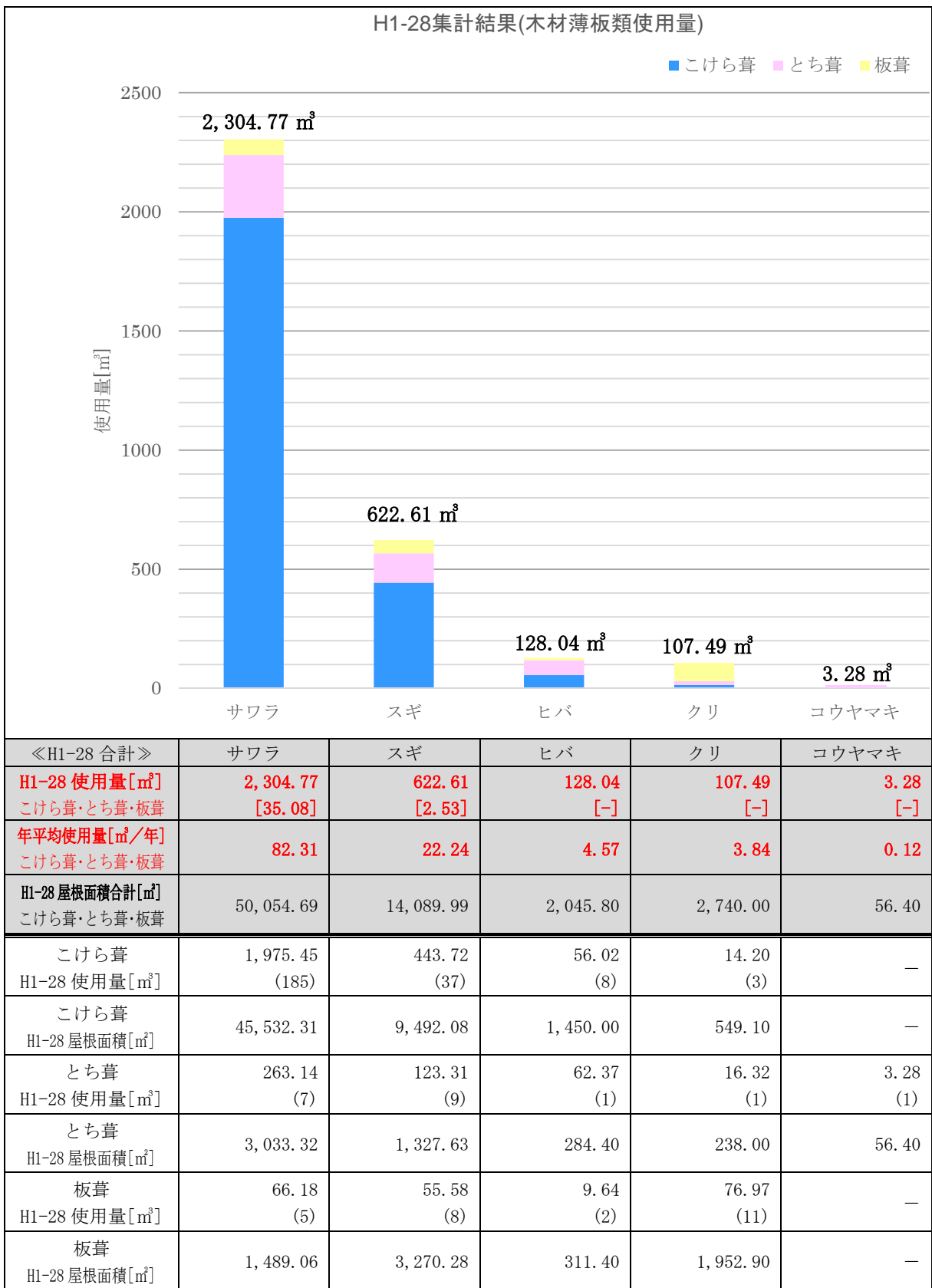
・集計年度

⇒事業完了年に、その事業の使用量を一括計上した。

### 3 集計結果【木材薄板類】

H1-28実績DBにおいて、木材薄板類の材種はサワラ、スギ、ヒバ、クリ、コウヤマキの5種類であった。28年間の材種別使用量合計は、サワラ  $2,304.77 \text{ m}^3$ (年平均  $82.31 \text{ m}^3$ )、スギ  $622.61 \text{ m}^3$ (年平均  $22.24 \text{ m}^3$ )、ヒバ  $128.04 \text{ m}^3$ (年平均  $4.57 \text{ m}^3$ )、クリ  $107.49 \text{ m}^3$ (年平均  $3.84 \text{ m}^3$ )、コウヤマキ  $3.28 \text{ m}^3$ (年平均  $0.12 \text{ m}^3$ )であった。

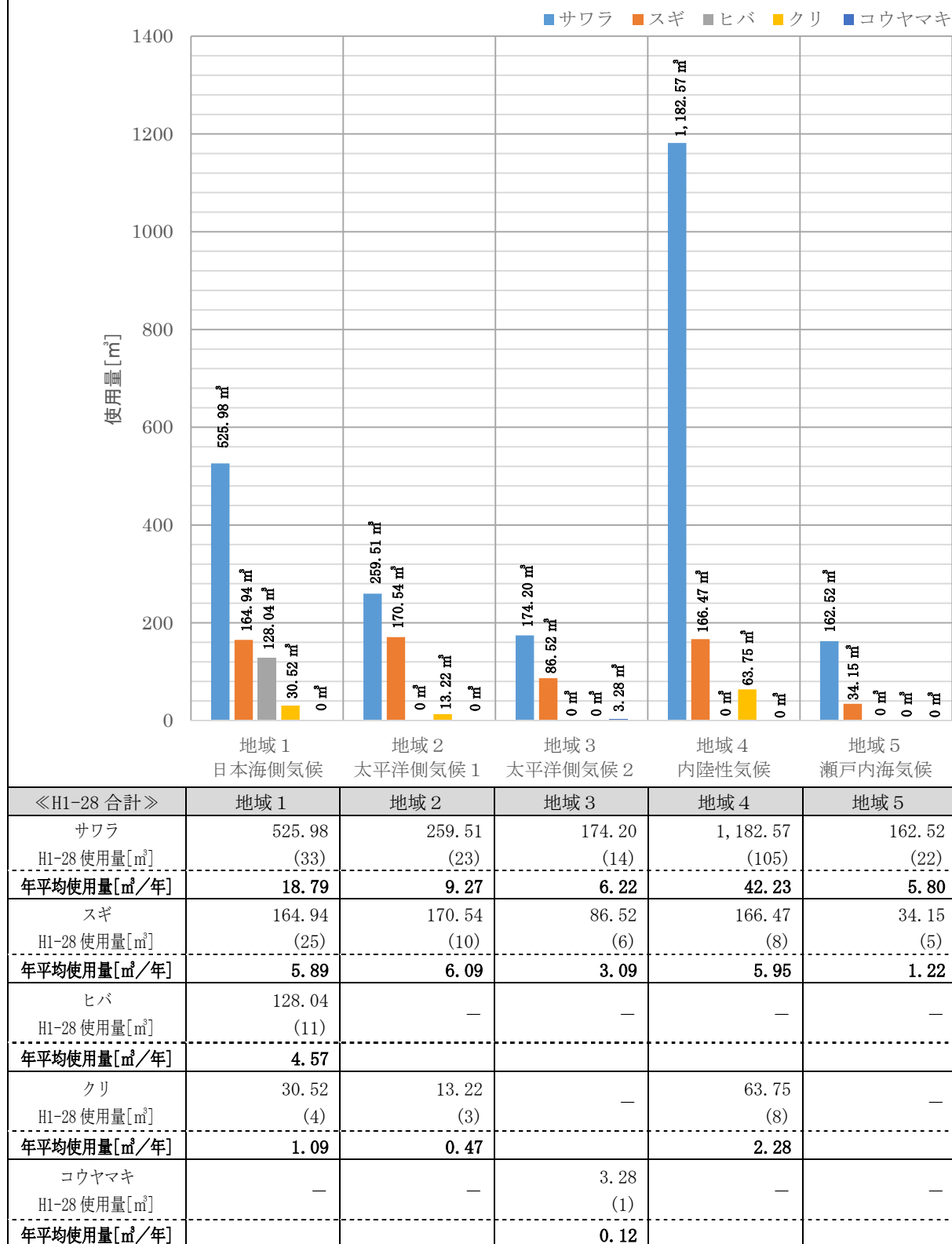
以下に、木材薄板類の過去28年間の集計結果[図3-1]、地域及び材種別使用量集計結果[図3-2]、木材薄板類の年度別使用量推移グラフ及び表[図3-3]、葺き方別年度別使用量推移グラフ及び表[図3-4、3-5、3-6]を掲載する。



※表中の( )内は履歴数、[]は、合計使用量のうち災害復旧工事の使用量とする。

図 3-1 H1-28 集計結果《木材薄板類》

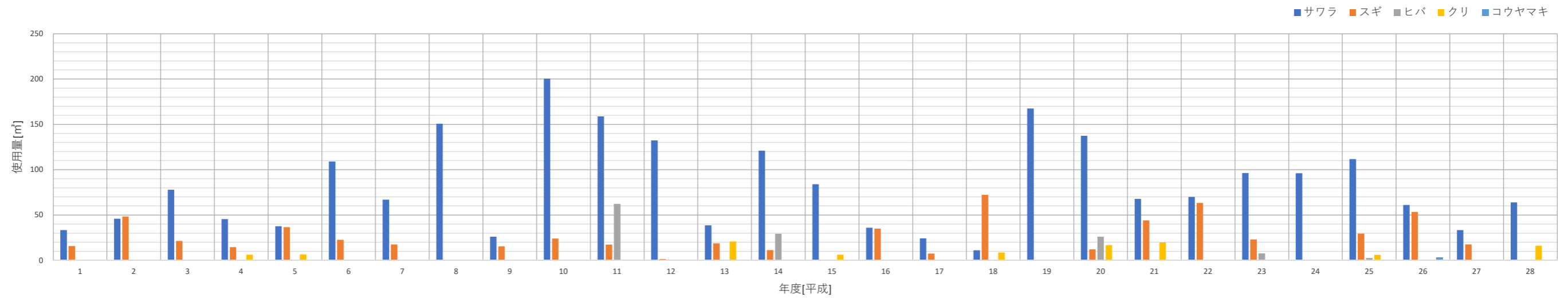
H1-28集計結果(地域・材種別使用量)



※表中の( )内は履歴数とする。地域区分はP14 参照。

図 3-2 H1-28 集計結果《地域・材種別使用量》

H1-28集計結果 木材薄板類(こけら葺・とち葺・板葺)年度別使用量



年度・材種別使用量 [ m<sup>2</sup> ]

年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	合計値m <sup>2</sup>
サワラ	33.348	45.941	77.929	45.529	37.583	109.115	67.025	150.805	26.018	200.444	158.817	132.210	38.602	121.045	83.878	35.919	24.270	11.216	167.466	137.349	67.860	70.040	96.270	96.131	111.631	61.120	33.323	63.888	2304.77
スギ	15.756	48.286	21.449	14.595	36.576	22.640	17.591		15.374	24.090	17.322	1.425	18.732	11.239		35.041	7.432	72.233		12.051	44.050	63.225	23.031		29.441	53.433	17.594		622.61
ヒバ											62.374			29.322						26.124	44.050	63.225	7.629		2.589				128.04
クリ				6.336	6.513								20.887		6.227			8.626		16.793	19.855							16.196	107.49
コウヤマキ																									3.278			3.28	

年度・材種別平葺面積及び履歴数 [ m<sup>2</sup> ] ※()内は工事履歴数

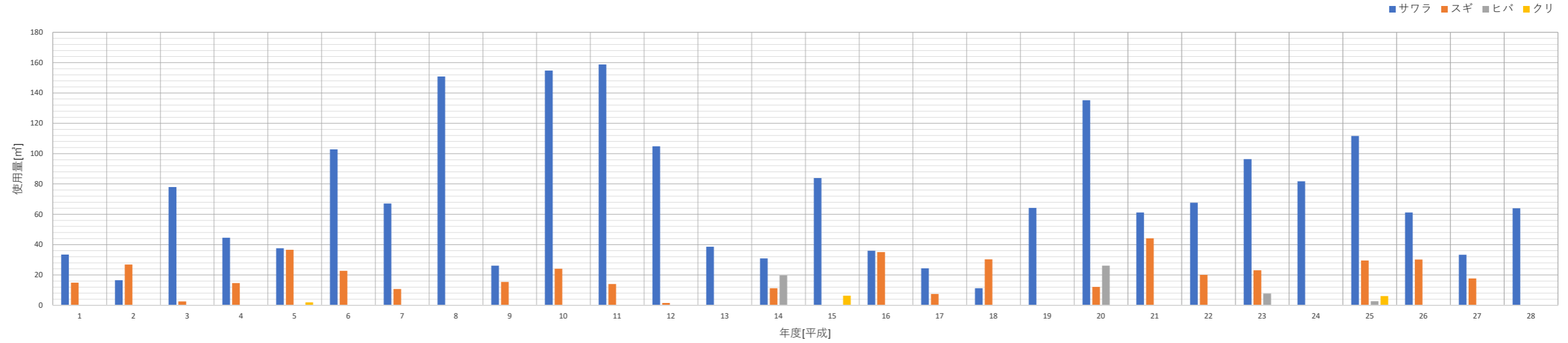
年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	合計値m <sup>2</sup>
サワラ	751.10 (3)	937.93 (3)	1,669.30 (6)	1,150.57 (6)	710.20 (6)	1,867.16 (6)	1,680.34 (8)	3,796.03 (13)	705.60 (4)	4,143.69 (13)	3,739.40 (15)	2,349.19 (14)	996.90 (4)	1,718.65 (6)	1,968.20 (5)	880.40 (5)	325.20 (3)	252.30 (2)	2,228.90 (7)	3,279.94 (18)	1,895.70 (5)	1,922.20 (4)	2,429.80 (6)	2,332.00 (7)	2,494.22 (9)	1,239.20 (5)	963.70 (6)	1,626.88 (8)	50,054.70 (197)
スギ	423.00 (2)	822.20 (3)	1,337.30 (3)	261.08 (2)	790.69 (2)	522.50 (2)	646.70 (2)		210.40 (1)	283.60 (2)	428.73 (3)	39.58 (1)	295.80 (5)	239.60 (2)		517.00 (1)	220.00 (1)	1,277.07 (8)		323.20 (1)	828.00 (1)	947.54 (6)	568.00 (1)		499.00 (1)	2,110.58 (3)	538.00 (1)		14,129.56 (54)
ヒバ											284.40 (1)			789.60 (7)						629.20 (1)			295.40 (1)			47.20 (1)			2,045.80 (11)
クリ				176.00 (1)	208.00 (2)								585.70 (2)		188.70 (1)				288.00 (1)		473.30 (3)	336.90 (3)				275.40 (1)		208.00 (1)	2,740.00 (15)
コウヤマキ																									56.40 (1)			56.40 (1)	

上記の使用量のうち災害復旧工事の使用量と履歴数 [ m<sup>2</sup> ] ※()内は工事履歴数

年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	合計値m <sup>2</sup>
サワラ				15.833 (3)		4.182 (1)				0.910 (1)	1.631 (3)					9.159 (2)									3.362 (1)				35.08 (11)
スギ			2.529 (2)																										2.53 (2)
ヒバ																													
クリ																													
コウヤマキ																													

図 3-3 木材薄板類(こけら葺・とち葺・板葺)年度別使用量推移グラフ

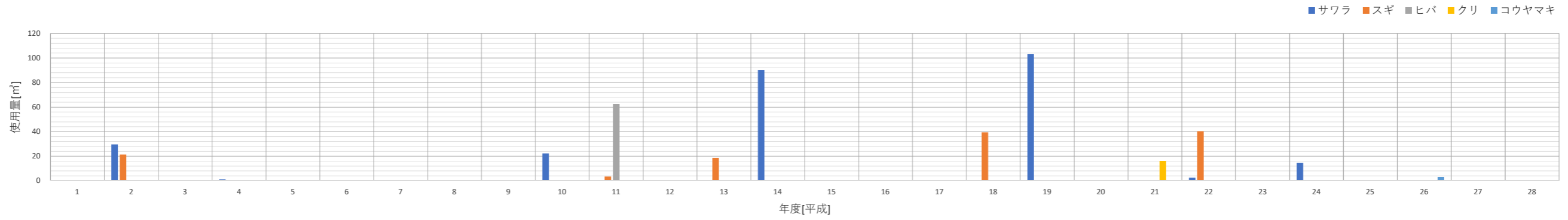
H1-28集計結果 こけら葺年度別使用量



年度		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	合計	
サワラ	合計使用量 (m <sup>2</sup> )	33.348	16.432	77.929	44.529	37.583	102.713	67.025	150.805	26.018	154.739	158.817	104.832	38.602	30.914	83.878	35.919	24.270	11.216	64.114	135.211	61.121	67.515	96.270	81.689	111.631	61.120	33.323	63.888	1,975.452	
	平葺	29.111	15.783	56.843	36.248	33.816	85.680	55.447	115.879	22.686	127.055	131.712	94.059	34.914	28.096	70.169	29.900	20.952	9.083	58.143	114.351	57.307	62.724	84.674	75.128	87.275	56.763	30.483	56.602	1,680.882	
	軒付	3.330	0.375	12.958	4.365	1.255	11.340	5.622	25.547	1.858	19.862	20.178	5.430	0.684	0.894	9.799	3.499	1.395	1.763	2.965	11.812	1.070	2.051	5.035	0.968	16.812	1.863	1.656	3.027	177.413	
	裏板			4.170	1.140	0.350	0.437	0.578		0.017	0.774	0.918	0.706	0.076	0.202		1.023	0.220		0.839	2.796	0.099	0.359	0.459	0.566	3.146	0.193	0.245	0.329	19.641	
	蛇腹											0.191	0.584											0.241							1.016
	品軒	0.488		1.904	1.706	0.852	0.864	4.301	3.190	0.283	4.764	3.296	2.425	1.669	0.992	2.408	0.720	1.338		0.915	2.518	1.202	0.803	2.229	2.112	1.810	0.583	0.130	1.764	45.265	
	上目板	0.420	0.274	2.054	1.060	1.310	4.393	1.078	5.885	1.174	2.092	2.129	2.212	1.258	0.730	1.502	0.777	0.365	0.371	1.126	3.658	1.442	1.578	3.632	2.164	2.588	1.719	0.769	2.054	49.814	
	堰萱				0.010					0.305											0.126	0.075				0.751			0.041	0.113	1.422
	葺替面積 (m <sup>2</sup> )	751.1	463.8	1669.3	1131.1	710.2	1608.5	1680.3	3796.0	705.6	3475.4	3739.4	1892.9	996.9	637.7	1968.2	880.4	325.2	252.3	1354.7	3190.8	1602.7	1896.0	2429.8	2050.0	2494.2	1239.2	963.7	1626.9	45,532.314	
工事履歴数	3	2	6	5	6	5	8	13	4	11	15	13	4	5	5	5	3	2	6	17	4	3	6	6	9	5	6	8	185		
スギ	合計使用量 (m <sup>2</sup> )	14.862	26.802	2.529	14.595	36.576	22.640	10.719		15.374	24.090	13.925	1.425		11.239		35.041	7.432	30.218		12.051	44.050	19.958	23.031		29.441	30.126	17.594		443.717	
	平葺	11.043	20.520	2.529	10.217	29.210	15.675	8.708		11.782	12.214	12.037	1.425		10.200		23.265	6.600	29.180		11.635	42.642	13.954	20.448		29.441	28.425	16.140		367.290	
	軒付	3.213	5.247		2.876	5.174	4.908	0.163		2.556	11.295	0.800			0.491		5.868		0.276		0.071	0.726	3.890	1.500			0.144	0.079		49.277	
	裏板				0.728	1.414	1.372	1.064		0.458		0.299			0.059		3.539						1.394	0.547			0.043	0.026		10.944	
	蛇腹																														
	品軒	0.027	0.522		0.135	0.028		0.654		0.101		0.110			0.102		1.584	0.555	0.324				0.229				0.671	1.067		6.109	
	上目板	0.579	0.513		0.637	0.751	0.686	0.130		0.476	0.581	0.679			0.388		0.667	0.277	0.365		0.346	0.682	0.490	0.536			0.842	0.282		9.907	
	堰萱																0.119		0.072												0.191
	葺替面積 (m <sup>2</sup> )	409.0	570.0	84.3	261.1	790.7	522.5	191.6		210.4	283.6	383.9	39.58		239.6		517.0	220.0	903.77		323.2	828.0	390.4	568.0		499.0	758.0	538.0		9,531.658	
工事履歴数	1	1	2	2	2	2	1		1	2	2	1		2		1	1	6		1	1	4	1		1	1	1	1	37		
ヒバ	合計使用量 (m <sup>2</sup> )														19.680						26.124			7.629		2.589				56.022	
	平葺														17.215						22.651			5.908		1.416				47.190	
	軒付														0.525						2.070			1.721		0.930				5.246	
	裏板														0.884						0.877									1.761	
	蛇腹																														
	品軒																										0.120				0.120
	上目板															1.056						0.526				0.123					1.705
	堰萱																														
	葺替面積 (m <sup>2</sup> )															478.2						629.2			295.4		47.2				1,450.000
工事履歴数															5						1			1		1				8	
クリ	合計使用量 (m <sup>2</sup> )					1.913											6.227									6.059				14.198	
	平葺					1.913											6.227									6.059					14.198
	軒付																														
	裏板																														
	蛇腹																														
	品軒																														
	上目板																														
	堰萱																														
	葺替面積 (m <sup>2</sup> )					85.0											188.7										275.4				549.100
工事履歴数					1											1										1				3	

図 3-4 こけら葺年度別使用量推移グラフ

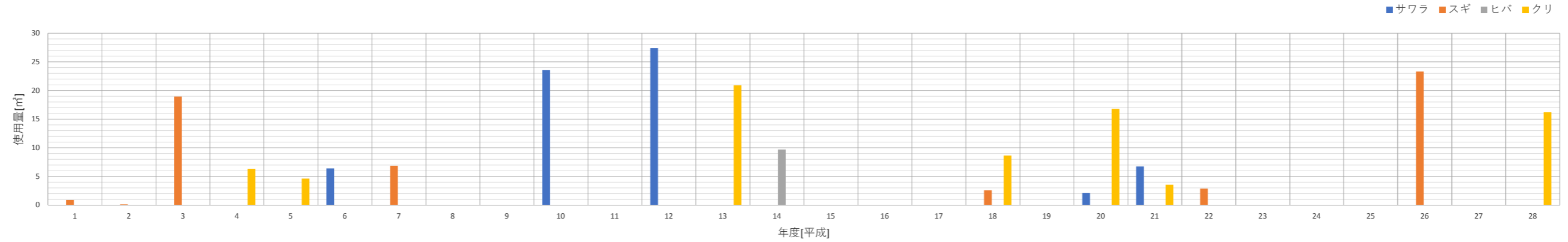
H1-28集計結果 とち葺年度別使用量



年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	合計
サワラ	合計使用量 (㎡)	29.509		1.000						22.185				90.131					103.351			2.525		14.442				263.144	
	平葺	28.447		0.702						18.650				77.832					86.808			1.886		14.100				228.426	
	軒付	0.522		0.298						1.965				8.202					11.563			0.454						23.004	
	裏板																		0.840			0.135						0.975	
	蛇腹																												
	品軒														2.016										0.065			2.081	
	上目板	0.540									1.570				2.081								4.140		0.050		0.277	8.659	
	堰萱																												
	葺替面積 (㎡)	474.1			19.5						276.3				1081.0					874.2			26.2		282.0			3,033.320	
	工事履歴数	1			1						1				1					1			1		1			7	
スギ	合計使用量 (㎡)	21.348									3.397		18.732					39.451				40.383					123.311		
	平葺	16.500									3.397		17.748					33.030				34.728					105.403		
	軒付	2.136																4.685				3.833					10.654		
	裏板	1.420																				0.872					2.292		
	蛇腹																												
	品軒	0.093																				0.510					0.603		
	上目板	1.199											0.984					1.735				0.440					4.359		
	堰萱																												
	葺替面積 (㎡)	220.0									44.8		295.8					292.3				474.7					1,327.629		
	工事履歴数	1									1		5					1				1					9		
ヒバ	合計使用量 (㎡)										62.374																62.374		
	平葺										56.880																56.880		
	軒付										3.375																3.375		
	裏板										2.119																2.119		
	蛇腹																												
	品軒																												
	上目板																												
	堰萱																												
	葺替面積 (㎡)										284.4																284.400		
	工事履歴数										1																1		
クリ	合計使用量 (㎡)																				16.323						16.323		
	平葺																				14.280						14.280		
	軒付																				0.681						0.681		
	裏板																												
	蛇腹																												
	品軒																					1.362					1.362		
	上目板																												
	堰萱																												
	葺替面積 (㎡)																					238.0					238.000		
	工事履歴数																					1					1		
コウヤマキ	合計使用量 (㎡)																									3.278	3.278		
	平葺																									2.256	2.256		
	軒付																									0.752	0.752		
	裏板																									0.084	0.084		
	蛇腹																												
	品軒																												
	上目板																								0.186	0.186			
	堰萱																												
	葺替面積 (㎡)																									56.4	56.400		
	工事履歴数																									1	1		

図 3-5 とち葺年度別使用量推移グラフ

H1-28集計結果 板葺年度別使用量



年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	合計	
サワラ	合計使用量 (m²)					6.402				23.520		27.378								2.138	6.739								66.177	
	平葺					6.402				23.520		27.378								2.138	6.739								66.177	
	軒付																													
	裏板																													
	蛇腹																													
	品軒																													
	上目板																													
	堰萱																													
	葺替面積 (m²)						258.7				392.0		456.3								89.1	293.0								1,489.063
工事履歴数						1				1		1								1	1								5	
スギ	合計使用量 (m²)	0.894	0.135	18.920			6.872											2.565				2.884					23.307		55.578	
	平葺	0.840	0.135	18.920			6.872											2.187				2.884					23.307		55.146	
	軒付	0.054																0.378											0.432	
	裏板																													
	蛇腹																													
	品軒																													
	上目板																													
	堰萱																													
	葺替面積 (m²)	14.0	32.2	1253.0				455.1											81.0				82.4				1352.6		3,270.275	
工事履歴数	1	1	1				1											1				1				2		8		
ヒバ	合計使用量 (m²)													9.642															9.642	
	平葺													9.342															9.342	
	軒付													0.300															0.300	
	裏板																													
	蛇腹																													
	品軒																													
	上目板																													
	堰萱																													
	葺替面積 (m²)														311.4														311.400	
工事履歴数														2														2		
クリ	合計使用量 (m²)			6.336	4.600							20.887						8.626	16.793	3.532							16.196		76.968	
	平葺			6.336	4.600							20.887						8.266	15.758	3.363							11.856		71.065	
	軒付																0.360	0.689	0.059							4.340		5.447		
	裏板																													
	蛇腹																													
	品軒																				0.347	0.111						0.457		
	上目板																													
	堰萱																													
	葺替面積 (m²)			176.0	123.0								585.7				288.0	473.3	98.9							208.0		1,952.900		
工事履歴数			1	1								2				1	3	2							1		11			

図 3-6 板葺年度別使用量推移グラフ



#### 4 分析及び考察【木材薄板類】

##### 《H1-28年 材種別使用量：図3-1 参照》

28年間の材種別使用量合計は、サワラ 2,304.77 m<sup>3</sup>が突出して多く、次に多かったのがスギ 622.61 m<sup>3</sup>であるが、スギはサワラの約1/4程度の使用量であった。全体的には、サワラ、スギが木材薄板類の9割以上を占めており、その殆どがこけら葺として使用されている状況であった。その他の材種はヒバ 128.03 m<sup>3</sup>、クリ 107.49 m<sup>3</sup>、コウヤマキ 3.28 m<sup>3</sup>が使用されていたが、全体的には、非常に微量であった。また、ヒバの使用は北海道、青森のみで使用されていた。コウヤマキの使用は宮崎の1棟のみであった。

28年間の材種別使用量合計より、1年あたりの平均使用量を算出した。その結果、年平均はサワラ 82.31 m<sup>3</sup>、スギ 22.24 m<sup>3</sup>、ヒバ 4.57 m<sup>3</sup>、クリ 3.84 m<sup>3</sup>、コウヤマキ 0.12 m<sup>3</sup>であった。ただし、使用頻度が少ない材種(クリ、ヒバ、コウヤマキ)は、毎年継続的な需要があるわけではない。

28年間の屋根葺替面積は、サワラ 50,054.69 m<sup>2</sup>、スギ 14,089.99 m<sup>2</sup>、ヒバ 2,045.80 m<sup>2</sup>、クリ 2,740.00 m<sup>2</sup>、コウヤマキ 56.40 m<sup>2</sup>であった。全材種の屋根葺替面積は 68,986.88 m<sup>2</sup>であり、年平均 2,463.82 m<sup>2</sup>の屋根葺替が行われてきたことになる。

##### 《H1-28年 材種・地域別使用量：図3-2 参照》

サワラ、スギは、全地域で使用されているが、サワラは地域4が1,182.57 m<sup>3</sup>であり、突出して多い状況であった。これは、全体のサワラの使用量のうち、約5割が地域4で使用されている状況である。地域4のサワラの使用量の突出は、[P14：表2-2 周期的な修理を要する植物性屋根建造物(長期需要予測建物) 地域別一覧表]からも明らかであるように、所在棟数の多さによるものと考えられた。

その他の材種は、使用されている地域が限定され、ヒバは地域1のみ、クリは地域1、2、4のみ、コウヤマキは地域3のみで使用されていた。これらは、地場の木材が使用されたことによる地域性と考えられた。

##### 《H1-28年 年度別使用量推移：図3-3・3-4・3-5・3-6 参照》

年度別推移グラフにおいては、H8年、H10年、H11年、H19年の使用量が年間150 m<sup>3</sup>以上の突出した使用量となり、年度毎に使用量のばらつきが確認された。使用量が突出した年度は、妙心寺(京都)の屋根面積1,000 m<sup>2</sup>を超える大規模な建物の工事や、瑞龍寺(富山)などの1事業で複数棟の工事が行われているものが影響していると判断される。ただし、実績報告書は、最終年度を閲覧し、使用量の計上年度は事業完了年としているため、複数年にわたって工事されているものは、実状は完了年以前に需要量が分散されると考えられた。また、サワラとスギはほとんどの年度で継続的に使用されている(サワラは毎年)。サワラとスギに関しては、今後も毎年継続的な需要が予測される。しかし、その他材種のヒバ、クリ、コウヤマキは、それらが使用される棟数が少ないため、毎年継続的な需要はなく、該当する工事の年のみ需要がみられる状況であった。そのため、今後のヒバ、クリ、コウヤマキの需要量予測においては、修理年に合わせた中長期的な材料確保計画が必要と考えられる。

### 《H1-28 年 災害復旧工事の使用量：図 3-1・3-3 参照》

H1-28 年の使用量の実態のうち、災害復旧工事の使用量は、サワラ 35.08 m<sup>3</sup>、スギ 2.53 m<sup>3</sup>であった。28 年間のサワラ使用量は 2,304.77 m<sup>3</sup>、スギ使用量は 622.61 m<sup>3</sup>であるため、災害復旧工事使用量割合は、サワラが約 1.5%、スギが約 0.4%となる。この結果より、H1-28 年の合計使用量のうち、災害復旧工事の使用量は非常に微量であり、28 年間の合計使用量、年平均使用量に大きな影響はない。また、年度別使用量推移グラフにおける、使用量の突出した年度との関連はない。ただし、災害内容は、ほぼ台風によるものであるため、今後においても災害復旧としての使用量確保が必要と考えられる。

### 《葺込(差込)銅板について》

#### ・葺込銅板の設置状況推移

H1-28 年のこけら葺修理工事実態において、全面葺替工事実施棟数と葺込銅板施工棟数の状況を下表に整理する。

葺込銅板施工状況	H1-10 年	H11-20 年	H21-28 年
全面葺替工事実施棟数[棟]	65	84	57
葺込(差込)銅板施工棟数[棟]	20	65	54

H1-10 年は、葺込銅板を施工している建物が全体の半数以下であり、特に少ない。近年になるにつれ、葺込銅板を施工している建物割合が増える傾向にあり、H21-28 年においては、ほとんどの建物で葺込銅板が施工されている。H1-10 年の実績報告書では、屋根工事仕様の記載内容において、『葺込銅板は使用を取りやめた』、『葺込銅板は効果が見られないので、今回は実施しなかった』など、あえて施工しないことを意図する記載が数事例確認された。なお、昭和 56 年度に発行された『柿葺きの技法(選定保存技術の記録) 谷上伊三郎』によると、葺込銅板は「最近では設計者によって用いない場合がある」との記載も確認されることから、おおよそ昭和 56 年頃から平成初期(H1-10)頃の期間が、あえて葺込銅板を施工しなかった時期と推定される。

#### ・葺込銅板の効果

H1-28 年のこけら葺全面葺替工事において、葺込銅板を施工していない建物の周期算出を試みた。算出方法は、平成初期(H1-10 年)で葺込銅板を施工していない建物(45 棟)のうち、その後 H28 年までに次回の全面葺替工事を行っている建物を抽出し、その周期平均を算出した。

平成初期(H1-10 年)で葺込銅板を施工していない建物(45 棟)のうち、その後 H28 年までに次回の全面葺替工事を行っている建物(こけら葺のみ/全面葺替工事のみ/部分葺替工事は除く/災害工事は除く)は、10 棟のみであり、平均周期は 18.5 年であった(次頁表参照)。

一方、H1-28 実績 DB を基に、実績の全面葺替工事年と過去に行われた全面葺替工事年から、経過年を算出したこけら葺の平均周期(葺込銅板の有無は考慮しない)は、30 年との結果が得られている[P67 参照]。このことから、葺込銅板を施工していない建物は、約 10 年程度周期が早まっていることがわかる。しかし、この平均周期の結果は、あくまで 45 棟のうちの 10 棟であり、残りの 35 棟においては、まだ保存修理工事が実施されていない、或いは自費工事を行っている建物であ

った。よって、葺込銅板が周期に与える影響を、H1-28年の実態から結論付けるには、現段階では情報が不十分と考えられた。今後、葺込銅板が周期に与える影響(葺込銅板の効果)を、数値として明らかにするためには、本業務の調査対象外である S63 年以前及び H29 年以降の実績報告書の調査を行うと共に、棟毎に劣化進行の経過観察を実施することが必要と考えられる。

葺込銅板を施工していない建物の平均周期					
件名	棟名	県別	保存修理工事実施年		周期
			H1-10：事業完了年 (葺込銅板なし)	H11-28：事業開始年	
眞珠庵通仙院		京都	H1	H27	26年
竹林寺本堂		広島	H1	H27	26年
旧黒澤家住宅	木小屋	秋田	H3	H15	12年
清水寺本堂		島根	H3	H22	19年
仁和寺	遼廓亭	京都	H4	H20	16年
国分寺金堂		高知	H6	H24	18年
飯野八幡宮	本殿	福島	H7	H27	20年
荒城神社本殿		岐阜	H7	H24	17年
智恩寺多宝塔		京都	H7	H20	13年
宗像神社辺津宮拝殿		福岡	H7	H25	18年
平均周期					18.5年

#### ・葺込銅板の施工実態

実績報告書の記載内容により、近年における葺込銅板の施工実態を確認した。

銅板仕様は、W60 mm、t 0.3 mm、@300 mm程度としていたが、一部においては、葺込銅板ではなく、葺込銅線を使用している建物も確認された(H25年 日出神社本殿 兵庫：銅線φ1.2 mmを平葺板先端より 30 mm内側に銅線吊子にて固定)。

葺込銅板の施工位置は、銅板を平葺板先端より 6 mm出す、平葺板先端に揃える、平葺板先端より 15 mm内側に施す等、建物によって様々な方法が確認された。さらに、日当たりの大きい南面は、焼けによる劣化を考慮し、あえて葺込銅板を施工せず、その他の面のみに葺込銅板を施工する建物(H28年 広八幡神社拝殿 和歌山)や、南面は銅板施工位置を平葺板先端に揃え、その他の面は平葺板先端より 6 mm程度出す建物(H28年 気多神社本殿 富山)等、面によって施工方法を変えている事例も確認された。これらは、銅板の熱による木材の割れや劣化の影響が考慮されたものと考えられる。なお、昭和 56 年度に発行された『柿葺きの技法(選定保存技術の記録) 谷上伊三郎』によると、「葺込銅板は腐朽を防ぐため、登り 30 cm毎に銅板を葺足より 6 mm出し、横歩み 30 cm間に銅釘を打ち、銅線吊りにして挿入する」と記載され、銅板を葺足より 6 mm出して施工することが一般仕様とされている。

これらの施工方法は、建物個々に立地環境等の条件が異なるため、それらの環境に合わせて具体的な施工方法の選定が必要になる。近年、こけら葺における銅板の防腐効果等の研究が進んでいるが、今後においては、素材の選定(銅板 or 銅線)、設置位置、さらには屋根面を考慮した設置位置についても、その効果を明らかにするための調査が必要と考えられる。

## 第4節 樹皮類（檜皮 S60-H29・杉皮 H1-28 実績 DB）

### 1 実績報告書の数量算出状況【樹皮類】

檜皮葺の積算部位は、平葺、上目皮、軒付、品軒に分けて算出されている。各部位は、平葺は「束」、上目板は「m」、軒付及び品軒は「把」で算出されていた。各部位の材料は、仕様が異なるため、それぞれを足し合わせることができない単位であった。

杉皮葺の積算部位は、基本は平葺のみであったが、一部の建物で軒付が算出されていた。平葺の単位は「束」で算出されていたが、1束の単位条件が記載されている建物は一部であった。また、1束の単位条件は、建物の屋根仕様によって設定されているものと考えられ、建物それぞれで異なっていた。

以下に、実績報告書における部位ごとの算出状況を掲載する。

		実績報告書数量算出状況
檜 皮 葺	部位	
	平葺	屋根面積(m <sup>2</sup> )×単位使用量(束/m <sup>2</sup> )
	上目板	軒長さ (m)×重ね枚数(枚)
	軒付	軒付面積(m <sup>2</sup> )×単位使用量(把/m <sup>2</sup> )
	品軒	品軒面積(m <sup>2</sup> )×単位使用量(把/m <sup>2</sup> )
		実績報告書数量算出状況
杉 皮 葺	部位	
	平葺	屋根面積(m <sup>2</sup> )×単位使用量(束/m <sup>2</sup> )
	軒付	軒付面積(m <sup>2</sup> )×単位使用量(束/m <sup>2</sup> ) ※軒付を算出しているのは1棟のみ

### 2 集計条件【樹皮類】

#### 2-1 屋根工法分類

樹皮類は、檜皮葺(S60-H29)、杉皮葺(H1-28)の大分類に分けて集計する。

#### 2-2 工事範囲

全面葺替工事、部分葺替工事共に算出した。

#### 2-3 算出部位及び集計単位

檜皮葺は、実績報告書に記載される算出部位、方法に倣う。

杉皮葺は、平葺の単位は「束」で算出されていたが、束の単位条件が記載されている建物は一部であった。また、束の単位条件は、建物の屋根仕様によって設定されているものと考えられ、建物それぞれで異なっていた。これらの実績報告書の情報では、集計として使用量を計上することが困難と判断されたため、屋根面積の算出とした。算出部位及び集計単位は、下表の通り。

《檜皮葺》

算出部位	平葺	上目皮	軒付	品軒
集計単位	束	m	把	
備 考	【1束単位条件】 長 75 cm、延 18m	【上目皮：長 75cm】 軒先周長に重ね枚数 を乗じた延べ長さ	【1把単位条件】 幅 5 寸程度、奥行 1 尺 3 寸程度、 厚 6 寸程度	

《杉皮葺》

算出部位	平葺(屋根面積)	軒付	品軒
集計単位	m <sup>2</sup>	算出不可	算出不可
備 考	束の単位条件が不明で あるため、集計不可	—	—

## 2-4 その他

・(平葺) 単位使用量が積算内訳に記載されていない場合

⇒社寺屋根積算資料に倣い、平葺単位使用量『4.55 束/m<sup>2</sup>』を採用した。

⇒部分修理などにおいて、一式計上の場合は、使用量は微量と判断し、算出対象外とした。

・(軒付・品軒) 単位使用量が積算内訳に記載されていない場合

⇒社寺屋根積算資料に記載される檜皮葺工事軒付の単位使用量『37 把/m<sup>2</sup>』を採用した。品軒も同様とした。

※社寺屋根積算資料には、軒付面積に裏板を含む場合は 27 把/m<sup>2</sup>、裏板が含まない場合は 37 把/m<sup>2</sup>とあるが、積算内訳上の軒付の数量は、裏板が含まれているかどうか不明であった。S60-H29 実績 DB の実態は、軒付面積に裏板が含まない数量の方で算出している建物の割合が多く、算出結果として不利側(多め)の結果が得られることから、文化庁と協議の上、『37 把/m<sup>2</sup>』を採用した。

⇒部分修理などにおいて、一式計上の場合は、使用量は微量と判断し、算出対象外とした。

## 3 集計結果【樹皮類】

### 3-1 檜皮葺 集計結果

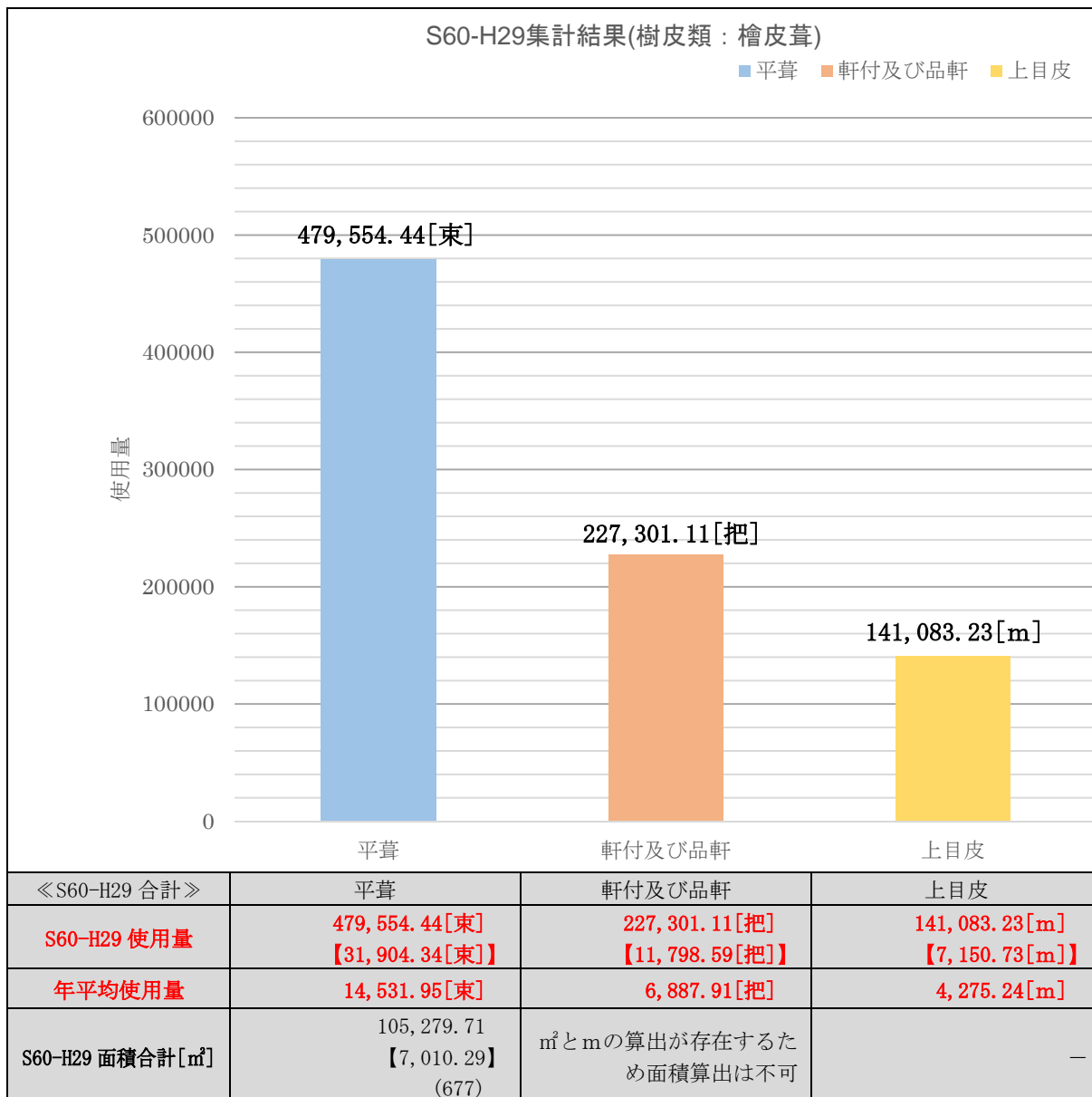
檜皮葺の 33 年間の使用量合計は、平葺 479,554.44 束(年平均 14,531.95 束)、軒付及び品軒 227,301.11 把(年平均 6,887.91 把)、上目皮 141,083.23m(年平均 4,275.24m)であった。

以下に、檜皮葺の過去 33 年間の集計結果[図 3-7]、地域別集計結果[図 3-8]、年度別使用量推移グラフ及び表[図 3-10]を掲載する。

### 3-2 杉皮葺 集計結果

杉皮葺の 28 年間に施工された屋根面積は、1,863.70 m<sup>2</sup>であり、工事履歴は 5 履歴であった。

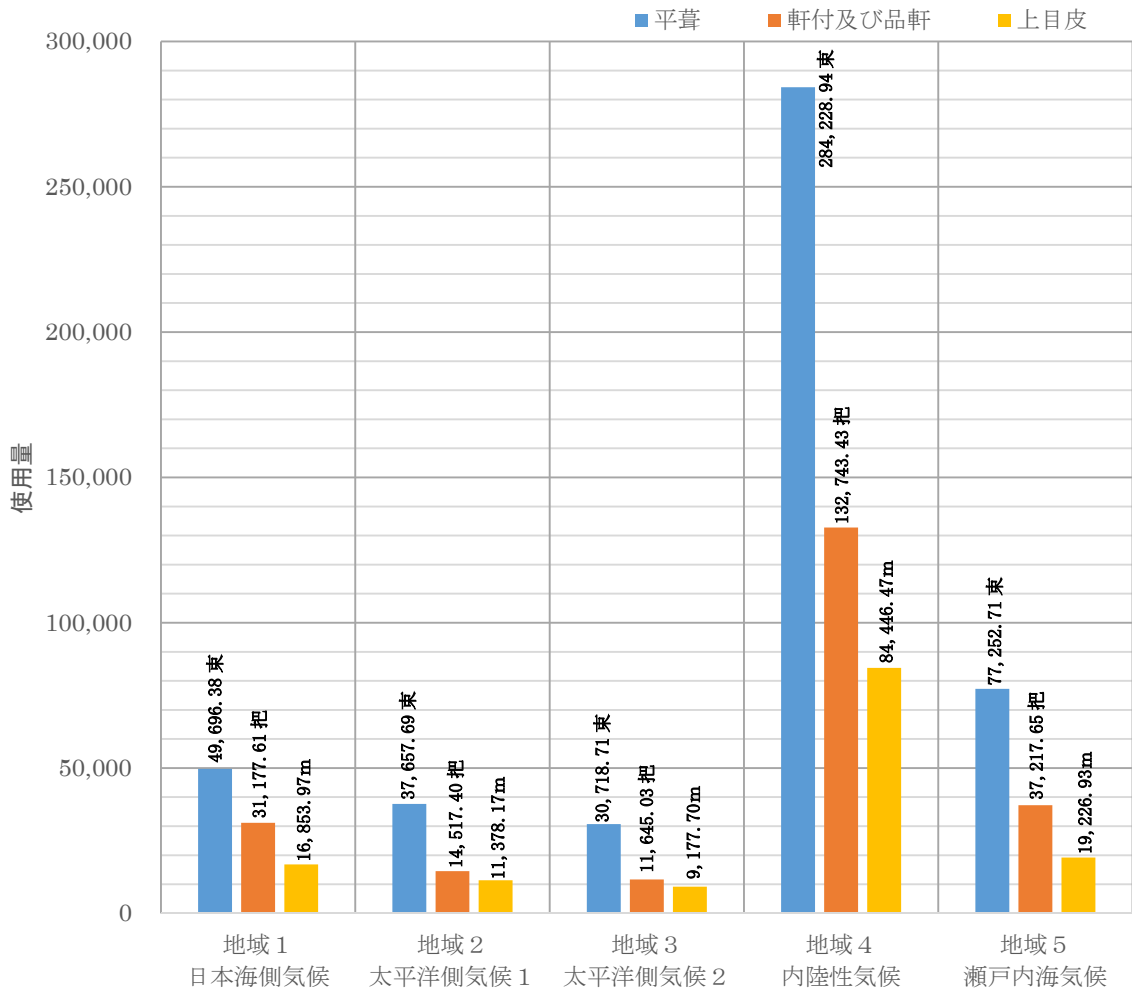
以下に、杉皮葺の過去 28 年間の集計結果[図 3-9]、年度別面積推移グラフ及び表[図 3-11]を掲載する。



※表中の( )内は工事履歴数、【 】内は合計使用量のうち災害復旧工事の使用量とする。

図 3-7 S60-H29 集計結果《樹皮類：檜皮葺》

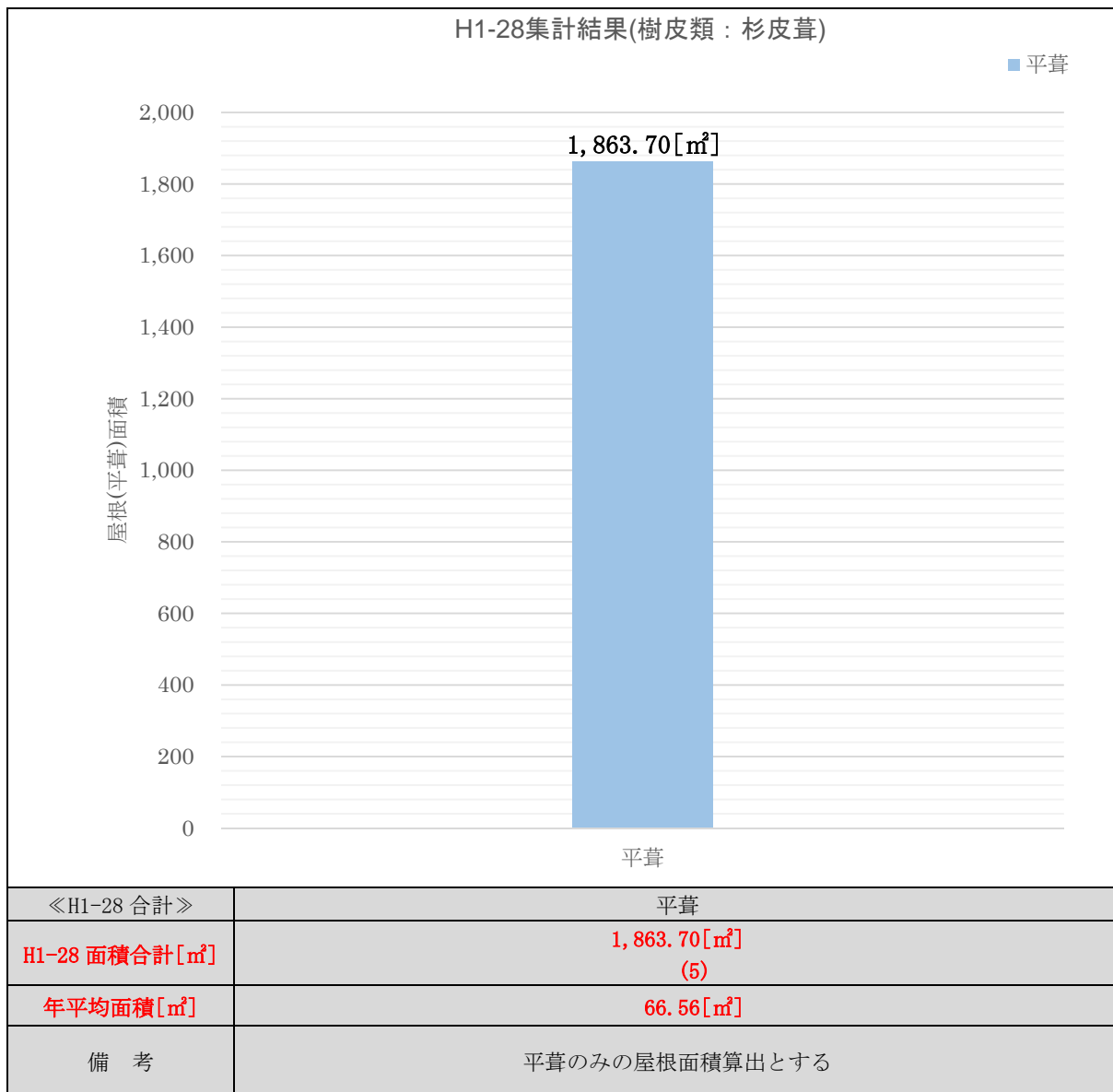
S60-H29集計結果(地域・部位別使用量)



《S60-H29 合計》	地域 1	地域 2	地域 3	地域 4	地域 5
平葺 S60-H29 使用量[束]	49,696.38	37,657.69	30,718.71	284,228.94	77,252.71
年平均使用量[束/年]	<b>1,505.95</b>	<b>1,141.14</b>	<b>930.87</b>	<b>8,613.00</b>	<b>2,340.99</b>
軒付及び品軒 S60-H29 使用量[把]	31,177.61	14,517.40	11,645.03	132,743.43	37,217.65
年平均使用量[把/年]	<b>944.78</b>	<b>439.92</b>	<b>352.88</b>	<b>4,022.53</b>	<b>1,127.81</b>
上目皮 S60-H29 使用量[m]	16,853.97	11,378.17	9,177.70	84,446.47	19,226.93
年平均使用量[m/年]	<b>510.73</b>	<b>344.79</b>	<b>278.11</b>	<b>2,558.98</b>	<b>582.63</b>
平葺葺替面積[m <sup>2</sup> ]	10,911.26	8,285.24	6,751.37	62,352.51	16,979.34
年平均葺替面積[m <sup>2</sup> /年]	<b>330.64</b>	<b>251.07</b>	<b>204.59</b>	<b>1,889.47</b>	<b>514.53</b>
工事履歴数	61	55	64	385	112

※地域区分は P14 参照。

図 3-8 S60-H29 集計結果《地域・部位別使用量》

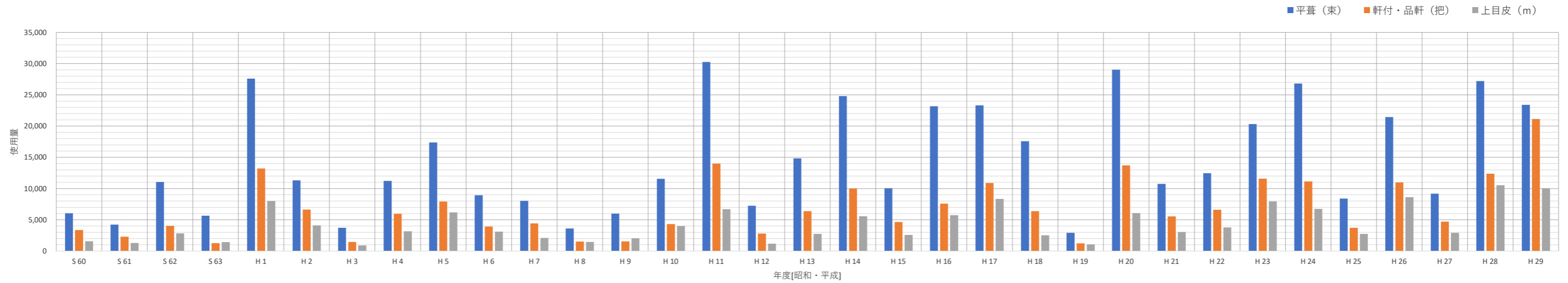


※表中の( )内は工事履歴数を示す

図 3-9 H1-28 集計結果《樹皮類：杉皮葺》



S60 - H29 集計結果 檜皮葺年度別使用量（平葺、軒付・品軒、上目皮）

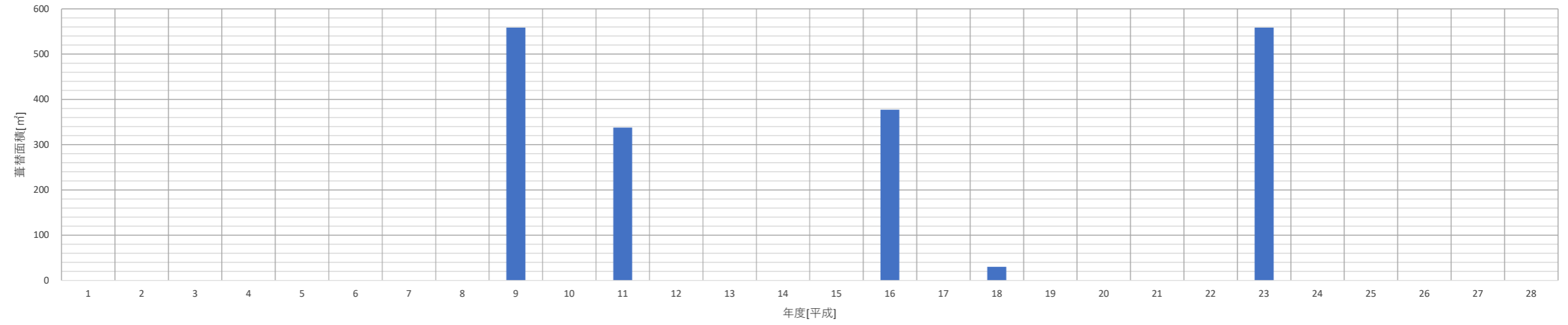


年度・部位別使用量	S 60	S 61	S 62	S 63	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6	H 7	H 8	H 9	H 10	H 11	H 12	H 13	H 14	H 15	H 16	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	合計値
平葺 (束)	6049.081	4231.227	11059.528	5642.637	27,609.58	11,306.70	3,724.49	11,218.78	17,373.62	8,935.82	8,041.35	3,619.01	6,003.93	11,562.42	30,244.10	7,255.84	14,830.03	24,806.78	10,037.35	23,166.14	23,314.96	17,589.44	2,910.64	29,031.72	10,758.34	12,452.30	20,307.94	26,814.29	8,399.29	21,448.25	9,188.36	27,207.59	23,412.94	479,554.44
軒付・品軒 (把)	3368.44	2297.435	4035.021	1268.0816	13,211.85	6,630.10	1,460.25	5,968.06	7,926.20	3,918.27	4,424.00	1,504.94	1,527.83	4,322.92	13,997.15	2,802.96	6,372.89	10,030.05	4,644.49	7,575.22	10,885.09	6,391.39	1,224.99	13,702.81	5,545.18	6,595.66	11,596.91	11,154.24	3,723.63	10,973.66	4,714.17	12,374.07	21,133.16	227,301.11
上目皮 (m)	1567.88	1280.625	2822.433	1432.96	7992.37	4114.98	892.60	3163.45	6196.22	3105.94	2091.00	1450.07	2054.40	3999.24	6697.77	1165.50	2752.11	5565.59	2587.70	5745.98	8343.66	2530.50	1075.51	6060.75	3044.51	3787.55	7947.91	6757.24	2750.38	8619.91	2906.05	10526.91	10,053.52	141,083.23
葺替面積 (㎡)	1602.42	929.94	2431.65	1240.14	5,722.35	2,484.99	818.57	2,465.67	3,815.30	1,963.92	1,767.33	802.62	1,319.54	2,539.70	6,643.03	1,594.69	3,253.36	5,452.04	2,206.01	5,091.46	5,143.65	3,865.81	639.70	6,369.74	2,359.77	2,724.90	4,427.68	5,899.03	1,846.00	4,713.90	2,019.42	5,979.69	5,145.70	105,279.71
工事履歴数	10	6	13	4	23	14	6	15	27	15	14	11	14	18	25	10	20	36	17	34	40	22	8	23	19	24	23	30	20	47	18	48	23	677

上記の使用量のうち災害復旧工事の使用量と工事履歴数	S 60	S 61	S 62	S 63	H 1	H 2	H 3	H 4	H 5	H 6	H 7	H 8	H 9	H 10	H 11	H 12	H 13	H 14	H 15	H 16	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	合計値
平葺 (束)								2,807.35	1,538.25		389.94	70.37		1,675.27	1,684.98	714.30		3,458.00		576.19	10,205.17	7,345.25	641.55			338.18			35.95		423.61			31,904.34
軒付・品軒 (把)								2,328.04	742.50		190.74	142.45		757.76	908.72	732.16		831.02		305.99	3,390.49	649.72	127.10			288.60			7.40		395.90			11,798.59
上目皮 (m)								980.17	441.13		151.58	18.85		684.18	321.29	237.22		576.00		139.86	2,831.01	175.60	243.30			148.83			22.40		179.31			7,150.73
葺替面積 (㎡)								617.00	335.00		85.70	22.70		366.70	366.30	156.99		760.00		126.64	2,242.32	1,614.34	141.00			74.60			7.90		93.10			7,010.29
工事履歴数								5	3		1	1		6	1	1		1		2	14	4	1			2			1		1			44

図 3-10 樹皮類：檜皮葺  
年度別使用量推移グラフ

H1-28集計結果 杉皮葺年度別葺替面積



年度・部位別使用量

年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	合計値
杉皮 葺替面積 (m²)									559.00		338.00					377.50		30.20					559.00						1,863.70
工事履歴									1		1					1		1					1						5

※災害復旧工事はない

図 3-11 樹皮類：杉皮葺  
年度別使用量推移グラフ

## 4 分析及び考察【樹皮類】

### 4-1 檜皮葺

《S60-H29 年 部位別使用量：図 3-7 参照》

檜皮葺の 33 年間の部位別使用量合計は、平葺 479,554.44 束、軒付及び品軒 227,301.11 把、上目皮 141,083.23mであった。33 年間の部位別使用量合計より、1 年あたりの平均使用量を算出した。その結果、年平均は平葺 14,531.95 束、軒付及び品軒 6,887.91 把、上目皮 4,275.24mであった。33 年間で施工された屋根面積(平葺面積)は 105,279.71 m<sup>2</sup>であり、年平均 3,190.29 m<sup>2</sup>の屋根葺替が行われてきたことになる。

《S60-H29 年 部位・地域別使用量：図 3-8 参照》

全地域で需要が確認されるが、地域 4 が平葺使用量 284,228.94 束(平葺面積 62,352.51 m<sup>2</sup>)であり、突出して多い状況であった。これは、全体の使用量のうち、約 6 割が地域 4 で使用されている状況である。地域 4 における使用量の突出は、[P14：表 2-2 周期的な修理を要する植物性屋根建造物(長期需要予測建物) 地域別一覧表]からも明らかであるように、所在棟数の多さによるものと考えられた。

《S60-H29 年 部位別使用量推移：図 3-10 参照》

年度別推移グラフにおいては、H1 年、H11 年、H20 年、H28 年の平葺使用量が年間 30,000 束程度となる突出した数値を示し、年度毎に使用量のばらつきが確認された。使用量が突出した年度は、善光寺本堂、石山寺本堂、北野天満宮など、屋根面積が 1,000 m<sup>2</sup>を超える大規模な建物の工事の重なりや、賀茂御祖神社、春日大社本社など、1 事業で複数棟の工事が行われているものが影響していると判断された。ただし、実績報告書は、最終年度を閲覧し、使用量の計上年度は事業完了年としているため、複数年にわたって工事されているものは、実状は完了年以前に需要量が分散されることが考えられた。なお、平成 13～17 年度に実施された「ふるさと文化財の森構想調査」において、平成 11 年頃には檜皮不足が指摘されていることから、平成 11 年の平葺 30,244.10 束、葺替面積 6,643.03 m<sup>2</sup>は、限度を超えた事業量であった可能性があると考えられた。

《S60-H29 年 災害復旧工事の使用量：図 3-7・3-10 参照》

S60-H29 年の使用量の実態のうち、災害復旧工事の使用量は、平葺 31,904.34 束、軒付及び品軒 11,798.59 把、上目皮 7,150.73m であった。災害復旧工事の 1 年あたりの平均使用量は、平葺 966.79 束、軒付及び品軒 357.53 把、上目皮 216.68m となる。33 年間の部位別使用量合計は、平葺 479,554.44 束、軒付及び品軒 227,301.11 把、上目皮 141,083.23m であるため、災害復旧工事の使用量割合は、平葺 6.7%、軒付及び品軒 5.2%、上目皮 5.1%となる。全体的には全て 1 割以下であり、33 年間の合計使用量、年間平均使用量に大きな影響はない。また、年度別使用量推移グラフにおける、使用量が突出した年度との関連はない。ただし、災害内容は、ほぼ台風によるものであるため、今後においても同様の災害が予測される。長期需要予測においても、災害復旧としての使用量確保が必要と考えられる。

## 4-2 杉皮葺

《H1-28年 葺替面積・葺替面積推移グラフ：図3-9・3-11 参照》

杉皮葺の28年間に施工された屋根面積は1863.70㎡であり、年平均66.56㎡、工事履歴は5履歴であった。杉皮葺を有する建物は非常に少なく、28年間で工事が行われた建物は、旧呉服座(愛知)、佐々木家住宅(島根)、長岳寺地藏院庫裏(奈良)、旧黒澤家住宅土蔵(秋田)のみであり、そのうち旧呉服座(愛知)が2回の工事が行われている。なお、杉皮葺において、災害復旧工事はない。

年度別葺替面積推移グラフにおいては、該当する工事のみに需要がみられる状況であり、毎年継続的な需要があるわけではない。ただし、今後の予測においては、旧呉服座(愛知)や西園院客殿(奈良)など、大きな屋根面積を有する建物が存在するため、それらの修理時は、大きな需要が生じることになる。杉皮葺は、毎年継続的な需要があるわけではが、修理年に合わせた中長期的な材料確保計画が必要と考えられる。

本業務においては、施工面積のみの算出となったが、今後、需給のバランスを調整する際は、使用量として算出する必要がある。

## 第5節 草本類 (H1-28 実績 DB)

### 1 実績報告書の数量算出状況【草本類】

H1-28年における、茅葺の積算部位は、平葺、軒付、棟に分けて算出されている。ただし、基本は、屋根面積(m<sup>2</sup>)に単位使用量(束/m<sup>2</sup>)を乗じて、平葺、軒付、棟の数量を含んだ一括の数量として、平葺の項目で算出されていた(平葺範囲のみの純粋な数量ではない)。軒付が個別に算出されている場合は、平葺とは異なる材料が使用されている場合がほとんどであった。棟が個別に算出されている場合は、棟の仕様にあわせて個別に代価表が存在する場合であった。

茅材の単位は、束が使用されている。ただし、1束の縄締め長さは、1.5mを基本としていたが、建物によっては、3.6m、0.9m、0.6mなど、条件が異なる束単位で算出しているものがみられた。これらは、茅葺施工業者の地域性によるものと判断され、統一された束の単位条件で算出している状況ではなかった。集計においては、縄締め長さを統一する必要性が考えられた。

以下に、実績報告書における部位ごとの算出状況を掲載する。

部位	実績報告書数量算出状況
平葺※	屋根面積(m <sup>2</sup> )×単位使用量(束/m <sup>2</sup> )
軒付	軒長さ (m)×単位使用量(束/m) or 軒付面積(m <sup>2</sup> )×単位使用量(束/m <sup>2</sup> )
棟	棟長さ (m)×単位使用量(束/m) or 棟面積 (m <sup>2</sup> )×単位使用量(束/m <sup>2</sup> )
※ほとんどが、平葺、軒付、棟の数量を含んだ一括の数量として、平葺の項目に算出されているため、平葺範囲のみの純粋な数量ではない	

### 2 集計条件【草本類】

#### 2-1 屋根工法分類

草本類は、茅葺のみであり、算出されている部位ごとに材種別に算出した。

#### 2-2 工事範囲

全面葺替工事、部分葺替工事に加え、維持修理工事(差茅)を算出した。

#### 2-3 算出部位及び集計単位

算出部位及び集計単位は、下表の通り。集計は、平葺(葺替・差茅)、棟と、軒付(平葺材と同種材料・平葺材と異種材料)の2つにわけて算出した。

算出部位	平葺(葺替・差茅) ※軒付・棟を含む	軒付		棟
		平葺と同種材料	平葺と異種材料	
集計単位	束	束	束	束
備考	【1束単位条件】 長1.5m以上、縄締め長さ1.5m			

## 2-4 その他

### ・(平葺) 1束の条件が記載されていない場合の縄締め長さの設定

⇒単位使用量が6束前後の場合、5尺締めと設定した。

⇒単位使用量が6束前後以外の場合は、H1-28実績DBより、束の単位条件が明確な3尺締めや2尺締めの単位使用量平均を算出(下表)し、近い値に割り当て、推定縄締め長さとした。

### ・(平葺) 束の条件統一方法

⇒縄締め長さは、施工業者によって様々であるため、集計ができるように、全て5尺締めに換算し、5尺締めの束数として最終計上する。H1-28実績DBを基に、平葺全面葺替工事を行っている建物を抽出し、各㎡あたりの単位使用量平均及び換算値を設定した。平葺の5尺締めへの換算表は下表。

縄締め長さ	3.6m(12尺)	1.5m(5尺)	0.9m(3尺)	0.6m(2尺)
単位使用量 平均	H1-28実績DB平均 0.87束/㎡	H1-28実績DB平均 5.51束/㎡	H1-28実績DB平均 15.51束/㎡	H1-28実績DB平均 19.42束/㎡
換算値	6.34	1.0	0.36	0.28
算出対象履歴	3履歴	240履歴	3履歴	12履歴

### ・(平葺) ㎡のみ記載され、単位使用量、束の単位条件、トータル束数の記載がない場合

⇒平葺は、軒付や棟を含む単位使用量を設定し、その数値を算出ができない建物(単位使用量や束の単位条件が不明な建物)に割り当てた。設定は、H1-28年の工事において、束の単位条件が1.5m締めの工事を抽出し、平葺、軒付、棟の使用量合算値を、全屋根面積で除して平均を算出した。差茅において、単位使用量の記載がない場合は、平均単位使用量(束/㎡)を設定した。設定は、H1-28年の工事において、束の単位条件が1.5m締めの工事を抽出し、差茅の単位使用量の平均を算出した。各設定値は以下。

	全面葺替	全面差茅
平均単位使用量	5.63束/㎡	2.53束/㎡
算出対象履歴数	202履歴	34履歴
算出条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1束は、茅長1.5m以上、縄締め長さ1.5m締めとする。</li> <li>・平葺全面葺替(差茅)工事を対象とする(部分葺替(差茅)工事は対象外)。</li> <li>・H1-28年における工事の履歴を対象とするため、棟数ではない。</li> <li>・設定値は小数点第3位を四捨五入。</li> </ul>	

⇒部分修理などにおいて、一式計上の場合は、使用量は微量と判断し、算出対象外とした。

### ・(軒付) 1束の条件が記載されていない場合の設定

⇒軒付は、単位使用量の単位が㎡やmなど様々であると共に、使用される厚みによっても、その単位量が様々である。そのため、平葺のように単位使用量から縄締め長さを推定することができない。以上より、軒付において縄締め長さが記載されていない場合は、算出しないこととし

た。ただし、算出不可棟数は明らかにすることとした。

・(軒付)束の条件統一方法

⇒縄締め長さは、施工業者や材種によって様々であるため、同一条件で集計ができるように、全て5尺締めに換算し、5尺締めの束数として計上する。軒付は、単位使用量の単位が㎡やmなど様々であると共に、使用される厚みによっても、その単位量が様々である。そのため、平葺のように単位使用量平均から縄締め長さを推定換算することができない。以上より、縄締め長さの断面積で、5尺締めへの換算を行うこととした。換算表は下表。

縄締め長さm	3.6m (12尺)	1.8m (6尺)	1.5m (5尺)	0.9m (3尺)	0.6m (2尺)	0.3m (1尺)
縄締め断面積S	1.29㎡	0.26㎡	0.18㎡	0.06㎡	0.03㎡	0.01㎡
換算値	7.18	1.44	1.0	0.36	0.16	0.04

・(棟)㎡やmのみ記載され、単位使用量、トータル束数の記載がない場合

⇒棟は、H1-28実績DBより、m及び㎡当たりの単位使用量平均(5尺締め)を算出し、割り当てた。設定値は以下。

	m算出の場合	㎡算出の場合
平均単位使用量	2.95束/	3.27束/㎡
算出対象履歴数	42履歴	6履歴
算出条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1束は、茅長1.5m以上、縄締め長さ1.5m締めとする。</li> <li>・H1-28年における工事の履歴を対象とするため、棟数ではない。</li> <li>・設定値は小数点第3位を四捨五入。</li> </ul>	

・一枚目の化粧に葦簀が使用されている場合

⇒使用量は微量と考えられるため算出対象外とする。

### 3 集計結果【草本類】

茅葺材の集計は、平葺(葺替・差茅)及び棟と、軒付(平葺材と同種材料・平葺材と異種材料)の2つにわけて算出した。茅葺の28年間の使用量合計は、平葺(軒付・棟が含まれる数量)、棟、差茅が、山茅 542,063.81 束、ヨシ 77,254.31 束、シマ茅 8,642.43 束、カリヤス 3,341.50 束、オギ 2,991.88 束であった。軒付が、山茅 3,450.49 束、ヨシ 1970.75 束、オギ 16.00 束、麻殻 1,110.87 束、苧殻 970.39 束、稻藁 1,010.42 束、麦藁 392.18 束、藁 792.27 束であった。

以下に、茅葺の過去28年間の集計結果[図3-12(平葺・差茅・棟), 3-14(軒付)]、地域及び材種別使用量集計結果[図3-13(平葺・差茅・棟), 3-15(軒付)]、年度別使用量推移グラフ及び表[図3-16(平葺・差茅・棟)、3-17(軒付)]を掲載する。

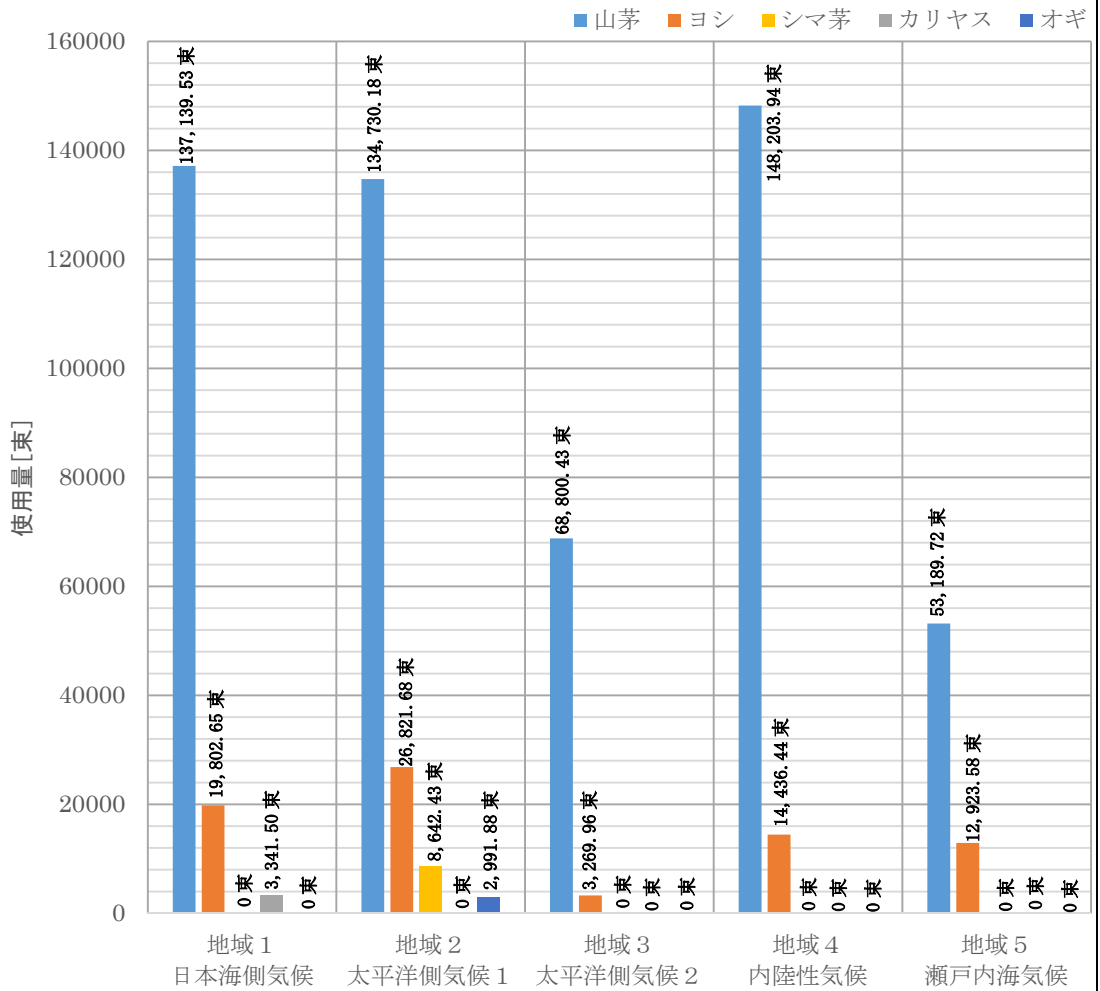


※表中の( )内は履歴数、[]は、合計使用量のうち災害復旧工事の使用量とする。 ※1束=1.5m縄締め

図 3-12 H1-28 集計結果《草本類：平葺・棟・差茅》



H1-28集計結果(平葎・棟・差茅：地域・材種別使用量)



《H1-28 合計》	地域1	地域2	地域3	地域4	地域5
山茅 H1-28 使用量[束]	137,139.53 (84)	134,730.18 (87)	68,800.43 (57)	148,203.94 (114)	53,189.72 (45)
年平均使用量[束/年]	4,897.84	4,811.79	2,457.16	5,293.00	1,899.63
ヨシ H1-28 使用量[束]	19,802.65 (15)	26,821.68 (16)	3,269.96 (4)	14,436.44 (16)	12,923.58 (10)
年平均使用量[束/年]	707.24	957.92	116.78	515.59	461.56
シマ茅 H1-28 使用量[束]	—	8,642.43 (8)	—	—	—
年平均使用量[束/年]	—	308.66	—	—	—
カリヤス H1-28 使用量[束]	3,341.50 (2)	—	—	—	—
年平均使用量[束/年]	119.34	—	—	—	—
オギ H1-28 使用量[束]	—	2,991.88 (3)	—	—	—
年平均使用量[束/年]	—	106.85	—	—	—

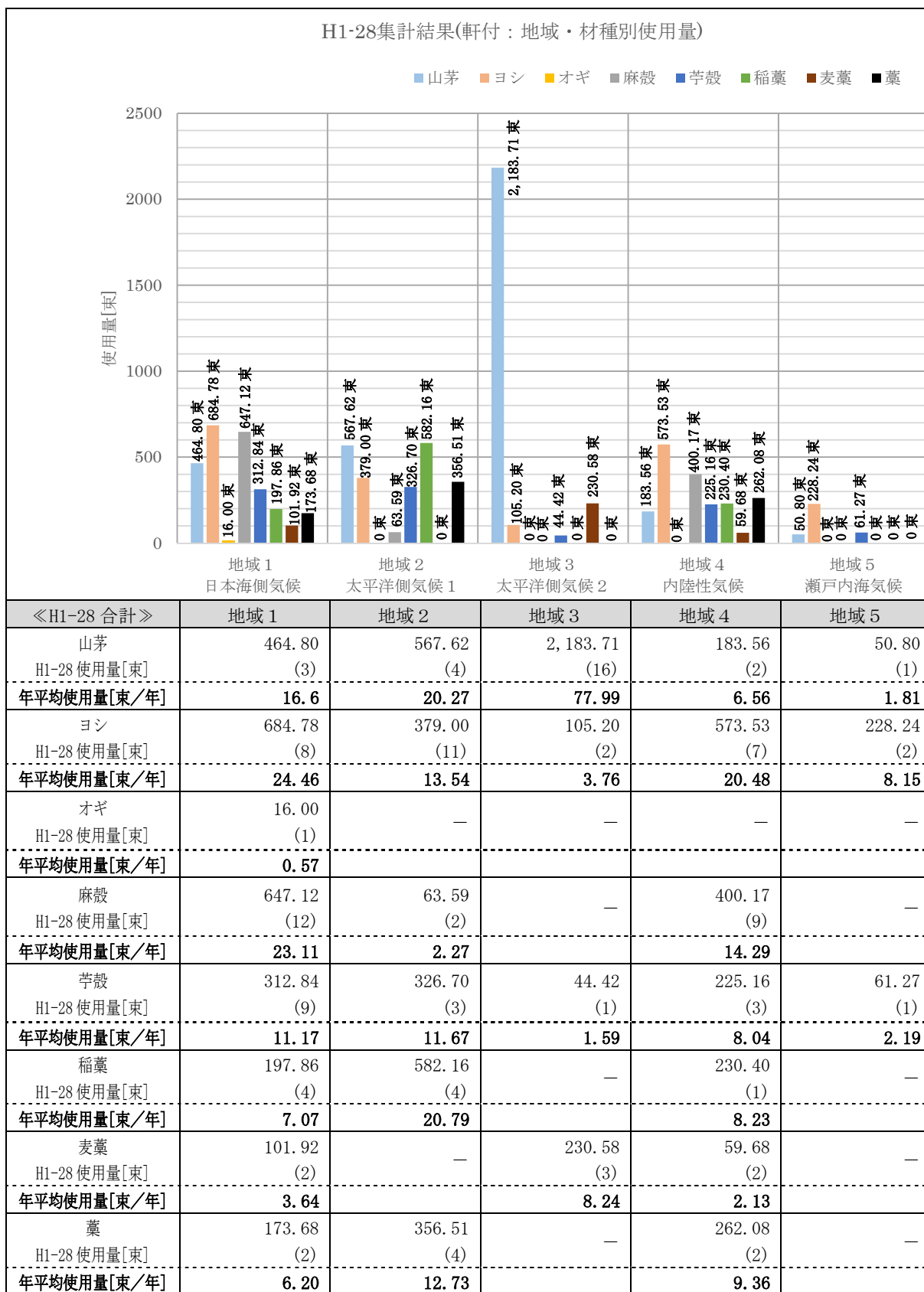
※表中の( )内は履歴数とする。地域区分はP14参照。 ※1束=1.5m縄締め

図 3-13 H1-28 集計結果《平葎・棟・差茅：地域・材種別使用量》



※ヨシにおいて、異種材料のみの年平均使用量は **49.62 束/m<sup>2</sup>**。 ※1 束=1.5m縄締め

図 3-14 H1-28 集計結果《草本類：軒付》

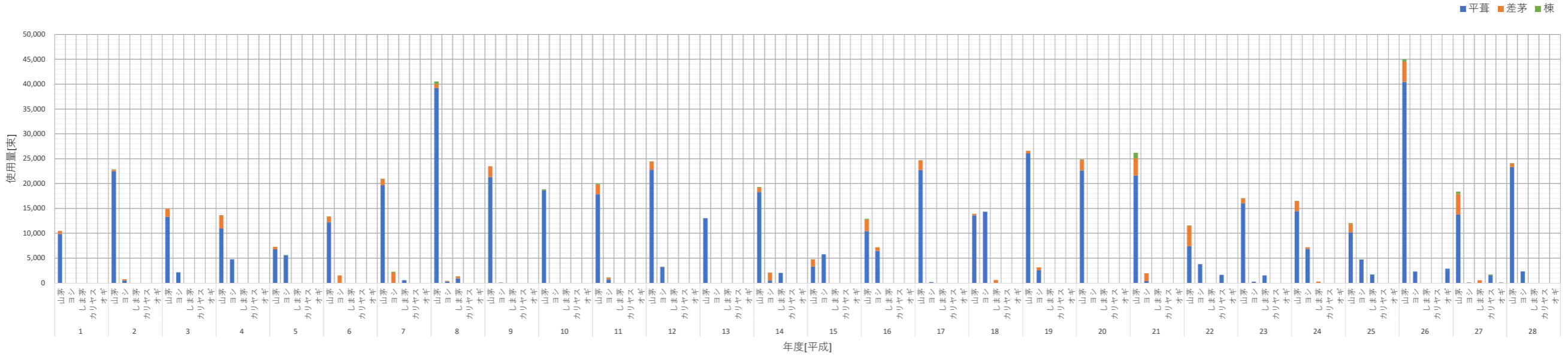


※表中の( )内は履歴数とする。地域区分はP14 参照。 ※1 束=1.5m 縄締め

図 3-15 H1-28 集計結果《軒付：地域・材種別使用量》



H1-28集計結果 草本類(茅葺：平葺・棟・差茅)年度別使用量

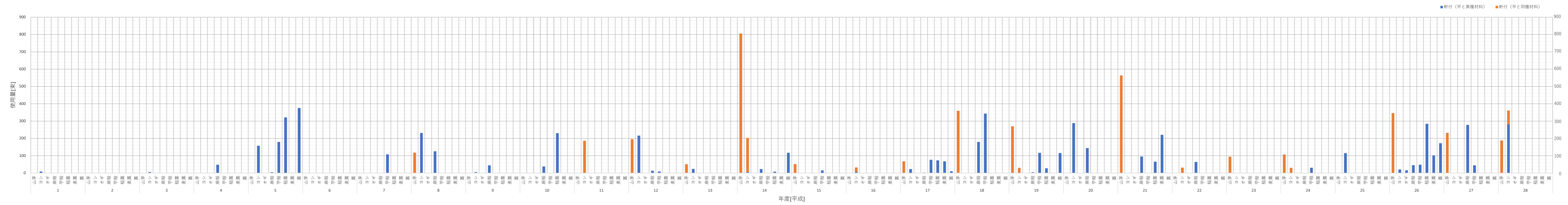


年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	合計値[東]		
山茅	平葺(東)	9,842.29	22,496.35	13,304.61	10,990.10	6,755.80	12,253.96	19,659.20	39,211.05	21,327.00	18,613.90	17,839.93	22,773.96	13,037.88	18,314.12	3,313.90	10,432.75	22,725.74	13,590.70	26,061.41	22,636.99	21,630.86	7,375.34	16,038.06	14,468.23	10,198.79	40,453.39	13,789.03	23,327.30	492,462.63	
	差茅(東)	652.40	275.00	2,039.50	2,635.92	524.00	1,128.10	1,237.00	780.91	2,148.20		1,983.04	1,675.14		840.88	1,404.00	2,337.60	1,906.30	335.00	506.66	2,136.03	3,485.49	4,157.25	1,003.80	2,045.95	1,696.48	4,049.97	4,120.93	720.83	45,380.67	
	棟(東)		110.00				16.50	66.99	557.35		224.25	196.39	47.79	25.16	168.18	37.60	144.19	74.10		41.90	100.66	1,064.48	76.70	14.75	27.00	145.25	491.69	489.31	100.28	4,220.51	
	葺替面積(m <sup>2</sup> )	1,760.50	4,228.66	2,789.37	1,926.80	1,283.00	2,351.30	3,626.00	6,950.30	3,442.00	3,390.90	3,267.92	4,680.82	2,393.30	3,003.70	620.50	1,783.70	4,019.68	3,631.30	4,656.99	3,968.90	3,828.33	1,287.18	2,774.00	2,518.18	1,716.30	7,122.49	2,803.59	4,268.64	90,094.35	
	差茅面積(m <sup>2</sup> )	482.00	125.00	394.00	1,116.00	262.00	658.30	899.00	238.50	979.00		226.50	307.40	833.06		365.60	590.00	960.60	670.40	134.00	230.30	1,298.50	1,713.54	1,805.57	420.00	1,010.52	643.96	1,606.73	1,208.30	442.80	1,872.55
	工事履歴数	7	13	20	13	7	16	24	25	17	13	18	29	11	11	8	19	16	11	17	22	25	24	12	17	20	34	18	18	485	
				4							1	1					2	4			1					2	1			16	
ヨシ	平葺(東)		498.00	2,125.76	4,754.40	5,520.62		277.20	95.60		705.90	3,220.00		475.49	5,763.50	6,470.19	182.58	14,319.00	2,558.00		405.35	3,751.34	234.00	6,832.94	4,740.32	2,292.70	100.00	2,316.15	67,639.04		
	差茅(東)		241.00				1,533.00	2,069.20	154.22		311.08	69.94		1,590.76		684.32		1,526.00	588.00		1,526.00		24.53	361.09						9,153.14	
	棟(東)					114.00		174.00			124.56			6.97		14.40						14.40				13.80				462.13	
	葺替面積(m <sup>2</sup> )		83.00	364.00	785.00	485.60		55.00	242.00		290.40	507.50		203.20	997.00	1,055.50	304.30	2,382.00	447.00		73.70	602.60	40.30	1,316.30	958.00	414.00	45.96	458.30	12,110.66		
	差茅面積(m <sup>2</sup> )		482.00			358.00	841.00	102.00			111.10	53.80		593.30		520.00		294.00		436.00		436.00		146.00	128.96					4,066.16	
	工事履歴数		3	2	4	6	2	6	2	2		4	4		4	2	6	1	2	3		3	3	3	6	4	2	1	2	77	
シマ茅	平葺(東)						556.50	924.00						2,024.00									1,540.00		1,708.00				6,752.50		
	差茅(東)							413.40										599.40						306.13			571.00			1,889.93	
	棟(東)																														
	葺替面積(m <sup>2</sup> )						105.00	154.00						368.00										280.00		219.00				1,126.00	
	差茅面積(m <sup>2</sup> )							137.80										222.00							121.00			367.64		848.44	
	工事履歴数						1	2						1									1	2		1		2		12	
カリヤス	平葺(東)																					1,633.50							3,201.50		
	差茅(東)																										140.00		140.00		
	棟(東)																										140.00		140.00		
	葺替面積(m <sup>2</sup> )																						297.00					261.33		558.33	
	差茅面積(m <sup>2</sup> )																														
	工事履歴数																						1						1	2	
オギ	平葺(東)																									2,891.88	100.00		2,991.88		
	差茅(東)																														
	棟(東)																														
	葺替面積(m <sup>2</sup> )																										435.86	45.96		481.82	
	差茅面積(m <sup>2</sup> )																														
	工事履歴数																										2	1		3	

下段に記載する水色数値は、全体使用量のうちの災害復旧工事使用量を示す

図 3-16 草本類：茅葺（平葺・棟・差茅）年度別使用量推移グラフ

H1-28集計結果 草本類(茅葦：軒付)年度別使用量



年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	合計値[東]	
山茅																													山茅	
ヨシ	8.64		6.02		157.60			231.28	5.59			216.27	24.00	4.88		6.88	22.99			288.30						115.00	20.52		281.42	ヨシ
オギ																														オギ
麻葎				48.00	4.80			125.75	44.73		37.80						2.51	179.64		4.32									16.00	麻葎
学葎					179.50							13.32			23.04		76.30	343.28		116.31		144.00	95.62	64.00				45.59	1,110.87	学葎
稲葎					321.12		108.00					8.92					73.22							30.56				48.00	970.39	稲葎
麦葎					2.08					230.40					8.32		67.7				27.52							284.40	1,010.42	麦葎
藎					375.55							1.36			117.12		10.72				115.2							101.92	392.18	藎
算出履歴数	1		1	1	8		2	4	2	3	6	1	4	1	1	11	3	5	2	8	1			1	1	13	4	3	87	算出履歴数
算出不可能履歴数	3		2	7	1	1	4		2	1	4	3	1	2		1		1	1		1				1	1	1	1	38	算出不可能履歴数

年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	合計値[東]	
山茅								117.38						195.50	50.80	806.12	51.80		67.70	359.18	270.00		563.82	94.39	107.00		188.19	3,450.49	山茅	
ヨシ											186.12			198.00		25.60					30.00			31.40	30.24			80.00	581.36	ヨシ
オギ																														オギ
麻葎																														麻葎
学葎																														学葎
稲葎																														稲葎
麦葎																														麦葎
藎																														藎
算出履歴数								1			2	2	1	4	1	1	1	2	3	3	3	1	1	2		2	4	34	算出履歴数	
算出不可能履歴数				2						1			1			1						1	1	1	1	1	1	1	12	算出不可能履歴数

図 3-17 草本類：茅葦（軒付）年度別使用量推移グラフ

## 4 分析及び考察【草本類】

### 4-1 平葺・棟・差茅

《H1-28年 材種別使用量(平葺・棟・差茅) : 図 3-12 参照》

28年間の材種別使用量合計は、山茅 542,063.81 束が突出して多く、次に多かったのがヨシ 77,254.31 束であるが、ヨシは山茅の約 1/7 程度の使用量であった。全体的には、山茅、ヨシが茅葺の 9 割以上を占めていた。その他の材種はシマ茅 8,642.43 束、カリヤス 3,341.50 束、オギ 2,991.88 束が使用されていたが、全体的には、非常に微量であった。28年間の材種別使用量合計より、1年あたりの平均使用量を算出した。その結果、年平均は山茅 19,359.42 束、ヨシ 2,759.08 束、シマ茅 308.66 束、カリヤス 119.34 束、オギ 106.85 束であった。ただし、使用頻度が少ない材種(シマ茅、カリヤス、オギ)は、毎年継続的な需要があるわけではない。

28年間の屋根葺替面積は、山茅 90,094.35 m<sup>2</sup>、ヨシ 12,110.66 m<sup>2</sup>、シマ茅 1,126.00 m<sup>2</sup>、カリヤス 558.33 m<sup>2</sup>、オギ 481.82 m<sup>2</sup>であり、全材種の屋根葺替面積は 104,371.16 m<sup>2</sup>であった。年平均 3,727.54 m<sup>2</sup>の屋根葺替が行われてきたことになる。

28年間の屋根差茅面積は、山茅 20,738.58 m<sup>2</sup>、ヨシ 4,066.16 m<sup>2</sup>、シマ茅 848.44 m<sup>2</sup>であり、全材種の屋根差茅面積は 25,653.18 m<sup>2</sup>であった。年平均 916.19 m<sup>2</sup>の差茅が行われてきたことになる。

《H1-28年 材種・地域別使用量(平葺・棟・差茅) : 図 3-13 参照》

山茅、ヨシは、全地域で使用されている。こけら葺や檜皮葺のように、地域によって突出した需要はみられないが、山茅は地域 1、2、4 で大きな需要が確認された。山茅の地域別使用量は、[P14: 表 2-2 周期的な修理を要する植物性屋根建造物(長期需要予測建物) 地域別一覧表]所在棟数に比例している状況であった。ヨシは、特に地域 3 で需要が少なく、その他の地域は大きな差はみられない。

その他の材種は、使用されている地域が限定され、シマ茅は地域 2 のみ(千葉、茨城)、カリヤスは地域 1 のみ(富山)、オギは地域 2 のみ(埼玉、茨城)で使用されていた。これらは、地場の茅材が使用されたことによる地域性と考えられた。

《H1-28年 年度別使用量推移(平葺・棟・差茅) : 図 3-16 参照》

年度別推移グラフにおいては、H8年、H26年の使用量が、年間 4,000 束以上と突出しており、年度毎に使用量のばらつきが確認された。使用量が突出した年度は、屋根面積 1,000 m<sup>2</sup>近くの大規模な建物の工事の重なりが影響していると判断される。ただし、実績報告書は、最終年度を閲覧し、使用量の計上年度は事業完了年としているため、複数年にわたって工事されているものは、実状は完了年以前に需要量が分散されると考えられた。また、山茅とヨシは、ほとんどの年度で継続的に使用されている(山茅は毎年)。山茅とヨシに関しては、今後も毎年継続的な需要が予測される。しかし、その他材種のシマ茅、オギ、カリヤスは、それらが使用される棟数が少ないため、毎年継続的な需要はなく、該当する工事の年のみ需要がみられる状況であった。そのため、シマ茅、オギ、カリヤスの需要量予測においては、修理年に合わせた中長期的な材料確保計画が必要と考えられる。

《H1-28年 災害復旧工事の使用量(平葺・棟・差茅)：図3-12・3-16参照》

H1-28年の使用量の実態のうち、災害復旧工事の使用量は、山茅11,951.94束、シマ茅1,708.00束であった。28年間の山茅使用量は542,063.81束、シマ茅使用量は8,642.43束であるため、災害復旧工事使用量割合は、山茅が約2.2%、シマ茅が約19.8%となる。シマ茅は全体使用量が少ないため、材種別の災害復旧工事使用量割合としては多めであるが、H1-28年の合計使用量のうち、災害復旧工事の使用量は非常に微量であり、28年間の合計使用量、年平均使用量に大きな影響はない。また、年度別使用量推移グラフにおける、使用量の突出した年度との関連はない。ただし、災害内容は、ほぼ台風によるものであるため、今後においても災害復旧としての使用量確保が必要と考えられる。

#### 4-2 軒付

軒付として個別に算出されている数量を集計した。ただし、茅材の算出実態は、基本は屋根面積(m<sup>2</sup>)に単位使用量(束/m<sup>2</sup>)を乗じて、平葺、軒付、棟の数量を含んだ一括の数量として、平葺の項目で算出されている。軒付が個別に算出されている場合は、平葺とは異なる材料が使用されている場合がほとんどであった。一部において、平葺材と同種材料であっても個別に軒付として算出されている。そのため、平葺材と同種材料の数量(山茅、ヨシの一部)は、純粋な軒付数量ではないため注意が必要である。また、軒付の使用量は、束の単位条件が記載されていないものが多い。軒付は、単位使用量の単位がm<sup>2</sup>やmなど様々であると共に、使用される厚みによっても、その単位量が様々である。平葺のように単位使用量から縄締め長さを推定することができないため、束の単位条件が記載されていない場合は、算出していない。軒付数量が掲載される実績報告書は171事業であったが、そのうち束の単位条件が記載されない算出不可事業は50事業であった。これは、軒付数量が掲載される実績報告書の約1/3程度は、算出が不可能な数量となる。そのため、集計結果は注意が必要である。

《H1-28年 材種別使用量(軒付)：図3-14参照》

28年間の材種別使用量合計は、山茅3,450.49束、ヨシ1970.75束、オギ16.00束、麻殻1,110.87束、苧殻970.39束、稻藁1,010.42束、麦藁392.18束、藁792.27束であった。藁は、具体的な材種の記載がなく、藁と記載されるもののみを集計し、材種不明藁とした。山茅以外は、平葺材とは異種材料として使用されている茅材であった。軒付の年平均は、山茅123.23束、ヨシ70.38束(うち、異種材料49.62束)、オギ0.57束、麻殻39.67束、苧殻34.66束、稻藁36.09束、麦藁14.01束、藁28.30束であった。

《H1-28年 材種・地域別使用量(軒付)：図3-15参照》

平葺材と異種材料の軒付について考察する(山茅を除外)。地域1は全ての材種、地域4はオギ以外の材種が全て使用されていた。地域1と地域4は、所在棟数の多さに伴い、工事棟数が多いが、特に地域1においては、軒付に平葺材とは異種材料を使用している棟数割合が多い傾向にあった。また、ヨシ、苧殻は、全地域で使用されていた。その他の材種(オギ、麻殻、稻藁、麦藁)は、使用



されている地域が限定され、地域5には、これらの材種は使用されていなかった。ただし、前述の通り、全ての軒付を算出しているわけではないため(軒付数量が掲載される実績報告書のうちの約1/3程度は算出が不可能)、軒付材種の地域傾向はあくまで参考分析とする。

《H1-28年 年度別使用量推移(軒付) : 図3-17 参照》

平葺材と異種材料の軒付について考察する。年度別推移グラフにおいては、軒付(平葺材と異種材料)は、毎年継続的な需要があるわけではなく、該当する工事の年のみ需要がみられる状況であった。そのため、軒付(平葺材と異種材料)については、修理年に合わせた中長期的な材料確保計画が必要と考えられる。平葺に対する使用量割合は微量だが、軒裏の意匠を構成する特殊材であり、今後の予測においても需要量を考慮する必要があると考えられた。

## 第4章 長期需要予測に関する各設定

### 第1節 長期需要予測方法

長期需要予測は、屋根分類を木材薄板類(こけら葺、とち葺、板葺)、樹皮類(檜皮葺、杉皮葺)、草本類(茅葺)に分け、第2章で抽出した予測建物ごとに予測する。建物ごとに材種、全面葺替面積、全面葺替使用量、次回修理年、事業年を設定し、長期需要予測データベース(以下、長期予測 DB)を作成した。長期予測 DB を基に、屋根種別ごとに予測周期を設定の上、今後の長期需要予測を行った。

予測建物は、本業務において実績報告書調査を行ったか否かで、大きく2つのグループに分けて予測する。1つは、H1-28年(檜皮のみ S60-H29)に保存修理工事が実施された建物で、実績報告書に記載される数値や仕様を基にして予測する建物(以下、実態予測建物)。もう1つは、H1-28年(檜皮のみ S60-H29)に保存修理工事が実施されていない建物、或いは実績報告書調査対象だが未収集の建物で、屋根面積を基に使用量や材料等を設定して予測する建物(以下、推定予測建物)である[表 4-1]。実態予測建物は 1,174 棟、推定予測建物は 476 棟 となり、実態予測建物の割合は、予測棟数 1650 棟の約7割を占める。実態予測建物と推定予測建物の予測詳細条件は、同章第3節に記載する。

表 4-1 予測分類表

予測建物分類		予測ルート	屋根分類	
長期需要 予測建物 1,650 棟	実態予測建物 1,174 棟	予測ルート① 実績報告書に記載される数値や仕様を基にして予測	木材薄板類 247 棟	こけら葺 209 棟
				とち葺 18 棟
				板葺 20 棟
	樹皮類 614 棟		檜皮葺 610 棟	
			杉皮葺 4 棟	
			草本類 313 棟	茅葺 313 棟
推定予測建物 476 棟	実績報告書調査対象のうち未収集建物(24 棟)* + 実績報告書調査対象外(452 棟)	予測ルート② 屋根面積を設定し、実績 DB を基に使用量や材料等を設定して推定予測	木材薄板類 164 棟	こけら葺 118 棟
				とち葺 24 棟
				板葺 22 棟
			樹皮類 217 棟	檜皮葺 213 棟
				杉皮葺 4 棟
				草本類 95 棟

※実績報告書調査対象事業のうち、未収集事業は24事業あり、その未収集事業を有する建物は36棟である。ただし、その36棟のうち、未収集事業年度以外の他の年度に事業が行われ、その実績報告書を参照できる建物は12棟、未収集事業年度以外の年度に事業が行われておらず、実績報告書を参照できない建物は24棟である。よって、未収集事業を有する建物34棟のうち、12棟は実態予測建物、24棟は推定予測建物として算出している。

## 第2節 長期予測 DB 概要

長期需要予測データベース(以下、長期予測 DB)は、植物性屋根材料の長期需要予測を目的とし、棟別、屋根仕様別、県別、地域別、年度別等に容易に抽出、集計ができ、材料や地域毎に需要量把握ができるように構築した。入力項目(抽出可能項目)は下表参照。長期予測 DB は、「Excel 2013」を使用して作成した。長期予測 DB の印刷版は、別冊資料に掲載する。

なお、長期需要予測における各設定(材種等仕様、面積、使用量、全面修理周期、部分修理周期、次回修理年等)は、各実績 DB を基に設定した。実績報告書を収集していない建物(面積や使用量などを報告書からではなく、図面等から推測しなければならない建物)は、各実績 DB の分析により、概算数量算出のための設定値を算出した。各実績 DB を基にした長期需要予測における各設定は、同章第3節参照。

### ◀長期予測 DB 入力項目(抽出可能項目)▶

項目	内容
CODE	国 DB(国宝・重要文化財建造物目録データベース)より転記。国 DB、実績 DB、長期需要 DB は全て同一 CODE を使用しているため、各データ間の情報移植が可能。
件名	国 DB(国宝・重要文化財建造物目録データベース)より転記。
棟名	〃
構造形式に含まれる名称	〃
県別	〃
地域区分	地理、気候が共通と考えられる5つに区分した。 地域1：日本海側気候、地域2：太平洋側気候1、地域3：太平洋側気候2、地域4：内陸性気候、地域5：瀬戸内海気候
屋根種別	木材薄板類(こけら葺、とち葺、板葺)、樹皮類(檜皮葺、杉皮葺)、草本類(茅葺)
実態予測建物 推定予測建物	実態予測建物か推定予測建物かを分類
前回工事年 (基準年)	建物ごとに設定する基準年から設定予測周期で工事が行われるものとして予測
予測周期	屋根種別ごとに予測周期を設定[同章第3節参照]
予測屋根面積	建物ごとに予測屋根面積を設定[同章第3節参照]
予測使用量	建物、部位ごとに予測使用量を設定[同章第3節参照]
予測材種	予測材種を設定[同章第3節参照]
予測事業年	単年度事業 or 複数年度事業かを設定[同章第3節参照]

### 第3節 予測詳細条件及び実績 DB 分析による各設定

以下、予測における①算出部位、②材種、③全面葺替面積、④全面葺替使用量、⑤次回修理年、⑥事業年、⑦葺替周期、⑧予測期間を屋根種別ごとに設定した。なお、①②③④⑤⑥は屋根種別ごとに、1棟ずつ設定した。

#### 1 木材薄板類

木材薄板類の予測は、全面葺替のみ予測することとする(部分葺替は予測しない)。

##### 1-1 算出部位

###### 1-1-1 実態予測建物

- ・実績報告書に記載される平葺、上目板、裏板、軒付、品軒の5種の部位に分けて算出した。

###### 1-1-2 推定予測建物

- ・平葺、その他(上目板、裏板、軒付、品軒を含む)の2種の部位に分けて算出した。推定予測建物は、屋根面積以外の情報を収集しておらず、上目板や軒付等の個別部位の算出が困難であるため、平葺以外のその他部位として推定算出した。

##### 1-2 材種及び工法

###### 1-2-1 実態予測建物

- ・実績報告書に記載される材種に倣った。
- ・工法は、国DBの屋根分類を参照し、こけら葺、とち葺、板葺の3種類で算出した。

###### 1-2-2 推定予測建物

- ・推定予測建物は材種が不明であるため、H1-28 実績 DB 分析の上、地域別材種割合を使用量に乗じて材種別使用量を算出した。設定した地域別材種割合(下表参照)は、H1-28 年の実態で確認されたサワラ、スギ、ヒバ、クリ、コウヤマキの材種に分け、棟数での割合を算出した。推定予測建物の立地する地域に合わせ、設定した地域別材種割合で面積を振り分けた。

地域別材種割合設定		サワラ	スギ	ヒバ	クリ	コウヤマキ
地域1 日本海側気候	棟数	33	25	11	4	—
	割合設定値	0.452	0.342	0.151	0.055	
地域2 太平洋側気候1	棟数	23	10	—	3	—
	割合設定値	0.639	0.278		0.083	
地域3 太平洋側気候2	棟数	14	6	—	—	1
	割合設定値	0.667	0.285			0.048
地域4 内陸性気候	棟数	105	8	—	8	—
	割合設定値	0.868	0.066		0.066	
地域5 瀬戸内海気候	棟数	22	5	—	—	—
	割合設定値	0.815	0.185			

- ・工法は、国DBの屋根分類を参照し、こけら葺、とち葺、板葺の3種類で算出した。

### 1-3 面積

#### 1-3-(1) 実態予測建物

- ・実績報告書の全面葺替面積とした。H1-28年工事の実態において、部分工事しか行われていない建物は、平葺の施工数量を屋根面積全面に置き換えた。なお、H1-28年工事の実態としては、平葺を全面葺替している場合、裏板と軒付は、部分葺替や現状維持としている建物が過半以上であった(状態の良い軒付を維持、再利用している)。今後の修理においても、裏板と軒付においては、状態の良い材は再利用を原則として工事が実施されることが予想される。そのため、裏板と軒付のみは、過去の工事が部分取替だった場合は、全取替ではなく、部分取替の面積で予測することとした(平葺部は全て全屋根面積)。

#### 1-3-(2) 推定予測建物

- ・文化庁資料(実績報告書、修理報告書、その他面積関係資料)を基に屋根面積を設定した。面積情報が、平面積しかなく屋根面積の情報がない場合は、平面積から屋根面積への推定換算値を設定の上、平面積に換算値を乗じて屋根面積を推定した。換算値は、文化庁資料(屋根規模修理調)に記載される木材薄板類 258棟を対象とし、平面積から屋根面積の倍率平均を算出した。その結果、換算係数「2.29」(屋根面積合計 57298.8 m<sup>2</sup>/平面積合計 25023.9 m<sup>2</sup>: 256棟分)とした。なお、面積設定するのは、平葺のみであり、その他部位(上目板、裏板、軒付、品軒)の面積や長さの設定は行わず、使用量のみの予測とした。

### 1-4 使用量

#### 1-4-(1) 実態予測建物

- ・実績報告書に記載される単位使用量に倣い、前項で設定した面積や長さに、単位使用量(m<sup>3</sup>/m<sup>2</sup> or m)を乗じて算出した。

#### 1-4-(2) 推定予測建物

- ・平葺は、前項で設定した屋根面積に、H1-28実績DB分析により設定した平葺単位使用量(m<sup>3</sup>/m<sup>2</sup>)を乗じて算出した。平葺単位使用量の設定は、工法(こけら葺、とち葺、板葺)ごとに行い、H1-28実績DBの平葺単位使用量平均値とした。平葺の各設定値は以下。

平葺単位使用量の設定	こけら葺	とち葺	板葺
平均単位使用量	0.036 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup>	0.076 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup>	0.034 m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup>
算出対象履歴数	192 履歴	15 履歴	18 履歴
算出条件	・平葺全面葺替工事を対象とする(部分葺替工事は対象外)。 ・H1-28年における工事の履歴を対象とするため、棟数ではない。 ・設定値は小数点第4位を四捨五入。		

- ・その他の部位(上目板、裏板、軒付、品軒)は、H1-28実績DB分析により、平葺使用量に対するその他部位使用量の割合平均を設定の上、算出した。上記で算出した平葺推定使用量に、平葺

とその他部位の割合平均値を乗じて、その他部位推定使用量を算出した。平葺とその他部位の使用量割合平均値は以下。

平葺とその他部位の割合設定	こけら葺	とち葺	板葺
割合平均値 (平葺：その他部位)	1 : 0.19	1 : 0.15	1 : 0.04
H1-28 平葺使用量合計	1,924.71 m <sup>3</sup>	406.54 m <sup>3</sup>	183.86 m <sup>3</sup>
H1-28 その他使用量合計	360.08 m <sup>3</sup>	60.19 m <sup>3</sup>	6.64 m <sup>3</sup>
算出対象履歴数	205 履歴	17 履歴	22 履歴
算出対象条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平葺全面葺替工事を対象とする(部分葺替工事は対象外)。</li> <li>・H1-28年における工事の履歴を対象とするため、棟数ではない。</li> <li>・設定値は、小数点第3位を四捨五入。</li> </ul>		

## 1-5 次回修理年

### 1-5-(1) 実態予測建物

- ・修理工事実績における、最終全面葺替工事を基準年とし、その基準年から後述する木材薄板類設定周期で工事が行われるものとして、次回修理年を設定した。

### 1-5-(2) 推定予測建物

- ・前回工事年が不明であるため、文化財指定年を基準年とし、その基準年から後述する木材薄板類設定周期で工事が行われる(行われてきた)ものとして、次回修理年を設定した。

## 1-6 事業年

### 1-6-(1) 実態予測建物

- ・実績報告書の全面葺替を行った屋根工事期間で予測する。全工種の事業期間ではなく、屋根工事期間を事業工程表より抽出した。事業年が複数年(1年を超える事業年)の場合は、次回修理も複数年で予測とし、使用量をその複数年に分けて算出する。使用量の振り分けは、全使用量を事業年で除し、その使用量を各年度に振り分けた。

ex) 過去の工事期間が15か月、全使用量が10 m<sup>3</sup>の場合

⇒事業年は2年とし、各年度の使用量を5 m<sup>3</sup>とする。

※工事期間 1~12か月⇒事業年：1年

13~24か月⇒事業年：2年

25~36か月⇒事業年：3年

### 1-6-(2) 推定予測建物

- ・H1-28実績DBより、屋根工事面積と屋根工事期間の関係を分析し、1年間で葺くことができる平葺施工面積平均を工法(こけら葺、とち葺、板葺)ごとに設定した(次頁設定表参照)。屋根面積を以下の設定面積で除し、事業年を設定した。使用量の振り分けは、全使用量を事業年で除し、その使用量を各年度に振り分けた。

ex) こけら葺屋根面積が 500 m<sup>2</sup>、全使用量が 18 m<sup>3</sup>の場合

⇒事業年は 2 年とし、各年度の使用量を 9 m<sup>3</sup>とする。

※こけら葺屋根面積 1～ 412 m<sup>2</sup> ⇒事業年：1 年

413～ 824 m<sup>2</sup> ⇒事業年：2 年

825～1236 m<sup>2</sup> ⇒事業年：3 年

1年あたりの施工面積設定	こけら葺	とち葺	板葺
1年あたりの平葺施工面積平均	412 m <sup>2</sup> 以下/年	391 m <sup>2</sup> 以下/年	530 m <sup>2</sup> 以下/年
H1-28 平葺施工面積合計	51,329.78 m <sup>2</sup>	4,078.72 m <sup>2</sup>	6,186.88 m <sup>2</sup>
H1-28 屋根工事期間合計	1,495 か月	125 か月	140 か月
算出対象履歴数	200 履歴	10 履歴	22 履歴
算出条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>平葺全面葺替工事を対象とする(部分葺替工事は対象外)。</li> <li>H1-28 年における工事の履歴を対象とするため、棟数ではない。</li> <li>設定値は小数点第 1 位を切り捨て。</li> </ul>		

### 1-7 葺替周期

予測する葺替工事範囲は、実態予測建物、推定予測建物共に、全面のみとする。H1-28 実績 DB 分析では、木材薄板類の平葺において、部分葺替工事は、ほとんど実施されていないことから、予測においては全面のみの予測とした。

周期は、実態予測建物、推定予測建物共に、工法(こけら葺、とち葺、板葺)ごとに設定した。設定周期は、H1-28 実績 DB を基に、実績の全面葺替工事年と過去に行われた全面葺替工事年から経過年を算出し、それらの平均を周期とした。なお、周期については、公益財団法人全国社寺等屋根工事技術保存会(以下、屋根保存会)への聞き取り調査を行っており、推奨周期は、20～25 年とのことであった。H1-28 年の過去実態平均周期と聞き取り調査を踏まえ、過去実態の屋根周期は、耐用年数に近いと考えられることから、文化庁と協議の上、H1-28 実績 DB 分析を基に設定した実態の周期を採用することとした。

全面葺替周期設定	こけら葺	とち葺	板葺
全面葺替周期平均	30 年	32 年	22 年
算出対象履歴数	128 履歴	7 履歴	13 履歴
算出条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>実績の全面葺替工事年と過去に行われた全面葺替工事年を対象とする。部分葺替工事は対象外とし、途中で部分修理工事を行っている物件は対象外とする。</li> <li>葺込銅板の有無は、算出において考慮していない(過去に行われた工事においては、その有無が判断できないため)。</li> <li>H1-28 年における工事の履歴を対象とするため、棟数ではない。</li> <li>設定値は小数点第 1 位を切り捨て。</li> </ul>		

## 1-8 予測期間

予測期間は、2019年度を開始とし、2062年度までを予測した。この期間は、各棟概ね2回の全面葺替が行われる設定とし、一番短い周期となる、板葺22年の2倍に設定した。

## 2 樹皮類

樹皮類の予測は、全面葺替のみ予測することとする(部分葺替は予測しない)。

### 2-1 算出部位

#### 2-1-1 実態予測建物

- ・実績報告書に記載される平葺、上目皮、軒付、品軒の4種の部位に分けて算出した。建物によっては、軒付に裏板や蛇腹等の木材が含まれる場合があるが、これらの木材は対象外とし、樹皮のみを対象とした。

#### 2-1-2 推定予測建物

- ・平葺、上目皮、軒付及び品軒の3種の部位に分けて算出した。推定予測建物は、屋根面積以外の情報を収集しておらず、上目皮や軒付等の個別部位の算出が困難であるため、上目皮と軒付及び品軒は、平葺の数量に対する割合で推定算出した。

### 2-2 材種及び工法

#### 2-2-1 実態予測建物

- ・実績報告書に記載される材種(檜皮、杉皮)に倣った。

#### 2-2-2 推定予測建物

- ・材種及び工法は、国DBの屋根分類を参照し、檜皮葺、杉皮葺の2種類で算出した。

### 2-3 面積

#### 2-3-1 実態予測建物

- ・実績報告書の全面葺替面積とした。過去の工事实態において、部分工事しか行われていない建物は、平葺の施工数量を屋根面積全面に置き換えた。なお、過去の工事实態は、平葺を全面葺替している場合、軒付は、部分葺替や現状維持としている建物が過半以上であった(状態の良い軒付を維持、再利用している)。今後の修理においても、軒付においては、状態の良い材は再利用を原則として工事が実施されることが予想される。そのため、過去の工事が部分取替だった場合は、全取替ではなく、部分取替の面積で予測することとした(平葺部は全て全屋根面積)。



## 2-3-(2) 推定予測建物

- 平葺面積は、文化庁資料(実績報告書、修理報告書、その他面積関係資料)を基に屋根面積を設定した。面積情報が平面積しかなく、屋根面積の情報がない場合は、平面積から屋根面積への推定換算値を設定の上、平面積に換算値を乗じて屋根面積を推定した。換算値は、文化庁資料(屋根規模修理調)に記載される樹皮類 396 棟を対象とし、平面積から屋根面積の倍率平均を算出した。その結果、換算係数「2.64」(屋根面積合計 81194.4 m<sup>2</sup>/平面積合計 30721.0 m<sup>2</sup>: 396 棟分)とした。
- 檜皮葺の上目皮は、S60-H29 実績 DB 分析により、平葺面積に対する上目皮長さの割合平均を設定の上、算出した。軒付及び品軒は、H1-28 実績 DB 分析により、平葺面積に対する軒付及び品軒面積の割合平均を設定の上、算出した。上記で算出した平葺面積に、各割合平均値を乗じて、上目皮、軒付及び品軒の長さ、面積を算出した。各割合平均値は以下。
- 杉皮葺きの軒付は、サンプル数が少なく算出不可であったため、平葺面積のみの設定とする。

平葺に対する上目皮、軒付 及び品軒の割合設定	檜皮葺		杉皮葺
	上目皮	軒付及び品軒	
平葺に対する割合平均値	<b>1 : 1.37</b> (平葺 : 上目皮)	<b>1 : 0.07</b> (平葺 : 軒付及び品軒)	<b>算出不可</b>
S60-H29 平葺面積合計	88,748.84 m <sup>2</sup>	88,748.84 m <sup>2</sup>	—
S60-H29 上目皮長さ・ 軒付品軒面積合計	122,013.29m	5,945.04 m <sup>2</sup>	—
算出対象履歴数	595 履歴	595 履歴	—
算出対象条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>平葺全面葺替工事を対象とする(部分葺替工事は対象外)。</li> <li>軒付及び品軒においては、長さmで算出されている物件は対象外とした。</li> <li>S60-H29 年における工事の履歴を対象とするため、棟数ではない。</li> <li>設定値は、小数点第3位を四捨五入。</li> </ul>		

## 2-4 使用量

### 2-4-(1) 実態予測建物

- 実績報告書に記載される単位使用量に倣い、前項で設定した面積に、単位使用量(束 or 把/m<sup>2</sup>)を乗じて算出した。

### 2-4-(2) 推定予測建物

- 平葺は、前項で設定した屋根面積に、実績 DB 分析により設定した平葺単位使用量(束/m<sup>2</sup>)を乗じて算出した。平葺単位使用量の設定は、工法(檜皮葺、杉皮葺)ごとに行い、実績 DB の平葺単位使用量の平均値とした。ただし、杉皮葺については、平葺の単位は「束」で算出されていたが、束の単位条件が記載されている建物は一部であった。また、束の単位条件は、建物の屋根仕様によって設定されているものと考えられ、建物それぞれで異なる束の単位条件であった。以上より、

杉皮葺の平均単位使用量の設定は困難であり、使用量を予測することができないため、杉皮葺は屋根面積のみの予測とした。平葺の各設定値は以下。

平葺単位使用量の設定	檜皮葺	杉皮葺
平均単位使用量	4.55 束/㎡	算出不可
算出対象履歴数	440 履歴	—
算出条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 束は、長 75 cm、延 18m とする。</li> <li>・ 平葺全面葺替工事を対象とする(部分葺替工事は対象外)。</li> <li>・ S60-H29 年における工事の履歴を対象とするため、棟数ではない。</li> <li>・ 設定値は小数点第 3 位を四捨五入。</li> </ul>	

- ・ 上目皮は、生産側への発注単位が長さのやり取りのため、使用量としては「m」での算出とした。
- ・ 軒付及び品軒の単位使用量は、社寺屋根積算資料に記載される檜皮葺工事軒付の単位使用量「37 把/㎡」を採用した。1 把は、幅 5 寸程度、奥行 1 尺 3 寸程度、厚 6 寸程度となる束とした。

## 2-5 次回修理年

### 2-5-(1) 実態予測建物

- ・ 修理工事実績における、最終全面葺替工事を基準年とし、その基準年から後述する樹皮類設定周期で工事が行われるものとして、次回修理年を設定した。

### 2-5-(2) 推定予測建物

- ・ 前回工事年が不明であるため、文化財指定年を基準年とし、その基準年から後述する樹皮類設定周期で工事が行われる(行われてきた)ものとして、次回修理年を設定した。

## 2-6 事業年

### 2-6-(1) 実態予測建物

- ・ 実績報告書の全面葺替を行った屋根工事期間で予測する。全工種の事業期間ではなく、屋根工事期間を事業工程表より抽出した。事業年が複数年(1 年を超える事業年)の場合は、次回修理も複数年で予測とし、使用量をその複数年に分けて算出する。使用量の振り分けは、全使用量を事業年で除し、その使用量を各年度に振り分けた。

ex) 過去の工事期間が 15 か月、平葺全使用量が 400 束の場合

⇒ 事業年は 2 年とし、各年度の使用量を 200 束とする。

※工事期間 1~12 か月 ⇒ 事業年：1 年

13~24 か月 ⇒ 事業年：2 年

25~36 か月 ⇒ 事業年：3 年

### 2-6-(2) 推定予測建物

- ・ 実績 DB より、屋根工事面積と屋根工事期間の関係を分析し、1 年間で葺くことができる平葺施工面積平均を工法(檜皮葺、杉皮)ごとに設定した(次頁設定表参照)。屋根面積を以下の設定面積

で除し、事業年を設定した。使用量の振り分けは、全使用量を事業年で除し、その使用量を各年度に振り分けた。

ex) 檜皮葺屋根面積が 500 m<sup>2</sup>、全使用量が 2,280 束の場合

⇒事業年は 2 年とし、各年度の使用量を 1,140 束とする。

※檜皮葺屋根面積 1～294 m<sup>2</sup> ⇒事業年：1 年

295～588 m<sup>2</sup> ⇒事業年：2 年

589～882 m<sup>2</sup> ⇒事業年：3 年

1年あたりの施工面積設定	檜皮葺	杉皮葺
1年あたりの平葺施工面積平均	294 m <sup>2</sup> 以下/年	405 m <sup>2</sup> 以下/年
杉皮 H1-28・檜皮 S60-H29 平葺施工面積合計	84,782.15 m <sup>2</sup>	1,486.2 m <sup>2</sup>
杉皮 H1-28・檜皮 S60-H29 屋根工事期間合計	3,456 か月	44 か月
算出対象履歴数	560 履歴	4 履歴
算出条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平葺全面葺替工事を対象とする(部分葺替工事は対象外)。</li> <li>・工事の履歴を対象とするため、棟数ではない。</li> <li>・設定値は小数点第 1 位を切り捨て。</li> </ul>	

## 2-7 葺替周期

予測する葺替工事範囲は、実態予測建物、推定予測建物共に、全面のみとする。実績 DB 分析では、樹皮類の平葺において、部分葺替工事は、ほとんど実施されていないことから、予測においては全面のみの予測とした。

周期は、実態予測建物、推定予測建物共に、工法(檜皮葺、杉皮葺)ごとに共通周期として設定した。設定周期は、実績 DB を基に、実績の全面葺替工事年と過去に行われた全面葺替工事年から経過年を算出し、それらの平均を周期とした。

全面葺替周期設定	檜皮葺	杉皮葺
全面葺替周期平均	33 年	13 年
算出対象履歴数	461 履歴	4 履歴
算出条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実績の全面葺替工事年と過去に行われた全面葺替工事年を対象とする。部分葺替工事は対象外とし、途中で部分修理工事を行っている物件は対象外とする。</li> <li>・工事の履歴を対象とするため、棟数ではない。</li> <li>・設定値は小数点第 1 位を切り捨て。</li> </ul>	

## 2-8 予測期間

檜皮葺の予測期間は、2019 年度を開始年とし、2084 年度までを予測した。杉皮葺の予測期間は、2019 年度を開始年とし、2044 年度までを予測した。この期間は、各棟概ね 2 回の全面葺替が行われる設定とし、檜皮葺 33 年、杉皮葺 13 年の 2 倍に設定した。

### 3 草本類

草本類の予測は、全面葺替と全面差茅(維持修理)の両方を予測することとする。

#### 3-1 算出部位

##### 3-1-1) 実態予測建物

- ・実績報告書に記載される平葺、軒付、棟の数量を予測する。ただし、草本類は、屋根面積にそれらの数量を見込んだ一括の単位使用量を乗じて算出するため、部位ごとの算出は行わない。屋根に使用する一括の使用量として算出する。また、軒付異種材料については、微量であることから、予測は行わないこととした。

##### 3-1-2) 推定予測建物

- ・平葺、軒付、棟の数量を予測する。ただし、屋根面積にそれらの数量を見込んだ一括の単位使用量を乗じて算出するため、部位ごとの算出は行わない。屋根に使用する一括の使用量として算出する。また、推定予測建物は、軒付異種材料については、存在するかどうかの情報がないことから、予測は行わないこととした。

#### 3-2 材種及び工法

##### 3-2-1) 実態予測建物

- ・実績報告書に記載される材種(山茅、ヨシ、シマ茅、カリヤス、オギ)に倣った。

##### 3-2-2) 推定予測建物

- ・推定予測建物は材種が不明であるため、H1-28 実績 DB 分析の上、地域別材種割合を使用量に乗じて材種別使用量を算出した。設定した地域別材種割合(下表参照)は、H1-28 年の実態で確認された山茅、ヨシ、シマ茅、カリヤス、オギの材種に分け、棟数での割合を算出した。推定予測建物の立地に合わせて、地域別に材種不明面積を算出し、設定した地域別材種割で面積を振り分けた。

地域別材種割合設定		山茅	ヨシ	シマ茅	カリヤス	オギ
地域 1 日本海側気候	棟数	84	15	—	2	—
	割合設定値	0.832	0.148		0.020	
地域 2 太平洋側気候 1	棟数	87	16	8	—	3
	割合設定値	0.763	0.141	0.070		0.026
地域 3 太平洋側気候 2	棟数	57	4	—	—	—
	割合設定値	0.934	0.066			
地域 4 内陸性気候	棟数	114	16	—	—	—
	割合設定値	0.877	0.123			
地域 5 瀬戸内海気候	棟数	45	10	—	—	—
	割合設定値	0.818	0.182			

### 3-3 面積

#### 3-3-(1) 実態予測建物

- ・実績報告書の全面葺替面積とした。H1-28年工事の実態において、部分工事しか行われていない建物は、平葺の施工数量を屋根面積全面に置き換えて設定した。

#### 3-3-(2) 推定予測建物

- ・平葺面積は、文化庁資料(実績報告書、修理報告書、その他面積関係資料)を基に屋根面積を設定した。面積情報が平面積しかなく屋根面積の情報がない場合は、平面積から屋根面積への推定換算値を設定の上、平面積に換算値を乗じて屋根面積を推定した。換算値は、文化庁資料(屋根規模修理調)に記載される草本類 261棟を対象とし、平面積から屋根面積の倍率平均を算出した、その結果、換算係数「2.18」(屋根面積合計 87,408.2 m<sup>2</sup>/平面積合計 40,018.9 m<sup>2</sup>: 261棟分)とした。

### 3-4 使用量

#### 3-4-(1) 実態予測建物

- ・全面葺替使用量は、H1-28実績DBより、平葺、軒付、棟の数量を含んだ平均単位使用量(束/m<sup>2</sup>)を設定し、実績報告書に記載される屋根面積全面に乗じて算出した。単位使用量の設定は、H1-28年の工事において、束の条件が1.5m締めを抽出し、平葺、軒付、棟の使用量合算値を全屋根面積で除して平均を算出した。なお、軒付は平と同材種の茅を算出対象としており、軒付異種材料は含んでいない。
- ・全面差茅使用量は、H1-28実績DBより、差茅の平均単位使用量(束/m<sup>2</sup>)を設定し、実績報告書に記載される屋根面積全面に乗じて算出した。単位使用量の設定は、H1-28年の工事において、束の条件が1.5m締めを抽出し、差茅の単位使用量の平均を算出した。

全面葺替・全面差茅 単位使用量の設定	全面葺替	全面差茅
平均単位使用量	5.63 束/m <sup>2</sup>	2.53 束/m <sup>2</sup>
算出対象履歴数	202 履歴	34 履歴
算出条件	・1束は、茅長1.5m以上、縄締め長さ1.5m締めとする。 ・平葺全面葺替(差茅)工事を対象とする(部分葺替(差茅)工事は対象外)。 ・H1-28年における工事の履歴を対象とするため、棟数ではない。 ・設定値は小数点第3位を四捨五入。	

#### 3-4-(2) 推定予測建物

- ・設定した屋根面積に、全面葺替、全面差茅共に、実態予測建物と同様の単位使用量に乗じて算出する。

### 3-5 次回修理年

#### 3-5-(1) 実態予測建物

- ・修理工事実績における、最終全面葺替工事を基準年とし、その基準年から後述する草本類設定周期で工事が行われるものとして、次回修理年を設定した。

#### 3-5-(2) 推定予測建物

- ・前回工事年が不明であるため、文化財指定年を基準年とし、その基準年から後述する草本類設定周期で工事が行われる(行われてきた)ものとして、次回修理年を設定した。

### 3-6 事業年

#### 3-6-(1) 実態予測建物

- ・実績報告書の全面葺替を行った屋根工事期間で予測する。全工種の事業期間ではなく、屋根工事期間を事業工程表より抽出した。事業年が複数年(1年を超える事業年)の場合は、次回修理も複数年で予測とし、使用量をその複数年に分けて算出する。使用量の振り分けは、全使用量を事業年で除し、その使用量を各年度に振り分けた。

ex)過去の工事期間が15か月、平葺全使用量が600束の場合

⇒事業年は2年とし、各年度の使用量を300束とする。

※工事期間 1～12か月⇒事業年：1年

13～24か月⇒事業年：2年

25～36か月⇒事業年：3年

#### 3-6-(2) 推定予測建物

- ・H1-28実績DBより、屋根工事面積と屋根工事期間の関係を分析し、1年間で葺くことができる平葺施工面積平均を設定した(下表設定表参照)。屋根面積を以下の設定面積で除し、事業年を設定した。使用量の振り分けは、全使用量を事業年で除し、その使用量を各年度に振り分けた。

ex)茅葺屋根面積が600㎡、全使用量が3,600束の場合

⇒事業年は2年とし、各年度の使用量を1,800束とする。

※茅葺屋根面積 1～554㎡⇒事業年：1年

555～1,108㎡⇒事業年：2年

1,109～1,662㎡⇒事業年：3年

<b>1年あたりの施工面積設定</b>	草本類(茅葺)
1年あたりの平葺施工面積平均	<b>554㎡以下/年</b>
H1-28平葺施工面積合計	83,152.04㎡
H1-28屋根工事期間合計	1,800か月
算出対象履歴数	299履歴
算出条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平葺全面葺替工事を対象とする(部分葺替工事は対象外)。</li> <li>・H1-28年における工事の履歴を対象とするため、棟数ではない。</li> <li>・設定値は小数点第1位を切り捨て。</li> </ul>

### 3-7 葺替周期

予測する葺替工事範囲は、実態予測建物、推定予測建物共に、全面のみとする。ただし、茅葺は全面葺替に加え、維持修理として全面差茅も予測する。

茅葺は、葺き材の厚みがあり、竹で押さえて葺く工法であるため、古い茅を残し、差茅(表面から新しい茅を差す)ができる修理特性をもち、木材薄板類や、樹皮類の屋根とは維持方法が異なる。過去の実態においても、差茅等の維持修理を実施している建物は多い。なお、H1-28年に実施された工事の中では、維持修理工事(全面差茅、部分差茅、部分葺替)は全体の約1/3を占めた。この割合は保存修理工事として実施されている工事のみのため、自費工事を含めた場合はさらに大きい割合になることが予想される。維持修理は、茅葺の修理特性上必要である共に、長寿命化は当然のことながら、修理時期の調整においても効果が期待される。以上より、維持修理(全面差茅)も予測対象とした。

予測周期は、以下の実態分析、専門業者(屋根保存会)聞き取り調査の基、文化庁と協議を行い設定した。設定した予測周期は、実態予測建物、推定予測建物共に、全面葺替周期 24年とし、その間に全面差茅 1回(全面葺替後 12年)とした。

#### 《H1-28 実績 DB の周期分析》

予測周期の設定にあたり、H1-28年実績報告書の「修理の経過」を参照し、実績修理工事と過去修理工事の経過年平均を算出し、実態分析を行った。ただし、差茅工事は、自費工事で実施される場合がある上に、実績報告書「修理の経過」の記載内容は、自費を含ん過去の工事全ては記載されていない。つまり、実際には過去に差茅工事が実施されていたとしても、全面葺替工事の修理年だけの記載しかない場合があると推定された。そのため、以下は、あくまでも実績報告書に記載される「修理の経過」から読み取ることができる範囲で分析を行った。過去実績を基にした実態経過年のパターンとして、以下の①、②の実態分析を行った(算出詳細条件は下表参照)。

#### 分析① 全面葺替(過去：前回)→全面葺替(実績年)

	全面葺替(過去)→全面葺替(実績年)
全面葺替周期平均	17年
算出対象履歴数	136履歴
算出条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実績の全面葺替工事年と過去に行われた全面葺替工事年を対象(全面葺替工事の間に差茅工事を実施した記載がない建物)とした。部分葺替工事、災害復旧工事は対象外。鉄板やシート養生等の応急対応を実施している建物は対象外。</li> <li>・上記対象条件のうち、経過年が35年以上の建物は、その間に差茅等維持修理が実施されていないことは考え難いため、対象外とした。ただし、算出対象とした差茅の記載がない建物の中でも、実際は行われている建物は含まれると推定される。</li> <li>・H1-28年における工事の履歴を対象とするため、棟数ではない。</li> <li>・設定値は小数点第1位を切り捨て。</li> </ul>

分析①は、過去(前回)に全面葺替が行われ、H1-28年の調査を行った実績年が、全面葺替の場合の周期平均である(全面葺替周期間に差茅工事の記載がない場合)。全面葺替の周期平均は **17年(136履歴)**であった。

### 分析② 全面葺替(過去：前々回)→維持修理(過去：前回)→全面葺替(実績年)

	全面葺替(過去：前々回) → 維持修理(過去：前回)	維持修理(過去：前回) → 全面葺替(実績年)	全面葺替(過去：前々回) ⇒ 全面葺替(実績年)
全面葺替・維持修理周期平均	12年	12年	24年
算出対象履歴数	31履歴		
算出条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実績の全面葺替工事年と、過去(前回)に維持修理工事年、過去(前々回)に全面葺替工事年を対象とした。災害復旧工事は対象外。鉄板やシート養生等の応急対応を実施している建物は対象外。</li> <li>・維持修理は、実績報告書の「修理の経過」において、修理年が記載される全面差茅、部分差茅、部分葺替を抽出した。</li> <li>・H1-28年における工事の履歴を対象とするため、棟数ではない。</li> <li>・設定値は小数点第1位を切り捨て。</li> </ul>		

分析②は、過去(前々回)に全面葺替、過去(前回)に維持修理が行われ、H1-28年の調査を行った実績年が、全面葺替の場合の周期平均である(全面葺替の周期間に1回の維持修理及びその修理年の記載がある場合)。全面葺替の周期平均は、**24年(31履歴)**であった。また、全面葺替から維持修理までの周期平均、維持修理から全面葺替までの周期平均共には**12年**であった。

分析①、②の結果より、全面葺替周期間に維持修理を実施することで、約7年程度の延命効果が実態で明らかになった。ただし、実績報告書「修理の経過」の記載内容の実態は、自費工事を含む全ての差茅等維持修理の工事は記載されていない。特に、分析①の算出対象とした建物は、実状においては、全面葺替周期間に差茅等維持修理を実施している建物が含まれると考えられる。実際に、分析①の算出対象には、周期が20年を超える建物も含まれており、それらが維持修理を全く実施していないことは考え難い。そのため、分析①の周期平均は、実状としては17年以下になるものと考えられるため、維持修理の効果は、上記分析結果よりも長い延命効果が得られるものと考えられる。

なお、周期については、屋根保存会への聞き取り調査を行っており、推奨される全面葺替周期は約20年、ただし、その間に全面差茅(使用量は葺替の約半分程度)を1回とのことであった。

これらの分析や聞き取り調査を踏まえ、本業務にて予測する周期と修理程度は、全面葺替周期24年とし、その間に維持修理として全面差茅1回(全面葺替後12年)とした。周期は実態平均に倣い、維持修理の程度は、聞き取り調査(職人の経験を基に推奨される程度)を参考とした。予測の設定においては、維持修理の周期は全面葺替後12年としたが、建物の立地条件等によっては、実状は異なってくることが想定されるが、あくまで平均値として設定した。

### 3-8 予測期間

予測期間は、2019年度を開始年とし、2066年度までを予測した。この期間は、各棟概ね2回の全面葺替、2回の全面差茅が行われる設定とし、全面葺替周期24年の2倍に設定した。

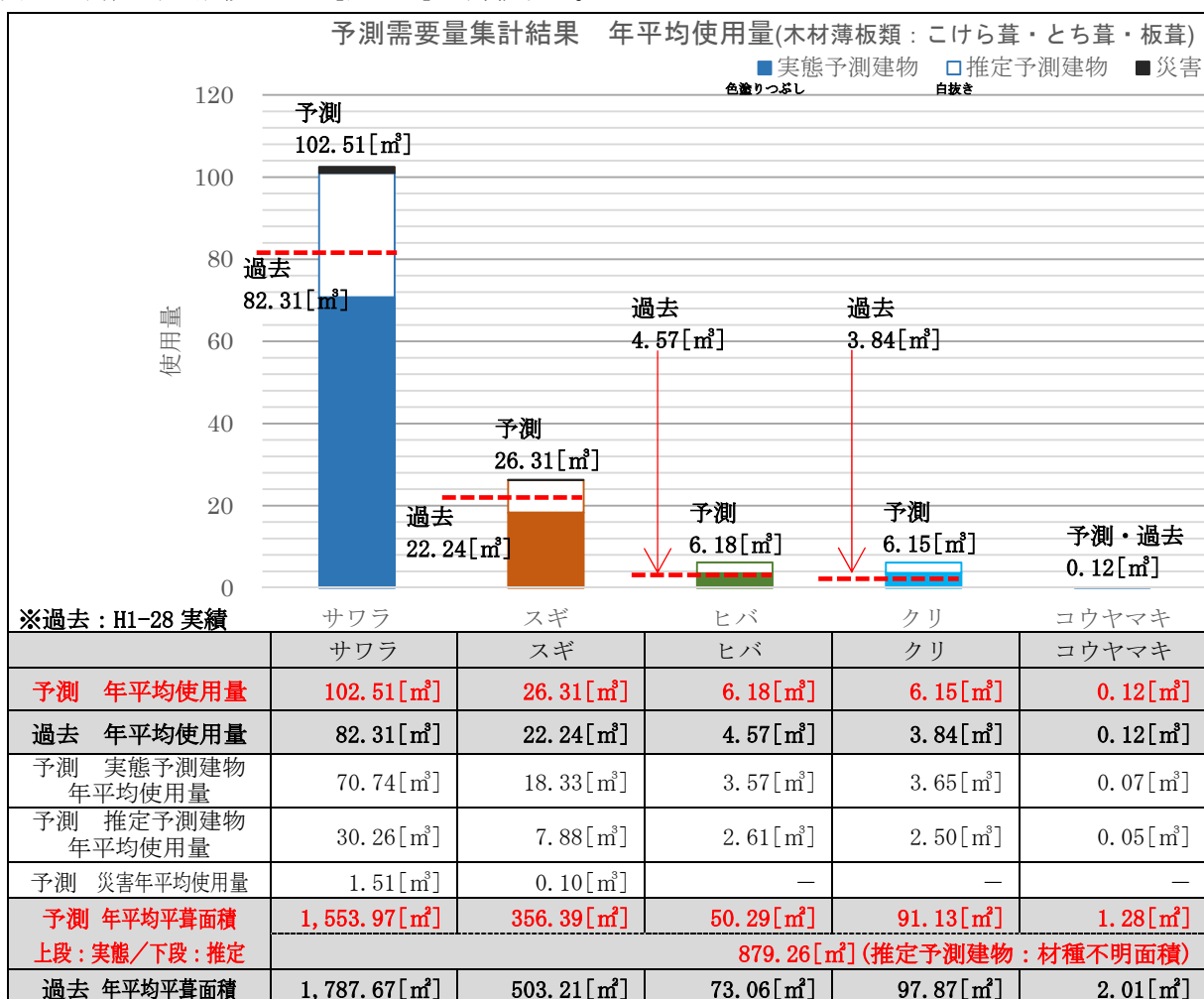


## 第5章 長期需要予測結果

### 第1節 木材薄板類

#### 1 予測結果【木材薄板類】

木材薄板葺は、概ね各棟2回の全面葺替周期が行われる設定とし、H1-28実績DBにて設定した周期を基に、予測年間にこけら葺60年間、とち葺64年間、板葺44年間(予測周期の2倍)とした。木材薄板葺の予測棟数は411棟(こけら葺327棟、とち葺42棟、板葺42棟)、そのうち実態予測建物247棟(こけら葺209棟、とち葺18棟、板葺20棟)、推定予測建物164棟(こけら葺118棟、とち葺24棟、板葺22棟)とした。以下に、全国予測需要量集計[図5-1]、地域別予測需要量集計[図5-2]、年度別予測需要量推移グラフ[図5-3]を掲載する。



※災害復旧工事使用量は、過去28年災害実態割合を基に、予測における年平均使用量のうち、サワラ1.5%、スギ0.4%を別途災害復旧分の使用量として予測に見込む。

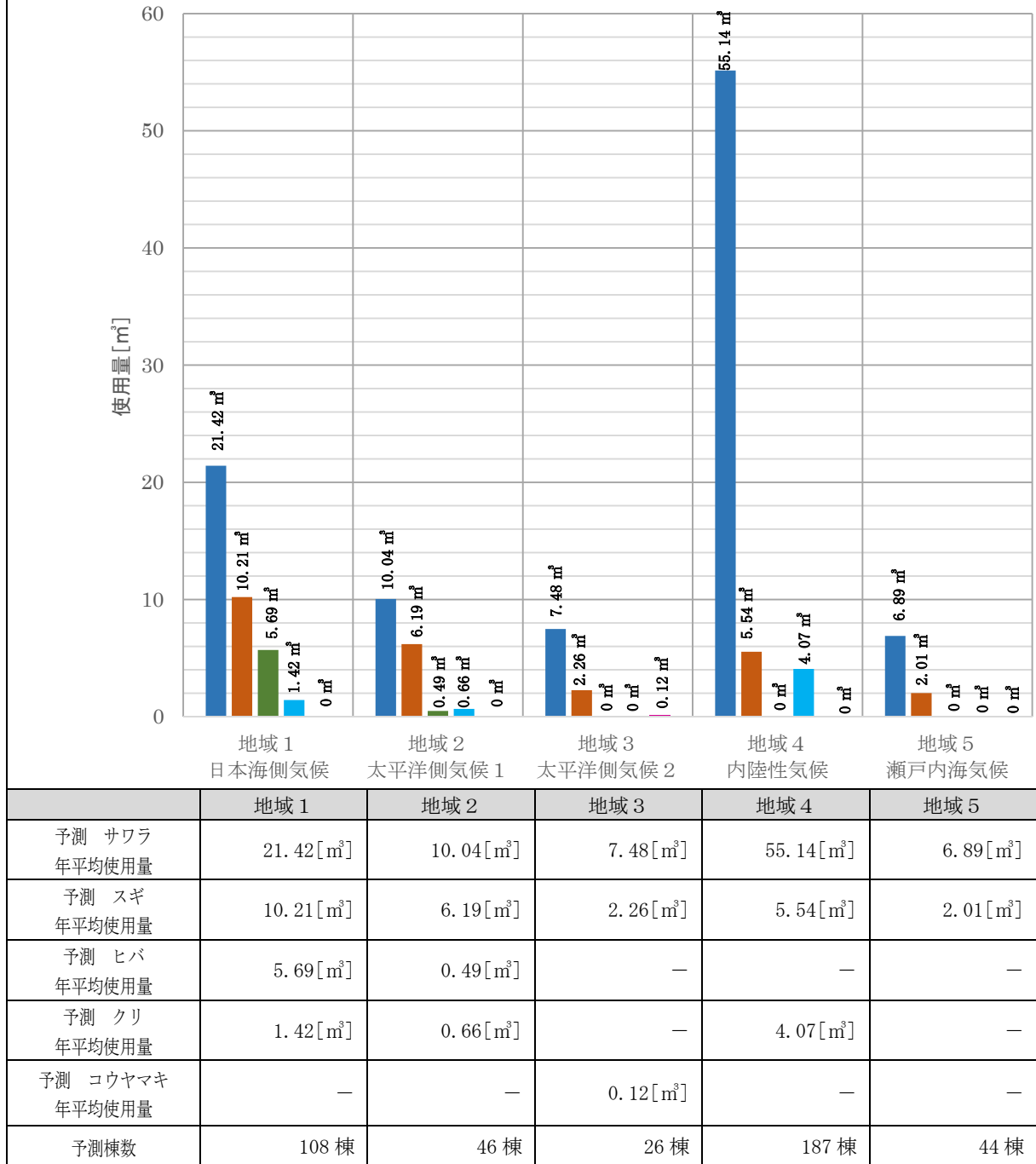
※コウヤマキの年平均使用量は、棟数が少ないため参考値とする。

※木材薄板類の予測詳細条件は、第4章 第3節 1木材薄板類[P64-68]参照

図5-1 予測需要量集計結果《木材薄板類：こけら葺・とち葺・板葺》

地域別予測需要量集計結果 年平均使用量  
(木材薄板類：こけら葺・とち葺・板葺)

■サワラ ■スギ ■ヒバ ■クリ ■コウヤマキ



※上記数量に、災害復旧使用量は含まれていない。

図 5-2 地域別予測需要量集計結果《木材薄板類：こけら葺・とち葺・板葺》



## 2 分析及び考察【木材薄板類】

《予測需要量集計(年平均予測需要量)：図 5-1 参照》

木材薄板類を予測した結果、1年あたりの予測平均は、サワラ 102.52 m<sup>3</sup>、スギ 26.31 m<sup>3</sup>、ヒバ 6.18 m<sup>3</sup>、クリ 6.15 m<sup>3</sup>、コウヤマキ 0.12 m<sup>3</sup>であった。コウヤマキ以外は、それぞれ過去 28 年間の年平均実態使用量よりも、予測量が約 1.2～3 倍程度多い結果であった。予測需要量が増えた要因は、予測周期を H1-28 実績 DB の平均周期(こけら葺 30 年、とち葺 32 年、板葺 22 年)としたため、今まで修理が行われていない建物や、周期が長くなっていた建物などの周期を早めたことによるものと考えられた。コウヤマキは対象棟数が少ないため、年平均の値は参考値となる。ただし、各材種別の使用量は、実態予測建物と推定予測建物に分けられ、推定予測建物の材種は全て推定の値としている(879.26 m<sup>3</sup>分)。推定材種は、材種不明使用量に H1-28 年の実態より設定した地域別材種割合を乗じ、材種別使用量を算出している。そのため、今後これらの材種不明建物については、材種を明らかにし、実状に近い材種使用量へと更新していく必要がある。

なお、上記の結果は、災害復旧工事を含んだ数値として予測している。災害については、近年の気象状況を鑑み、今後も継続的に対応していく必要があると考えた。災害復旧工事使用量の予測方法は、過去 28 年災害実態割合を基に、予測における年平均使用量のうちサワラ 1.5%、スギ 0.04%を別途災害復旧分の使用量として予測に見込んだ。

《地域別需要量：図 5-2 参照》

サワラ、スギは、全地域で使用され、サワラの年平均使用量は地域 4 が 55.14 m<sup>3</sup>であり、予測需要量が最も多く、突出した数値を示した。これは、全体のサワラの予測需要量のうち、約 5 割が地域 4 の需要量となる。予測棟数及び屋根面積の多さからも明らかである。その他の材種の、クリは地域 1、2、4 のみ、ヒバは地域 1 のみ、コウヤマキは地域 3 のみで使用され、地域が限定される。

今後、これらの地域別予測需要量を基に、地域ごとの供給実態を把握の上、安定的な需給体制の構築が必要である。

《予測需要量推移：図 5-3 参照》

予測需要量推移グラフより、年度ごとに使用量の大きなばらつきが予測された。

実態予測建物は、過去の屋根工事期間に合わせて使用量を分散させているため、使用量の波は、H1-28 年の年度別実態推移よりも、若干押さえられている。しかし、2026 年など特に多い年度や、その他極端に少ない年度など、年度ごとの使用量のばらつきは大きい。

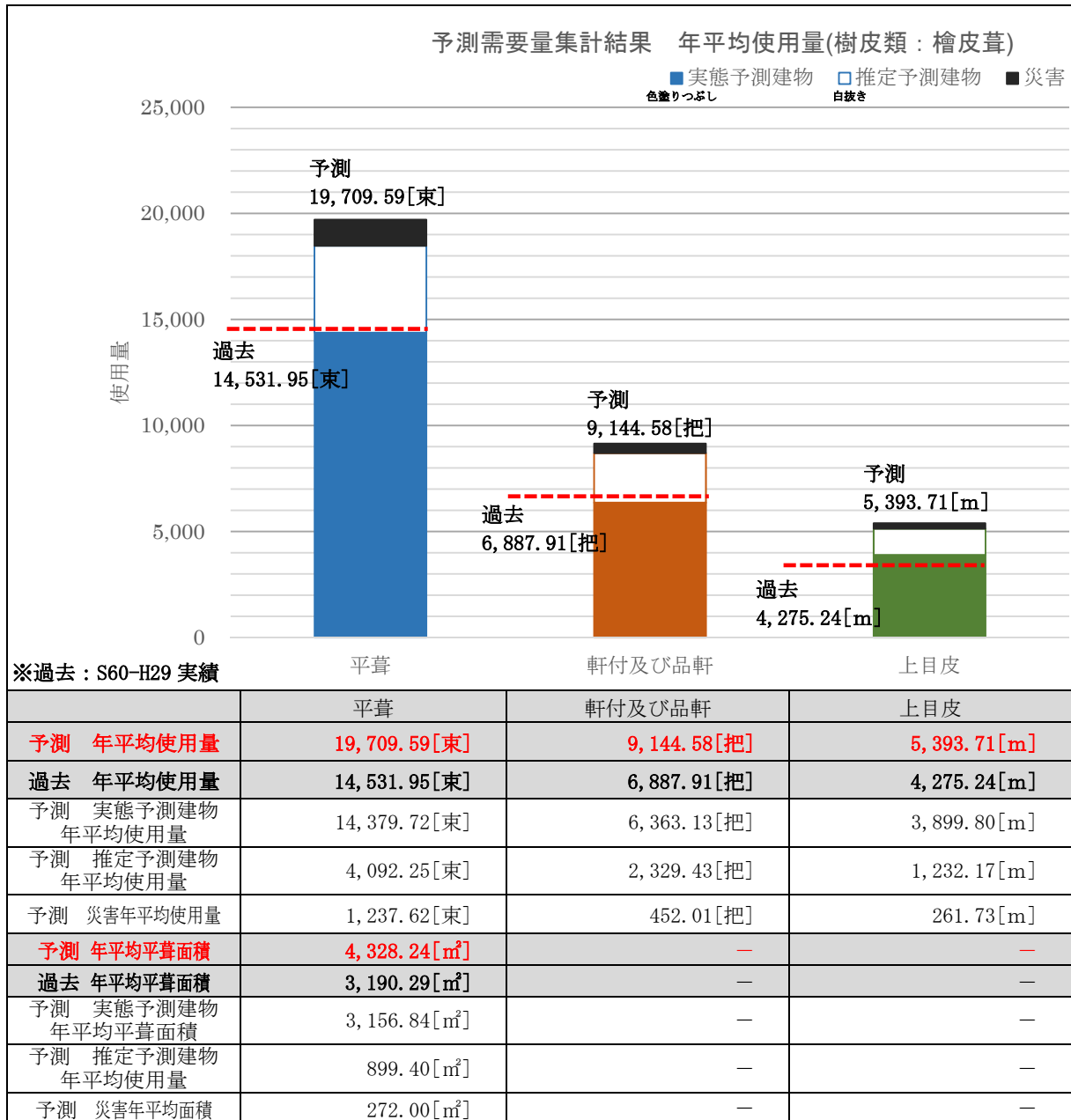
推定予測建物は、特に使用量の波が大きい。推定予測建物の予測工事年は、文化財指定年を基準年として、その基準年から設定周期で工事が実施されるものと予測している。そのため、指定年が同じ場合は、次回修理年も同じ年度に予測されることになる。

以上より、今後の予測においては、各年度の需要量を、年間予測需要量であるサワラ 102.52 m<sup>3</sup>、スギ 26.31 m<sup>3</sup>、ヒバ 6.18 m<sup>3</sup>、クリ 6.15 m<sup>3</sup>、コウヤマキ 0.12 m<sup>3</sup>程度を目安に、修理建物の工事年調整が必要である。修理後の経過年や、劣化状況を把握し、中長期的な修理計画(同一敷地内の建物群の修理を分散、大規模建物の材料調達を複数年に分散して備蓄など)を策定し、安定的な需要量となるように、修理時期を調整する必要がある。

## 第2節 樹皮類

### 1 予測結果【檜皮葺】

檜皮葺は、概ね各棟2回の全面葺替周期が行われる設定とし、S60-H29実績DBにて設定した周期を基に、予測年間で66年間(予測周期の2倍)とした。檜皮葺の予測棟数は823棟、そのうち実態予測建物610棟、推定予測建物213棟とした。以下に、全国予測需要量集計[図5-4]、地域別予測需要量集計[図5-5]、年度別予測需要量推移グラフ[図5-6]を掲載する。

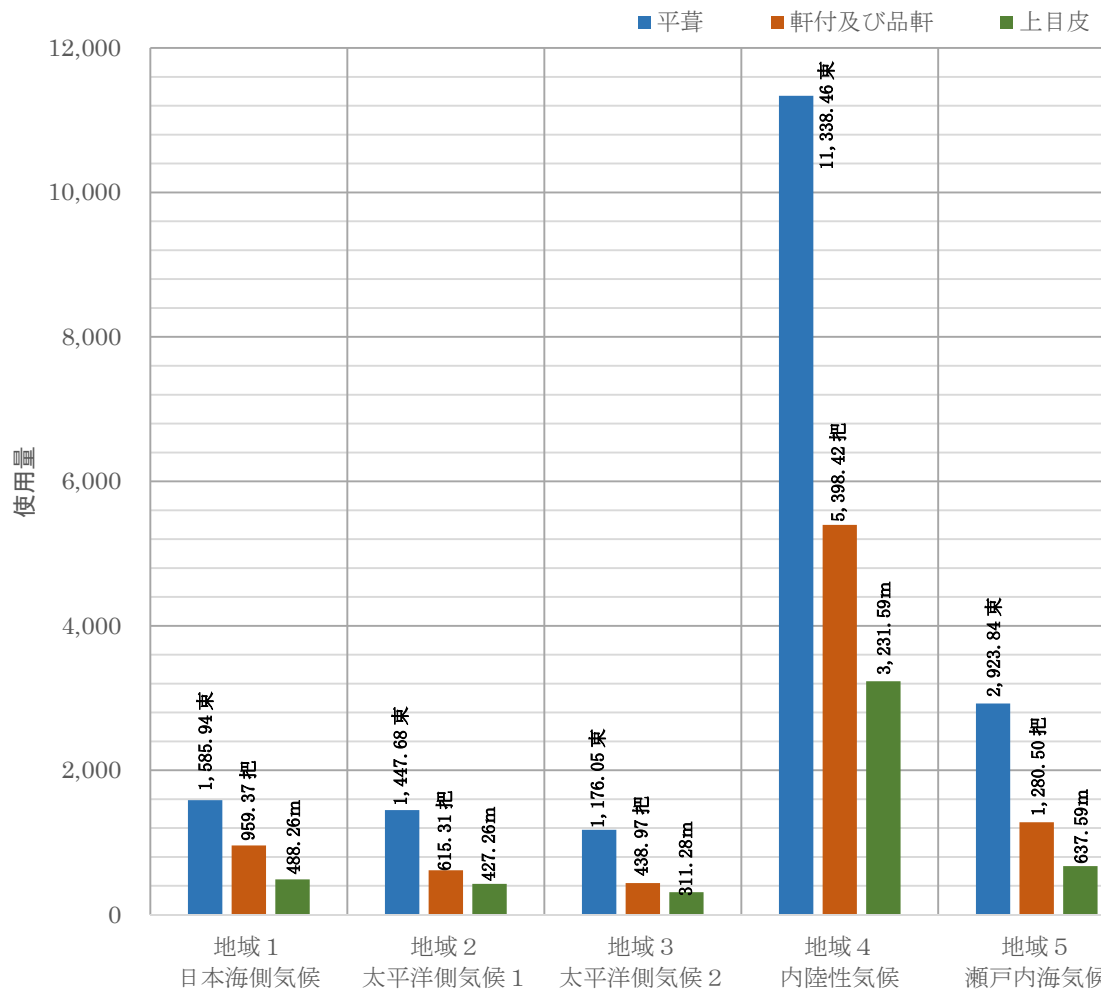


※災害復旧工事使用量は、過去33年災害実態割合を基に、予測における年平均使用量のうち平葺6.7%、軒付・品軒5.2%、上目皮5.1%を別途災害復旧分の使用量として予測に見込む。葺替面積は、平葺単位使用量4.55束/m<sup>2</sup>として、使用量を面積に割り戻して算出。

※樹皮類の予測詳細条件は、第4章 第3節 2樹皮類[P68-71]参照

図5-4 全国予測需要量集計結果<<樹皮類：檜皮葺>>

地域別予測需要量集計結果 年平均使用量(樹皮類：檜皮茸)



《S60-H29 合計》	地域 1	地域 2	地域 3	地域 4	地域 5
予測 平茸 年平均使用量[束]	1,585.94	1,447.68	1,176.05	11,338.46	2,923.84
予測 軒付及び品軒 年平均使用量[把]	959.37	615.31	438.97	5,398.42	1,280.50
予測 上目皮 年平均使用量[m]	488.26	427.26	311.28	3,231.59	637.59
予測棟数	60 棟	72 棟	71 棟	497 棟	123 棟

※上記数量に、災害復旧使用量は含まれていない。

図 5-5 地域別予測需要量集計結果《樹皮類：檜皮茸》







## 2 分析及び考察【檜皮葺】

《予測需要量集計(年平均予測需要量)：図 5-4 参照》

檜皮葺予測の結果、1年あたりの予測平均は、葺替面積 4,328.24 m<sup>2</sup>、平葺 19,709.59 束、軒付・品軒 9,144.58 把、上目皮 5,393.71mであった。それぞれ、過去 33 年間の年平均実態使用量よりも、予測量が約 1.3 倍程度多い結果であった。予測需要量が増えた要因は、予測周期を S60-H29 実績 DB の平均周期 33 年としたため、今まで修理が行われていない建物や、周期が長くなっていた建物などの周期を早めたことによるものと考えられた。

なお、上記の結果は、災害復旧工事を含んだ数値として予測している。災害については、近年の気象状況を鑑み、今後も継続的に対応していく必要があると考えた。災害復旧工事使用量の予測方法は、過去 33 年災害実態割合を基に、予測における年平均使用量のうち平葺 6.7%、軒付・品軒 5.2%、上目皮 5.1%を別途災害復旧分の使用量として予測に見込んだ。葺替面積は、平葺単位使用量 4.55 束/m<sup>2</sup>として、使用量を面積に割り戻して算出した。

《地域別需要量：図 5-5 参照》

全地域で需要が確認されるが、年平均使用量は、地域 4 が平葺 11,338.46 束、軒付及び品軒 5,398.42 把、上目皮 3,231.59mであり、予測需要量が最も多く、突出した数値を示した。これは、全体の予測需要量のうち、約 6 割が地域 4 の需要量となる。予測棟数及び屋根面積の多さからも明らかである。今後、これらの地域別予測需要量を基に、地域ごとの供給実態を把握の上、安定的な需給体制の構築が必要である。

《予測需要量推移：図 5-6 参照》

予測需要量推移グラフより、年度ごとに使用量の大きなばらつきが予測された。

実態予測建物は、過去の最終工事年から 33 年周期で予測しているため、S60-H29 年の年度別実態使用量の波が、予測使用量の波に大きく影響していることになる。予測使用量は、過去の屋根工事期間に合わせ、使用量を事業年に分散させているため、使用量の波は、S60-H29 年の年度別実態推移よりも若干押さえられているが、大きな波はほぼ変わらない。

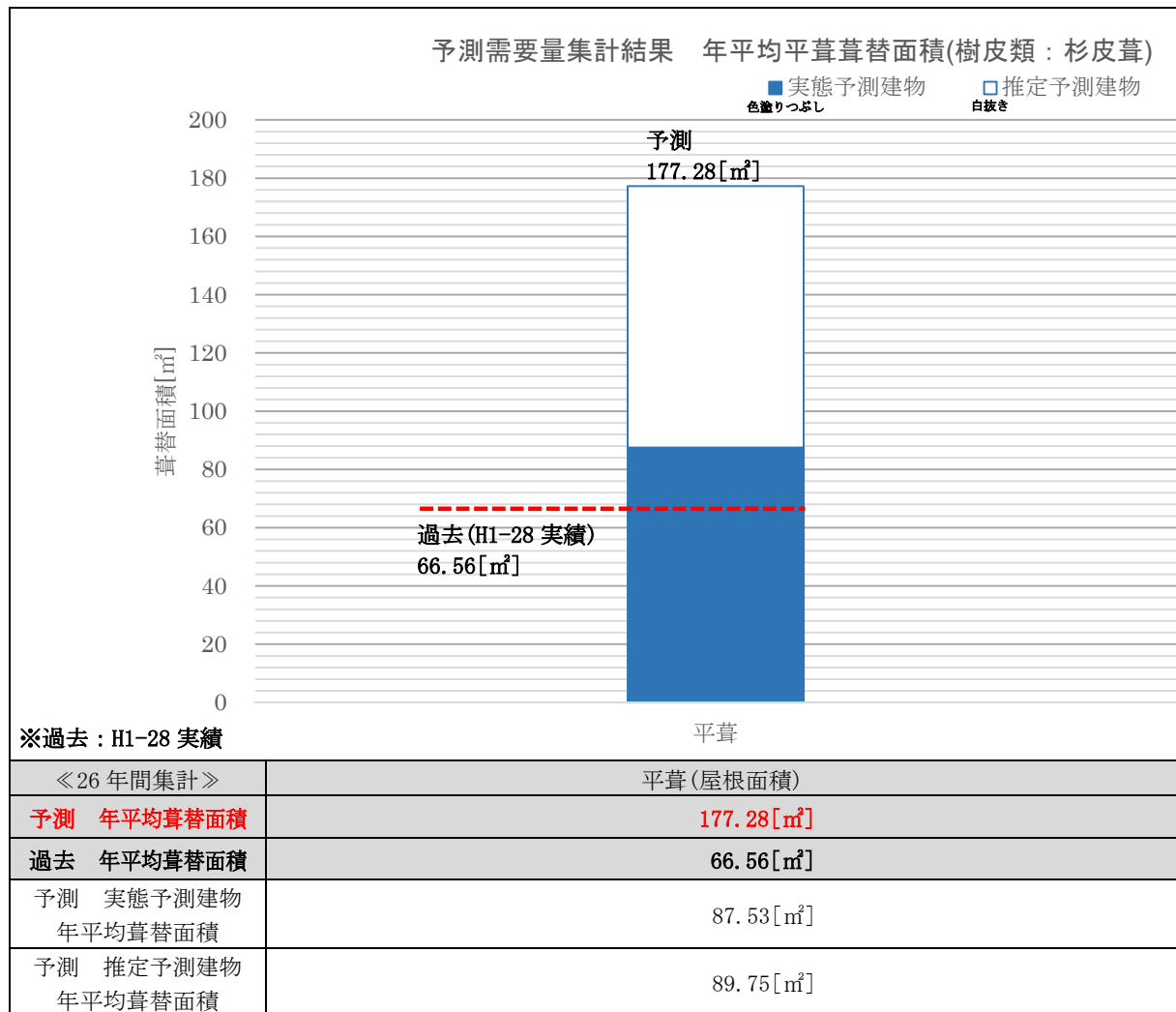
推定予測建物は、特に使用量の波が大きい。推定予測建物の予測工事年は、文化財指定年を基準年として、その基準年から設定周期で工事が実施されるものと予測している。そのため、指定年が同じ場合は、次回修理年も同じ年度に予測されることになる。特に檜皮葺きは、同一敷地内に複数存在する建物が多いため、同一の指定年になる建物が多い。例えば、推定使用量の大きい 2033 年は、賀茂別雷神社 7 棟に加え、屋根面積 300 m<sup>2</sup>を超える建物の指定年が複数重なったことが要因となり、実態予測使用量とほぼ同じ値(平葺 12,000 束程度)が推定使用量として予測される結果となっている。

以上より、今後の予測においては、各年度の需要量を、年間予測需要量である葺替面積 4,328.24 m<sup>2</sup>、平葺 19,709.59 束、軒付・品軒 9,144.58 把、上目皮 5,393.71m程度を目安に、修理建物の工事年調整が必要である。修理後の経過年や、劣化状況を把握し、中長期的な修理計画(同一敷地内の建物群の修理を分散、大規模建物の材料調達を複数年に分散して備蓄など)を策定し、安定的な需要量となるように、修理時期を調整する必要がある。

### 3 予測結果【杉皮葺】

杉皮葺は、概ね各棟2回の全面葺替周期が行われる設定とし、H1-28実績DBにて設定した周期を基に、予測年間で26年間(予測周期の2倍)とした。

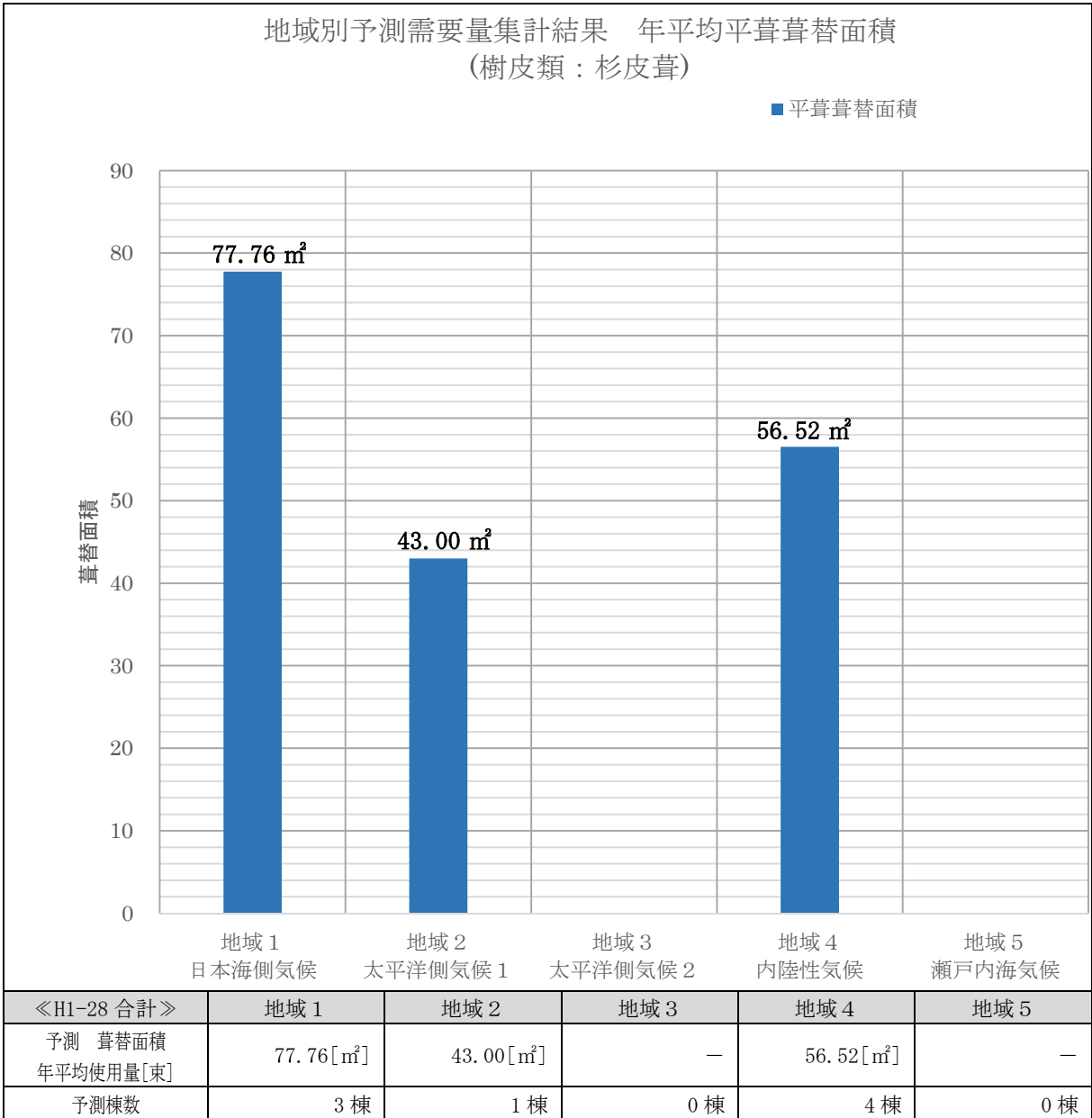
杉皮葺の予測棟数は8棟、そのうち実態予測建物4棟、推定予測建物4棟とした。以下に、全国予測需要量集計[図5-7]、地域別予測需要量集計[図5-8]、年度別予測需要量推移グラフ[図5-9]を掲載する。



※災害復旧工事使用量は、過去28年災害実態において確認されていないため、予測においても見込まないこととした。

※樹皮類の予測詳細条件は、第4章 第3節 2樹皮類[P68-71]参照

図5-7 全国予測需要量集計結果《樹皮類：杉皮葺》

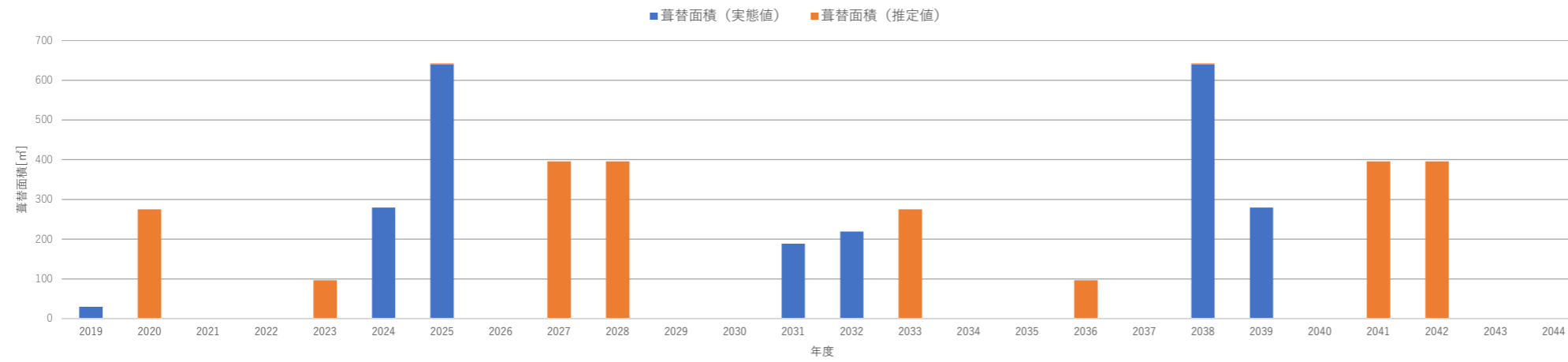


※上記数量に、災害復旧使用量は含まれていない。

図 5-8 地域別予測需要量集計結果《樹皮類：杉皮茸》



予測集計結果 杉皮茸年度別茸替面積



		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	2041	2042	2043	2044
茸替面積	実態値	30.2					279.5	639.5						188.75	218.95						639.5	279.5					
	推定値		275.35			96.8088	2.64			395.966	395.966					275.35			96.8088		2.64			395.966	395.966		
	合計	30.2	275.35			96.8088	279.5	642.14			395.966	395.966		188.75	218.95	275.35			96.8088		642.14	279.5		395.966	395.966		
事業数	実態値	1					1	2						1	2						2	1					
	推定値		1			1		1		1	1					1			1		1			1	1		
	合計	1	1			1	1	3		1	1			1	2	1			1		3	1		1	1		

項目	26年間計	年平均	
茸替面積 [m²]	実態予測	2,275.90	87.53
	推定予測	2,333.46	89.75
	合計	4,609.36	177.28
棟数 [棟]	実態予測	10.00	0.38
	推定予測	10.00	0.38
	合計	20.00	0.77

地域別年平均使用量予測[m]

	地域1	地域2	地域3	地域4	地域5
茸替面積	77.76	43.00		56.52	

図 5-9 年度別予測需要量推移グラフ 樹皮類 (杉皮茸)

#### 4 分析及び考察【杉皮葺】

《予測面積集計(年平均予測面積)・予測面積推移：図 5-7、図 5-9 参照》

杉皮葺予測の結果、1年あたりの予測平均は、葺替面積 177.28 m<sup>2</sup>であった。過去 28 年間の年平均実態よりも約 2.7 倍の結果となった。予測需要量が増えた要因は、予測周期を H1-28 実績 DB の平均周期 13 年としたため、今まで修理が行われていない建物や、周期が長くなっていた建物などの周期を早めたことによるものと考えられた。

予測面積推移は、過去 28 年間の実態と同じように、該当する工事年に大きな需要があるのみであり、実状は毎年継続的な需要が予測されるわけではない。今後の予測においては、旧呉服座(愛知)や西園院客殿(奈良)など、大きな屋根面積を有する建物が存在するため、それらの修理時は、大きな需要が生じることになる。杉皮葺は、毎年継続的な需要があるわけではないが、修理年に合わせた中長期的な材料確保計画が必要と考えられる。

なお、本業務において、杉皮の予測は、過去実態の数量把握が困難であることから、使用量ではなく面積の予測としている。過去の実績報告書における杉皮の算出方法は、一式計上や束の単位条件記載なしなど、使用量として算出できないものが殆どであった。今後、実態数量を明らかにしていくためには、実績報告書の数量算出記載内容の見直し(束の単位条件明記)を図ることが必要と考えられる。

《地域別需要量：図 5-8 参照》

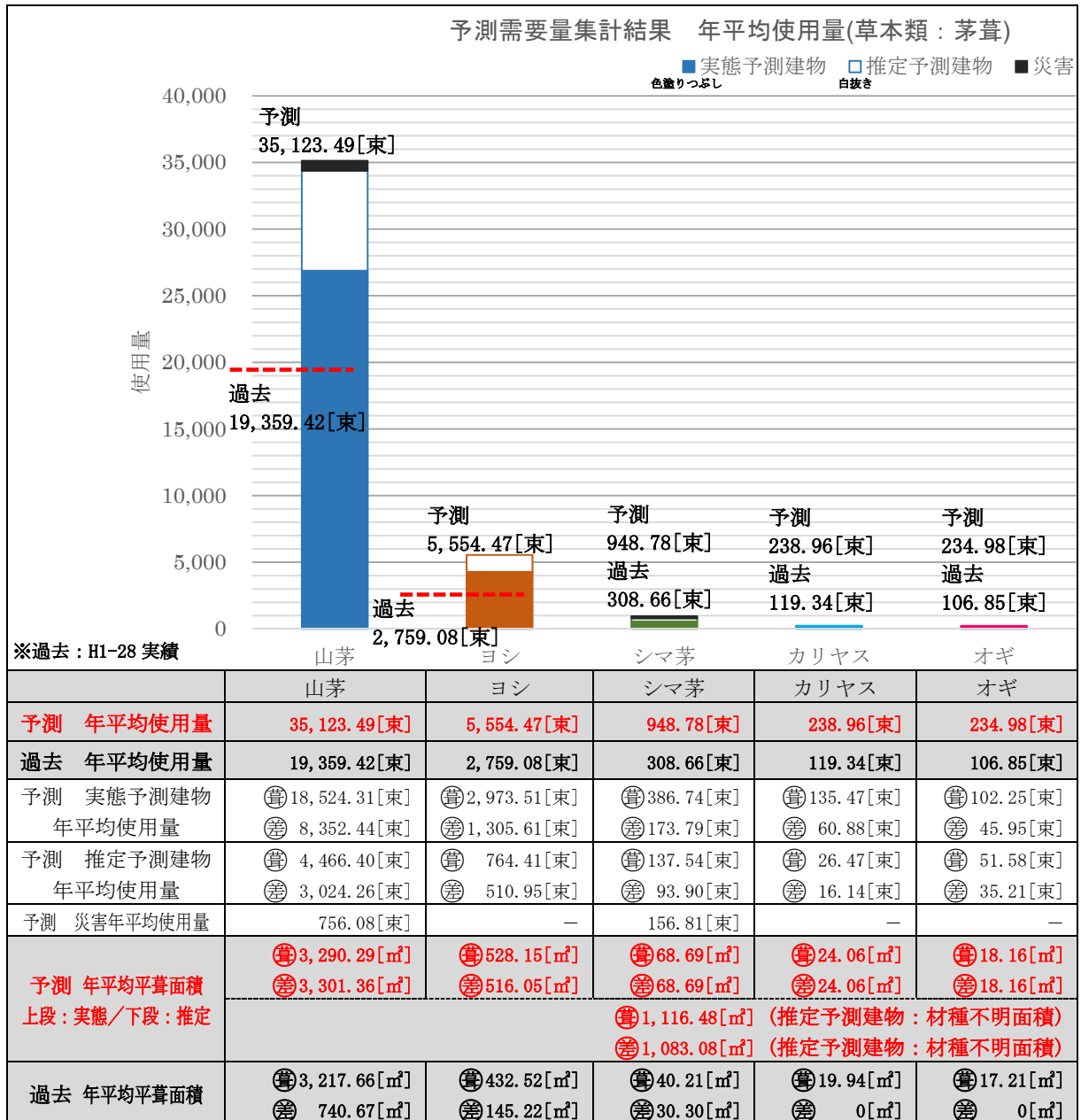
地域 1、2、4 で需要が確認される。ただし、杉皮葺は、予測棟数が少なく、毎年継続的な需要があるわけではないため、年平均は参考値である。そのため、修理年に合わせた中長期的な材料確保計画(大規模建物の材料調達を複数年に分散して備蓄など)が必要と考えられる。

今後、これらの地域別予測需要量を基に、地域ごとの供給実態を把握の上、安定的な需給体制の構築が必要である。

### 第3節 草本類

#### 1 予測結果【草本類】

茅葺は、概ね各棟2回ずつ全面葺替、全面差茅周期が行われる設定とし、H1-28実績DBにて設定した周期を基に、予測年間を48年間(予測周期の2倍)とした。茅葺の予測棟数は408棟、そのうち実態予測建物313棟、推定予測建物95棟とした。以下に、全国予測需要量集計[図5-10]、地域別予測需要量集計[図5-11]、年度別予測需要量推移グラフ[図5-12]を掲載する。



※災害復旧工事使用量は、過去28年災害実態割合を基に、予測における年平均使用量のうち山茅2.2%、シマ茅19.8%を別途災害復旧分の使用量として予測に見込む。

※シマ茅、カリヤス、オギの年平均使用量は、棟数が少なく、毎年の需要はないため参考値とする。

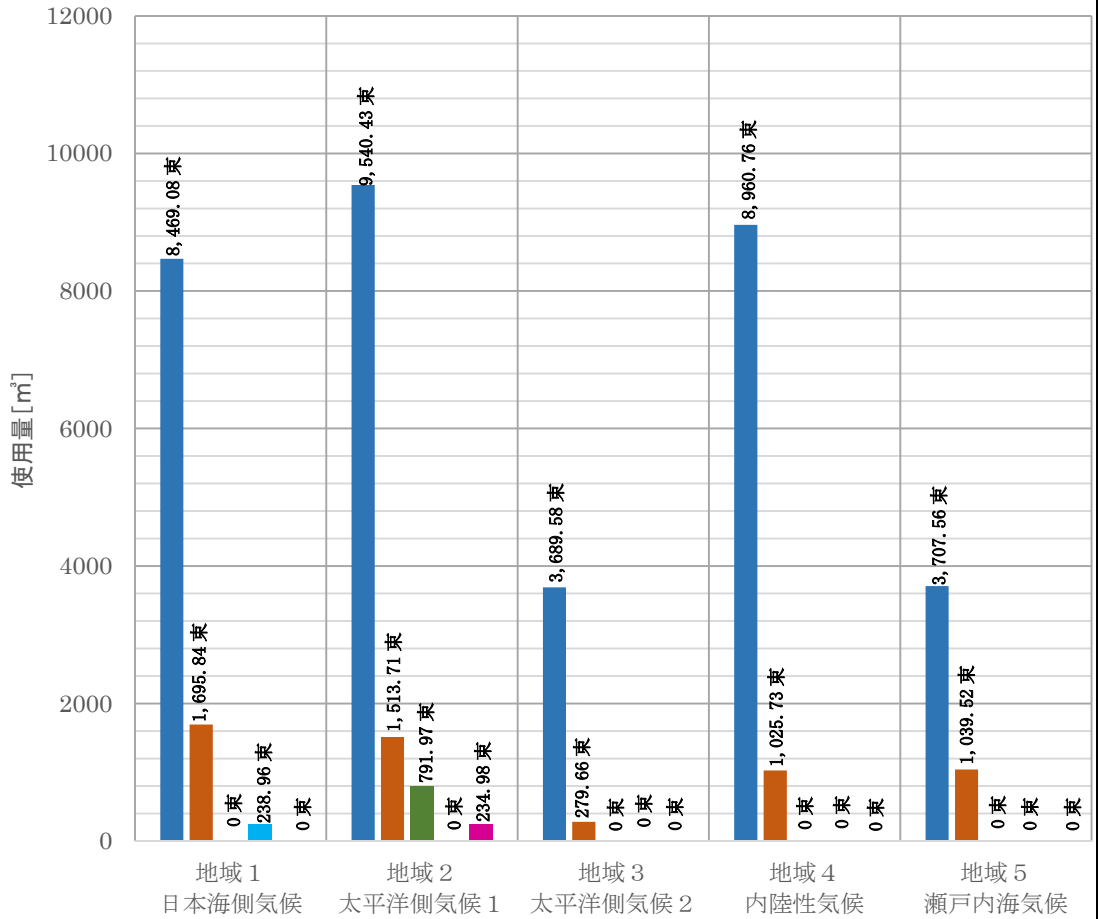
※⊕：全面葺替工事、⊖：全面差茅工事

※草本類の予測詳細条件は、第4章 第3節 3 草本類[P72-76]参照

図5-10 全国予測需要量集計結果<<草本類：茅葺>>

地域別予測需要量集計結果 年平均使用量  
(草本類：茅草)

■山茅 ■ヨシ ■シマ茅 ■カリヤス ■オギ



	地域 1	地域 2	地域 3	地域 4	地域 5
予測 山茅 年平均使用量	8,469.08[束]	9,540.43[束]	3,689.58[束]	8,960.76[束]	3,707.56[束]
予測 ヨシ 年平均使用量	1,695.84[束]	1,513.71[束]	279.66[束]	1,025.73[束]	1,039.52[束]
予測 シマ茅 年平均使用量	—	791.97[束]	—	—	—
予測 カリヤス 年平均使用量	238.96[束]	—	—	—	—
予測 オギ 年平均使用量	—	234.98[束]	—	—	—
予測棟数	78 棟	111 棟	51 棟	116 棟	52 棟

※上記数量に、災害復旧使用量は含まれていない。

図 5-11 地域別予測需要量集計結果《草本類：茅草》







## 2 予測結果【草本類】

《予測需要量集計(年平均予測需要量)：図 5-10 参照》

茅葺の使用量を予測した結果、1年あたりの予測平均は、山茅 35,123.49 束、ヨシ 5,554.47 束、シマ茅 948.78 束、カリヤス 238.96 束、オギ 234.98 束であった。それぞれ過去 28 年間の年平均実態使用量よりも、予測量が約 2 倍程度多い結果であった。予測需要量が増えた要因は、予測周期を H1-28 実績 DB の平均周期(全面葺替 24 年、その間に 1 回全面差茅)としたため、今まで修理が行われていない建物や、周期が長くなっていた建物などの周期を早め、さらに維持修理(差茅)を予測したことによるものと考えられた。また、過去 28 年間の実態数量は、自費修理の数量は見込まれていないため、全ての建物の全面差茅を予測数量として算出したことにより、実態よりも大幅に使用量が増えたと考えられた。ただし、シマ茅、カリヤス、オギは対象棟数が少ないため、年平均の値は参考値となる。また、各材種別の使用量は、実態予測建物と推定予測建物に分けられ、推定予測建物の材種は全て推定の値としている(全面葺替 1,116.48 m<sup>2</sup>、全面差茅 1,083.08 m<sup>2</sup>分)。推定材種は、材種不明使用量に H1-28 年の実態より設定した地域別材種棟数割合を乗じ、材種別使用量を算出している。そのため、今後これらの材種不明建物については、材種を明らかにし、実状に近い材種使用量へと調整していく必要がある。

なお、上記の結果は、災害復旧工事を含んだ数値として予測している。災害については、近年の気象状況を鑑み、今後も継続的に対応していく必要があると考えた。災害復旧工事使用量の予測方法は、過去 28 年災害実態割合を基に、予測における年平均使用量のうち山茅 2.2%、シマ茅 19.8%を別途災害復旧分の使用量として予測に見込んだ。

本業務の予測においては、茅葺は、平葺、軒付、棟の数量を予測しているが、軒付異種材料については、過去実態の数量把握が困難であることから、数量の予測は行っていない。過去 28 年間に於いて、把握できた軒付異種材料の年平均使用量は、ヨシ 49.62 束、オギ 0.57 束、麻殻 39.67 束、苧殻 34.66 束、稻藁 36.09 束、麦藁 14.01 束、藁 28.30 束である。過去の実績報告書における軒付異種材料の記載状況は、一式計上や束の単位条件(縄締め長さ)の記載なしなど、使用量として算出できないものが多い。これらの数量は、軒付数量が掲載される実績報告書 171 事業のうち、束の単位条件が記載されない算出不可事業は 50 事業であり、軒付数量が掲載される実績報告書の約 1/3 程度は算出が不可能な数量である。そのため、今後の軒付異種材料の需要量予測においては、材種毎に過去 28 年の年平均使用量以上の需要を見込む必要がある。また、今後、実態数量を明らかにしていくためには、実績報告書の数量算出記載内容の見直し(縄締め長さ等、束の単位条件明記)を図ることが必要と考えられる。

《地域別需要量：図 5-11 参照》

山茅、ヨシは、全地域で需要が予測される。こけら葺や檜皮葺のように、地域によって突出した需要はみられないが、山茅は地域 1、2、4 で大きな需要が予測された。ヨシは、特に地域 3 で需要が少なく、その他の地域は大きな差はみられない。その他の材種は、使用されている地域が限定され、シマ茅は地域 2 のみ、カリヤスは地域 1 のみ、オギは地域 2 のみで需要が予測された。

今後、これらの地域別予測需要量を基に、地域ごとの供給実態を把握の上、安定的な需給体制の構築が必要である。

《予測需要量推移：図 5-12 参照》

予測需要量推移グラフより、年度ごとに使用量の大きなばらつきが予測された。

実態予測建物は、過去の屋根工事期間に合わせて使用量を分散させているため、使用量の波は、H1-28年の年度別実態推移よりも、若干押さえられている。しかし、2026年など、特に多い年度があり、年度ごとの使用量のばらつきは大きい。

推定予測建物においても、若干の使用量の波が確認された。推定予測建物の予測工事年は、文化財指定年を基準年として、その基準年から設定周期で工事を実施されるものと予測している。そのため、指定年が同じ場合は、次回修理年も同じ年度に予測されることになる。

以上より、今後の予測においては、各年度の需要量を、年間予測需要量である山茅 35, 123. 49 束、ヨシ 5, 554. 47 束、シマ茅 948. 78 束、カリヤス 238. 96 束、オギ 234. 98 束程度を目安に、修理建物の工事年調整が必要である。修理後の経過年や、劣化状況を把握し、中長期的な修理計画(大規模建物の材料調達を複数年に分散して備蓄など)を策定し、安定的な需要量となるように、修理時期を調整する必要がある。

## 第6章 まとめ

### 1 調査結果総括

本事業では、植物性屋根を有する国宝・重要文化財建造物を対象とし、過去の実績報告書調査(檜皮葺：S60-H29年度、こけら葺、とち葺、板葺、杉皮葺、茅葺：H1-28年度)により、屋根面積や屋根材料の実態需要量を把握の上、将来の長期需要量を予測した。平成29年度までに指定されている国宝・重要文化財建造物(4,935棟)のうち、植物性屋根を有する建物は1,650棟存在している。屋根種別内訳は、木材板類(こけら葺、とち葺、板葺)：411棟、樹皮類(檜皮葺、杉皮葺)：831棟、草本類(茅葺)：408棟である。予測建物は、本業務において実績報告書調査を行ったか否かで、大きく2つのグループに分けて予測した。1つは、H1-28年(檜皮のみS60-H29)に保存修理工事が実施された建物で、実績報告書に記載される数値や仕様を基にして予測する建物(以下、実態予測建物)。もう1つは、H1-28年(檜皮のみS60-H29)に保存修理工事が実施されていない建物、或いは実績報告書調査対象だが未収集の建物で、屋根面積を基に使用量や材料等を設定して推定予測する建物(以下、推定予測建物)である[P62]。実態予測建物は1,174棟、推定予測建物は476棟となる(実態予測建物の割合は、予測棟数1650棟の約7割)。

以下に、屋根種別ごとに過去実績と長期需要予測の調査結果を整理する。

#### (1) こけら葺、とち葺、板葺

##### (1)-1 過去実績(H1-28)調査結果

###### **集計結果(実態：こけら葺・とち葺・板葺)**

こけら葺、とち葺、板葺の28年間の材種別使用量合計[P23]は、サワラ 2,304.77 m<sup>3</sup>、スギ 622.61 m<sup>3</sup>で、木材薄板類の9割以上を占めており、その殆どがこけら葺として使用されている。その他の材種はヒバ128.03 m<sup>3</sup>、クリ107.49 m<sup>3</sup>、コウヤマキ3.28 m<sup>3</sup>で、全体的には非常に微量であった。また、ヒバの使用は北海道、青森のみで、コウヤマキの使用は宮崎の1棟のみであった。

28年間の材種別使用量合計より算出した年平均使用量は、サワラ 82.31 m<sup>3</sup>、スギ 22.24 m<sup>3</sup>、ヒバ 4.57 m<sup>3</sup>、クリ 3.84 m<sup>3</sup>であった。なお、災害復旧工事の年平均使用量割合は、サワラが約1.5%、スギが約0.4%であった。

28年間の屋根葺替面積は、サワラ 50,054.69 m<sup>2</sup>、スギ 14,089.99 m<sup>2</sup>、ヒバ 2,045.80 m<sup>2</sup>、クリ 2,740.00 m<sup>2</sup>、コウヤマキ 56.40 m<sup>2</sup>であった。屋根葺替面積の総合計は 68,986.88 m<sup>2</sup>であり、年平均屋根葺替面積は 2,463.82 m<sup>2</sup>であった。

## 考察(実態：こけら葺・とち葺・板葺)

### 《実態使用量について》

- ・地域別<sup>1)</sup>使用量[P24]は、サワラ、スギは、全地域で使用されているが、サワラは地域4が1,182.57 m<sup>3</sup>で、全サワラ使用量の約5割が使用されている。これは地域4の所在棟数の多さによるものである[P14]。その他の材種は、使用されている地域が限定され、ヒバは地域1のみ、クリは地域1、2、4のみ、コウヤマキは地域3のみで使用され、地場の木材が使用されたことによる地域性と考えられた。
- ・年度別使用量推移[P25]は、H8年、H10年、H11年、H19年の使用量が年間150 m<sup>3</sup>以上の突出した使用量となり、年度毎の使用量にばらつきが確認された。使用量が突出した年度には、妙心寺(京都)の屋根面積1,000 m<sup>2</sup>を超える大規模な建物の工事や、瑞龍寺(富山)などの1事業で複数棟の工事が行われているものが影響していると判断された。また、サワラとスギはほとんどの年度で継続的に使用されているが(サワラは毎年)、その他材種のヒバ、クリ、コウヤマキは、一部の年だけの需要であるため、修理年に合わせた計画的な材料確保が必要と考えられた。
- ・災害復旧工事の使用量は非常に微量であり、28年間の合計使用量及び年平均使用量に大きな影響はない。ただし、災害内容はほぼ台風によるものである。近年は台風が増加傾向にあるとともに、強風化の傾向も報告されており、台風被害に対する災害復旧使用量の確保が必要と考えられた。

#### 1) 地域別分類

- 地域1(日本海側気候) : 北海道西北半・青森県・秋田県・山形県・新潟県・富山県・石川県・福井県・鳥取県・島根県
- 地域2(太平洋側気候1) : 北海道東南半・岩手県・宮城県・茨城県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・静岡県・愛知県・三重県
- 地域3(太平洋側気候2) : 和歌山県・徳島県・高知県・福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・宮崎県・鹿児島県
- 地域4(内陸性気候) : 福島県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・岐阜県・滋賀県・京都府・奈良県
- 地域5(瀬戸内海気候) : 大阪府・兵庫県・岡山県・広島県・山口県・香川県・愛媛県・大分県

### 《全面葺替周期平均》

- ・実績報告書調査より算出した全面葺替周期の平均は、こけら葺30年、とち葺32年、板葺22年であった[P67]。この周期平均は、こけら葺128回、とち葺7回、板葺13回の工事履歴による平均である。これらの平均周期を今後の予測周期として採用した。なお、実績報告書調査を実施したH1-28年は、葺込銅板の設置事例にムラがみられ、正確な周期を分析するデータの収集が困難な状態であったため、上記の周期は葺込銅板の有無に関わらず算出した平均周期である。葺込銅板の設置状況、効果、施工実態については[P34-35]に記した。

#### (1)-2 長期需要予測調査結果

### 集計結果(予測：こけら葺・とち葺・板葺)

木材薄板類の全面葺替周期をこけら葺30年、とち葺32年、板葺22年として予測した。予測期間は、2019年度を開始年とし、2062年度までを予測した。その結果[P77]、予測の年平均は、葺替面積が2,932.32 m<sup>2</sup>、使用量がサワラ102.52 m<sup>3</sup>、スギ26.31 m<sup>3</sup>、ヒバ6.18 m<sup>3</sup>、クリ6.15 m<sup>3</sup>、コ



ウヤマキ 0.12 m<sup>3</sup>であった(災害復旧工事を含む)。コウヤマキ以外は、それぞれ過去 28 年間の年平均実態使用量よりも、予測量が約 1.2～3 倍程度多い結果が出た。

木材薄板類 こけら葺・とち葺・板葺	葺替面積	サワラ 使用量	スギ 使用量	ヒバ 使用量	クリ 使用量	コウヤマキ 使用量
1年あたりの実態平均 (H1-28)	2,463.82 m <sup>2</sup>	82.31 m <sup>3</sup>	22.24 m <sup>3</sup>	4.57 m <sup>3</sup>	3.84 m <sup>3</sup>	0.12 m <sup>3</sup>
1年あたりの予測平均 (周期：こけら葺 30年、とち葺 32年、板葺 22年)	2,932.32 m <sup>2</sup>	102.52 m <sup>3</sup>	26.31 m <sup>3</sup>	6.18 m <sup>3</sup>	6.15 m <sup>3</sup>	0.12 m <sup>3</sup>

#### 考察(予測：こけら葺・とち葺・板葺)

##### 《予測使用量について》

- ・予測需要量が増えた要因は、予測周期を H1-28 実績 DB の平均周期(こけら葺 30 年、とち葺 32 年、板葺 22 年)としたため、今まで修理が行われていない建物や、周期が長くなっていた建物などの周期を早めたことによるものと考えられた。ただし、推定予測建物の材種は、H1-28 年の実態より設定した地域別材種割合を乗じて算出した推定値(879.26 m<sup>3</sup>分)であり、今後これらの材種不明建物については、修理工事の際に材種を明らかにし、実態に即した材種使用量へと更新していく必要がある。
- ・地域別使用量[P78]は、サワラ、スギは、全地域で使用され、サワラの年平均使用量は予測棟数及び屋根面積が多い地域 4 が 55.14 m<sup>3</sup>であり、全体のサワラ予測需要量のうち、約 5 割が地域 4 の需要量となる。その他の材種は、クリが地域 1、2、4 のみ、ヒバが地域 1 のみ、コウヤマキが地域 3 のみで使用されるため、今後は地域別予測需要量を基に、地域ごとの供給実態を把握の上、安定的な需給体制の構築が必要である。
- ・予測使用量推移[P79]は、年度ごとに使用量の波が予測された。実態予測建物は、H1-28 年の年度別実態推移よりも、若干押さえられているが、2026 年など特に多い年度や、その他極端に少ない年度などが見られた。推定予測建物は、文化財指定年を基準年として、その基準年から設定周期で工事が実施されるものと予測しているため、複数棟が同時に指定された場合などに特に使用量の波が大きく予測された。
- ・今後は、年間予測需要量である サワラ 102.52 m<sup>3</sup>、スギ 26.31 m<sup>3</sup>、ヒバ 6.18 m<sup>3</sup>、クリ 6.15 m<sup>3</sup>、コウヤマキ 0.12 m<sup>3</sup>程度(葺替面積 2,932.32 m<sup>2</sup>程度)を目安に、修理建物の工事年調整が必要である。修理後の経過年や、劣化状況を把握し、中長期的な修理計画(同一敷地内の建物群の修理を分散、大規模建物の材料調達を複数年に分散して備蓄など)を策定し、安定的な需要量となるように、修理時期を調整する必要がある。

## (2) 檜皮葺

### (2)-1 過去実績 (S60-H29) 調査結果

#### 集計結果(実態：檜皮葺)

檜皮葺の 33 年間の部位別使用量合計[P38]は、平葺 479,554.44 束、軒付及び品軒 227,301.11 把、上目皮 141,083.23mであった。33 年間の部位別使用量合計より算出した年平均使用量は、平葺 14,531.95 束、軒付及び品軒 6,887.91 把、上目皮 4,275.24mであった。33 年間で施工された屋根葺替面積(平葺面積)の総合計は 105,279.71 m<sup>2</sup>、年平均屋根葺替面積は 3,190.29 m<sup>2</sup>であった。また、年平均使用量のうち、災害復旧工事の年平均使用量割合は、平葺 6.7%、軒付及び品軒 5.2%、上目皮 5.1%であった。

#### 考察(実態：檜皮葺)

##### 《実態使用量について》

- ・地域別使用量[P39]は、全地域で需要が確認されるが、地域 4 が平葺 284,228.94 束(平葺面積 62,352.51 m<sup>2</sup>)で、全平葺使用量の約 6 割が使用されている。これは地域 4 の所在棟数の多さによるものである[P14]。
- ・年度別使用量推移[P41]は、H1 年、H11 年、H20 年、H28 年の平葺使用量が年間 30,000 束程度となる突出した使用量となり、年度毎に使用量のばらつきが確認された。使用量が突出した年度は、善光寺本堂、石山寺本堂、北野天満宮など、屋根面積が 1,000 m<sup>2</sup>を超える大規模な建物の工事の重なりや、賀茂御祖神社、春日大社本社など、1 事業で複数棟の工事が行われているものが影響していると判断された。なお、平成 13~17 年度に実施された「ふるさと文化財の森構想調査」において、平成 11 年頃には檜皮不足が指摘されていることから、平成 11 年の平葺 30,244.10 束、葺替面積 6,643.03 m<sup>2</sup>は、限度を超えた事業量であった可能性が考えられた。
- ・災害復旧工事の使用量は非常に微量であり、33 年間の合計使用量及び年平均使用量に大きな影響はない。ただし、災害内容はほぼ台風によるものである。近年は台風が増加傾向にあるとともに、強風化の傾向も報告されており、台風被害に対する災害復旧使用量の確保が必要と考えられた。

##### 《全面葺替周期平均》

- ・実績報告書調査より算出した、檜皮葺の全面葺替周期平均は 33 年であった[P71]。この周期平均は、461 回の工事履歴による平均である。周期 33 年を今後の予測周期として採用した。



## (2)-2 長期需要予測調査結果

### 集計結果(予測：檜皮葺)

檜皮葺全面葺替周期を33年として予測した。予測期間は、2019年度を開始年とし、2084年度までを予測した。その結果[P82]、予測の年平均は、葺替面積が4,328.24㎡、使用量が平葺19,709.59束、軒付・品軒9,144.58把、上目皮5,393.71mであった(災害復旧工事を含む)。過去33年間の年平均実態使用量よりも、予測使用量が約1.3倍程度多い結果が出た。

檜皮葺	葺替面積	平葺使用量	軒付・品軒使用量	上目皮使用量
1年あたりの 実態平均 (S60-H29)	3,190.29㎡	14,531.95束	6,887.91把	4,275.24m
1年あたりの 予測平均 (周期33年)	4,328.24㎡	19,709.59束	9,144.58把	5,393.71m

### 考察(予測：檜皮葺)

#### 《予測使用量について》

- ・予測使用量が増えた要因は、予測周期をS60-H29実績DBの平均周期33年としたため、今まで修理が行われていない建物や、周期が長くなっていた建物などの周期を早めたことによるものと考えられた。
- ・地域別使用量[P83]は、全地域で需要が確認されるが、年平均使用量は地域4が平葺11,338.46束、軒付及び品軒5,398.42把、上目皮3,231.59mであり、予測需要量が最も多く、突出した数値を示した。これは、全体の予測需要量のうち、約6割が地域4の需要量となる。予測棟数及び屋根面積の多さからも明らかである。今後、これらの地域別予測需要量を基に、地域ごとの供給実態を把握の上、安定的な需給体制の構築が必要である。
- ・予測使用量推移[P85]は、年度ごとに使用量の波が予測された。実態予測建物は、S60-H29年の年度別実態使用量よりも、若干押さえられているが、大きな波はほぼ変わらない。推定予測建物は、特に使用量の波が大きい。推定予測建物は、文化財指定年を基準年として、その基準年から設定周期で工事が実施されるものと予測しているため、複数棟が同時指定された場合など、特に使用量の波が大きく予測された。推定使用量の大きい2033年は、賀茂別雷神社7棟に加え、屋根面積300㎡を超える建物の指定年が複数重なったことが要因となり、実態予測使用量とほぼ同じ値(平葺12,000束程度)が推定使用量として予測される結果となった。
- ・今後は、年間予測需要量である平葺19,709.59束、軒付・品軒9,144.58把、上目皮5,393.71m程度(葺替面積4,328.24㎡程度)を目安に、修理建物の工事年調整が必要である。修理後の経過年や、劣化状況を把握し、中長期的な修理計画(同一敷地内の建物群の修理を分散、大規模建物の材料調達を複数年に分散して備蓄など)を策定し、安定的な需要量となるように、修理時期を調整する必要がある。

### (3) 杉皮葺

杉皮葺は、平葺の単位は「束」で算出されていたが、束の単位条件が記載されている建物は一部であった。また、束の単位条件は、建物の屋根仕様によって設定されているものと考えられ、建物それぞれで異なっていた。これらの実績報告書の情報では、集計として使用量を計上することが困難と判断されたため、屋根面積の算出とした[P36]。

#### (3)-1 過去実績 (H1-28) 調査結果

##### 集計結果(実態：杉皮葺)

杉皮葺の28年間に施工された屋根葺替面積の総合計は1863.70㎡、年平均屋根葺替面積は66.56㎡であり、工事履歴は5履歴であった[P40]。

##### 考察(実態：杉皮葺)

###### 《実態使用量(面積)について》

- ・杉皮葺を有する建物は非常に少なく、28年間で工事が行われた建物は、旧呉服座(愛知)、佐々木家住宅(島根)、長岳寺地藏院庫裏(奈良)、旧黒澤家住宅土蔵(秋田)のみであり、そのうち旧呉服座(愛知)が2回の工事が行われている。なお、杉皮葺において、災害復旧工事はない。
- ・年度別葺替面積推移[P43]においては、該当する工事のみに需要がみられる状況であり、実状は毎年継続的な需要がない。

###### 《全面葺替周期平均》

- ・実績報告書調査より算出した、杉皮葺の全面葺替周期平均は13年であった[P71]。この周期平均は、4回の工事履歴による平均である。周期13年を今後の予測周期として採用した。

#### (3)-2 長期需要予測調査結果

##### 集計結果(予測：杉皮葺)

杉皮葺全面葺替周期を13年として予測した。予測期間は、2019年度を開始年とし、2044年度までを予測した。その結果[P88]、1年あたりの予測平均は、葺替面積177.28㎡であった。過去28年間の年平均実態よりも約2.7倍多い結果となった。

杉皮葺	葺替面積
1年あたりの実態平均(H1-28)	66.56㎡
1年あたりの予測平均(周期13年)	177.28㎡

## 考察(予測：杉皮葺)

### 《予測使用量(面積)について》

- ・予測面積が増えた要因は、予測周期を H1-28 実績 DB の平均周期 13 年としたため、今まで修理が行われていない建物や、周期が長くなっていた建物などの周期を早めたことによるものと考えられた。
- ・地域別使用量は[P89]、地域 1、2、4 で需要が確認され、過去 28 年間の実態と同じように、需要がある地域は限定される。
- ・予測面積推移[P91]は、過去 28 年間の実態と同じように、該当する工事年に大きな需要があるのみであり、毎年継続的な需要は予測されない。今後の予測は、旧呉服座(愛知)や西園院客殿(奈良)など、大きな屋根面積を有する建物の修理年に合わせ、中長期的な材料確保計画(大規模建物の材料調達を複数年に分散して備蓄など)が必要と考えられる。
- ・杉皮の予測は、過去実態の数量把握が困難であることから、使用量ではなく面積の予測としている。過去の実績報告書における杉皮の算出方法は、一式計上や束の単位条件記載なしなど、使用量として算出できないものが殆どであった。今後、実態数量を明らかにしていくためには、実績報告書の数量算出記載内容の見直し(束の単位条件明記)を図ることが必要と考えられる。

## (4) 茅葺

### (4)-1 過去実績(H1-28)調査結果

実績報告書における、茅葺使用量の算出実態は、平葺、軒付、棟に分けて算出されている。ただし、基本は屋根面積(m<sup>2</sup>)に単位使用量(束/m<sup>2</sup>)を乗じて、平葺、軒付、棟の数量を含んだ一括の数量として、平葺の項目で算出されていた(平葺範囲のみの純粋な数量ではない)。軒付が個別に算出されている場合は、平葺とは異なる材料(異種材料)が使用されている場合がほとんどであった。以下の実態集計は、平葺・棟・差茅(平葺で一括算出している軒付含む)と、個別算出されている場合の軒付で分けて集計した。

### 集計結果(実態：茅葺⇒平葺・棟・差茅)

茅葺の 28 年間の材種別使用量合計(平葺・棟・差茅) [P50]は、山茅 542,063.81 束、ヨシ 77,254.31 束であり、ヨシは山茅の約 1/7 程度の使用量であった。全体的には、山茅、ヨシが茅葺の 9 割以上を占めていた。その他の材種はシマ茅 8,642.43 束、カリヤス 3,341.50 束、オギ 2,991.88 束が使用されていたが、全体的には、非常に微量であった。28 年間の材種別使用量合計より算出した年平均使用量は、山茅 19,359.42 束、ヨシ 2,759.08 束、シマ茅 308.66 束、カリヤス 119.34 束、オギ 106.85 束であった。なお、年平均使用量のうち、災害復旧工事の年平均使用量割合は、山茅が約 2.2%、シマ茅が約 19.8%であった。シマ茅は全体使用量が少ないため、材種別の災害復旧工事使用量割合としては多めとなった。

28年間の屋根葺替面積は、山茅 90,094.35 m<sup>2</sup>、ヨシ 12,110.66 m<sup>2</sup>、シマ茅 1,126.00 m<sup>2</sup>、カリヤス 558.33 m<sup>2</sup>、オギ 481.82 m<sup>2</sup>であり、全材種の屋根葺替面積の総合計は 104,371.16 m<sup>2</sup>であり、年平均屋根葺替面積は 3,727.54 m<sup>2</sup>であった。

28年間の屋根差茅面積は、山茅 20,738.58 m<sup>2</sup>、ヨシ 4,066.16 m<sup>2</sup>、シマ茅 848.44 m<sup>2</sup>であり、全材種の屋根差茅面積の総合計は 25,653.18 m<sup>2</sup>であり、年平均差茅面積は 916.19 m<sup>2</sup>であった。

#### 考察(実態：茅葺⇒平葺・棟・差茅)

##### 《実態使用量について》

- ・地域別使用量[P51]は、山茅、ヨシは、全地域で使用されている。山茅は地域1、2、4で大きな需要が確認され、所在棟数に比例する[P14]。ヨシは、特に地域3で需要が少なく、その他の地域は大きな差はみられない。その他の材種は、使用されている地域が限定され、シマ茅は地域2のみ(千葉、茨城)、カリヤスは地域1のみ(富山)、オギは地域2のみ(埼玉、茨城)で使用されていた。これらは、地場の茅材が使用されたことによる地域性と考えられた。
- ・年度別使用量推移[P55]は、H8年、H26年の使用量が、年間4,000束以上と突出しており、年度毎に使用量のばらつきが確認された。使用量が突出した年度は、屋根面積1,000 m<sup>2</sup>近くの大規模な建物の工事の重なりが影響していると判断された。また、山茅とヨシは、ほとんどの年度で継続的に使用されている(山茅は毎年)。しかし、その他材種のシマ茅、オギ、カリヤスは、それらが使用される棟数が少ないため、該当する工事の年のみ需要がみられる状況であった。
- ・災害復旧工事の使用量は非常に微量であり、28年間の合計使用量及び年平均使用量に大きな影響はない。ただし、災害内容はほぼ台風によるものである。近年は台風が増加傾向にあるとともに、強風化の傾向も報告されており、台風被害に対する災害復旧使用量の確保が必要と考えられた。

##### 《全面葺替周期平均》

- ・実績報告書調査より算出した、全面葺替間に1回の維持修理(全面差茅)を実施している全面葺替の周期平均は24年であった。全面葺替から維持修理までの周期平均、維持修理から全面葺替までの周期平均は、共に12年であった。この周期平均は31回の工事履歴による平均である。維持修理には茅の延命効果があるものと判断し、全面葺替周期24年とし、その間に全面差茅1回(全面葺替後12年)を今後の予測周期として採用した。葺替周期の分析は[P75-76]に記した。

#### 集計結果(実態：茅葺⇒軒付)

茅葺(軒付)は、軒付として個別に算出されている数量のみを集計した。平葺材種と異種材料だけでなく、同材種のものも一部含む数量となっている。

28年間の材種別使用量合計[P52]は、山茅 3,450.49 束、ヨシ 1970.75 束、オギ 16.00 束、麻殻 1,110.87 束、苧殻 970.39 束、稲藁 1,010.42 束、麦藁 392.18 束、藁 792.27 束であった。藁は、具体的な材種の記載がなく、藁と記載されるもののみを集計し、材種不明藁とした。山茅以外は、

平葺材とは異種材料として使用されている茅材であった。軒付の年平均使用量は、山茅 123.23 束、ヨシ 70.38 束(うち、異種材料 49.62 束)、オギ 0.57 束、麻殻 39.67 束、苧殻 34.66 束、稲藁 36.09 束、麦藁 14.01 束、藁 28.30 束であった。

#### 考察(実態：茅葺⇒軒付)

##### ＜実態使用量について＞

- ・地域別使用量[P53]は、平葺材と異種材料の軒付について考察する。地域1は全ての材種、地域4はオギ以外の材種が全て使用されていた。地域1と地域4は、所在棟数の多さに伴い、工事棟数が多いが、特に地域1においては、軒付に平葺材とは異種材料を使用している棟数割合が多い傾向にあった。また、ヨシ、苧殻は、全地域で使用されていた。その他の材種(オギ、麻殻、稲藁、麦藁)は、使用されている地域が限定され、地域5には、これらの材種は使用されていなかった。ただし、全ての軒付を算出しているわけではないため(軒付数量が掲載される実績報告書のうちの約1/3程度は算出が不可能)、軒付材種の地域傾向はあくまで参考分析とする。
- ・年度別使用量推移[P57]は平葺材と異種材料の軒付について考察する。軒付(平葺材と異種材料)は、毎年継続的な需要があるわけではなく、該当する工事の年のみ需要がみられる状況であった。そのため、軒付(平葺材と異種材料)については、修理年に合わせた中長期的な材料確保計画が必要と考えられる。平葺に対する使用量割合は微量だが、軒裏の意匠を構成する特殊材であり、今後の予測においても需要量を考慮する必要があると考えられた。

#### (4)-2 長期需要予測調査結果

茅葺の長期需要予測は軒付異種材料以外を予測した。

#### 集計結果(予測：茅葺)

茅葺全面葺替周期 24 年とし、その間に維持修理として全面差茅 1 回(全面葺替後 12 年)として予測した。予測期間は、2019 年度を開始年とし、2066 年度までを予測した。その結果[P94]、1 年あたりの予測平均は、全面葺替面積が 5,045.83 m<sup>2</sup>、全面差茅面積が 5,011.40 m<sup>2</sup>、使用量が山茅 35,123.49 束、ヨシ 5,554.47 束、シマ茅 948.78 束、カリヤス 238.96 束、オギ 234.98 束であった(災害復旧工事を含む)。それぞれ過去 28 年間の年平均実態使用量よりも、予測量が約 2 倍程度多い結果が出た。

茅葺	葺替面積	山茅 使用量	ヨシ 使用量	シマ茅 使用量	カリヤス 使用量	オギ 使用量
1年あたりの 実態平均 (H1-28)	全面葺替 3,727.54 m <sup>2</sup> 全面差茅 916.19 m <sup>2</sup>	19,359.42 束	2,759.08 束	308.66 束	119.34 束	106.85 束
1年あたりの 予測平均 (周期:全面葺替 24年、 葺替 12年度に全面差茅)	全面葺替 5,045.83 m <sup>2</sup> 全面差茅 5,011.40 m <sup>2</sup>	35,123.49 束	5,554.47 束	948.78 束	238.96 束	234.98 束

## 考察(予測：茅葺)

### 《予測使用量について》

- ・予測需要量が増えた要因は、予測周期を H1-28 実績 DB の平均周期(全面葺替 24 年、その間に 1 回全面差茅)としたため、今まで修理が行われていない建物や、周期が長くなっていた建物などの周期を早め、さらに維持修理(差茅)を予測したことによるものと考えられた。また、過去 28 年間の実態数量は、自費修理の数量は見込まれていないため、全ての建物の全面差茅を予測数量として算出したことにより、実態よりも大幅に使用量が増えたと考えられた。ただし、推定予測建物の材種は、材種不明使用量に H1-28 年の実態より設定した地域別材種棟数割合を乗じた推定値(全面葺替 1,116.48 m<sup>2</sup>、全面差茅 1,083.08 m<sup>2</sup>分)であり、今後これらの材種不明建物については、材種を明らかにし、実態に即した材種使用量へと更新していく必要がある。
- ・地域別使用量[P95]は、山茅、ヨシは、全地域で需要が予測される。山茅は地域 1、2、4 で大きな需要が予測された。ヨシは、特に地域 3 で需要が少なく、その他の地域は大きな差はみられない。その他の材種は、使用されている地域が限定され、シマ茅は地域 2 のみ、カリヤスは地域 1 のみ、オギは地域 2 のみで需要が予測された。今後、これらの地域別予測需要量を基に、地域ごとの供給実態を把握の上、安定的な需給体制の構築が必要である。
- ・予測使用量推移[P97]は、年度ごとに使用量の波が予測された。実態予測建物は、H1-28 年の年度別実態推移よりも、若干押さえられているが、2026 年など、特に多い年度があり、年度ごとの使用量のばらつきは大きい。推定予測建物は、文化財指定年を基準年として、その基準年から設定周期で工事が実施されるものと予測しているため、複数棟が同時に指定された場合は特に使用量の波が大きく予測された。
- ・今後は、年間予測需要量である山茅 35,123.49 束、ヨシ 5,554.47 束、シマ茅 948.78 束、カリヤス 238.96 束、オギ 234.98 束程度(全面葺替面積 5,045.83 m<sup>2</sup>程度、全面差茅面積 5,011.40 m<sup>2</sup>程度)を目安に、修理建物の工事年調整が必要である。修理後の経過年や、劣化状況を把握し、中長期的な修理計画(大規模建物の材料調達を複数年に分散して備蓄など)を策定し、安定的な需要量となるように、修理時期を調整する必要がある。

## 2 課題整理と将来展望

### (1) 安定的な需給体制の構築

今回の長期需要予測の結果、屋根種別毎の植物性屋根建造物の需要量が明らかになった。今後は安定的な需給体制の構築に向けて中長期修理計画を検討し、生産側と情報を共有して、今後の生産計画の目標値として活用する必要がある。また、修理時期を調整して突出する年度毎の需要量の波を押さえ、安定的な需要量に整える必要がある。併せて、推定予測建物の面積、材種等の実態を把握し、現在の予測値をより実状に近いものにすることが望まれる。なお、本業務における算出数量は、屋根に使われた数量のため、生産側と調整する際は、原木本数や茅場面積への換算を考慮する必要がある。

### (2) 茅葺軒付・杉皮の長期需要量把握

茅葺の予測は、平葺、軒付、棟の使用量を予測している。なお、軒付異種材料については、実績報告書に一式計上や束の単位条件(縄締め長さ)が記載されていないなど、過去実態の数量把握が困難であることから、数量の予測は行っていない。

杉皮の予測は、過去実態の数量把握が困難であることから、使用量ではなく面積の予測としている。実績報告書における杉皮は、一式計上や束の単位条件が記載されないなど、使用量として算出できないものが殆どであった。

今後、実態数量を明らかにしていくためには、実績報告書の数量算出記載内容の見直し(縄締め長さ等、束の単位条件の明記)を図ることが必要と考えられる。

### (3) 土居葺の需要量把握

今回の長期需要予測の対象は、仕上として葺かれている木材薄板(こけら葺、とち葺、板葺)のみであり、瓦下等に葺かれる土居葺は対象外としている。

土居葺の葺替周期はそれ自体の耐久性ではなく、建物の解体修理や仕上げ材(瓦、金属など)の葺替周期が影響する。さらに雨漏りの有無や木部の破損状況などにより仕上げ材葺替時の修理範囲は影響を受ける。以上より土居葺の周期を予測することは困難であり、使用量の把握は別途考察する必要がある。

### (4) 木材薄板類の葺替周期

精度の高い周期予測を行うためには、材厚(こけら、とち)及び材種(サワラ、スギ等)の差や組み合わせについても考慮しなければならないが、サンプル数が少ない分類については、個別の対応が可能と判断される。

次に、本事業にて実態分析を行った平成元年から平成28年までの実績報告書では、まだ葺込銅板の設置事例にムラがみられ、葺替平均周期については葺込銅板の有無にかかわらない周期としているが、近年、ほとんどの建物において葺込銅板が使用されており、葺込銅板を使用した事例が整った段階で、再度、葺替周期について明らかにしていく必要がある。

また、近年の葺込銅板施工実態としては、銅板を平葺板先端より6mm出す、平葺板先端に揃える、平葺板先端より15mm内側に施す、銅線を使用する等、様々な方法が建物ごとに実施されている状況



にある。こけら葺における銅板の防腐効果等の研究が進んでいるが、今後においては、素材の選定(銅板 or 銅線)、設置位置、さらには屋根面を考慮した設置位置についても、その効果を明らかにするための調査が必要と考えられる。

#### **(5) データベースの更新**

本業務において、上記のような課題が明らかになり、継続的な情報収集、データ化作業が望まれる。今後において、(2)～(4)についての新たな情報収集が可能になった際は、本データベースの更新作業を行い、需要予測量の精度を上げていくことが今後期待される。



## 卷末資料1 実績報告書調査リスト(H1-28)

— 文化財保存修理用資材(植物性屋根)の長期需要予測(国産良質材使用推進・供給地活性化事業) —

年 度	区 分	番 号	県 別	名 称	棟 数	年 度	区 分	番 号	県 別	名 称	棟 数
平成元		3	茨城	鹿島神宮本殿, 石の間	2	平成2		20	愛知	大縣神社本殿, 祭文殿及び 東西回廊	2
平成元		10	神奈川	臨春閣, 月華殿, 旧東慶寺 仏殿	5	平成2		21	愛知	万徳寺多宝塔, 鎮守堂	2
平成元		11	新潟	旧長谷川家住宅主屋他 4 棟	5	平成2		22	愛知	幡頭神社本殿	1
平成元		12	富山	雄山神社前立社壇本殿	1	平成2		23	滋賀	長命寺本堂, 三重塔	2
平成元		14	愛知	尾張大國霊神社楼門	1	平成2		25	滋賀	神田神社本殿	1
平成元		15	愛知	八幡宮本殿(豊川)	1	平成2		26	滋賀	大行社本殿	1
平成元		16	三重	猪田神社本殿	1	平成2		28	兵庫	長谷寺妙見堂	1
平成元		17	滋賀	園城寺唐院大師堂他 2 棟	3	平成2		30	奈良	西田家住宅	1
平成元		18	滋賀	豊満神社四脚門	1	平成2		31	奈良	夜支布山口神社撰社立替 神社本殿	1
平成元		19	滋賀	伊砂砂神社本殿	1	平成2		32	奈良	室生寺金堂	1
平成元		21	京都	真珠庵通仙院	1	平成2		34	島根	旧道面家住宅	1
平成元		22	京都	松尾神社本殿(山城町)	1	平成2		36	広島	奥家住宅	1
平成元		23	大阪	建水分神社本殿(3 棟)	3	平成2		37	高知	山中家住宅	1
平成元		26	兵庫	戸隠神社本殿	1	平成2		38	福岡	大宰府天満宮本殿, 末社志賀社本殿	2
平成元		28	奈良	岡寺書院	1	平成2		39	福岡	旧数山家住宅	1
平成元		31	奈良	高山八幡宮本殿	1	平成3		1	栃木	旧羽石家住宅	1
平成元		33	和歌山	白岩丹生神社本殿	1	平成3		3	新潟	旧目黒家住宅主屋他	3
平成元		34	鳥取	門脇家住宅	1	平成3		4	新潟	渡辺家住宅主屋	1
平成元		35	岡山	本山寺三重塔	1	平成3		6	福井	妙楽寺本堂	1
平成元		37	広島	竹林寺本堂	1	平成3		7	長野	旧横田家住宅主屋他	5
平成元		38	香川	金刀比羅宮表書院	1	平成3		9	愛知	信光明寺観音堂	1
平成元		40	愛媛	真鍋家住宅	1	平成3		13	京都	本願寺玄閣, 浪之間, 虎之間, 太鼓之間他	2
平成元		43	福岡	永沼家住宅	1	平成3		14	京都	九手神社本殿	1
平成2		1	岩手	旧後藤家住宅	1	平成3		15	大阪	中家住宅	1
平成2		3	宮城	洞口家住宅主屋附表門, 附馬屋	2	平成3		16	大阪	水無瀬神宮茶室	1
平成2		4	宮城	高蔵寺阿弥陀堂	1	平成3		18	奈良	興福院客殿	1
平成2		5	宮城	旧佐藤家住宅	1	平成3		19	奈良	春日神社本殿	1
平成2		6	茨城	小山寺三重塔	1	平成3		20	奈良	長尾神社本殿	1
平成2		7	茨城	佐竹寺本堂	1	平成3		22	和歌山	三郷八幡神社本殿	1
平成2		10	新潟	弥彦神社境内末社十柱神 社社殿	1	平成3		23	島根	清水寺本堂	1
平成2		11	富山	岩瀬家住宅	1	平成3		24	広島	厳島神社本社本殿他	3
平成2		12	石川	妙成寺五重塔	1	平成3		25	広島	荒木家住宅	1
平成2		13	福井	大滝神社本殿及び拝殿	1	平成3		29	大分	行徳家住宅	1
平成2		14	山梨	窪八幡神社撰社若宮八幡神社 本殿, 末社武内大神本殿	2	平成3		30	宮崎	旧黒木家住宅	2
平成2		15	山梨	雲峰寺書院	1	平成3	屋根葺	1	福島	旧五十嵐家住宅	1
平成2		19	静岡	寶林寺仏殿, 方丈	2	平成3	屋根葺	2	東京	観音寺本堂他	2

年 度	区 分	番 号	県 別	名 称	棟 数	年 度	区 分	番 号	県 別	名 称	棟 数
平成3	屋根葺	3	愛知	金蓮寺弥陀堂	1	平成5		5	茨城	山本家住宅	1
平成3	屋根葺	4	広島	沼名前神社能舞台	1	平成5		7	群馬	富沢家住宅	1
平成3	屋根葺	5	山口	今八幡宮本殿他	3	平成5		8	埼玉	旧新井家住宅	1
平成3	災害	4	秋田	天徳寺本堂他	2	平成5		9	神奈川	円覚寺舍利殿	1
平成3	災害	5	秋田	旧黒澤家住宅主屋他	2	平成5		11	富山	旧嶋家住宅	1
平成3	災害	11	石川	喜多家住宅表門他	2	平成5		12	福井	旧瓜生家住宅	1
平成3	災害	21	島根	菅田庵及び向月亭	1	平成5		14	山梨	穴切大神社本殿	1
平成3	災害	41	熊本	桑原家住宅	1	平成5		15	山梨	山梨岡神社本殿	1
平成4		2	秋田	波字志別神社神楽殿	1	平成5		16	長野	八幡神社本殿, 摂社諏訪神社本殿	2
平成4		3	秋田	旧奈良家住宅	1	平成5		18	岐阜	旧遠山家住宅	1
平成4		4	山形	本山慈恩寺本堂	1	平成5		19	静岡	臨濟寺本堂	1
平成4		5	福島	相馬中村神社本殿・幣殿・ 拝殿	1	平成5		20	静岡	霊山寺仁王門	1
平成4		6	福島	旧滝沢本陣横山家住宅 主屋,座敷	2	平成5		23	愛知	定光寺本堂	1
平成4		7	栃木	岡本家住宅主屋	1	平成5		25	愛知	足助八幡宮本殿	1
平成4		8	群馬	旧茂木家住宅	1	平成5		26	滋賀	日吉大社西本宮本殿 及び拝殿 本殿他2棟	3
平成4		10	千葉	飯高寺鐘楼,鼓楼	2	平成5		27	滋賀	八坂神社本殿 (儀俄大宮)	1
平成4		12	山梨	旧平田家住宅	1	平成5		28	滋賀	旧宮地家住宅	1
平成4		14	山梨	清白寺仏殿	1	平成5		29	京都	高台寺霊屋他4棟	5
平成4		18	滋賀	苗村神社西本殿他	3	平成5		30	京都	御香宮神社本殿	1
平成4		19	滋賀	白山神社拝殿	1	平成5		31	京都	清水寺西門	1
平成4		20	京都	仁和寺鐘楼他	3	平成5		32	京都	浄土院養林庵書院	1
平成4		21	大阪	奥田家住宅主屋他	7	平成5		34	京都	小林家住宅主屋,小屋	2
平成4		24	和歌山	宝来山神社本殿(4棟)	4	平成5		35	大阪	住吉大社本殿(4棟) 他1棟	5
平成4		25	島根	日御碕神社日沉宮(下の宮), 楼門,廻廊,禊所	3	平成5		37	兵庫	高売布神社本殿	1
平成4		26	岡山	林家住宅主屋	1	平成5		39	奈良	圓成寺春日堂,白山堂	2
平成4		28	愛媛	大山祇神社本殿(宝殿), 拝殿	2	平成5		40	和歌山	丹生都比売神社楼門	1
平成4		29	滋賀	西徳寺本堂	1	平成5		41	和歌山	慈尊院弥勒堂	1
平成4	屋根葺	1	奈良	長弓寺本堂	1	平成5	災害	44	広島	巖島神社本社本殿, 附不明門,他26棟	27
平成4	災害	1	青森	岩木山神社本殿他	2	平成5		46	高知	朝倉神社本殿	1
平成4	災害	2	石川	妙成寺書院	1	平成5		50	大分	宇佐神宮本殿	1
平成4	災害	3	石川	気多神社本殿他	2	平成6		2	山形	観音寺観音堂	1
平成4	災害	9	山口	正八幡宮本殿他	3	平成6		3	茨城	鹿島神宮拝殿他3棟	4
平成4	災害	11	山口	關伽井坊多宝塔	1	平成6		4	栃木	綱神社本殿,摂社大倉神 社本殿	2
平成5		1	秋田	神明社観音堂	1	平成6		7	新潟	平等寺薬師堂	1
平成5		2	福島	奥之院弁天堂	1	平成6		8	新潟	北條家住宅	1
平成5		3	福島	円満寺観音堂	1	平成6		9	富山	武田家住宅	1

年 度	区 分	番 号	県 別	名 称	棟 数	年 度	区 分	番 号	県 別	名 称	棟 数
平成6		10	富山	浮田家住宅主屋他2棟	3	平成7		23	山梨	熊野神社拝殿	1
平成6		11	石川	大乘寺仏殿	1	平成7		28	岐阜	明鏡寺観音堂	1
平成6		12	石川	時国家住宅	1	平成7		29	岐阜	大矢田神社本殿, 拝殿	2
平成6		14	福井	旧橋本家住宅	1	平成7		30	岐阜	荒城神社本殿	1
平成6		16	長野	新海三社神社三重塔	1	平成7		32	静岡	大鐘家住宅長屋門	1
平成6		17	長野	若一王子神社本殿	1	平成7		33	愛知	尾張大國霊神社拝殿	1
平成6		18	長野	竹ノ内家住宅	1	平成7		34	愛知	伊賀八幡宮拝殿, 隨身門	2
平成6		19	岐阜	日吉神社三重塔	1	平成7		35	愛知	服部家住宅主屋他1棟, 宅地	1
平成6		22	三重	庫藏寺本堂	1	平成7		38	滋賀	大野神社楼門	1
平成6		23	滋賀	辻家住宅主屋	1	平成7		39	京都	本願寺飛雲閣, 浴室(黄鶴 台)附廻廊	2
平成6		27 ◎	京都	春日神社本殿	1	平成7		40	京都	妙喜庵書院及び茶室(待庵)	1
平成6		28	京都	白山神社本殿	1	平成7		41	京都	智恩寺多宝塔	1
平成6	災害	29	京都	金胎寺多宝塔	1	平成7		42	京都	泉涌寺開山塔及び開山堂 開山堂	1
平成6		30	大阪	金剛寺御影堂	1	平成7		50	和歌山	普賢院四脚門他2棟	3
平成6		31	大阪	巖島神社末社春日神社本 殿	1	平成7		51	鳥取	大山寺阿弥陀堂	1
平成6		33	奈良	丹生神社本殿	1	平成7	災害	54	島根	日御崎神社神の宮(上の 宮)宝庫	1
平成6		34	和歌山	野上八幡宮本殿他2棟	3	平成7		55	島根	美保神社本殿	1
平成6		35	鳥取	大神山神社奥宮本殿・幣 殿・拝殿他1棟	2	平成7		57	山口	住吉神社拝殿	1
平成6		39	愛媛	豊島家住宅主屋	1	平成7		58	山口	古熊神社本殿	1
平成6		40	愛媛	石手寺鐘楼他1棟	2	平成7		60	徳島	小采家住宅	1
平成6		41	高知	国分寺金堂	1	平成7		61	香川	細川家住宅	1
平成6		43	宮崎	旧藤田家住宅	1	平成7		62	福岡	香椎宮本殿	1
平成7		2	岩手	旧中村家住宅	3	平成7		63	福岡	宗像大社辺津宮拝殿	1
平成7		3	秋田	草薨家住宅主屋, 土間	2	平成7		65	熊本	青蓮寺阿弥陀堂	1
平成7		6	福島	飯野八幡宮本殿	1	平成7		67	大分	旧矢羽田家住宅	1
平成7		8	茨城	善光寺楼門	1	平成7		68	鹿児島	二階堂家住宅	1
平成7		9	茨城	坂野家住宅主屋, 表門	2	平成8		1	北海道	旧三戸部家住宅	1
平成7		10	栃木	荒井家住宅主屋	1	平成8		2	青森	旧笠石家住宅	1
平成7		11	栃木	西明寺楼門	1	平成8		3	青森	江渡家住宅	1
平成7		12	群馬	薬師堂	1	平成8		6	福島	旧五十嵐家住宅	1
平成7		13	千葉	宝珠院観音堂	1	平成8		7	茨城	旧飛田家住宅	1
平成7		17	神奈川	旧石井家住宅	1	平成8		8	群馬	阿久沢家住宅	1
平成7		18	新潟	護徳寺観音堂	1	平成8		9	千葉	旧尾形家住宅	2
平成7		20	新潟	渡辺家住宅主屋, 附塀	1	平成8		10	千葉	栄福寺薬師堂	1
平成7		21	石川	黒丸家住宅主屋	1	平成8		11	千葉	泉福寺薬師堂	1
平成7		22	福井	坪川家住宅	1	平成8		15	神奈川	旧矢籠原家住宅	1

年 度	区 分	番 号	県 別	名 称	棟 数	年 度	区 分	番 号	県 別	名 称	棟 数
平成8		16	富山	瑞龍寺山門他7棟	8	平成9		10 ◎	福井	神宮寺本堂, 仁王門	2
平成8		17	富山	羽馬家住宅	1	平成9		11	長野	八幡社境内神社高良社本殿(旧八幡社本殿)	1
平成8		18	富山	護国八幡宮本殿, 拜殿及び幣殿	2	平成9		12	岐阜	安国寺経蔵	1
平成8		20	山梨	慈眼寺庫裏	1	平成9		13	岐阜	新長谷寺釈迦堂他5棟	6
平成8		22	山梨	八代家住宅	1	平成9		14	愛知	旧呉服座	1
平成8		23	山梨	門西家住宅	1	平成9		15	愛知	富吉建速神社本殿 八剱社本殿	2
平成8		24	山梨	善光寺本堂	1	平成9		16	滋賀	油日神社本殿, 拜殿	2
平成8		25	長野	小松家住宅	1	平成9		17	滋賀	日吉神社本殿	1
平成8		26	岐阜	旧大戸家住宅	1	平成9		18	滋賀	甲良神社権殿	1
平成8		27	岐阜	日竜峯寺多宝塔	1	平成9		20 ◎	京都	伊佐家住宅主屋, 長蔵	2
平成8		28	静岡	智満寺本堂	1	平成9		21	京都	八坂神社末社蛭子社社殿	1
平成8		29	静岡	友田家住宅	1	平成9		22	京都	御霊神社本殿	1
平成8		31	愛知	熊谷家住宅	1	平成9		23	京都	大福光寺多宝塔	1
平成8		32	三重	大村神社宝殿	1	平成9		24	兵庫	古井家住宅	1
平成8		35	滋賀	春日神社本殿	1	平成9		27	和歌山	雨錫寺阿弥陀堂	1
平成8		38	京都	曼殊院本堂, 書院, 庫裏	3	平成9		29	岡山	総社本殿	1
平成8		39	京都	妙法院大書院	1	平成9		33	徳島	三木家住宅	1
平成8		40 ◎	京都	本願寺北能舞台	1	平成9		34	香川	小比賀家住宅	2
平成8		41	京都	三宝院唐門	1	平成9		35	熊本	山田大王神社本殿, 拜殿及び び神供所	2
平成8		42	大阪	長野神社本殿	1	平成9		36	大分	薦神社神門	1
平成8		44	和歌山	鞆淵八幡神社本殿・大日堂	2	平成10		3	秋田	天徳寺山門, 総門	2
平成8		45	和歌山	十三神社本殿他2棟	3	平成10		4	山形	旧松應寺観音堂	1
平成8		46	和歌山	吉祥寺薬師堂	1	平成10		5	福島	成法寺観音堂	1
平成8		48	島根	玉若酢命神社社家 億岐家住宅	1	平成10		6	茨城	八幡宮本殿	1
平成8		51	広島	巖島神社撰社天神社本殿	1	平成10	災害	7	茨城	鹿島神宮仮殿	1
平成8		52	徳島	田中家住宅	1	平成10		8	栃木	専修寺如来堂, 総門	2
平成8		53	愛媛	真鍋家住宅	1	平成10		9	埼玉	吉田家住宅	1
平成8		54	高知	不破八幡宮本殿	1	平成10		10	埼玉	広徳寺大御堂	1
平成8	災害	5	兵庫	八幡神社本殿	1	平成10		11	千葉	石堂寺薬師堂	1
平成9		2	宮城	旧中澤家住宅	1	平成10		12	神奈川	旧江向家住宅	1
平成9		3	福島	八葉寺阿弥陀堂	1	平成10		13	石川	妙成寺庫裏	1
平成9		4	栃木	三森家住宅主屋	1	平成10		14	石川	気多神社本殿, 撰社白山 神社本殿他2棟	2
平成9		5	埼玉	高麗家住宅	1	平成10		15	長野	前山寺三重塔	1
平成9		6	千葉	竜正院仁王門	1	平成10		16	長野	曾根原家住宅	1
平成9		7	新潟	旧目黒家住宅	2	平成10		18	岐阜	円鏡寺楼門	1
平成9		9	福井	飯盛寺本堂	1	平成10		19	静岡	本興寺本堂	1

年 度	区 分	番 号	県 別	名 称	棟 数	年 度	区 分	番 号	県 別	名 称	棟 数
平成10		20	愛知	財賀寺仁王門	1	平成11		29	滋賀	石山寺本堂	1
平成10		22	三重	観菩提寺本堂, 楼門	2	平成11		30	滋賀	蘆花浅水荘本屋他4棟	5
平成10		23	三重	高倉神社本殿他2棟	3	平成11		31	滋賀	小野神社境内社篁神社本殿, 飛地境内社道風神社本殿	2
平成10		24	京都	仁和寺飛瀟亭他3棟	4	平成11		32	滋賀	押立神社本殿	1
平成10		26	京都	石田家住宅	1	平成11		33	京都	北野天満宮本殿, 石の間, 拝殿及び楽の間, 中門	2
平成10		27	京都	妙喜庵書院及び茶室(待庵) 書院	1	平成11		35	京都	常寂光寺塔婆(多宝塔)	1
平成10		32	奈良	堀家住宅	1	平成11		36	京都	白山神社拝殿	1
平成10		33	奈良	大蔵寺本堂	1	平成11		37	京都	酬恩庵方丈及び玄関 方丈, 玄関	2
平成10		34	和歌山	金剛峯寺不動堂	1	平成11		38	京都	出雲大神宮本殿	1
平成10		36	岡山	吉川八幡宮本殿	1	平成11		39	京都	竜光院本堂及び盤桓廊 本堂	1
平成10		37	広島	厳島神社摂社客神社本殿, 幣殿, 拝殿	1	平成11		40	大阪	原田神社本殿	1
平成10		38	山口	瑠璃光寺五重塔	1	平成11		41	兵庫	広峯神社本殿	1
平成10		39	山口	月輪寺薬師堂	1	平成11		43	奈良	大神神社拝殿 三ツ鳥居附瑞垣	2
平成10		40	高知	土佐神社本殿, 幣殿及び 拝殿 本殿	1	平成11		45	島根	染羽天石勝神社本殿	1
平成10	災害	4	愛知	大樹寺多宝塔	1	平成11		46	島根	菅田庵及び向月亭	1
平成10	災害	13	京都	由岐神社拝殿	1	平成11		48	岡山	旧森江家住宅	1
平成10	災害	15	兵庫	旧友井家住宅	1	平成11		49	香川	神谷神社本殿	1
平成10	災害	26	奈良	霊山寺三重塔	1	平成11		50	愛媛	旧山中家住宅	1
平成10	災害	27	奈良	檀原神宮本殿, 旧織田屋形	3	平成11		51	高知	旧関川家住宅主屋	1
平成10	災害	28	奈良	談山神社神廟拜所他4棟	4	平成11	10年度 繰越分	1	滋賀	日吉大社摂社白山姫神社 本殿及び拝殿 拝殿	1
平成11		3	青森	長勝寺三門	1	平成11	10年度 繰越分	2	滋賀	延暦寺転法輪堂他3件	4
平成11		5	宮城	松本家住宅	1	平成11	10年度 繰越分	3	京都	醍醐寺開山堂, 如意輪堂	2
平成11		6	岩手	正法寺本堂他2棟	3	平成11	10年度 繰越分	4	京都	酬恩庵方丈及び玄関 方丈	1
平成11		8	栃木	入野家住宅主屋, 表門	2	平成11	10年度 繰越分	5	京都	峰定寺本堂及び供水所, 仁王門	3
平成11		11	千葉	鳳来寺観音堂	1	平成11	10年度 繰越分	6	京都	南禅寺方丈	1
平成11		12 ◎	神奈川	天授院	1	平成11	10年度 繰越分	7	京都	往生極楽院阿弥陀堂	1
平成11		13	新潟	乙宝寺三重塔	1	平成11	10年度 繰越分	8	京都	竜吟庵方丈, 表門	2
平成11		15	富山	浮田家住宅主屋	1	平成11	10年度 繰越分	12	兵庫	多田神社本殿	1
平成11		17	山梨	雲峰寺本堂, 庫裏	2	平成11	10年度 繰越分	13	奈良	中之坊書院	1
平成11		18	長野	真田信重霊屋	1	平成11	10年度 繰越分	14	奈良	長岳寺楼門他2棟	3
平成11		19	長野	仁科神明宮本殿, 中門(前 殿)・釣屋	3	平成11	災害	1	広島	旧真野家住宅	1
平成11		21	静岡	黒田家住宅長屋門	1	平成11	災害	2	広島	桂濱神社本殿	1
平成11	災害	24	愛知	高田寺本堂	1	平成11	災害	3	山口	今八幡宮本殿, 拝殿	2
平成11		25	愛知	東観音寺多宝塔	1	平成12		1	福島	旧滝沢本陣横山家住宅 主屋及び座敷	2
平成11		26	愛知	八幡宮本殿	1	平成12		2	栃木	岡本家住宅主屋	1
平成11		28	滋賀	若宮神社本殿	1	平成12		4	群馬	彦部家住宅主屋他4棟	5

年 度	区 分	番 号	県 別	名 称	棟 数	年 度	区 分	番 号	県 別	名 称	棟 数
平成12		6	神奈川	旧作田家住宅主屋及び土間	2	平成13		5	福島	八葉寺阿弥陀堂	1
平成12		7	新潟	佐藤家住宅	1	平成13		6	群馬	旧黒澤家住宅	1
平成12		8	新潟	魚沼神社阿弥陀堂	1	平成13		7	埼玉	平山家住宅	1
平成12		9	富山	雄山神社前立社壇本殿	1	平成13		8	千葉	旧御子神家住宅	1
平成12		10	福井	相木家住宅	1	平成13		11	神奈川	旧伊藤家住宅	1
平成12		11	山梨	旧高野家住宅主屋他8棟	9	平成13		13	福井	羽賀寺本堂	1
平成12		13	長野	堀内家住宅主屋及び附表門	2	平成13		16 ◎	愛知	熊谷家住宅主屋・新倉	2
平成12		14	岐阜	桑原家住宅主屋・表門・ 南土蔵及び附土塀	6	平成13		17	愛知	八幡宮本殿	1
平成12		16	静岡	江川家住宅東蔵他12棟	13	平成13		18	愛知	性海寺本堂	1
平成12		17	愛知	知立神社多宝塔	1	平成13		19	滋賀	西明寺本堂	1
平成12		19	愛知	望月家住宅主屋、釜屋	2	平成13		21	滋賀	千代神社本殿	1
平成12		20	愛知	如庵及び旧正伝院書院	2	平成13		22	滋賀	生和神社本殿	1
平成12		21	滋賀	押立神社大門	1	平成13		23	滋賀	大笹原神社境内社 篠原神社本殿	1
平成12		22	滋賀	大宝神社境内社追来神社本殿	1	平成13		24	滋賀	春日神社神門	1
平成12		23	滋賀	小津神社本殿	1	平成13		25	滋賀	日吉大社末社東照宮唐門	1
平成12		24	京都	冷泉家住宅座敷及び台所 他3棟	4	平成13		26	京都	八坂神社本殿	1
平成12		25	京都	大報恩寺本堂	1	平成13		27	京都	龍源院本堂・附玄関 及び表門	3
平成12		26	京都	福王子神社本殿・拝殿	2	平成13		28	京都	妙法院玄関	1
平成12		27	京都	三聖寺愛染堂	1	平成13		30	京都	渡邊家住宅	1
平成12		28	京都	旧岡花家住宅	1	平成13		31	京都	西翁院茶室	1
平成12		29	京都	藤森神社境内社八幡宮本殿・ 大將軍社社殿	2	平成13		32	大阪	多治速比売神社本殿	1
平成12		31	大阪	吉村家住宅主屋、表門	2	平成13		34	兵庫	船屋形	1
平成12		32	大阪	烏帽子形八幡神社本殿	1	平成13		35	奈良	春日大社撰社若宮神社本殿 及び附鳥居・瑞垣	3
平成12		33	兵庫	久久比神社本殿	1	平成13		36	奈良	圓成寺楼門	1
平成12		35	奈良	博西神社本殿	1	平成13		37	和歌山	丹生官省符神社本殿	3
平成12		36	奈良	手向山神社境内社 住吉神社本殿	1	平成13		38	和歌山	金剛三昧院経蔵・ 佐竹義重霊屋	2
平成12		37	奈良	白山神社本殿	1	平成13		40	島根	玉若酢命神社本殿・随神門・ 附旧拝殿	3
平成12		39	鳥取	矢部家住宅	1	平成13		41	島根	水若酢神社本殿	1
平成12		40	島根	神魂神社末社貴布祢稻荷 両神社本殿	1	平成13		44	香川	旧恵利家住宅	1
平成12		41	福岡	英彦山神社奉幣殿	1	平成13		46	高知	豊樂寺薬師堂	1
平成12		42	長崎	旧本田家住宅	1	平成13		50	熊本	六殿神社楼門	1
平成12		43	熊本	十島菅原神社本殿及び拝殿	2	平成13		51	大分	後藤家住宅	1
平成12		44	大分	神尾家住宅	1	平成14		1	北海道	旧笹浪家住宅主屋・土蔵	2
平成12	災害	1	奈良	室生寺五重塔	1	平成14		3	青森	津軽家霊屋環月臺他4棟	5
平成13		2	宮城	我妻家住宅板蔵	1	平成14		4	宮城	高蔵寺阿弥陀堂	1
平成13		3	秋田	赤神社五社堂	5						

年 度	区 分	番 号	県 別	名 称	棟 数	年 度	区 分	番 号	県 別	名 称	棟 数
平成14		5	秋田	旧奈良家住宅	1	平成15		4	秋田	大山家住宅	1
平成14		6	秋田	古四王神社本殿	1	平成15		5	福島	旧馬場家住宅	1
平成14		7	秋田	土田家住宅	1	平成15		6	茨城	佐竹寺本堂	1
平成14		9	山形	羽黒山五重塔	1	平成15		7	茨城	楞嚴寺山門	1
平成14		11	茨城	平井家住宅	1	平成15		9	群馬	旧戸部家住宅	1
平成14		12	茨城	鹿島神宮撰社奥宮本殿	1	平成15		10	千葉	大聖寺不動堂	1
平成14		14	埼玉	小野家住宅	1	平成15		11	新潟	浄興寺本堂	1
平成14		15	千葉	飯高寺講堂・総門	2	平成15		12	富山	旧嶋家住宅	1
平成14		17	富山	村上家住宅	1	平成15		13	福井	大塩八幡宮拝殿	1
平成14		21	長野	中禅寺薬師堂	1	平成15		15	山梨	八代家住宅長屋門他4棟	5
平成14		22	岐阜	牧村家住宅	1	平成15		16	山梨	大善寺本堂	1
平成14		23	愛知	滝山寺本堂	1	平成15		17	山梨	窪八幡神社末社高良神社本殿	1
平成14		24	愛知	密蔵院多宝塔	1	平成15		19	長野	若宮八幡社本殿	1
平成14		25	滋賀	春日神社本殿	1	平成15		20	静岡	中村家住宅	1
平成14		26	滋賀	鏡神社本殿	1	平成15		22 ◎	愛知	東照宮本殿他7棟	8
平成14		27	滋賀	日吉大社東本宮楼門	1	平成15		24	愛知	竜泉寺仁王門	1
平成14		28	京都	賀茂御祖神社祝詞舎他20棟	21	平成15		26	滋賀	油日神社楼門 及び廻廊(2棟)	3
平成14		30	京都	大徳寺唐門・勅使門	2	平成15		27	滋賀	延暦寺瑠璃堂	1
平成14		33	京都	勸修寺書院	1	平成15		28	滋賀	小槻大社本殿	1
平成14		34	京都	大覚寺客殿	1	平成15		29	滋賀	園城寺關伽井屋	1
平成14		35	京都	佐牙神社本殿(2棟)	2	平成15		30	京都	清水寺経堂・仁王門	2
平成14		36	京都	靈雲院書院	1	平成15		34	兵庫	天津神社本殿	1
平成14		37	京都	春日神社本殿	1	平成15		36	奈良	宇太水分神社本殿他2棟	5
平成14		38	大阪	山添家住宅	1	平成15		37	奈良	春日神社本殿	1
平成14		39	大阪	観心寺訶梨帝母天堂	1	平成15		39	和歌山	金剛峯寺奥院経蔵	1
平成14		41	兵庫	八幡神社三重塔	1	平成15		41	高知	旧竹内家住宅	1
平成14		42	奈良	旧白井家住宅主屋	1	平成16		3	宮城 仙台市	大崎八幡宮本殿・ 石の間・拝殿	1
平成14		48	岡山	妙本寺番神堂	1	平成16		4	宮城 蔵王町	我妻家住宅主屋	1
平成14		49	広島	厳島神社本社幣殿 ・拝殿	2	平成16		5	秋田 秋田市	嵯峨家住宅	1
平成14		51	香川	金刀比羅宮表書院・四脚門	2	平成16		6	山形 寒河江市	本山慈恩寺本堂	1
平成14		52	愛媛	伊佐爾波神社本殿他3棟	4	平成16		7	福島 柳津町	奥之院弁天堂	1
平成14		54	高知	旧立川番所書院	1	平成16		10	神奈川 横浜市	聴秋閣	1
平成14		55	福岡	横大路家住宅	1	平成16		12	石川 押水町	喜多家住宅主屋・表門 ・道具倉・味噌倉	4
平成14		56	福岡	筥崎宮本殿	1	平成16		13	石川 小松市	那谷寺本堂(唐門及び 拝殿)	2
平成14		57	熊本	生善院観音堂	1	平成16		16	長野 大鹿村	福德寺本堂	1
平成15		1	青森	熊野奥照神社本殿	1	平成16		18	愛知 岡崎市	妙源寺柳堂	1



年 度	区 分	番 号	県 別	名 称	棟 数	年 度	区 分	番 号	県 別	名 称	棟 数
平成16		19	愛知 西尾市	久麻久神社本殿	1	平成17		14	神奈川 ◎ 横浜市	関家住宅主屋・書院 及び表門	3
平成16		22	滋賀 近江八幡市	八幡社本殿	1	平成17		15	神奈川 川崎市	旧太田家住宅主屋 及び土間	2
平成16		24	滋賀 近江八幡市	長命寺鐘楼	1	平成17		16	新潟 柏崎市	大泉寺観音堂	1
平成16		25	京都 京都市	知恩院大方丈・唐門	3	平成17	災害	18	新潟 魚沼市	魚沼神社阿弥陀堂	1
平成16		26	京都 京都市	眞珠庵本堂・附玄関	2	平成17		20	石川 輪島市	時国家住宅	1
平成16		27	京都 京都市	由岐神社拝殿	1	平成17		22	石川 羽咋市	妙成寺本堂	1
平成16		28	京都 京都市	金剛院塔婆	1	平成17		24	長野 飯田市	白山社奥社本殿	1
平成16		30	京都 京都市	高台寺観月台他3棟	4	平成17		25	岐阜 白川村	和田家住宅主屋ほか2棟	3
平成16		32	京都 美山町	小林家住宅主屋・小屋	2	平成17		26	静岡 富士宮市	富士山本宮浅間神社本殿	1
平成16		33	大阪 富田林市	錦織神社本殿他2棟	3	平成17		28	滋賀 野洲市	生和神社末社春日神社 本殿	1
平成16		34	大阪 河内長野市	摩尼院書院	1	平成17		29	滋賀 甲良町	西明寺本堂	1
平成16		36	兵庫 一宮町	御形神社本殿	1	平成17		30	滋賀 栗東市	春日神社表門	1
平成16		37	奈良 奈良市	春日大社摂社若宮神社 手水屋	1	平成17		31	京都 京都市	大覚寺宸殿	1
平成16		38	奈良 大和郡山市	小泉神社本殿	1	平成17		32	京都 京都市	仁和寺九所明神本殿	3
平成16		40	和歌山 那智勝浦町	熊野那智大社第一殿 ほか7棟	8	平成17		35	大阪 枚方市	交野天神社本殿及び 交野天神社末社八幡神社本殿	2
平成16		41	和歌山 桃山町	三船神社本殿他2棟 (3棟)	3	平成17		37	奈良 奈良市	春日大社本社本殿 他15棟	19
平成16		42	和歌山 高野町	金剛峯寺山王院本殿	3	平成17		40	奈良 天理市	天皇神社本殿	1
平成16		43	島根 西郷町	佐々木家住宅	1	平成17		41	奈良 天理市	和爾下神社本殿	1
平成16		44	岡山 東粟倉村	林家住宅主屋	1	平成17		46	熊本 菊水町	旧境家住宅	1
平成16		45	広島 向島町	吉原家住宅主屋・ 附鎮守社	2	平成17	災害	48	富山 福岡町	佐伯家住宅	1
平成16		46	広島 宮島町	厳島神社本社祓殿・ 西廻廊	2	平成17	災害	49	富山 ◎ 富山市	浮田家住宅主屋他2棟	3
平成16		49	佐賀 富士町	吉村家住宅	1	平成17	災害	52	富山 ◎ 小矢部市	護国八幡宮本殿他2棟	3
平成16		53	鹿児島 高山町	二階堂家住宅(2棟)	2	平成17	災害	54	滋賀 大津市	園城寺金堂	1
平成16	災害	57	富山 高岡市	武田家住宅	1	平成17	災害	55	京都 京都市	清水寺田村堂	1
平成16	災害	58	石川 羽咋市	妙成寺本堂	1	平成17	災害	56	京都 八幡市	石清水八幡宮本殿・ 外殿・楼門	2
平成16	災害	60	島根 大社町	出雲大社宝庫	1	平成17	災害	57	兵庫 御津町	賀茂神社本殿他7棟	8
平成16	災害	61	岡山 柵原町	本山寺本堂	1	平成17	災害	58	兵庫 ◎ 加西市	酒見寺多宝塔	1
平成16	災害	67	高知 高知市	竹林寺本堂	1	平成17	災害	59	島根 出雲市	日御碕神社日沈宮幣殿、 拝殿、楼門	1
平成16	災害	69	熊本 多良木町	青蓮寺阿弥陀堂	1	平成17	災害	68	熊本 菊水町	旧境家住宅	1
平成17		2	◎ 青森 弘前市	弘前八幡宮本殿 及び唐門	2	平成17	災害	70	大分 大山町	旧矢羽田家住宅	1
平成17		4	岩手 盛岡市	旧藤野家住宅及び 旧佐々木家住宅	2	平成18		1	岩手 奥州市	正法寺本堂	1
平成17		5	宮城 仙台市	大崎八幡宮長床	1	平成18		4	岩手 花巻市	伊藤家住宅	1
平成17		6	◎ 山形 鶴岡市	旧風間家住宅主屋 及び小座敷	2	平成18		5	秋田 秋田市	旧黒澤家住宅主屋 他5棟	6
平成17		9	茨城 水海道市	坂野家住宅主屋	1	平成18		6	宮城 名取市	洞口家住宅・附表門	2
平成17		11	千葉 白井市	滝田家住宅	1	平成18		7	茨城 取手市	竜禅寺三仏堂	1
平成17		13	東京 東村山市	正福寺地藏堂	1	平成18		9	栃木 岩舟町	村檜神社本殿	1

年 度	区 分	番 号	県 別	名 称	棟 数	年 度	区 分	番 号	県 別	名 称	棟 数
平成18		10	千葉 匝瑳市	飯高寺鐘楼	1	平成19		41	徳島 三好市	木村家住宅	1
平成18		11	群馬 沼田市	旧生方家住宅	1	平成19		43	高知 須崎市	鳴無神社本殿・ 幣殿、拜殿	2
平成18		13	新潟 阿賀町	平等寺薬師堂	1	平成19		47	福岡 うきは市	平川家住宅主屋・納屋	2
平成18		14	石川 七尾市	座主家住宅	1	平成19		48	福岡 福岡市	宮崎宮楼門	1
平成18		15	福井 坂井市	坪川家住宅	1	平成19		49	大分 国東市	泉福寺仏殿	1
平成18		17	滋賀 大津市	日吉大社西本宮楼門	1	平成19		50	大分 豊後大野市	神角寺本堂	1
平成18		18	滋賀 野洲市	御上神社本殿他3棟	4	平成19		51	鹿児島 大口市	八幡神社本殿	1
平成18		19	京都 京田辺市	澤井家住宅	1	平成20		2	青森 弘前市	長勝寺本堂・御影堂	2
平成18		22	大阪 泉佐野市	意賀美神社本殿	1	平成20		4	山形 白鷹町	観音寺観音堂	1
平成18		23	兵庫 川西市	多田神社拜殿	1	平成20		5	福島 西会津町	円満寺観音堂	1
平成18		24	兵庫 神戸市	箱木家住宅	2	平成20		6	茨城 水戸市	中崎家住宅	1
平成18		26	和歌山 那智勝浦町	那智山青岸渡寺本堂	1	平成20		7	群馬 富岡市	旧茂木家住宅	1
平成18		27	和歌山 和歌山市	加太春日神社本殿	1	平成20		9	埼玉 神川町	金鑽神社多宝塔	1
平成18		28	鳥取 三朝町	三仏寺奥院他3棟	4	平成20		10	埼玉 長瀨町	旧新井家住宅	1
平成18		29	島根 出雲市	日御碕神社日況宮本殿 他8棟	10	平成20		11	千葉 市原市	西願寺阿弥陀堂	1
平成18	災害	32	広島 廿日市市	厳島神社本社祓殿 他29棟	30	平成20		14	新潟 新潟市	種月寺本堂	1
平成18		35	福岡 東峰村	岩屋神社本殿・境内社 熊野神社本殿	2	平成20	災害	15	新潟 魚沼市	旧目黒家住宅主屋 他3棟	4
平成19		1	秋田 羽後町	鈴木家住宅主屋・土蔵	2	平成20		16	新潟 関川村	佐藤家住宅主屋・新土蔵	2
平成19		2	福島 只見町	旧五十嵐家住宅	1	平成20		17	新潟 弥彦村	弥彦神社境内末社十柱 神社本殿	1
平成19		4	栃木 矢板市	荒井家住宅	1	平成20		18	新潟 村上市	若林家住宅	1
平成19		6	埼玉 朝霞市	旧高橋家住宅	1	平成20		19	石川 金沢市	旧松下家住宅・ 旧鱈波本陣石倉家住宅	2
平成19		10	東京 青梅市	観音寺本堂・仁王門	2	平成20		21	福井 高浜町	中山寺本堂	1
平成19		13	石川 小松市	那谷寺三重塔	1	平成20		22	福井 越前市	旧谷口家住宅	1
平成19		15	山梨 南アルプス市	安藤家住宅主屋他4棟	5	平成20		23	福井 越前市	大滝神社本殿及び拜殿	2
平成19		16	長野 長野市	善光寺三門	1	平成20		24	山梨 身延町	本遠寺本堂・鐘楼堂	2
平成19		19	長野 小布施町	浄光寺薬師堂	1	平成20		25	長野 千曲市	水上布奈山神社本殿	1
平成19		23	滋賀 竜王町	勝手神社本殿	1	平成20		26	長野 飯田市	旧小笠原家書院	1
平成19		24	滋賀 東近江市	高木神社本殿・境内社 日吉神社本殿	2	平成20		28	岐阜 高山市	荒川家住宅	1
平成19		26	京都 京都市	金地院本堂・茶室	2	平成20		30	静岡 浜松市	寶林寺方丈	1
平成19		29	奈良 奈良市	八幡神社本殿	1	平成20		31	静岡 袋井市	尊永寺仁王門	1
平成19		34	鳥取 鳥取市	樗谿神社唐門、拜殿 ・幣殿	2	平成20		32	愛知 岡崎市	伊賀八幡宮本殿、幣殿、 拜殿他3棟	4
平成19		35	島根 雲南市	堀江家住宅	1	平成20		33	愛知 津島市	津島神社本殿	1
平成19		37	岡山 備前市	旧関谷学校聖廟大成殿・ 旧関谷学校小齋・習芸齋及び飲室	3	平成20		34	愛知 岡崎市	天恩寺山門	1
平成19		38	岡山 美作市	林家住宅長屋門 ・米倉	2	平成20		36	滋賀 大津市	園城寺金堂	1
平成19		39	広島 庄原市	荒木家住宅	1	平成20		37	滋賀 野洲市	稲荷神社境内社古宮神社 本殿	1
平成19		40	広島 庄原市	堀江家住宅	1	平成20		38	滋賀 草津市	老杉神社	1

年 度	区 分	番 号	県 別	名 称	棟 数	年 度	区 分	番 号	県 別	名 称	棟 数
平成20		39	京都 宇治市	萬福寺松隠堂客殿 他3棟	4	平成21		15	神奈川 鎌倉市	円覚寺舍利殿	1
平成20		40	京都 京都市	玉林院本堂・附玄関	2	平成21		16	新潟 新潟市	旧新発田藩足軽長屋	1
平成20		41	京都 八幡市	石清水八幡宮本殿及び 外殿他4棟	5	平成21		17	新潟 新潟市	旧笹川家住宅表座敷 及び台所他6棟	7
平成20		42	京都 福知山市	島田神社本殿	1	平成21		18	富山 高岡市	武田家住宅	1
平成20		44	京都 京都市	大仙院本堂・附玄関	2	平成21		19	富山 南砺市	羽馬家住宅	1
平成20		45	京都 京都市	雲竜院本堂	1	平成21		20	石川 白山市	旧小倉家住宅	1
平成20		46	京都 城陽市	久世神社本殿	1	平成21		21	山梨 富士吉田市	北口本宮富士浅間神社 本殿	1
平成20		47	京都 京都市	賀茂御祖神社 摂社出雲井於神社本殿他2棟	3	平成21		22	山梨 山梨市	中牧神社本殿	1
平成20		48	京都 京都市	高山寺石水院（五所堂）	1	平成21		23	山梨 甲州市	雲峰寺書院	1
平成20		49	京都 京都市	退蔵院本堂・附玄関	2	平成21		25	長野 高森町	竹ノ内家住宅	1
平成20		50	京都 京都市	仁和寺遼廓亭	1	平成21		26	岐阜 飛騨市	薬師堂	1
平成20		51	京都 宮津市	智恩寺多宝塔	1	平成21		27	岐阜 高山市	旧吉真家住宅	1
平成20		52	大阪 豊中市	旧椎葉家住宅主屋・馬屋	2	平成21		29	滋賀 大津市	西教寺客殿	1
平成20		53	大阪 高槻市	普門寺方丈	1	平成21		30	滋賀 野洲市	大笹原神社本殿	1
平成20		54	大阪 岬町	船守神社本殿	1	平成21		31	京都 京都市	瑞峯院本堂他2棟	2 (1)
平成20		55	大阪 河内長野市	山本家住宅	1	平成21		32	京都 京都市	三宝院唐門・醍醐寺 清滝宮拝殿	2
平成20		59	兵庫 加古川市	鶴林寺本堂他3棟	4	平成21		33	京都 京都市	竜安寺本堂・附玄関	1 (1)
平成20		60	兵庫 三田市	住吉神社本殿	1	平成21		36	京都 京田辺市	酬恩庵本堂	1
平成20		61	兵庫 加東市	若宮八幡宮本殿	1	平成21		39	京都 宇治市	宇治上神社摂社 春日神社本殿	1
平成20		63	奈良 宇陀市	片岡家住宅主屋	1	平成21		40	大阪 大阪市	住吉大社本殿(4棟) 他1棟	5
平成20		65	奈良 宇陀市	室生寺本堂（灌頂堂）	1	平成21		41	大阪 岸和田市	兵主神社本殿	1
平成20		66	奈良 大和郡山市	慈光院書院・茶室	2	平成21		42	兵庫 豊岡市	中島神社本殿	1
平成20		69	奈良 斑鳩町	旧富貴寺羅漢堂	1	平成21		44	奈良 奈良市	春日大社本社一の鳥居 他2棟	3
平成20		70	奈良 奈良市	旧春日大社板倉（円窓）	1	平成21		45	奈良 御所市	高鴨神社本殿	1
平成20		71	和歌山 和歌山市	天満神社本殿	1	平成21		46	奈良 平群町	藤田家住宅	1
平成20		73	岡山 岡山市	吉備津神社本殿及び拝殿	1	平成21		48	和歌山 有田川町	鈴木家住宅	1
平成20		74	広島 廿日市市	林家住宅主屋・表門	2	平成21		49	島根 隠岐の島町	玉若酢命神社社家 億岐家住宅	1
平成20		76	高知 高知市	土佐神社幣殿及び拝殿	1	平成21		50	島根 吉賀町	旧道面家住宅	1
平成21		4	福島 福島市	旧広瀬座	1	平成21		51	岡山 津山市	中山神社本殿	1
平成21		5	栃木 那須町	三森家住宅主屋・表門	2	平成21		52	広島 三次市	奥家住宅	1
平成21		6	群馬 中之条町	富沢家住宅	1	平成21		54	山口 山口市	月輪寺薬師堂	1
平成21		7	群馬 上野村	旧黒澤家住宅	1	平成21		55	徳島 三好市	旧小采家住宅	1
平成21		9	千葉 本埜村	栄福寺薬師堂	1	平成21		56	福岡 みやこ町	永沼家住宅	1
平成21		12	東京 青梅市	旧宮崎家住宅	1	平成21		59	熊本 多良木町	太田家住宅	1
平成21		13 ◎	神奈川 川崎市	旧佐々木家住宅	1	平成21		61	熊本 湯前町	明導寺阿弥陀堂	1
平成21		14	神奈川 横浜市	旧矢筈原家住宅・ 旧天瑞寺寿堂覆堂	2	平成22		7	栃木 益子町	綱神社本殿・綱神社摂社 大倉神社本殿	2

年 度	区 分	番 号	県 別	名 称	棟 数	年 度	区 分	番 号	県 別	名 称	棟 数
平成22		9	千葉	宝珠院観音堂	1	平成23		9	福島	成法寺観音堂	1
平成22		10	印西市	旧石井家住宅	1	平成23		10	只見町	山本家住宅	1
平成22		11	神奈川 鎌倉市	旧伊藤家住宅	1	平成23		14	茨城 神栖市	旧花野井家住宅	1
平成22		13	富山 南砺市	岩瀬家住宅	1	平成23		15	千葉 成田市	竜正院仁王門	1
平成22		15	石川 金沢市	成巽閣	1	平成23		16	東京 町田市	旧永井家住宅	1
平成22		16	石川 珠洲市	黒丸家住宅主屋	1	平成23		19	神奈川 横浜市	聴秋閣	1
平成22		17	山梨 南巨摩郡	門西家住宅	1	平成23		20	神奈川 川崎市	旧工藤家住宅	1
平成22		19	長野 佐久市	新海三社神社東本社	1	平成23		21	福井 小浜市	明通寺本堂・三重塔	2
平成22		21	岐阜 恵那市	武並神社本殿	1	平成23		23	長野 下諏訪町	諏訪大社下社春宮幣拝殿 他6棟	7
平成22		22	岐阜 垂井町	南宮神社本殿他10棟	11	平成23		24	長野 上田市	安楽寺八角三重塔	1
平成22	災害	23	岐阜 神戸町	日吉神社三重塔	1	平成23		25	岐阜 下呂市	久津八幡宮拝殿	1
平成22		24	静岡 菊川市	黒田家住宅主屋他3棟	3 (1)	平成23		26	静岡 島田市	智満寺本堂	1
平成22		28	滋賀 大津市	明王院本堂他3棟	4	平成23		27	愛知 岡崎市	滝山寺三門	1
平成22		29	京都 京都市	慈照寺銀閣	1	平成23		28	愛知 犬山市	旧呉服座	1
平成22	災害	31	京都 京都市	三宝院唐門	1	平成23		29	滋賀 大津市	園城寺新羅善神堂他 3棟	4
平成22		32	京都 木津川市	浄瑠璃寺三重塔(九体寺三重塔)・ 本堂(九体寺本堂)	2	平成23		30	滋賀 草津市	志那神社本殿	1
平成22		33	京都 京都市	興臨院本堂他2棟	2	平成23		31	滋賀 大津市	石山寺多宝塔	1
平成22		34	京都 京都市	衡梅院本堂	1	平成23		32	滋賀 甲良町	西明寺三重塔	1
平成22		35	京都 京都市	三宝院殿堂純浄観	1	平成23		33	滋賀 長浜市	都久夫須麻神社本殿	1
平成22		37	京都 南丹市	小林家住宅母屋・小屋	2	平成23		35	京都 京都市	燕庵	1
平成22		38	京都 京都市	高台寺傘亭(安閑齋)及び 時雨亭(2棟)他1棟	2 (1)	平成23		36	京都 京都市	伏見稲荷大社本殿	1
平成22		40	大阪 泉佐野市	慈眼院多宝塔	1	平成23		37	京都 京都市	正傳寺本堂	1
平成22		41	大阪 大阪市	杭全神社本殿(第一殿) 他2棟	3	平成23		39	大阪 枚方市	片埜神社本殿	1
平成22		42	大阪 堺市	旧泉家住宅	1	平成23		42	奈良 奈良市	夜支布山口神社摂社 立磐神社本殿	1
平成22		44	奈良 奈良市	霊山寺三重塔・鐘楼	2	平成23		43	奈良 吉野町	吉野水分神社本殿 他1棟	1 (1)
平成22		45	奈良 葛城市	村井家住宅表門	1	平成23		44	奈良 橿原市	人麿神社本殿	1
平成22		46	広島 廿日市市	厳島神社摂社大元神社本殿	1	平成23	災害	48	和歌山 那智勝浦町	熊野那智大社第一殿(滝宮) 他7棟	8
平成22		47	山口 下関市	住吉神社本殿・拝殿	2	平成23		49	島根 安来市	清水寺本堂	1
平成22		49	高知 高知市	土佐神社鼓楼	1	平成23		51	山口 山口市	龍福寺本堂	1
平成22		50	福岡 福岡市	住吉神社本殿	1	平成23		52	徳島 美馬市	旧長岡家住宅	1
平成22		54	佐賀 佐賀市	山口家住宅	1	平成23		55	高知 高知市	竹林寺本堂	1
平成22		55	熊本 人吉市	青井阿蘇神社拝殿 他2棟	3	平成23		61	熊本 人吉市	岩屋熊野座神社拝殿他2棟	3
平成23		1	北海道 上ノ国町	上國寺本堂	1	平成24		1	青森 弘前市	長勝寺庫裏	1
平成23		4	岩手 盛岡市	旧小原家住宅	1	平成24		12	福島 いわき市	阿弥陀堂(白水阿弥陀堂)	1
平成23		5	宮城 角田市	旧佐藤家住宅	1	平成24		17	茨城 かすみがうら市	椎名家住宅	1
平成23		8	福島 喜多方市	熊野神社長床	1	平成24		25	石川 金沢市	大乘寺仏殿	1

年 度	区 分	番 号	県 別	名 称	棟 数	年 度	区 分	番 号	県 別	名 称	棟 数
平成24		26	山梨 山梨市	窪八幡神社本殿他 2 棟	3	平成25		2	青森 弘前市	東照宮本殿	1
平成24		27	山梨 甲州市	向嶽寺中門	1	平成25		4	秋田 由利本荘市	土田家住宅	1
平成24		29	長野 大町市	旧中村家住宅主屋 ・土蔵	2	平成25		7	山形 鶴岡市	水上八幡神社本殿	1
平成24		31	長野 東御市	春原家住宅	1	平成25		12	福島 喜多方市	熊野神社長床	1
平成24		32	岐阜 高山市	荒城神社本殿	1	平成25		13	茨城 鹿嶋市	鹿島神宮本殿ほか3棟	4
平成24		33	岐阜 多治見市	永保寺開山堂・観音堂	2	平成25	災害	15	茨城 水戸市	佛性寺本堂	1
平成24		35	岐阜 山県市	白山神社拝殿	1	平成25		18	栃木 益子町	西明寺楼門	1
平成24		36	静岡 裾野市	旧植松家住宅	1	平成25		19	群馬 富岡市	貫前神社本殿及び拝殿	2
平成24		37	静岡 伊豆の国市	江川家住宅書院他 3 棟	3 (1)	平成25		20	群馬 中之条町	薬師堂	1
平成24		38	静岡 森町	友田家住宅	1	平成25		23	千葉 香取市	香取神宮本殿	1
平成24		41	滋賀 愛荘町	金剛輪寺三重塔	1	平成25		24	千葉 匝瑳市	飯高寺鼓楼	1
平成24		42	滋賀 大津市	日吉大社東本宮本殿	1	平成25		25	東京 文京区	護国寺月光殿（旧日光院客殿）	1
平成24		43	滋賀 大津市	地主神社本殿・幣殿	2	平成25		30	山梨 甲州市	熊野神社拝殿	1
平成24		44	滋賀 長浜市	辻家住宅主屋	1	平成25		31	山梨 笛吹市	慈眼寺本堂ほか2棟	3
平成24		45	滋賀 大津市	天皇神社本殿	1	平成25		32	山梨 山梨市	天神社本殿	1
平成24		46	滋賀 守山市	勝部神社本殿	1	平成25		33	長野 塩尻市	小野家住宅主屋ほか2棟	3
平成24		49	京都 京丹波町	大福光寺本堂	1	平成25		34	長野 上田市	法住寺虚空蔵堂	1
平成24		50	京都 京都市	冷泉家住宅座敷・台所	1	平成25		35	岐阜 八百津町	明鏡寺観音堂	1
平成24		51	京都 京都市	竜光院書院他 2 棟	3	平成25	災害	36	岐阜 大野町	牧村家住宅	1
平成24		52	京都 宇治市	萬福寺松隠堂庫裏 他 2 棟	2 (1)	平成25		37	岐阜 垂井町	南宮神社摂社樹下神社本殿 及び摂社隼人神社本殿	2
平成24		54	大阪 河内長野市	観心寺建掛塔	1	平成25		38	静岡 清水区	霊山寺仁王門	1
平成24		55	大阪 和泉市	高橋家住宅	1	平成25		39	愛知県 海部郡	服部家住宅主屋及び表門	2
平成24		56	大阪 島本町	水無瀬神宮茶室	1	平成25		40	滋賀 近江八幡市	長命寺三重塔	1
平成24		59	奈良 奈良市	長尾神社本殿	1	平成25		42	滋賀 栗東市	宇和宮神社本殿	1
平成24		60	奈良 桜井市	談山神社十三重塔 他 7 棟	8	平成25		43	京都 京都市	建仁寺方丈	1
平成24		61	奈良 五條市	春日神社本殿	1	平成25		44	京都 京都市	二条城二之丸御殿唐門ほか2棟	3
平成24		62	奈良 宇陀市	笹岡家住宅主屋	1	平成25		45	京都 京都市	玉林院南明庵及び茶室	3
平成24		63	和歌山 海南市	長保寺大門他 2 棟	3	平成25		47	京都 京都市	聚光院茶室	1
平成24		64	和歌山 高野町	金剛三昧院客殿・台所 他 1 基	2	平成25		48	京都 木津川市	小林家住宅	1
平成24		66	和歌山 有田川町	雨錫寺阿弥陀堂	1	平成25		51	京都 宇治市	許波多神社本殿	1
平成24		68	鳥取 八頭町	矢部家住宅	1	平成25		52	京都 亀岡市	梅田神社本殿	1
平成24		71	岡山 美咲町	本山寺本堂・宝篋印塔	2	平成25		53	兵庫 豊岡市	日出神社本殿	1
平成24		73	愛媛 久万高原町	旧山中家住宅	1	平成25		54	奈良 大和郡山市	矢田坐久志玉比古神社本殿 及び末社八幡神社社殿	2
平成24		75	福岡 久留米市	善導寺大庫裏他 6 棟	7 (1)	平成25		55	和歌山 和歌山市	東照宮唐門ほか3棟	4
平成24		78	熊本 相良村	十島菅原神社本殿 ・拝殿	2	平成25		56	鳥取 鳥取市	福田家住宅	1
平成25		1	北海道 松前町	法源寺山門	1	平成25		57	鳥根 奥出雲町	櫻井家住宅主屋ほか2棟	2 (1)

年 度	区 分	番 号	県 別	名 称	棟 数	年 度	区 分	番 号	県 別	名 称	棟 数
平成25	災害	59	広島 尾道市	浄土寺露滴庵	1	平成26		57	和歌山 有田川町	法音寺本堂	1
平成25		61	高知 南国市	国分寺金堂	1	平成26		59	島根 隠岐の島町	玉若酢命神社隨身門	1
平成25		64	長崎 雲仙市	旧鍋島家住宅長屋門ほか4棟	5	平成26		60	広島 尾道市	浄土寺方丈ほか5棟	6
平成25		66	熊本 山江村	山田大王神社本殿ほか2棟	2 (1)	平成26		61	広島 広島市	不動院金堂及び鐘楼	2
平成26		2	岩手 遠野市	旧菊池家住宅	1	平成26		62	広島 廿日市市	厳島神社反橋ほか3棟	2 2
平成26		4	山形 上市市	旧尾形家住宅	1	平成26		64	徳島 石井町	田中家住宅主屋ほか2棟	3
平成26		7	福島 会津坂下町	恵隆寺観音堂	1	平成26		65	香川 さぬき市	細川家住宅	1
平成26		8	福島 喜多方市	勝福寺観音堂	1	平成26		67	福岡 宗像市	宗像神社辺津宮本殿 及び拝殿	2
平成26		9	福島 会津若松市	八葉寺阿弥陀堂	1	平成26		68	福岡 添田町	旧数山家住宅	1
平成26	災害	11	栃木 宇都宮市	岡本家住宅主屋	1	平成26		69	熊本 湯前町	八勝寺阿弥陀堂	1
平成26		14	群馬 桐生市	彦部家住宅主屋ほか4棟	5	平成26		70	大分 宇佐市	宇佐神宮本殿	3
平成26		15	埼玉 八潮市	和井田家住宅主屋 及び長屋門	2	平成26		71	大分 中津市	神尾家住宅	1
平成26		16	埼玉 日高市	高麗家住宅	1	平成26		72	大分 大分市	後藤家住宅	1
平成26		17	埼玉 比企郡	吉田家住宅	1	平成26		73	宮崎 宮崎市	巨田神社本殿	1
平成26		19	東京 檜原村	小林家住宅	1	平成27		5	福島 いわき市	飯野八幡宮本殿	1
平成26		22	新潟 関川村	渡辺家住宅主屋ほか6棟	4 (3)	平成27		6	福島 猪苗代町	旧馬場家住宅	1
平成26		23	新潟 魚沼市	旧目黒家住宅主屋 ほか2棟	2 (1)	平成27		7	福島 柳津町	奥之院弁天堂	1
平成26		24	石川 小松市	那谷寺書院及び庫裏 ほか2棟	2	平成27		9	茨城 稲敷市	平井家住宅	1
平成26		25	富山 富山市	浮田家住宅主屋及び表門	3	平成27		10	栃木 市貝町	入野家住宅主屋及び表門	2
平成26		26	石川 輪島市	上時国家住宅納屋 及び主屋	2	平成27		13	群馬 前橋市	阿久沢家住宅	1
平成26		28	福井 池田町	堀口家住宅	1	平成27		14	埼玉 川越市	喜多院客殿ほか2棟	3
平成26		29	福井 小浜市	飯盛寺本堂	1	平成27		18	神奈川 横浜市	春草廬	1
平成26		30	山梨 甲州市	恵林寺四脚門	1	平成27		19	新潟 長岡市	旧長谷川家住宅主屋 及び表門	2
平成26		31	山梨 笛吹市	浅間神社撰社山宮神社 本殿	1	平成27		20	新潟 村上市	若林家住宅	1
平成26		32	長野 青木村	大法寺三重塔	1	平成27		21	富山 南砺市	岩瀬家住宅	1
平成26		33	長野 大桑村	定勝寺山門	1	平成27		22	山梨 甲府市	東光寺仏殿	1
平成26		36	岐阜 下呂市	旧大戸家住宅	1	平成27		23	山梨 笛吹市	山梨岡神社本殿	1
平成26		37	静岡 静岡市	臨濟寺本堂	1 (1)	平成27		24	長野 諏訪市	諏訪大社上社本宮拜殿 ほか5棟	6
平成26		39	愛知 豊川市	三明寺三重塔	1	平成27		28	長野 松本市	筑摩神社本殿	1
平成26		40	京都 京都市	賀茂別雷神社本殿 ほか32棟	27 (6)	平成27		31	岐阜 白川村	旧遠山家住宅	1
平成26		42	京都 宇治市	宇治上神社本殿及び拝殿	2	平成27		33	愛知 西尾町	金蓮寺弥陀堂	1
平成26		45	京都 京都市	聚光院本堂	1	平成27		34	滋賀 彦根市	彦根城馬屋	1
平成26		51	兵庫 姫路市	円教寺奥之院護法堂 (乙天社及び若天社) ほか2基	2	平成27		38	大阪 岸和田市	積川神社本殿	1
平成26		53	奈良 天理市	石上神宮撰社出雲建雄 神社拜殿	1	平成27		39	大阪 泉佐野市	総福寺鎮守天満宮本殿	1
平成26		54	奈良 奈良市	崇道天皇社本殿	1	平成27	災害	40	兵庫 小野市	八幡神社本殿	1
平成26		55	和歌山 かつらぎ町	丹生都比売神社本殿	1	平成27		42	奈良 橿原市	橿原神宮本殿	1

年 度	区 分	番 号	県 別	名 称	棟 数	年 度	区 分	番 号	県 別	名 称	棟 数
平成27		43	奈良 奈良市	丹生神社本殿	1	平成28		49	香川 琴平町	金刀比羅宮表書院	1
平成27		44	和歌山 高野町	金剛三昧院四所明神社 本殿	1	平成28		50	愛媛 松山市	豊島家住宅主屋ほか3棟	4
平成27		45	島根 松江市	佐太神社正中殿ほか2棟	3	平成28		53	福岡 東峰村	岩屋神社本殿	1
平成27		46	岡山 美作市	長福寺三重塔	1	平成28		55	熊本 多良木町	青蓮寺阿弥陀堂	1
平成27		48	広島 廿日市市	厳島神社宝蔵ほか2棟	1 (2)	平成28		57	熊本 熊本市	六殿神社楼門	1
平成27		50	香川 高松市	小比賀家住宅主屋 ほか4棟	4 (1)	平成28		58	熊本 人吉市	老神神社本殿附覆屋	(1)
平成27		52	宮崎 宮崎市	旧黒木家住宅 及び旧藤田家住宅	3	平成28		60	鹿児島 肘付町	二階堂家住宅	1
平成28		3	岩手 平泉町	白山神社能舞台	1	[その他、上記保存修理一覧以外の調査事業] ・善光寺本堂(長野)：H1 ・金剛證寺本堂(三重)：H6 ・妙心寺 勅使門 大方丈 小方丈 庫裏(京都)：H10 ・輪王寺 三重塔(栃木)：H18 ・勝興寺 唐門(富山)：H25  ※報告書番号に◎がつくものは、本業務にて、 未収集の実績報告書を示す(未収集：22事業)。					
平成28		4	福島 会津若松市	旧滝沢本陣横山家住宅	2						
平成28		5	埼玉 秩父市	内田家住宅	1						
平成28		7	千葉 印西市	泉福寺薬師堂	1						
平成28		9	神奈川 伊勢原市	宝城坊本堂	1						
平成28		10	新潟 阿賀町	護徳寺観音堂	1						
平成28		12	新潟 魚沼市	佐藤家住宅	1						
平成28		13	富山 高岡市	気多神社本殿	1						
平成28		14	山梨 甲州市	雲峰寺庫裏	1						
平成28		15	岐阜 高山市	旧田中家住宅	1						
平成28		19	愛知 西尾市	幡頭神社本殿	1						
平成28		20	三重 伊勢市	神宮祭主職舎本館 (旧慶光院客殿)	1						
平成28		22	滋賀 甲賀市	飯道神社本殿	1						
平成28		23	京都 京都市	賀茂御祖神社預り屋 ほか22棟	12 (11)						
平成28		26	京都 京都市	観智院客殿	1						
平成28		27	京都 京都市	与杼神社拝殿	1						
平成28		28	京都 京都市	眞珠庵通仙院	1						
平成28		30	京都 京都市	大徳寺寝堂	1						
平成28		31	大阪 泉大津市	泉穴師神社本殿ほか2棟	3						
平成28		33	兵庫 三田市	御霊神社本殿	1						
平成28		35	兵庫 加東市	住吉神社本殿	1						
平成28		37	奈良 奈良市	春日大社本社本殿(4棟) ほか13棟	17 (4)						
平成28		38	奈良 吉野町	吉水神社書院	1						
平成28		39	奈良 安堵町	中家住宅主屋及び持仏堂庫裏	2						
平成28		42	和歌山 広川町	広八幡神社本殿ほか5棟	6						
平成28		43	和歌山 かつらぎ町	宝来山神社本殿	4						
平成28		45	鳥取 大山町	門脇家住宅主屋ほか3棟	3 (1)						
平成28		46	島根 出雲市	日御碕神社神の宮 (上の宮) 本殿ほか2棟	3						
平成28		48	広島 東広島市	竹林寺本堂	1						

## 卷末資料2 実績報告書調査リスト(S60-63,H29)

— 文化財保存修理用資材(植物性屋根)の長期需要予測(国産良質材使用推進・供給地活性化事業) —



年 度	区 分	番 号	県 別	名 称	棟 数	年 度	区 分	番 号	県 別	名 称	棟 数
昭和60		14	神奈川	聴秋閣 他4棟	5	平成29	特	39	島根	出雲大社本殿ほか22棟 *	23
昭和60		20	滋賀	桑実寺本堂	1	<p>-----</p> <p>※報告書番号に◎がつくものは、本業務にて、 未収集の実績報告書を示す(未収集：2事業)。</p> <p>-----</p>					
昭和60		21	滋賀	正明寺本堂	1						
昭和60		26	京都	善峰寺多宝塔	1						
昭和60		27	大阪	総福寺鎮守天満宮本殿	1						
昭和60		42	福岡	住吉神社本殿	1						
昭和60		47	大分	宇佐神宮本殿	3						
昭和60		54	奈良	石上神宮拝殿	1						
昭和61		16	福井	明通寺三重塔	1						
昭和61		21	岐阜	新長谷寺本堂	1						
昭和61		30	京都	宇治上神社境 春日神社本殿	1						
昭和61		31	京都	梅田神社本殿	1						
昭和61		32	大阪	八坂神社本殿	1						
昭和61		35	奈良	石上神宮楼門	1						
昭和62		11	山梨	北口本宮富士浅間神社 西宮本殿	1						
昭和62		15	長野	定勝寺本堂, 庫裏, 山門	3						
昭和62		20	静岡	富士山本宮浅間神社本殿	1						
昭和62		21	滋賀	新宮神社本殿	1						
昭和62		22	滋賀	奥石神社本殿	1						
昭和62		23	京都	法界寺阿弥陀堂	1						
昭和62		24	京都	賀茂別雷神社舞殿(橋殿), 北神饌所(庁屋)	2						
昭和62		25	京都	許波多神社本殿	1						
昭和62		26	京都	九品寺大門	1						
昭和62		34	奈良	石上神宮拝殿	1						
昭和62		36	鳥取	樗谿神社本殿, 拝殿及び幣 殿	1						
昭和62		38	山口	洞春寺山門	1						
昭和62		44	兵庫	御霊神社本殿	1						
昭和63		◎ 9	岐阜	鹿苑寺地藏堂	1						
昭和63		13	滋賀	金剛輪寺本堂, 二天門	2						
昭和63		15	滋賀	石山寺鐘楼	1						
平成29		15	長野	善光寺経蔵	1						
平成29		20	愛知	六所神社本殿、幣殿、拝殿 ほか2棟	5						
平成29		23	京都	黄梅院本堂及び庫裏	2						
平成29		25	京都	松尾大社本殿	1						
平成29		◎ 36	和歌山	上杉謙信霊屋	1						

## 巻末資料3 長期需要予測建物リスト

— 文化財保存修理用資材(植物性屋根)の長期需要予測(国産良質材使用推進・供給地活性化事業) —

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
1	旧開拓彼工局庁舎			こけら葺	■こ	☆	北海道札幌市厚別区厚別町小野幌
2	旧三戸部家住宅（北海道有珠郡伊達町）			茅葺	●	★	北海道伊達市字梅本町61番地の2
3	法源寺山門			こけら葺	■こ	★	北海道松前郡松前町字松城
4	旧笹浪家住宅（北海道檜山郡上ノ国町）	主屋		板（鉄板仮）葺=石置	■板	★	北海道檜山郡上ノ国町字上ノ国236番地
5	旧笹浪家住宅（北海道檜山郡上ノ国町）	土蔵		板葺	■板	★	北海道檜山郡上ノ国町字上ノ国236番地
6	上國寺本堂			こけら葺	■こ	★	北海道檜山郡上ノ国町字勝山
7	旧下ヨイチ運上家			板葺	■板	☆	北海道余市郡余市町入舟町10番地
8	旧花田家番屋（北海道留萌郡小平町）			こけら葺	■こ	☆	北海道留萌郡小平町字鬼鹿広富35番地2
9	岩木山神社	瑞垣		とち葺	■と	★	青森県弘前市百沢
10	長勝寺三門			とち葺	■と	★	青森県弘前市大字西茂森一丁目
11	長勝寺	本堂		こけら葺	■こ	★	青森県弘前市大字西茂森一丁目
12	長勝寺	庫裏		茅葺	●	★	青森県弘前市大字西茂森一丁目
13	津軽家霊屋	環月臺		こけら葺	■こ	★	青森県弘前市大字西茂森一丁目
14	津軽家霊屋	碧巖臺		こけら葺	■こ	★	青森県弘前市大字西茂森一丁目
15	津軽家霊屋	明鏡臺		こけら葺	■こ	★	青森県弘前市大字西茂森一丁目
16	津軽家霊屋	白雲臺		こけら葺	■こ	★	青森県弘前市大字西茂森一丁目
17	津軽家霊屋	凌雲臺		こけら葺	■こ	★	青森県弘前市大字西茂森一丁目
18	弘前八幡宮	唐門		こけら葺	■こ	★末/☆	青森県弘前市大字八幡町一丁目
19	誓願寺山門			こけら葺	■こ	☆	青森県弘前市大字新町
20	東照宮本殿			こけら葺	■こ	★	青森県弘前市大字笹森町
21	津軽為信霊屋			こけら葺	■こ	☆	青森県弘前市大字藤代一丁目
22	革秀寺本堂			茅葺	●	☆	青森県弘前市大字藤代一丁目
23	熊野奥照神社本殿			こけら葺	■こ	★	青森県弘前市大字田町四丁目
24	高照神社	本殿		こけら葺	■こ	☆	青森県弘前市大字高岡
25	高照神社	中門		こけら葺	■こ	☆	青森県弘前市大字高岡
26	高照神社	西軒廊		こけら葺	■こ	☆	青森県弘前市大字高岡
27	高照神社	東軒廊		こけら葺	■こ	☆	青森県弘前市大字高岡
28	高照神社	拝殿及び幣殿		こけら葺	■こ	☆	青森県弘前市大字高岡
29	清水寺観音堂			茅葺	●	☆	青森県八戸市大字是川
30	旧平山家住宅（青森県五所川原市湊）	主屋		茅葺	●	☆	青森県五所川原市大字湊字千島144番地1号
31	旧平山家住宅（青森県五所川原市湊）	表門		茅葺	●	☆	青森県五所川原市大字湊字千島144番地1号
32	旧笠石家住宅（青森県上北郡十和田湖町）			茅葺	●	★	青森県十和田市大字奥瀬字栃久保80番地
33	江渡家住宅（青森県三戸郡五戸町）			茅葺	●	★	青森県三戸郡五戸町字荒町17番地1
34	南部利康霊屋			こけら葺	■こ	☆	青森県三戸郡南部町大字小向
35	旧中村家住宅（旧所在 岩手県盛岡市南大通）	主屋		こけら葺	■こ	★	岩手県盛岡市愛宕町14番地1号
36	旧中村家住宅（旧所在 岩手県盛岡市南大通）	はかりば		棧瓦葺・こけら葺	■こ	☆	岩手県盛岡市愛宕町14番地1号
37	旧藤野家住宅（旧所在 岩手県八戸市伊手）			茅葺	●	★	岩手県盛岡市上田字松屋敷34番地岩手県立博物館構内
38	旧佐々木家住宅（旧所在 岩手県下閉伊郡岩泉町）			茅葺	●	★	岩手県盛岡市上田字松屋敷34番地岩手県立博物館構内
39	旧小原家住宅（岩手県和賀郡東和町）			茅葺	●	★	岩手県花巻市東和町谷内六区37番
40	伊藤家住宅（岩手県和賀郡東和町）			茅葺	●	★	岩手県花巻市東和町田瀬第1地割170番地
41	旧菅野家住宅（旧所在 岩手県北上市口内町）	主屋		茅葺	●	☆	岩手県北上市立花14地割55番地

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
42	旧菅野家住宅（旧所在 岩手県北上市口内町）	表門		茅葺	●	☆	岩手県北上市立花14地割55番地
43	多聞院伊澤家住宅（岩手県和賀郡和賀町）			茅葺	●	☆	岩手県北上市和賀町岩沢9地割48番地
44	旧菊池家住宅（旧所在 岩手県遠野市小友町）			茅葺	●	★	岩手県遠野市土淵町第6地割5番地3号土淵カントリパーク内
45	千葉家住宅（岩手県遠野市綾織町）	主屋		茅葺	●	☆	岩手県遠野市綾織町上綾織一割14番地
46	千葉家住宅（岩手県遠野市綾織町）	大工小屋		茅葺	●	☆	岩手県遠野市綾織町上綾織一割14番地
47	旧後藤家住宅（旧所在 岩手県江刺市広瀬）			茅葺	●	★	岩手県奥州市江刺区岩谷堂字向山1番地
48	正法寺	本堂		茅葺、一部板葺、こけら葺	●	★	岩手県奥州市水沢区黒石町
49	正法寺	庫裏		茅葺、一部こけら葺	●	★	岩手県奥州市水沢区黒石町
50	正法寺	惣門		とち葺	■と	★	岩手県奥州市水沢区黒石町
51	白山神社能舞台			茅葺	●	★	岩手県西磐井郡平泉町平泉
52	旧朴館家住宅（岩手県二戸郡一戸町）	主屋		茅葺	●	☆	岩手県二戸郡一戸町小島谷字朴館20番地1
53	大崎八幡宮			こけら葺	■こ	★	宮城県仙台市青葉区八幡四丁目
54	大崎八幡宮長床			こけら葺	■こ	★	宮城県仙台市青葉区八幡四丁目
55	鹽竈神社	左宮本殿		桧皮葺	▼	☆	宮城県塩竈市一森山
56	鹽竈神社	右宮本殿		桧皮葺	▼	☆	宮城県塩竈市一森山
57	鹽竈神社	左宮幣殿		桧皮葺	▼	☆	宮城県塩竈市一森山
58	鹽竈神社	右宮幣殿		桧皮葺	▼	☆	宮城県塩竈市一森山
59	鹽竈神社	左右宮廻廊		桧皮葺	▼	☆	宮城県塩竈市一森山
60	鹽竈神社	左右宮端垣		桧皮葺	▼	☆	宮城県塩竈市一森山
61	鹽竈神社	別宮本殿		桧皮葺	▼	☆	宮城県塩竈市一森山
62	鹽竈神社	別宮幣殿		桧皮葺	▼	☆	宮城県塩竈市一森山
63	鹽竈神社	別宮廻廊		桧皮葺	▼	☆	宮城県塩竈市一森山
64	鹽竈神社	別宮端垣		桧皮葺	▼	☆	宮城県塩竈市一森山
65	洞口家住宅（宮城県名取市大曲）			茅葺	●	★	宮城県名取市大曲字中小路26番地
66	旧中澤家住宅（旧所在 宮城県名取市愛島塩手）			茅葺	●	★	宮城県名取市手倉台山216番地93
67	高蔵寺阿彌陀堂			茅葺	●	★	宮城県角田市高倉
68	旧佐藤家住宅（宮城県角田市高倉）			茅葺	●	★	宮城県角田市高倉字寺前50番地高蔵寺境内
69	我妻家住宅（宮城県刈田郡蔵王町）	主屋		茅葺	●	★	宮城県刈田郡蔵王町大字曲竹字葉師前4番地
70	我妻家住宅（宮城県刈田郡蔵王町）	前蔵		とち葺	■と	☆	宮城県刈田郡蔵王町大字曲竹字葉師前4番地
71	我妻家住宅（宮城県刈田郡蔵王町）	板蔵		板葺	■板	★	宮城県刈田郡蔵王町大字曲竹字葉師前4番地
72	瑞巖寺中門			こけら葺	■こ	☆	宮城県宮城郡松島町松島
73	松本家住宅（宮城県加美郡小野田町）			茅葺	●	★	宮城県加美郡加美町字南小路11番地
74	旧奈良家住宅（秋田県秋田市金足小泉）			茅葺／一部庇こけら葺	●	★	秋田県秋田市金足小泉字上前8番地
75	嵯峨家住宅（秋田県秋田市大平目長崎）	主屋		茅葺	●	★	秋田県秋田市大平目長崎字上目長崎217番地1
76	旧黒澤家住宅（旧所在 秋田県秋田市中通三丁目）	主屋		こけら葺	■こ	★	秋田県秋田市櫛山字石塚谷地297番の99
77	旧黒澤家住宅（旧所在 秋田県秋田市中通三丁目）	表門		板葺=石置	■板	★	秋田県秋田市櫛山字石塚谷地297番の99
78	旧黒澤家住宅（旧所在 秋田県秋田市中通三丁目）	土蔵		石置杉皮葺、こけら葺	▼杉	★	秋田県秋田市櫛山字石塚谷地297番の99
79	旧黒澤家住宅（旧所在 秋田県秋田市中通三丁目）	米蔵		こけら葺	■こ	★	秋田県秋田市櫛山字石塚谷地297番の99
80	旧黒澤家住宅（旧所在 秋田県秋田市中通三丁目）	木小屋		こけら葺	■こ	★	秋田県秋田市櫛山字石塚谷地297番の99
81	天徳寺	本堂		茅葺／一部鉄板葺	●	★	秋田県秋田市泉三嶽根
82	天徳寺	山門		こけら葺	■こ	★	秋田県秋田市泉三嶽根

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
83	天徳寺	総門		こけら葺	■こ	★	秋田県秋田市泉三藏根
84	三浦家住宅（秋田県秋田市金足黒川）	主屋		茅葺一部銅板葺	●	☆	秋田県秋田市金足黒川字黒川178番
85	波宇志別神社神楽殿			こけら葺	■こ	★	秋田県横手市大森町八沢木
86	八幡神社	正八幡宮本殿		こけら葺	■こ	☆	秋田県大館市字八幡
87	八幡神社	若宮八幡宮本殿		こけら葺	■こ	☆	秋田県大館市字八幡
88	赤神社五社堂	三の宮堂		とち葺	■と	★	秋田県男鹿市船川港本山門前字秋川
89	赤神社五社堂	客人権現堂		とち葺	■と	★	秋田県男鹿市船川港本山門前字秋川
90	赤神社五社堂	赤神権現堂		とち葺	■と	★	秋田県男鹿市船川港本山門前字秋川
91	赤神社五社堂	八王子堂		とち葺	■と	★	秋田県男鹿市船川港本山門前字秋川
92	赤神社五社堂	十禅師堂		とち葺	■と	★	秋田県男鹿市船川港本山門前字秋川
93	土田家住宅（秋田県由利郡矢島町）			茅葺	●	★	秋田県由利本荘市矢島町元町字相庭館9番地
94	神明社観音堂			こけら葺	■こ	★	秋田県湯上市飯田川飯塚字中山
95	古四王神社本殿			こけら葺	■こ	★	秋田県大仙市大曲字古四王際
96	草薮家住宅（秋田県仙北郡田沢湖町）	主屋		茅葺	●	★	秋田県仙北市田沢湖生保内字下堂田18番地
97	草薮家住宅（秋田県仙北郡田沢湖町）	土間		茅葺	●	★	秋田県仙北市田沢湖生保内字下堂田18番地
98	大山家住宅（秋田県山本郡八竜町）			茅葺	●	★	秋田県山本郡三種町鶴川字飯塚62番地
99	鈴木家住宅（秋田県雄勝郡羽後町）	主屋		茅葺	●	★	秋田県雄勝郡羽後町飯沢字先達沢52番地
100	旧松應寺観音堂			茅葺	●	★	山形県山形市蔵王半郷字松尾山
101	羽黒山五重塔			こけら葺	■こ	★	山形県鶴岡市羽黒町大字手向
102	羽黒山三神合祭殿及び鐘楼	三神合祭殿		本殿=茅葺, 向拝=こけら葺 拜殿=茅葺, 下屋=板葺き	●	☆	山形県鶴岡市羽黒町大字手向
103	羽黒山三神合祭殿及び鐘楼	鐘楼		茅葺	●	☆	山形県鶴岡市羽黒町大字手向
104	水上八幡神社本殿			茅葺	●	★	山形県鶴岡市大字水沢
105	旧渋谷家住宅（旧所在 山形県東田川郡朝日村）			茅葺	●	☆	山形県鶴岡市家中新町10番18号
106	旧風間家住宅	主屋		石置杉皮葺及び棧瓦葺	▼杉	★未/☆	山形県鶴岡市馬場町1番15号
107	旧矢作家住宅（旧所在 山形県新庄市萩野）			茅葺	●	☆	山形県新庄市大字泉田字還東460番地
108	本山慈恵寺本堂			茅葺	●	★	山形県寒河江市大字慈恵寺
109	旧尾形家住宅（山形県上市市下生居）			茅葺, 玄関銅板葺	●	★	山形県上市市下生居170番地
110	佐竹家住宅（山形県西村山郡朝日町）			茅葺	●	☆	山形県西村山郡朝日町大字常盤い91番地
111	旧有路家住宅（山形県最上郡最上町）			茅葺, 南面玄関銅板葺	●	☆	山形県最上郡最上町大字堺田59番地の3
112	観音寺観音堂			茅葺	●	★	山形県西置賜郡白鷹町大字深山
113	旧広瀬座			こけら葺	■こ	★	福島県福島市上名倉福島市民家園内
114	八葉寺阿弥陀堂			茅葺	●	★	福島県会津若松市河東町大字広野字権現塚
115	旧滝沢本陣横山家住宅（福島県会津若松市一箕町）	主屋		茅葺	●	★	福島県会津若松市一箕町大字八幡字滝沢122番地
116	旧滝沢本陣横山家住宅（福島県会津若松市一箕町）	座敷		茅葺	●	★	福島県会津若松市一箕町大字八幡字滝沢122番地
117	阿弥陀堂（白水阿弥陀堂）			とち葺	■と	★	福島県いわき市内郷白水町広畑
118	飯野八幡宮	本殿		こけら葺	■こ	★未	福島県いわき市平字八幡小路
119	飯野八幡宮	若宮八幡神社本殿		板葺	■板	☆	福島県いわき市平字八幡小路
120	専称寺	庫裏		茅葺, 棧瓦葺	●	☆	福島県いわき市平山崎字梅福山
121	熊野神社長床			茅葺	●	★	福島県喜多方市慶徳町新宮字熊野
122	勝福寺観音堂			茅葺	●	★	福島県喜多方市関柴町
123	相馬中村神社本殿・幣殿・拝殿			こけら葺	■こ	★	福島県相馬市中村字北町

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
124	旧武山家住宅（福島県原町市北原）			茅葺	●	☆	福島県南相馬市原町区北原字大塚213番地
125	成法寺観音堂			茅葺	●	★	福島県南会津郡只見町大字梁取字仏地
126	旧五十嵐家住宅（福島県南会津郡只見町）			茅葺	●	★	福島県南会津郡只見町大字叶津字居平437番地
127	円満寺観音堂			茅葺	●	★	福島県耶麻郡西会津町下谷字宮ノ後
128	旧馬場家住宅（旧所在 福島県南会津郡伊南村）			茅葺	●	★	福島県耶麻郡猪苗代町大字三ツ和字前田33番地の1会津民俗館内
129	恵隆寺観音堂			茅葺	●	★	福島県河沼郡会津坂下町大字塔寺字松原
130	旧五十嵐家住宅（福島県河沼郡会津坂下町）			茅葺	●	★	福島県河沼郡会津坂下町大字塔寺字大門1,466番地
131	奥之院弁天堂			茅葺	●	★	福島県河沼郡柳津町大字柳津字門前町
132	八幡宮本殿			こけら葺	■こ	★	茨城県水戸市八幡町
133	中崎家住宅（茨城県東茨城郡内原町）			茅葺, 庇板葺	●	★	茨城県水戸市鯉淵町2,897番地
134	佛性寺本堂			茅葺	●	★	茨城県水戸市栗崎
135	旧飛田家住宅（旧所在 茨城県久慈郡金砂郷村）			茅葺	●	★	茨城県古河市大字鴻巣字古城跡1,024番地
136	善光寺楼門			茅葺	●	★	茨城県石岡市太田
137	来迎院多宝塔			こけら葺	■こ	☆	茨城県龍ヶ崎市馴馬町
138	坂野家住宅（茨城県水海道市大生郷町）	主屋		茅葺	●	★	茨城県常総市大生郷町2,037番地
139	坂野家住宅（茨城県水海道市大生郷町）	表門		茅葺	●	★	茨城県常総市大生郷町2037番地
140	佐竹寺本堂			茅葺, こけら葺	●	★	茨城県常陸太田市大字天神林
141	楞嚴寺山門			茅葺	●	★	茨城県笠間市大字片庭
142	塙家住宅（茨城県西茨城郡岩間町）	主屋		茅葺	●	☆	茨城県笠間市安居2,009番地
143	塙家住宅（茨城県西茨城郡岩間町）	土間		茅葺	●	☆	茨城県笠間市安居2,009番地
144	竜禅寺三仏堂			茅葺, もこし板葺	●	★	茨城県取手市大字米ノ井
145	大塚家住宅（茨城県新治郡桜村）			茅葺, 庇棧瓦葺	●	☆	茨城県つくば市大字栗原835番地
146	鹿島神宮	本殿		桧皮葺	▼	★	茨城県鹿嶋市大字宮中
147	鹿島神宮	石の間		桧皮葺	▼	★	茨城県鹿嶋市大字宮中
148	鹿島神宮	幣殿		桧皮葺	▼	★	茨城県鹿嶋市大字宮中
149	鹿島神宮	拝殿		桧皮葺	▼	★	茨城県鹿嶋市大字宮中
150	鹿島神宮摂社奥宮本殿			桧皮葺	▼	★	茨城県鹿嶋市大字宮中
151	鹿島神宮仮殿			桧皮葺	▼	★	茨城県鹿嶋市大字宮中
152	内外大神宮	内宮本殿		茅葺（銅板仮葺）	●	☆	茨城県筑西市小栗
153	内外大神宮	外宮本殿		茅葺（銅板仮葺）	●	☆	茨城県筑西市小栗
154	内外大神宮	御遷殿		茅葺	●	☆	茨城県筑西市小栗
155	平井家住宅（茨城県稲敷郡新利根村）			茅葺	●	★	茨城県稲敷市柴崎155番地
156	椎名家住宅（茨城県新治郡出島村）			茅葺	●	★	茨城県かずみがうら市加茂4,148番地
157	小山寺三重塔			とち葺	■と	★	茨城県桜川市富谷
158	山本家住宅（茨城県鹿島郡神栖町）			茅葺	●	★	茨城県神栖市奥野谷4,281番地
159	岡本家住宅（栃木県河内郡河内町）	主屋		茅葺	●	★	栃木県宇都宮市下岡本町1,624番地
160	村檜神社本殿			桧皮葺	▼	★	栃木県栃木市岩舟町小野寺4697
161	東照宮	仮殿鐘楼		こけら葺	■こ	☆	栃木県日光市山内
162	輪王寺	三重塔		とち葺	■と	★	栃木県日光市山内
163	二荒山神社	大國殿		こけら葺	■こ	☆	栃木県日光市山内
164	二荒山神社	末社朋友神社本殿		こけら葺	■こ	☆	栃木県日光市山内

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
165	専修寺	総門		茅葺	●	★	栃木県真岡市高田
166	大雄寺	本堂		茅葺一部銅板葺	●	☆	栃木県大田原市黒羽田町字黒羽山
167	大雄寺	庫裏		茅葺及び銅板葺	●	☆	栃木県大田原市黒羽田町字黒羽山
168	大雄寺	禅堂		茅葺一部銅板葺	●	☆	栃木県大田原市黒羽田町字黒羽山
169	大雄寺	鐘楼		茅葺	●	☆	栃木県大田原市黒羽田町字黒羽山
170	大雄寺	総門		茅葺	●	☆	栃木県大田原市黒羽田町字黒羽山
171	大雄寺	廻廊	北東廻廊	茅葺一部銅板葺	●	☆	栃木県大田原市黒羽田町字黒羽山
172	大雄寺	廻廊	南東廻廊	茅葺	●	☆	栃木県大田原市黒羽田町字黒羽山
173	大雄寺	廻廊	南西廻廊	茅葺一部銅板葺	●	☆	栃木県大田原市黒羽田町字黒羽山
174	荒井家住宅（栃木県矢板市立足）	主屋		茅葺	●	★	栃木県矢板市立足192番地
175	荒井家住宅（栃木県矢板市立足）	表門		こけら葺	■こ	☆	栃木県矢板市立足192番地
176	西明寺楼門			茅葺	●	★	栃木県芳賀郡益子町大字益子
177	綱神社本殿			茅葺	●	★	栃木県芳賀郡益子町大字上大羽
178	綱神社摂社大倉神社本殿			茅葺	●	★	栃木県芳賀郡益子町大字上大羽
179	旧羽石家住宅（栃木県芳賀郡茂木町）			茅葺	●	★	栃木県芳賀郡茂木町大字牧野1, 170番地
180	入野家住宅（栃木県芳賀郡市貝村）	主屋		茅葺	●	★	栃木県芳賀郡市貝町大字赤羽2, 877番地
181	入野家住宅（栃木県芳賀郡市貝村）	表門		茅葺	●	★	栃木県芳賀郡市貝町大字赤羽2, 877番地
182	三森家住宅（栃木県那須郡那須町）	主屋		茅葺	●	★	栃木県那須郡那須町大字伊王野3, 111番地の1
183	三森家住宅（栃木県那須郡那須町）	表門		板葺	■板	★	栃木県那須郡那須町大字伊王野3, 111番地の1
184	阿久沢家住宅（群馬県勢多郡宮城村）			茅葺	●	★	群馬県前橋市柏倉町604番地1
185	彦部家住宅（群馬県桐生市広沢町）	主屋		茅葺、北面突出部鉄板葺	●	★	群馬県桐生市広沢町六丁目877番地
186	彦部家住宅（群馬県桐生市広沢町）	長屋門		茅葺	●	★	群馬県桐生市広沢町六丁目877番地
187	彦部家住宅（群馬県桐生市広沢町）	冬住み		茅葺	●	★	群馬県桐生市広沢町六丁目877番地
188	旧生方家住宅（旧所在 群馬県沼田市上之町）			板葺、庇こけら葺	■板	★	群馬県沼田市西倉内町594番地
189	貫前神社	本殿		檜皮葺	▼	★	群馬県富岡市一ノ宮
190	貫前神社	拝殿		檜皮葺	▼	★	群馬県富岡市一ノ宮
191	旧茂木家住宅（旧所在 群馬県富岡市神農原）			板葺、庇杉皮葺	■板	★	群馬県富岡市富岡宮崎329番地宮崎公園地内
192	旧黒澤家住宅（群馬県多野郡上野村）			板葺	■板	★	群馬県多野郡上野村大字檜原200番地9
193	業師堂			茅葺	●	★	群馬県吾妻郡中之条町大字四方
194	富沢家住宅（群馬県吾妻郡中之条町）			茅葺	●	★	群馬県吾妻郡中之条町大字大道1, 274番地
195	旧戸部家住宅（旧所在 群馬県利根郡川場村）			茅葺	●	★	群馬県利根郡みなかみ町湯原443番地
196	玉村八幡宮本殿			こけら葺	■こ	☆	群馬県佐波郡玉村町大字下新田
197	喜多院	客殿		こけら葺	■こ	★	埼玉県川越市小仙波町一丁目
198	喜多院	書院		こけら葺	■こ	★	埼玉県川越市小仙波町一丁目
199	平山家住宅（埼玉県大里郡江南村）			茅葺	●	★	埼玉県熊谷市樋春1, 067番地
200	内田家住宅（埼玉県秩父市蒔田）			茅葺	●	★	埼玉県秩父市蒔田891番地
201	小野家住宅（埼玉県所沢市林）			茅葺	●	★	埼玉県所沢市林二丁目426番地
202	黄林閣（旧村野家住宅 旧所在 東京都東久留米市柳窪）			茅葺	●	☆	埼玉県所沢市大字坂ノ下437番地柳瀬荘構内
203	旧高橋家住宅（埼玉県朝霞市根岸台）			茅葺	●	★	埼玉県朝霞市根岸台二丁目681番地
204	和井田家住宅（埼玉県八潮市大字八條）	主屋		茅葺	●	★	埼玉県八潮市大字八條1, 377番地1
205	和井田家住宅（埼玉県八潮市大字八條）	長屋門		茅葺	●	★	埼玉県八潮市大字八條1377番地1

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
206	高麗家住宅（埼玉県入間郡日高町）			茅葺	●	★	埼玉県日高市大字新堀850番地
207	吉田家住宅（埼玉県比企郡小川町）			茅葺	●	★	埼玉県比企郡小川町大字勝呂字西浦424番地
208	広徳寺大御堂			茅葺	●	★	埼玉県比企郡川島町大字表
209	慈光寺開山塔			とち葺	■と	☆	埼玉県比企郡ときがわ町大字西平
210	旧新井家住宅（旧所在 埼玉県秩父郡野上町）			板葺、東面下屋茅葺、西面及び北面庇杉皮葺	■板	★	埼玉県秩父郡長瀬町大字長瀬1, 164番地
211	金鑽神社多宝塔			こけら葺	■こ	★	埼玉県児玉郡神川町大字二ノ宮
212	法華経寺四足門			こけら葺	■こ	☆	千葉県市川市中山町
213	法華経寺祖師堂			こけら葺	■こ	☆	千葉県市川市中山町
214	旧花野井家住宅（旧所在 千葉県流山市前々崎）			茅葺	●	★	千葉県野田市清水馬作902番地
215	竜正院仁王門			茅葺	●	★	千葉県成田市下総町滑川
216	旧御子神家住宅（旧所在 千葉県安房郡丸山町）			茅葺	●	★	千葉県成田市大竹字申内1, 451番地千葉県立房総のむら構内
217	旧吉田家住宅（千葉県柏市花野井）	主屋		茅葺	●	☆	千葉県柏市花野井字原974番1
218	西願寺阿弥陀堂			茅葺	●	★	千葉県市原市平蔵
219	鳳来寺観音堂			茅葺	●	★	千葉県市原市吉沢
220	神野寺表門			茅葺	●	☆	千葉県君津市鹿野山
221	宝珠院観音堂			茅葺	●	★	千葉県印西市小倉三門口
222	泉福寺薬師堂			茅葺	●	★	千葉県印西市岩戸
223	栄福寺薬師堂			茅葺	●	★	千葉県印西市角田
224	滝田家住宅（千葉県印旛郡白井町）			茅葺	●	★	千葉県白井市平塚503番地
225	石堂寺	多宝塔		こけら葺	■こ	☆	千葉県南房総市石堂
226	石堂寺薬師堂			茅葺	●	★	千葉県南房総市石堂
227	旧尾形家住宅（千葉県安房郡丸山町）	主屋		茅葺	●	★	千葉県南房総市石堂301番地
228	旧尾形家住宅（千葉県安房郡丸山町）	土間		茅葺	●	★	千葉県南房総市石堂301番地
229	飯高寺	講堂		とち葺	■と	★	千葉県匝瑳市飯高
230	飯高寺	鐘楼		こけら葺	■こ	★	千葉県匝瑳市飯高
231	飯高寺	鼓楼		茅葺	●	★	千葉県匝瑳市飯高
232	香取神宮	本殿		桧皮葺	▼	★	千葉県香取市香取
233	大聖寺不動堂			茅葺	●	★	千葉県いすみ市井大原
234	護国寺月光殿（旧日光院客殿）			檜皮葺	▼	★	東京都文京区大塚五丁目
235	大場家住宅（東京都世田谷区世田谷）	主屋		茅葺	●	☆	東京都世田谷区世田谷一丁目29番18号
236	大場家住宅（東京都世田谷区世田谷）	表門		茅葺	●	☆	東京都世田谷区世田谷一丁目29番18号
237	観音寺本堂			茅葺	●	★	東京都青梅市塩船
238	観音寺仁王門			茅葺	●	★	東京都青梅市塩船
239	旧宮崎家住宅（旧所在 東京都青梅市成木）			茅葺、下屋杉皮葺	●	★	東京都青梅市駒木町一丁目684番地青梅市立郷土博物館構内
240	旧永井家住宅（旧所在 東京都町田市小野路町）			茅葺	●	★未/☆	東京都町田市野津田町3, 270番地町田市立薬師池公園内
241	正福寺地藏堂			こけら葺、もこし銅板葺	■こ	★	東京都東村山市野口町四丁目
242	小林家住宅（東京都西多摩郡檜原村）			茅葺	●	★	東京都西多摩郡檜原村藤原4, 994番地
243	臨春閣	第一屋		桧皮葺・庇こけら葺	▼	★	神奈川県横浜市中区本牧三之谷58番1号
244	臨春閣	第二屋		桧皮葺・庇こけら葺	▼	★	神奈川県横浜市中区本牧三之谷58番1号
245	臨春閣	第三屋		上重桧皮葺・下重こけら葺	▼	★	神奈川県横浜市中区本牧三之谷58番1号
246	月華殿			桧皮葺・庇こけら葺	▼	★	神奈川県横浜市中区本牧三之谷58番1号



No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
247	春草廬			こけら葺	■こ	★	神奈川県横浜市中区本牧三之谷58番1号
248	聴秋閣			檜皮葺	▼	★	神奈川県横浜市中区本牧三之谷58番1号
249	旧東慶寺仏殿			茅葺、もこしこけら葺	●	★	神奈川県横浜市中区本牧三之谷58番1号
250	旧久寛原家住宅（旧所在 岐阜県大野郡莊川村）			茅葺、庇こけら葺	●	★	神奈川県横浜市中区本牧三之谷58番1号
251	天授院			茅葺	●	★未/☆	神奈川県横浜市中区本牧三之谷58番1号
252	関家住宅（神奈川県横浜市港北区勝田町）	主屋		茅葺	●	★未/☆	神奈川県横浜市中区勝田町1,220番地
253	関家住宅（神奈川県横浜市港北区勝田町）	書院		茅葺	●	★未/☆	神奈川県横浜市中区勝田町1,220番地
254	関家住宅（神奈川県横浜市港北区勝田町）	表門		茅葺	●	★未/☆	神奈川県横浜市中区勝田町1,220番地
255	旧伊藤家住宅（旧所在 神奈川県川崎市金程）			茅葺	●	★	神奈川県川崎市多摩区枳形七丁目1番1号日本民家園内
256	旧北村家住宅（旧所在 神奈川県秦野市堀山下）			茅葺	●	☆	神奈川県川崎市多摩区枳形七丁目1番1号日本民家園内
257	旧佐々木家住宅（旧所在 長野県佐久郡八千穂村）			茅葺、庇こけら葺	●	★未/☆	神奈川県川崎市多摩区枳形七丁目1番1号日本民家園内
258	旧太田家住宅（旧所在 茨城県笠間市片庭）	主屋		茅葺	●	★	神奈川県川崎市多摩区枳形七丁目1番1号日本民家園内
259	旧太田家住宅（旧所在 茨城県笠間市片庭）	土間		茅葺	●	☆	神奈川県川崎市多摩区枳形七丁目1番1号日本民家園内
260	旧江向家住宅（旧所在 富山県砺波郡上平村）			茅葺	●	★	神奈川県川崎市多摩区枳形七丁目1番1号日本民家園内
261	旧工藤家住宅（旧所在 岩手県紫波郡紫波町）			茅葺	●	★未/☆	神奈川県川崎市多摩区枳形七丁目1番1号日本民家園内
262	旧作田家住宅（旧所在 千葉県山武郡九十九里町）	主屋		茅葺	●	★	神奈川県川崎市多摩区枳形七丁目1番1号日本民家園内
263	旧作田家住宅（旧所在 千葉県山武郡九十九里町）	土間		茅葺	●	★	神奈川県川崎市多摩区枳形七丁目1番1号日本民家園内
264	円覚寺舍利殿			こけら葺	■こ	★	神奈川県鎌倉市山ノ内
265	建長寺昭堂			茅葺	●	☆	神奈川県鎌倉市山ノ内
266	旧一条恵観山荘（旧所在 京都府京都市北区西賀茂川上町）			茅葺	●	☆	神奈川県鎌倉市浄明寺字宅間543番地
267	旧石井家住宅（旧所在 神奈川県鎌倉市関谷）			茅葺	●	★	神奈川県鎌倉市植木
268	宝城坊本堂			茅葺、一部銅板葺	●	★	神奈川県伊勢原市日向
269	旧笹川家住宅（新潟県西蒲原郡味方村）	表門		茅葺	●	★	新潟県新潟市南区味方216番地
270	種月寺本堂			茅葺（鉄板仮葺）、開山堂鉄板葺	●	★	新潟県新潟市西蒲区石瀬
271	旧長谷川家住宅（新潟県三島郡越路町）	主屋		茅葺	●	★	新潟県長岡市塚野山773番地1
272	旧長谷川家住宅（新潟県三島郡越路町）	表門		茅葺	●	★	新潟県長岡市塚野山773番地1
273	大泉寺観音堂			茅葺	●	★	新潟県柏崎市大字大清水
274	多多神社本殿			板葺	■板	☆	新潟県柏崎市曾地
275	旧新発田藩足輕長屋			茅葺、庇こけら葺	●	★	新潟県新発田市諏訪町三丁目3番3号
276	魚沼神社阿彌陀堂			茅葺	●	★	新潟県小千谷市土川二丁目
277	松亭神社本殿			茅葺	●	☆	新潟県十日町市仙納
278	若林家住宅（新潟県村上三之町）			茅葺、西面玄関及び便所板葺	●	★	新潟県村上三之町3番13号
279	白山神社本殿			こけら葺	■こ	☆	新潟県糸魚川市大字能生
280	浄興寺本堂			こけら葺	■こ	★	新潟県上越市寺町二丁目
281	蓮華峰寺弘法堂			とち葺	■と	☆	新潟県佐渡市小比叡
282	蓮華峰寺骨堂			茅葺	●	☆	新潟県佐渡市小比叡
283	小比叡神社	本殿		こけら葺	■こ	☆	新潟県佐渡市小比叡
284	北條家住宅（新潟県佐渡郡金井町）			茅葺、下屋棧瓦及び鉄板葺、庇棧瓦葺	●	★	新潟県佐渡市泉乙33番地
285	旧目黒家住宅（新潟県北魚沼郡守門村）	主屋		茅葺、庇鉄板葺	●	★	新潟県魚沼市須原890番地
286	佐藤家住宅（新潟県北魚沼郡守門村）			茅葺、庇銅板葺	●	★	新潟県魚沼市大倉1,273番地1
287	乙宝寺三重塔新潟県北蒲原郡中条町大字乙			こけら葺	■こ	★	新潟県胎内市乙

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
288	弥彦神社境内末社十柱神社社殿			茅葺、向拝板葺き	●	★	新潟県西蒲原郡弥彦村大字弥彦
289	平等寺薬師堂			茅葺	●	★	新潟県東蒲原郡阿賀町岩谷
290	護徳寺観音堂			茅葺	●	★	新潟県東蒲原郡阿賀町大字日出谷甲
291	渡辺家住宅（新潟県岩船郡関川村）	主屋		板葺・こけら葺・棧瓦葺	■板	★	新潟県岩船郡関川村大字下関904番地
292	渡辺家住宅（新潟県岩船郡関川村）	味噌蔵		板葺	■板	★	新潟県岩船郡関川村大字下関904番地
293	佐藤家住宅（新潟県岩船郡関川村）	主屋		茅葺、棧瓦葺	●	★	新潟県岩船郡関川村大字下関897番地
294	浮田家住宅（富山県富山市太田南町）	主屋		茅葺、庇板葺、西面突出部板及び鉄板葺、南、東及び北面突出部棧瓦葺	●	★	富山県富山市太田南町110番地
295	浮田家住宅（富山県富山市太田南町）	表門		茅葺	●	★未	富山県富山市太田南町110番地
296	瑞龍寺	山門		こけら葺	■こ	★	富山県高岡市関本町
297	瑞龍寺	総門		こけら葺	■こ	☆	富山県高岡市関本町
298	瑞龍寺	禅堂		こけら葺	■こ	★	富山県高岡市関本町
299	瑞龍寺	大茶堂		こけら葺	■こ	★	富山県高岡市関本町
300	瑞龍寺	高廊下		こけら葺	■こ	★	富山県高岡市関本町
301	瑞龍寺	北回廊		こけら葺	■こ	★	富山県高岡市関本町
302	瑞龍寺	南東回廊		こけら葺	■こ	★	富山県高岡市関本町
303	瑞龍寺	南西回廊		こけら葺	■こ	★	富山県高岡市関本町
304	気多神社本殿			こけら葺	■こ	★	富山県高岡市伏木一ノ宮
305	武田家住宅（富山県高岡市太田）			茅葺・こけら葺、西面、南面及び東面庇、南面便所棧瓦葺、北面庇板葺	●	★	富山県高岡市太田4、258番地
306	佐伯家住宅（富山県西砺波郡福岡町）			茅葺、下屋棧瓦葺	●	★	富山県高岡市福岡町藁島630番地
307	勝興寺	唐門		檜皮葺	▼	★	富山県高岡市伏木古国府
308	勝興寺	経堂		こけら葺	■こ	☆	富山県高岡市伏木古国府
309	勝興寺	式台門		こけら葺	■こ	☆	富山県高岡市伏木古国府
310	勝興寺	大広間及び式台		こけら葺	■こ	☆	富山県高岡市伏木古国府
311	勝興寺	台所		こけら葺	■こ	☆	富山県高岡市伏木古国府
312	勝興寺	書院及び奥書院		こけら葺	■こ	☆	富山県高岡市伏木古国府
313	勝興寺	御内仏		こけら葺	■こ	☆	富山県高岡市伏木古国府
314	護国八幡宮	本殿		こけら葺	■こ	★未	富山県小矢部市殖生
315	護国八幡宮	釣殿		こけら葺	■こ	☆	富山県小矢部市殖生
316	護国八幡宮	拝殿及び幣殿		こけら葺	■こ	★未	富山県小矢部市殖生
317	白山宮本殿			板葺	■板	☆	富山県南砺市上梨
318	村上家住宅（富山県東砺波郡平村）			茅葺、下屋こけら葺	●	★	富山県南砺市上梨742番地
319	羽馬家住宅（富山県東砺波郡平村）			茅葺	●	★	富山県南砺市田向254番地
320	岩瀬家住宅（富山県東砺波郡上平村）			茅葺	●	★	富山県南砺市西赤尾町857番地の1
321	雄山神社前立社壇本殿			檜皮葺	▼	★	富山県中新川郡立山町岩崎寺
322	旧嶋家住宅（旧所在 富山県婦負郡細入村）			こけら葺、庇板葺	■こ	★	富山県中新川郡立山町芦崎寺古屋敷37番地
323	立山室堂	北棟		とち葺	■と	☆	富山県中新川郡立山町芦崎寺ブナ坂外国有林
324	立山室堂	南棟		とち葺	■と	☆	富山県中新川郡立山町芦崎寺ブナ坂外国有林
325	成巽閣			こけら葺	■こ	★	石川県金沢市兼六町1番2号
326	旧松下家住宅（旧所在 石川県金沢市泉新町）			板葺	■板	★	石川県金沢市湯涌町へ19番地
327	大乘寺仏殿			こけら葺	■こ	★	石川県金沢市長坂町
328	藤津比古神社本殿			こけら葺	■こ	☆	石川県七尾市中島町藤瀬

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
329	座主家住宅（石川県鹿島郡中島町）			茅葺	●	★	石川県七尾市中島町字藤瀬4の17番地
330	那谷寺本堂	唐門		こけら葺	■こ	☆	石川県小松市那谷町
331	那谷寺本堂	拝殿		檜皮葺	▼	★	石川県小松市那谷町
332	那谷寺三重塔			檜皮葺	▼	★	石川県小松市那谷町
333	那谷寺護摩堂			檜皮葺	▼	★	石川県小松市那谷町
334	那谷寺鐘樓			檜皮葺	▼	★	石川県小松市那谷町
335	時国家住宅（石川県輪島市町野町）			茅葺、一部こぼ葺	●	★	石川県輪島市町野町西時国2字1番地
336	上時国家住宅（石川県輪島市町野町）	主屋		茅葺、一部棧瓦葺	●	★	石川県輪島市町野町南時国13字4番地
337	黒丸家住宅（石川県珠洲市若山町）	主屋		茅葺、庇棧瓦葺	●	★	石川県珠洲市若山町上黒丸2の33番地
338	江沼神社長流亭			こけら葺	■こ	☆	石川県加賀市大聖寺八間道
339	気多神社	本殿		檜皮葺	▼	★	石川県羽咋市寺家町
340	気多神社	摂社白山神社本殿		檜皮葺	▼	★	石川県羽咋市寺家町
341	気多神社	摂社若宮神社本殿		檜皮葺	▼	★	石川県羽咋市寺家町
342	気多神社	拝殿		檜皮葺	▼	☆	石川県羽咋市寺家町
343	気多神社	神門		檜皮葺	▼	☆	石川県羽咋市寺家町
344	妙成寺本堂			こけら葺	■こ	★	石川県羽咋市滝谷町
345	妙成寺祖師堂			こけら葺	■こ	☆	石川県羽咋市滝谷町
346	妙成寺五重塔			とち葺	■と	★	石川県羽咋市滝谷町
347	妙成寺書院			こけら葺	■こ	★	石川県羽咋市滝谷町
348	妙成寺鐘樓			こけら葺	■こ	☆	石川県羽咋市滝谷町
349	妙成寺三十番神堂			こけら葺	■こ	☆	石川県羽咋市滝谷町
350	妙成寺三光堂			こけら葺	■こ	☆	石川県羽咋市滝谷町
351	妙成寺庫裏			こけら葺	■こ	★	石川県羽咋市滝谷町
352	旧小倉家住宅（石川県石川郡白峰村）			とち葺	■と	★	石川県白山市白峰り29番6
353	松尾神社本殿			板葺	■板	☆	石川県羽咋郡志賀町町居
354	喜多家住宅（石川県羽咋郡押水町）	表門		茅葺	●	★	石川県羽咋郡宝達志水町北川尻ラ4番地
355	明通寺本堂			檜皮葺	▼	★	福井県小浜市門前
356	明通寺三重塔			檜皮葺	▼	★	福井県小浜市門前
357	妙楽寺本堂			檜皮葺	▼	★	福井県小浜市野代
358	神宮寺本堂			檜皮葺	▼	★未/☆	福井県小浜市神宮寺
359	神宮寺仁王門			こけら葺	■こ	★未/☆	福井県小浜市神宮寺
360	羽賀寺本堂			檜皮葺	▼	★	福井県小浜市羽賀
361	飯盛寺本堂			茅葺、向拝こけら葺	●	★	福井県小浜市飯盛
362	旧橋本家住宅（福井県大野市宝慶寺）			茅葺	●	★	福井県大野市宝慶寺字笠松7番地
363	旧木下家住宅（福井県勝山市北郷町）			茅葺	●	☆	福井県勝山市北郷町伊知地5号3番地
364	旧瓜生家住宅（福井県鯖江市水落町）			茅葺、庇こけら葺	●	★	福井県鯖江市水落町四丁目81号1番
365	春日神社本殿			こけら葺	■こ	☆	福井県鯖江市鳥井町
366	旧谷口家住宅（旧所在 福井県武生市横市町）			茅葺	●	★	福井県越前市余川町25字17番地越前の里味真野苑内
367	大塩八幡宮拝殿			こけら葺	■こ	★	福井県越前市国兼町
368	大滝神社本殿及び拝殿			檜皮葺	▼	★	福井県越前市大滝町
369	瀧谷寺	鎮守堂		こけら葺	■こ	☆	福井県坂井市三国町滝谷

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
370	坪川家住宅（福井県坂井郡丸岡町）			茅葺	●	★	福井県坂井市丸岡町上竹田30号11番地
371	須波阿須疑神社本殿			檜皮葺	▼	☆	福井県今立郡池田町福荷
372	堀口家住宅（福井県今立郡池田町）			茅葺	●	★	福井県今立郡池田町福荷第32号17番地
373	相木家住宅（福井県丹生郡宮崎村）			茅葺、庇棧瓦葺	●	★	福井県丹生郡越前町小曾原26号44番地
374	中山寺本堂			檜皮葺	▼	★	福井県大飯郡高浜町中山
375	東光寺仏殿			檜皮葺	▼	★	山梨県甲府市東光寺町
376	穴切大神社本殿			檜皮葺	▼	★	山梨県甲府市宝
377	高室家住宅（山梨県甲府市高室町）	主屋		茅葺	●	☆	山梨県甲府市高室町字金山754番1
378	高室家住宅（山梨県甲府市高室町）	離れ		茅葺	●	☆	山梨県甲府市高室町字金山754番1
379	北口本宮富士浅間神社東宮本殿			檜皮葺	▼	☆	山梨県富士吉田市上吉田諏訪内
380	北口本宮富士浅間神社本殿			檜皮葺	▼	★	山梨県富士吉田市上吉田諏訪内
381	北口本宮富士浅間神社西宮本殿			檜皮葺	▼	★	山梨県富士吉田市上吉田諏訪内
382	清白寺仏殿			檜皮葺	▼	★	山梨県山梨市三ヶ所
383	清白寺庫裏			茅葺、鉄板葺	●	☆	山梨県山梨市三ヶ所
384	窪八幡神社本殿			檜皮葺	▼	★	山梨県山梨市北
385	窪八幡神社拝殿（庁屋）			檜皮葺	▼	★	山梨県山梨市北
386	窪八幡神社摂社若宮八幡神社本殿			檜皮葺	▼	★	山梨県山梨市北
387	窪八幡神社摂社若宮八幡神社拝殿			檜皮葺	▼	☆	山梨県山梨市北
388	窪八幡神社末社武内大神本殿			檜皮葺	▼	★	山梨県山梨市北
389	窪八幡神社末社高良神社本殿			檜皮葺	▼	★	山梨県山梨市北
390	窪八幡神社神門			檜皮葺	▼	☆	山梨県山梨市北
391	天神社本殿			檜皮葺	▼	★	山梨県山梨市大工
392	中牧神社本殿			檜皮葺	▼	★	山梨県山梨市牧丘町千野野宮
393	武田八幡神社本殿			檜皮葺	▼	☆	山梨県韮崎市神山町
394	安藤家住宅（山梨県中巨摩郡甲西町）	主屋		茅葺	●	★	山梨県南アルプス市西南湖4,302番地
395	安藤家住宅（山梨県中巨摩郡甲西町）	表門		茅葺	●	★	山梨県南アルプス市西南湖4,302番地
396	八代家住宅（山梨県北巨摩郡明野村）	主屋		茅葺、西面便所棧瓦葺	●	★	山梨県北杜市明野町上手1870番地
397	旧平田家住宅（山梨県北巨摩郡小淵沢町）			茅葺	●	★	山梨県北杜市小淵沢町7,761番4
398	山梨岡神社本殿			こけら葺	■こ	★	山梨県笛吹市春日居町鎮目
399	浅間神社摂社山宮神社本殿			檜皮葺	▼	★	山梨県笛吹市一宮町一ノ宮
400	慈眼寺	本堂		茅葺	●	★	山梨県笛吹市一宮町末木
401	慈眼寺	鐘楼門		檜皮葺	▼	★	山梨県笛吹市一宮町末木
402	慈眼寺	庫裏		茅葺、背面庇檜皮葺	●	★	山梨県笛吹市一宮町末木
403	大善寺本堂			檜皮葺	▼	★	山梨県甲州市勝沼町
404	恵林寺四脚門			檜皮葺	▼	★	山梨県甲州市塩山小屋敷
405	熊野神社本殿			檜皮葺	▼	☆	山梨県甲州市塩山熊野
406	熊野神社本殿			檜皮葺	▼	☆	山梨県甲州市塩山熊野
407	熊野神社拝殿			茅葺	●	★	山梨県甲州市塩山熊野
408	雲峰寺本堂			檜皮葺	▼	★	山梨県甲州市塩山上萩原
409	雲峰寺書院			茅葺	●	★	山梨県甲州市塩山上萩原
410	雲峰寺庫裏			茅葺	●	★	山梨県甲州市塩山上萩原

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
411	旧高野家住宅（山梨県塩山市上於曾）	巽蔵		こけら葺	■こ	★	山梨県甲州市塩山上於曾1,651番地15
412	旧高野家住宅（山梨県塩山市上於曾）	馬屋		茅葺	●	★	山梨県甲州市塩山上於曾1,651番地15
413	旧高野家住宅（山梨県塩山市上於曾）	東門		茅葺（鉄板仮葺）	●	★	山梨県甲州市塩山上於曾1,651番地15
414	旧高野家住宅（山梨県塩山市上於曾）	小屋		茅葺（鉄板仮葺）、鉄板葺	●	★	山梨県甲州市塩山上於曾1,651番地15
415	向岳寺中門			桧皮葺	▼	★	山梨県甲州市塩山上於曾
416	門西家住宅（山梨県西八代郡下都町）			茅葺	●	★	山梨県南巨摩郡身延町湯之奥255番地
417	本遠寺	本堂		桧皮葺	▼	★	山梨県南巨摩郡身延町大野
418	本遠寺	鐘楼堂		桧皮葺	▼	★	山梨県南巨摩郡身延町大野
419	善光寺本堂			桧皮葺	▼	★	長野県長野市大字長野元善町
420	善光寺三門			とち葺	■と	★	長野県長野市大字長野元善町
421	善光寺経蔵			桧皮葺	▼	★	長野県長野市大字長野元善町
422	葛山落合神社本殿			こけら葺	■こ	☆	長野県長野市大字入山
423	白鬚神社本殿			こけら葺	■こ	☆	長野県長野市鬼無里日影
424	真田信重霊屋			こけら葺	■こ	★	長野県長野市松代町西条
425	真田信之霊屋	宝殿		こけら葺	■こ	☆	長野県長野市松代町松代
426	真田信之霊屋	表門		こけら葺	■こ	☆	長野県長野市松代町松代
427	旧横田家住宅（長野県長野市松代町松代）	主屋		茅葺	●	★	長野県長野市松代町松代代官町1,434番地1
428	旧横田家住宅（長野県長野市松代町松代）	隠居屋		茅葺	●	★	長野県長野市松代町松代代官町1,434番地1
429	筑摩神社本殿			桧皮葺	▼	★	長野県松本市筑摩
430	大宮熟田神社本殿			こけら葺	■こ	☆	長野県松本市梓川梓
431	大宮熟田神社若宮八幡宮本殿			こけら葺	■こ	☆	長野県松本市梓川梓
432	若宮八幡社本殿			こけら葺	■こ	★	長野県松本市筑摩
433	田村堂			こけら葺	■こ	☆	長野県松本市波田上波田
434	安楽寺八角三重塔			こけら葺	■こ	★	長野県上田市大字別所
435	法住寺虚空蔵堂			こけら葺	■こ	★	長野県上田市東内
436	前山寺三重塔			こけら葺	■こ	★	長野県上田市大字前山
437	中禅寺薬師堂			茅葺	●	★	長野県上田市大字前山
438	白山社奥社本殿			こけら葺	■こ	★	長野県飯田市大字上飯田
439	旧小笠原家書院			こけら葺	■こ	★	長野県飯田市伊豆木3,942番地
440	諏訪大社上社本宮	幣殿		桧皮葺	▼	★	長野県諏訪市大字中洲字宮山
441	諏訪大社上社本宮	拝殿		桧皮葺	▼	★	長野県諏訪市大字中洲字宮山
442	諏訪大社上社本宮	左右片拝殿	右片拝殿◆	桧皮葺	▼	★	長野県諏訪市大字中洲字宮山
443	諏訪大社上社本宮	左右片拝殿	左片拝殿◆	桧皮葺	▼	★	長野県諏訪市大字中洲字宮山
444	諏訪大社上社本宮	脇片拝殿		桧皮葺	▼	★	長野県諏訪市大字中洲字宮山
445	諏訪大社上社本宮	四脚門		こけら葺	■こ	★	長野県諏訪市大字中洲字宮山
446	諏訪大社上社本宮	勅使殿		こけら葺	■こ	☆	長野県諏訪市大字中洲字宮山
447	熟田神社本殿			こけら葺	■こ	☆	長野県伊那市長谷溝口
448	旧竹村家住宅（旧所在 長野県駒ヶ根市中沢）			茅葺	●	☆	長野県駒ヶ根市赤徳26番地
449	若一王子神社本殿			桧皮葺	▼	★	長野県大町市大町
450	仁科神明宮	本殿		桧皮葺	▼	★	長野県大町市社
451	仁科神明宮	中門（前殿）		桧皮葺	▼	★	長野県大町市社

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
452	旧中村家住宅（長野県北安曇郡美麻村）	主屋		茅葺	●	★	長野県大町市美麻17,668番地
453	旧中村家住宅（長野県北安曇郡美麻村）	土蔵		茅葺	●	★	長野県大町市美麻17,668番地
454	白山神社本殿			とち葺	■と	☆	長野県飯山市大字照岡
455	健御名方富命彦神別神社末社若宮八幡神社本殿			とち葺	■と	☆	長野県飯山市大字豊田
456	堀内家住宅（長野県塩尻市堀ノ内）			板葺	■板	★	長野県塩尻市堀ノ内117番地
457	小松家住宅（長野県塩尻市片丘）			茅葺	●	★	長野県塩尻市片丘9,038番地
458	新海三社神社三重塔			こけら葺	■こ	★	長野県佐久市田口
459	新海三社神社東本社			檜皮葺	▼	★	長野県佐久市田口
460	八幡社境内神社高良社本殿（旧八幡社本殿）			こけら葺	■こ	★	長野県佐久市蓬田
461	駒形神社本殿			とち葺	■と	☆	長野県佐久市塚原
462	智識寺大御堂			茅葺	●	☆	長野県千曲市大字上山田
463	水上布奈山神社本殿			こけら葺	■こ	★	長野県千曲市大字戸倉
464	春原家住宅（長野県小県郡東部町）			茅葺	●	★	長野県東御市大字和7,192番地の1
465	曾根原家住宅（長野県南安曇郡徳高町）			板葺	■板	★	長野県南安曇郡市徳高有明1,632番地
466	大法寺三重塔			檜皮葺	▼	★	長野県小県郡青木村大字当郷
467	諏訪大社下社	春宮幣拝殿		檜皮葺	▼	★	長野県諏訪郡下諏訪町
468	諏訪大社下社	春宮左右片拝殿	左片拝殿◆	檜皮葺	▼	★	長野県諏訪郡下諏訪町
469	諏訪大社下社	春宮左右片拝殿	右片拝殿◆	檜皮葺	▼	★	長野県諏訪郡下諏訪町
470	諏訪大社下社	秋宮幣拝殿		檜皮葺	▼	★	長野県諏訪郡下諏訪町
471	諏訪大社下社	秋宮左右片拝殿	左片拝殿◆	檜皮葺	▼	★	長野県諏訪郡下諏訪町
472	諏訪大社下社	秋宮左右片拝殿	右片拝殿◆	檜皮葺	▼	★	長野県諏訪郡下諏訪町
473	諏訪大社下社	秋宮神楽殿		こけら葺	■こ	★	長野県諏訪郡下諏訪町
474	竹ノ内家住宅（長野県下伊那郡高森町）			板葺＝石置	■板	★	長野県下伊那郡高森町吉田1,987番地の1
475	八幡神社	本殿		こけら葺	■こ	★	長野県下伊那郡阿南町大字富草
476	八幡神社	摂社諏訪神社本殿		こけら葺	■こ	★	長野県下伊那郡阿南町大字富草
477	大山田神社	相殿応神天皇社本殿		こけら葺	■こ	☆	長野県下伊那郡下條村大字陽阜
478	大山田神社	相殿鎮西八郎為朝社本殿		こけら葺	■こ	☆	長野県下伊那郡下條村大字陽阜
479	諏訪社	本殿		板葺	■板	☆	長野県下伊那郡泰阜村字家ノ上
480	諏訪社	若宮八幡宮本殿		板葺	■板	☆	長野県下伊那郡泰阜村字家ノ上
481	福德寺本堂			こけら葺	■こ	★	長野県下伊那郡大鹿村大字大河原上蔵2,004番地
482	白山神社	本殿		檜皮葺	▼	☆	長野県木曾郡大桑村大字殿
483	白山神社	境内社蔵王神社本殿		檜皮葺	▼	☆	長野県木曾郡大桑村大字殿
484	白山神社	境内社伊豆神社本殿		檜皮葺	▼	☆	長野県木曾郡大桑村大字殿
485	白山神社	境内社熊野神社本殿		檜皮葺	▼	☆	長野県木曾郡大桑村大字殿
486	定勝寺山門			檜皮葺	▼	★	長野県木曾郡大桑村大字須原
487	神明社	假殿		茅葺	●	☆	長野県東筑摩郡麻績村麻
488	神明社	神楽殿		茅（鉄板仮）葺	●	☆	長野県東筑摩郡麻績村麻
489	神明社	舞台		茅（鉄板仮）葺	●	☆	長野県東筑摩郡麻績村麻
490	浄光寺薬師堂			茅葺	●	★	長野県上高井郡小布施町大字雁田
491	佐野神社本殿			とち葺	■と	☆	長野県下高井郡山ノ内町大字佐野
492	桑原家住宅（岐阜県養老郡上石津町）	表門		茅葺	●	★	岐阜県大垣市上石津町一之瀬365番

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
493	荒城神社本殿			こけら葺	■こ	★	岐阜県高山市国府町宮地
494	安国寺経蔵			こけら葺	■こ	★	岐阜県高山市国府町西門前
495	阿多由太神社本殿			こけら葺	■こ	☆	岐阜県高山市国府町木曾垣内
496	旧田中家住宅（旧所在 岐阜県高山市冬頭町）			板葺	■板	★	岐阜県高山市上岡本町一丁目590番地飛騨民俗村構内
497	荒川家住宅（岐阜県大野郡丹生川村）	主屋		板葺＝石置	■板	☆	岐阜県高山市丹生川町大字大谷141番地
498	荒川家住宅（岐阜県大野郡丹生川村）	土蔵		板葺	■板	★	岐阜県大野郡丹生川村大字大谷141番地
499	旧若山家住宅（旧所在 岐阜県大野郡荘川村）			茅葺、庇板葺	●	☆	岐阜県高山市上岡本町一丁目590番地飛騨民俗村構内
500	旧吉真家住宅（旧所在 岐阜県吉城郡河合村）			茅葺	●	★	岐阜県高山市上岡本町一丁目590番地飛騨民俗村構内
501	熊野神社本殿			こけら葺	■こ	☆	岐阜県高山市国府町西門前
502	永保寺開山堂			桧皮葺	▼	★	岐阜県多治見市虎溪山町
503	永保寺観音堂			桧皮葺	▼	★	岐阜県多治見市虎溪山町
504	日竜峯寺多宝塔			桧皮葺	▼	★	岐阜県関市下之保
505	新長谷寺本堂			桧皮葺	▼	★	岐阜県関市長谷寺町
506	新長谷寺三重塔			桧皮葺	▼	★	岐阜県関市長谷寺町
507	新長谷寺釈迦堂			桧皮葺	▼	★	岐阜県関市長谷寺町
508	新長谷寺阿彌陀堂			桧皮葺	▼	★	岐阜県関市長谷寺町
509	新長谷寺大師堂			桧皮葺	▼	★	岐阜県関市長谷寺町
510	新長谷寺鎮守堂			桧皮葺	▼	★	岐阜県関市長谷寺町
511	新長谷寺薬師堂			桧皮葺	▼	★	岐阜県関市長谷寺町
512	鹿苑寺地藏堂			桧皮葺	▼	★	岐阜県美濃市立花
513	大矢田神社	本殿		桧皮葺	▼	★	岐阜県美濃市大矢田
514	大矢田神社	拝殿		桧皮葺	▼	★	岐阜県美濃市大矢田
515	武並神社本殿			桧皮葺	▼	★	岐阜県恵那市大井町
516	白山神社拝殿			桧皮葺	▼	★	岐阜県山県市東深瀬
517	薬師堂			こけら葺	■こ	★	岐阜県飛騨市神岡町小萱
518	久津八幡宮拝殿			こけら葺	■こ	★	岐阜県下呂市萩原町上呂
519	久津八幡宮本殿			こけら葺	■こ	☆	岐阜県下呂市萩原町上呂
520	旧大戸家住宅（旧所在 岐阜県大野郡白川村）			茅葺	●	★	岐阜県下呂市森2,369番地
521	南宮神社	本殿		桧皮葺	▼	★	岐阜県不破郡垂井町宮代
522	南宮神社	幣殿		桧皮葺	▼	★	岐阜県不破郡垂井町宮代
523	南宮神社	拝殿		桧皮葺	▼	★	岐阜県不破郡垂井町宮代
524	南宮神社	摂社樹下神社本殿		桧皮葺	▼	★	岐阜県不破郡垂井町宮代
525	南宮神社	摂社高山神社本殿		桧皮葺	▼	★	岐阜県不破郡垂井町宮代
526	南宮神社	摂社隼人神社本殿		桧皮葺	▼	★	岐阜県不破郡垂井町宮代
527	南宮神社	摂社南大神神社本殿		桧皮葺	▼	★	岐阜県不破郡垂井町宮代
528	南宮神社	高舞殿		桧皮葺	▼	★	岐阜県不破郡垂井町宮代
529	南宮神社	楼門		桧皮葺	▼	★	岐阜県不破郡垂井町宮代
530	日吉神社三重塔			桧皮葺	▼	★	岐阜県安人郡神戸町大字神戸
531	牧村家住宅（岐阜県揖斐郡大野町）			茅葺	●	★	岐阜県揖斐郡大野町大字西方587番地の1
532	円鏡寺楼門			桧皮葺	▼	★	岐阜県本巣郡北方町北方
533	明鏡寺観音堂			茅葺	●	★	岐阜県加茂郡八百津町伊岐津志

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
534	旧遠山家住宅（岐阜県大野郡白川村）			茅葺	●	★未	岐阜県大野郡白川村大字御母衣125番地
535	和田家住宅（岐阜県大野郡白川村萩町）	主屋		茅葺	●	★	岐阜県大野郡白川村大字萩町字山越
536	和田家住宅（岐阜県大野郡白川村萩町）	便所		茅葺	●	★	岐阜県大野郡白川村大字萩町字山越
537	臨濟寺本堂			こけら葺	■こ	★	静岡県静岡市葵区大岩
538	霊山寺仁王門			茅葺	●	★	静岡県静岡市清水区大内
539	中村家住宅（静岡県浜名郡雄踏町）			茅葺	●	★	静岡県浜松市西区雄踏町字布見4,912番地
540	方広寺七尊菩薩堂			こけら葺	■こ	☆	静岡県浜松市北区引佐町奥山
541	寶林寺	仏殿		こけら葺	■こ	★	静岡県浜松市北区細江町中川
542	寶林寺	方丈		茅葺	●	★	静岡県浜松市北区細江町中川
543	浜名惣社神明宮本殿			茅葺	●	☆	静岡県浜松市北区三ヶ日町三ヶ日
544	鈴木家住宅（静岡県浜松市北区引佐町）	主屋		茅	●	☆	静岡県浜松市北区引佐町の場742番地
545	鈴木家住宅（静岡県浜松市北区引佐町）	釜屋		茅	●	☆	静岡県浜松市北区引佐町の場742番地
546	富士山本宮浅間神社本殿			桧皮葺	▼	★	静岡県富士宮市大宮
547	智満寺本堂			茅葺	●	★	静岡県島田市千葉
548	富士浅間宮本殿			桧皮葺	▼	☆	静岡県袋井市国本
549	尊永寺仁王門			こけら葺	■こ	★	静岡県袋井市豊沢
550	旧権松家住宅（旧所在 静岡県裾野市石脇）			茅葺	●	★	静岡県裾野市千福松が窪7の11
551	本興寺本堂			茅葺、向拝棧瓦葺	●	★	静岡県湖西市鷺津
552	黒田家住宅（静岡県小笠郡小笠町）	長屋門		茅葺	●	★	静岡県菊川市下平川862番地1号
553	江川家住宅（静岡県田方郡菰山町）	書院		茅葺	●	★	静岡県伊豆の国市菰山菰山1番地
554	江川家住宅（静岡県田方郡菰山町）	仏間		茅葺	●	★	静岡県伊豆の国市菰山菰山1番地
555	江川家住宅（静岡県田方郡菰山町）	肥料蔵		茅葺	●	★	静岡県伊豆の国市菰山菰山1番地
556	大鐘家住宅（静岡県榛原郡相良町）	長屋門		茅葺	●	★	静岡県牧之原市片浜1,032番地
557	友田家住宅（静岡県周智郡森町）			茅葺	●	★	静岡県周智郡森町亀久保336番地
558	富部神社本殿			檜皮葺	▼	☆	愛知県名古屋南区呼続町神林
559	竜泉寺仁王門			こけら葺	■こ	★	愛知県名古屋守山区吉根
560	東観音寺多宝塔			こけら葺	■こ	★	愛知県豊橋市小松原町
561	滝山寺三門			こけら葺	■こ	★	愛知県岡崎市滝町
562	滝山寺本堂			桧皮葺	▼	★	愛知県岡崎市滝町
563	妙源寺柳堂			桧皮葺	▼	★	愛知県岡崎市大和町
564	大樹寺多宝塔			桧皮葺	▼	★	愛知県岡崎市鴨田町
565	信光明寺観音堂			こけら葺	■こ	★	愛知県岡崎市岩津町
566	天恩寺仏殿			桧皮葺	▼	☆	愛知県岡崎市片寄町
567	天恩寺山門			こけら葺	■こ	★	愛知県岡崎市片寄町
568	伊賀八幡宮	本殿、幣殿、拜殿		桧皮葺	▼	★	愛知県岡崎市伊賀町
569	伊賀八幡宮	透塀		桧皮葺	▼	★	愛知県岡崎市伊賀町
570	伊賀八幡宮	御供所		桧皮葺	▼	★	愛知県岡崎市伊賀町
571	伊賀八幡宮	隨身門		桧皮葺	▼	★	愛知県岡崎市伊賀町
572	八幡宮本殿			桧皮葺	▼	★	愛知県岡崎市上地町
573	八幡宮本殿			桧皮葺	▼	☆	愛知県岡崎市福岡町
574	六所神社	本殿、幣殿、拜殿		桧皮葺	▼	★	愛知県岡崎市明大寺町



No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
575	六所神社	神供所		とち葺	■と	☆	愛知県岡崎市明大寺町
576	六所神社	楼門		とち葺	■と	☆	愛知県岡崎市明大寺町
577	定光寺本堂			こけら葺	■こ	★	愛知県瀬戸市定光寺町
578	源敬公(徳川義直)廟	獅子の門		桧皮葺	▼	☆	愛知県瀬戸市定光寺町
579	密蔵院多宝塔			こけら葺	■こ	★	愛知県春日井市熊野町
580	三明寺三重塔			こけら葺	■こ	★	愛知県豊川市豊川町
581	八幡宮本殿			桧皮葺	▼	★	愛知県豊川市八幡町
582	財賀寺	仁王門		こけら葺	■こ	★	愛知県豊川市財賀町
583	津島神社本殿			桧皮葺	▼	★	愛知県津島市神明町
584	津島神社楼門			桧皮葺	▼	☆	愛知県津島市神明町
585	足助八幡宮本殿			桧皮葺	▼	★	愛知県豊田市足助町
586	久麻久神社本殿			桧皮葺	▼	★	愛知県西尾市八ツ面町
587	幡頭神社本殿			桧皮葺	▼	★	愛知県西尾市吉良町宮崎
588	金蓮寺弥陀堂			桧皮葺	▼	★	愛知県西尾市吉良町饗庭
589	如庵			こけら葺	■こ	★	愛知県犬山市大字犬山字御門先1番地
590	旧呉服座			杉皮葺	▼杉	★	愛知県犬山市大字内山1番地
591	大縣神社	本殿		桧皮葺	▼	★	愛知県犬山市字宮山
592	大縣神社	祭文殿及び東西回廊		桧皮葺	▼	★	愛知県犬山市字宮山
593	曼陀羅寺正堂			桧皮葺	▼	☆	愛知県江南市大字前飛保
594	万徳寺多宝塔			桧皮葺	▼	★	愛知県稲沢市長野
595	万徳寺鎮守堂			桧皮葺	▼	★	愛知県稲沢市長野
596	性海寺本堂及び宝塔	本堂		こけら葺	■こ	★	愛知県稲沢市大塚南一丁目
597	尾張大國靈神社楼門			桧皮葺	▼	★	愛知県稲沢市国府宮一丁目
598	尾張大國靈神社拝殿			桧皮葺	▼	★	愛知県稲沢市国府宮一丁目
599	東照宮	本殿		桧皮葺	▼	★未/☆	愛知県新城市門谷
600	東照宮	拝殿、幣殿		桧皮葺	▼	★未/☆	愛知県新城市門谷
601	東照宮	中門		桧皮葺	▼	★未/☆	愛知県新城市門谷
602	東照宮	左右透塀	左◆	桧皮葺	▼	☆	愛知県新城市門谷
603	東照宮	左右透塀	右◆	桧皮葺	▼	☆	愛知県新城市門谷
604	東照宮	水屋		桧皮葺	▼	★未/☆	愛知県新城市門谷
605	望月家住宅(愛知県新城市黒田)	主屋		茅葺	●	★	愛知県新城市黒田字高縄手7番地
606	望月家住宅(愛知県新城市黒田)	釜屋		茅葺	●	★	愛知県新城市黒田字高縄手7番地
607	知立神社多宝塔			こけら葺	■こ	★	愛知県知立市西町
608	高田寺本堂			桧皮葺	▼	★	愛知県北名古屋市長屋高田寺
609	服部家住宅(愛知県海部郡弥富町)	主屋		茅葺、椋瓦葺	●	★	愛知県弥富市荷之上町石仏419番地
610	服部家住宅(愛知県海部郡弥富町)	表門		茅葺	●	★	愛知県弥富市荷之上町石仏419番地
611	甚目寺南大門			こけら葺	■こ	☆	愛知県あま市甚目寺
612	富吉建速神社本殿			桧皮葺	▼	★	愛知県海部郡蟹江町大字須成
613	八幡社本殿			桧皮葺	▼	★	愛知県海部郡蟹江町大字須成
614	熊谷家住宅(愛知県北設楽郡豊根村)	主屋		茅葺、庇鉄板葺=垂鉛引	●	★未	愛知県北設楽郡豊根村大字上黒川字老平12番地
615	熊谷家住宅(愛知県北設楽郡豊根村)	新倉		置屋根板葺	■板	★未/☆	愛知県北設楽郡豊根村大字上黒川字老平12番地

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
616	専修寺	唐門		檜皮葺	▼	☆	三重県津市一身田町
617	専修寺	御廟唐門及び透塀		檜皮葺	▼	☆	三重県津市一身田町
618	金剛證寺本堂			桧皮葺	▼	★	三重県伊勢市朝熊町
619	庫藏寺本堂			こけら葺	■こ	★	三重県鳥羽市河内町丸山
620	庫藏寺鎮守堂			こけら葺	■こ	☆	三重県鳥羽市河内町丸山
621	観菩提寺本堂			桧皮葺	▼	★	三重県伊賀市島ヶ原
622	観菩提寺楼門			桧皮葺	▼	★	三重県伊賀市島ヶ原
623	大村神社宝殿			桧皮葺	▼	★	三重県伊賀市阿保
624	高倉神社	本殿		桧皮葺	▼	★	三重県伊賀市西高倉
625	高倉神社	境内社八幡社本殿		桧皮葺	▼	★	三重県伊賀市西高倉
626	高倉神社	境内社春日社本殿		桧皮葺	▼	★	三重県伊賀市西高倉
627	猪田神社本殿			桧皮葺	▼	★	三重県伊賀市猪田
628	俳聖殿			檜皮葺	▼	☆	三重県伊賀市上野丸之内116番地
629	石山寺本堂			桧皮葺	▼	★	滋賀県大津市石山寺
630	石山寺多宝塔			桧皮葺	▼	★	滋賀県大津市石山寺
631	石山寺鐘楼			桧皮葺	▼	★	滋賀県大津市石山寺
632	石山寺	御影堂		檜皮葺	▼	☆	滋賀県大津市石山寺
633	石山寺	三十八所権現社本殿		檜皮葺	▼	☆	滋賀県大津市石山寺
634	延暦寺根本中堂廻廊			とち葺	■と	☆	滋賀県大津市坂本本町
635	延暦寺戒壇院			とち葺	■と	☆	滋賀県大津市坂本本町
636	延暦寺瑠璃堂			桧皮葺	▼	★	滋賀県大津市坂本本町
637	延暦寺常行堂及び法華堂	常行堂		とち葺	■と	☆	滋賀県大津市坂本本町
638	延暦寺常行堂及び法華堂	法華堂		とち葺	■と	☆	滋賀県大津市坂本本町
639	園城寺大門（仁王門）			桧皮葺	▼	★	滋賀県大津市園城寺町
640	園城寺新羅善神堂			桧皮葺	▼	★	滋賀県大津市園城寺町
641	勸学院客殿			こけら葺	■こ	☆	滋賀県大津市園城寺町
642	光浄院客殿			こけら葺	■こ	☆	滋賀県大津市園城寺町
643	園城寺金堂			桧皮葺	▼	★	滋賀県大津市園城寺町
644	園城寺閻伽井屋			桧皮葺	▼	★	滋賀県大津市園城寺町
645	園城寺一切経蔵（経堂）			桧皮葺	▼	★	滋賀県大津市園城寺町
646	園城寺食堂（釈迦堂）			桧皮葺	▼	★	滋賀県大津市園城寺町
647	園城寺毘沙門堂			桧皮葺	▼	★	滋賀県大津市園城寺町
648	園城寺唐院	大師堂		桧皮葺	▼	★	滋賀県大津市園城寺町
649	園城寺唐院	唐門		桧皮葺	▼	★	滋賀県大津市園城寺町
650	園城寺唐院	灌頂堂		桧皮葺	▼	☆	滋賀県大津市園城寺町
651	園城寺唐院	四脚門		桧皮葺	▼	☆	滋賀県大津市園城寺町
652	園城寺鐘楼			桧皮葺	▼	☆	滋賀県大津市園城寺町
653	圓満院宸殿			こけら葺	■こ	☆	滋賀県大津市園城寺町
654	三尾神社本殿			檜皮葺	▼	☆	滋賀県大津市園城寺町
655	日吉大社西本宮本殿及び拝殿	本殿		桧皮葺	▼	★	滋賀県大津市坂本本町
656	日吉大社西本宮本殿及び拝殿	拝殿		桧皮葺	▼	☆	滋賀県大津市坂本本町

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
657	日吉大社東本宮本殿及び拝殿	本殿		檜皮葺	▼	★	滋賀県大津市坂本本町
658	日吉大社東本宮本殿及び拝殿	拝殿		檜皮葺	▼	☆	滋賀県大津市坂本本町
659	日吉大社摂社樹下神社本殿及び拝殿	本殿		檜皮葺	▼	☆	滋賀県大津市坂本本町
660	日吉大社摂社樹下神社本殿及び拝殿	拝殿		檜皮葺	▼	☆	滋賀県大津市坂本本町
661	日吉大社摂社宇佐宮本殿及び拝殿	本殿		檜皮葺	▼	★	滋賀県大津市坂本本町
662	日吉大社摂社宇佐宮本殿及び拝殿	拝殿		檜皮葺	▼	☆	滋賀県大津市坂本本町
663	日吉大社摂社白山姫神社本殿及び拝殿	本殿		檜皮葺	▼	★	滋賀県大津市坂本本町
664	日吉大社摂社白山姫神社本殿及び拝殿	拝殿		檜皮葺	▼	★	滋賀県大津市坂本本町
665	日吉大社摂社牛尾神社本殿及び拝殿	本殿		檜皮葺	▼	☆	滋賀県大津市坂本本町
666	日吉大社摂社牛尾神社本殿及び拝殿	拝殿		檜皮葺	▼	☆	滋賀県大津市坂本本町
667	日吉大社摂社三宮神社本殿及び拝殿	本殿		檜皮葺	▼	☆	滋賀県大津市坂本本町
668	日吉大社摂社三宮神社本殿及び拝殿	拝殿		檜皮葺	▼	☆	滋賀県大津市坂本本町
669	日吉大社西本宮楼門			檜皮葺	▼	★	滋賀県大津市坂本本町
670	日吉大社末社東照宮	唐門		檜皮葺	▼	★	滋賀県大津市坂本本町
671	日吉大社末社東照宮	透塀		檜皮葺	▼	☆	滋賀県大津市坂本本町
672	日吉大社東本宮楼門			檜皮葺	▼	★	滋賀県大津市坂本本町
673	西教寺客殿			こけら葺	■こ	★	滋賀県大津市坂本本町
674	春日神社本殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県大津市大石富川町
675	和田神社本殿			檜皮葺	▼	☆	滋賀県大津市木下町
676	地主神社本殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県大津市葛川坊村町
677	地主神社幣殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県大津市葛川坊村町
678	天皇神社本殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県大津市和邇中
679	小野神社境内社笠神社本殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県大津市小野
680	小野神社飛地境内社道風神社本殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県大津市小野
681	神田神社本殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県大津市真野普門町
682	聖衆来迎寺	客殿		こけら葺	■こ	☆	滋賀県大津市比叡辻二丁目
683	不動寺本堂			檜皮葺	▼	☆	滋賀県大津市田上森町
684	明王院	本堂		とち葺	■と	★	滋賀県大津市葛川坊村町
685	明王院	護摩堂		こけら葺	■こ	★	滋賀県大津市葛川坊村町
686	明王院	庵室		こけら葺	■こ	★	滋賀県大津市葛川坊村町
687	明王院	政所表門		こけら葺	■こ	★	滋賀県大津市葛川坊村町
688	蘆花浅水荘	持仏堂（記念堂）		茅葺	●	★	滋賀県大津市中庄一丁目
689	蘆花浅水荘	表門		檜皮葺	▼	★	滋賀県大津市中庄一丁目
690	千代神社本殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県彦根市京町一丁目
691	彦根城馬屋			こけら葺	■こ	★	滋賀県彦根市金亀町
692	都久夫須麻神社本殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県長浜市早崎町
693	宝厳寺	観音堂		檜皮葺	▼	☆	滋賀県長浜市早崎町
694	宝厳寺	唐門		檜皮葺	▼	☆	滋賀県長浜市早崎町
695	宝厳寺	渡廊（低屋根）		檜皮葺	▼	☆	滋賀県長浜市早崎町
696	宝厳寺	渡廊（高屋根）		檜皮葺	▼	☆	滋賀県長浜市早崎町
697	田中家住宅（滋賀県伊香郡西浅井村）			茅葺、庇棧瓦葺	●	☆	滋賀県長浜市西浅井町集福寺695番地

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
698	辻家住宅（滋賀県伊香郡西浅井村）	主屋		茅葺、庇棧瓦葺	●	★	滋賀県長浜市西浅井町祝山282番地
699	西徳寺本堂			茅葺、向拝棧瓦葺	●	★	滋賀県長浜市木之本町赤尾
700	長命寺本堂			檜皮葺	▼	★	滋賀県近江八幡市長命寺町
701	長命寺三重塔			こけら葺	■こ	★	滋賀県近江八幡市長命寺町
702	長命寺鐘樓			檜皮葺	▼	★	滋賀県近江八幡市長命寺町
703	長命寺護摩堂			檜皮葺	▼	☆	滋賀県近江八幡市長命寺町
704	小田神社樓門			檜皮葺	▼	☆	滋賀県近江八幡市小田町
705	八幡社本殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県近江八幡市馬淵町
706	奥石神社本殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県近江八幡市安土町大字東老蘇
707	桑実寺本堂			檜皮葺	▼	★	滋賀県近江八幡市安土町大字桑実寺
708	旧宮地家住宅（旧所在 滋賀県長浜市国友町）			茅葺、庇とち葺	●	★	滋賀県近江八幡市安土町大字下豊浦字山田6,839番地
709	観音寺阿弥陀堂			檜皮葺	▼	☆	滋賀県草津市芦浦町
710	観音寺書院			こけら葺	■こ	☆	滋賀県草津市芦浦町
711	老杉神社本殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県草津市下笠町
712	伊砂砂神社本殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県草津市渋川二丁目
713	新宮神社本殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県草津市野路町
714	志那神社本殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県草津市志那町
715	小津神社本殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県守山市杉江町
716	勝部神社本殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県守山市勝部町
717	大野神社樓門			檜皮葺	▼	★	滋賀県栗東市荒張
718	春日神社表門			檜皮葺	▼	★	滋賀県栗東市荒張
719	大宝神社境内社追来神社本殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県栗東市縫
720	宇和宮神社本殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県栗東市蜂屋
721	小槻大社本殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県栗東市下戸山
722	油日神社本殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県甲賀市甲賀町油日
723	油日神社樓門及び廻廊	樓門		檜皮葺	▼	★	滋賀県甲賀市甲賀町油日
724	油日神社樓門及び廻廊	左廻廊		檜皮葺	▼	★	滋賀県甲賀市甲賀町油日
725	油日神社樓門及び廻廊	右廻廊		檜皮葺	▼	★	滋賀県甲賀市甲賀町油日
726	油日神社拝殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県甲賀市甲賀町油日
727	八坂神社本殿（饒俄大宮）			檜皮葺	▼	★	滋賀県甲賀市水口町蟻峨
728	新宮神社表門			茅葺	●	☆	滋賀県甲賀市甲南町新治
729	加茂神社本殿			檜皮葺	▼	☆	滋賀県甲賀市土山町青土
730	飯道神社本殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県甲賀市信楽町宮町
731	御上神社本殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県野洲市三上
732	御上神社拝殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県野洲市三上
733	御上神社樓門			檜皮葺	▼	★	滋賀県野洲市三上
734	御上神社摂社若宮神社本殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県野洲市三上
735	大笹原神社本殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県野洲市大笹原
736	大笹原神社境内社篠原神社本殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県野洲市大笹原
737	生和神社本殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県野洲市富波乙
738	生和神社末社春日神社本殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県野洲市富波乙

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
739	稲荷神社境内社古宮神社本殿			こけら葺	■こ	★	滋賀県野洲市小篠原
740	大行事神社本殿			檜皮葺	▼	☆	滋賀県野洲市久野部
741	日吉神社本殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県野洲市小篠原
742	春日神社神門			檜皮葺	▼	★	滋賀県野洲市高木
743	長寿寺本堂			檜皮葺	▼	☆	滋賀県湖南市東寺
744	長寿寺弁天堂			檜皮葺	▼	☆	滋賀県湖南市東寺
745	常楽寺本堂			檜皮葺	▼	☆	滋賀県湖南市西寺
746	善水寺本堂			檜皮葺	▼	☆	滋賀県湖南市岩根
747	吉御子神社本殿			檜皮葺	▼	☆	滋賀県湖南市石部西
748	白山神社拝殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県湖南市東寺
749	白鬘神社本殿			檜皮葺	▼	☆	滋賀県高島市鶴川
750	若宮神社本殿			こけら葺	■こ	★	滋賀県高島市安曇川町北船木
751	思子淵神社	熊野社		こけら葺	■こ	☆	滋賀県高島市朽木小川
752	思子淵神社	本殿		こけら葺	■こ	☆	滋賀県高島市朽木小川
753	思子淵神社	蔵王権現社		こけら葺	■こ	☆	滋賀県高島市朽木小川
754	押立神社本殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県東近江市北菩提寺町
755	押立神社大門			檜皮葺	▼	★	滋賀県東近江市北菩提寺町
756	春日神社本殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県東近江市小八木町
757	高木神社	本殿		檜皮葺	▼	★	滋賀県東近江市蒲生岡本町
758	高木神社	境内社日吉神社本殿		檜皮葺	▼	★	滋賀県東近江市蒲生岡本町
759	布施神社本殿		1◆	こけら葺	■こ	☆	滋賀県東近江市布施町
760	布施神社本殿		2◆	こけら葺	■こ	☆	滋賀県東近江市布施町
761	布施神社本殿		3◆	こけら葺	■こ	☆	滋賀県東近江市布施町
762	百済寺本堂			檜皮葺	▼	☆	滋賀県東近江市百済寺町
763	正明寺本堂			檜皮葺	▼	★	滋賀県蒲生郡日野町大字松尾
764	鏡神社本殿			こけら葺	■こ	★	滋賀県蒲生郡竜王町大字鏡
765	苗村神社西本殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県蒲生郡竜王町大字綾戸
766	苗村神社境内社八幡社本殿			檜皮葺	▼	☆	滋賀県蒲生郡竜王町大字綾戸
767	苗村神社楼門			茅葺	●	★	滋賀県蒲生郡竜王町大字綾戸
768	苗村神社東本殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県蒲生郡竜王町大字綾戸
769	苗村神社境内社十禅師社本殿			檜皮葺	▼	☆	滋賀県蒲生郡竜王町大字綾戸
770	苗村神社神輿庫			檜皮葺	▼	☆	滋賀県蒲生郡竜王町大字綾戸
771	勝手神社本殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県蒲生郡竜王町大字岡屋
772	金剛輪寺本堂			檜皮葺	▼	★	滋賀県愛知郡愛荘町大字松尾寺
773	金剛輪寺二天門			檜皮葺	▼	★	滋賀県愛知郡愛荘町大字松尾寺
774	金剛輪寺三重塔			檜皮葺	▼	★	滋賀県愛知郡愛荘町大字松尾寺
775	豊満神社四脚門			檜皮こけら鏡葺	▼	★	滋賀県愛知郡愛荘町大字豊満
776	大行社本殿			檜皮葺	▼	★	滋賀県愛知郡愛荘町大字松尾寺
777	西明寺本堂			檜皮葺	▼	★	滋賀県犬上郡甲良町大字池寺
778	西明寺三重塔			檜皮葺	▼	★	滋賀県犬上郡甲良町大字池寺
779	西明寺二天門			こけら葺	■こ	☆	滋賀県犬上郡甲良町大字池寺

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
780	甲良神社権殿			桧皮葺	▼	★	滋賀県犬上郡甲良町大字尼子
781	大徳寺唐門			桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区紫野大徳寺町
782	大徳寺勅使門			桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区紫野大徳寺町
783	大徳寺	寝堂		桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区紫野大徳寺町
784	眞珠庵通仙院			こけら葺	■こ	★	京都府京都市北区紫野大徳寺町
785	眞珠庵本堂			桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区紫野大徳寺町
786	眞珠庵庫裏			こけら葺	■こ	☆	京都府京都市北区紫野大徳寺町
787	龍光院	昭堂		桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区紫野大徳寺町
788	龍光院	寮及び小庫裏		こけら葺及び棧瓦葺	■こ	☆	京都府京都市北区紫野大徳寺町
789	龍光院	盤桓廊		桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区紫野大徳寺町
790	龍光院	兜門		桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区紫野大徳寺町
791	龍光院	禹門		檜皮葺	▼	☆	京都府京都市北区紫野大徳寺町
792	龍光院書院			こけら葺	■こ	★	京都府京都市北区紫野大徳寺町
793	大仙院本堂			檜皮葺	▼	★	京都府京都市北区紫野大徳寺町
794	黄梅院	本堂		檜皮葺	▼	★	京都府京都市北区紫野大徳寺町
795	黄梅院	庫裏		こけら葺	■こ	☆	京都府京都市北区紫野大徳寺町
796	聚光院茶室			こけら葺	■こ	★	京都府京都市北区紫野大徳寺町
797	聚光院本堂			桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区紫野大徳寺町
798	玉林院南明庵及び茶室（蓑庵、霞床席）附蓑庵露地	南明庵		こけら葺	■こ	★	京都府京都市北区紫野大徳寺町
799	玉林院南明庵及び茶室（蓑庵、霞床席）附蓑庵露地	蓑庵		こけら葺	■こ	★	京都府京都市北区紫野大徳寺町
800	玉林院南明庵及び茶室（蓑庵、霞床席）附蓑庵露地	霞床席		こけら葺	■こ	★	京都府京都市北区紫野大徳寺町
801	玉林院本堂			檜皮葺	▼	★	京都府京都市北区紫野大徳寺町
802	龍源院本堂			桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区紫野大徳寺町
803	龍源院表門			桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区紫野大徳寺町
804	興臨院本堂			桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区紫野大徳寺町
805	興臨院表門			桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区紫野大徳寺町
806	瑞峯院本堂			桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区紫野大徳寺町
807	瑞峯院表門			桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区紫野大徳寺町
808	賀茂別雷神社	本殿		桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区上賀茂本山町
809	賀茂別雷神社	権殿		桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区上賀茂本山町
810	賀茂別雷神社	本殿権殿取合廊		桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区上賀茂本山町
811	賀茂別雷神社	本殿東渡廊取合廊		桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区上賀茂本山町
812	賀茂別雷神社	西渡廊		桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区上賀茂本山町
813	賀茂別雷神社	透廊		桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区上賀茂本山町
814	賀茂別雷神社	渡廊		桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区上賀茂本山町
815	賀茂別雷神社	祝詞舎		桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区上賀茂本山町
816	賀茂別雷神社	塀中門		板葺	■板	☆	京都府京都市北区上賀茂本山町
817	賀茂別雷神社	撰社若宮神社本殿		桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区上賀茂本山町
818	賀茂別雷神社	東渡廊		桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区上賀茂本山町
819	賀茂別雷神社	四脚中門		桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区上賀茂本山町
820	賀茂別雷神社	御籍屋		桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区上賀茂本山町

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
821	賀茂別雷神社	神宝庫		桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区上賀茂本山町
822	賀茂別雷神社	唐門		桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区上賀茂本山町
823	賀茂別雷神社	東御供所		桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区上賀茂本山町
824	賀茂別雷神社	直会所		桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区上賀茂本山町
825	賀茂別雷神社	楽所及び西御供所		桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区上賀茂本山町
826	賀茂別雷神社	幣殿		桧皮葺	▼	☆	京都府京都市北区上賀茂本山町
827	賀茂別雷神社	忌子殿		桧皮葺	▼	☆	京都府京都市北区上賀茂本山町
828	賀茂別雷神社	幣殿忌子殿取合廊		桧皮葺	▼	☆	京都府京都市北区上賀茂本山町
829	賀茂別雷神社	高倉殿		桧皮葺	▼	☆	京都府京都市北区上賀茂本山町
830	賀茂別雷神社	楼門		桧皮葺	▼	☆	京都府京都市北区上賀茂本山町
831	賀茂別雷神社	廻廊	東◆	桧皮葺	▼	☆	京都府京都市北区上賀茂本山町
832	賀茂別雷神社	廻廊	西◆	桧皮葺	▼	☆	京都府京都市北区上賀茂本山町
833	賀茂別雷神社	摂社新宮神社本殿及び拝殿	本殿	桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区上賀茂本山町
834	賀茂別雷神社	摂社新宮神社本殿及び拝殿	拝殿	桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区上賀茂本山町
835	賀茂別雷神社	摂社片岡神社本殿及び拝殿	本殿	桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区上賀茂本山町
836	賀茂別雷神社	摂社片岡神社本殿及び拝殿	拝殿	桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区上賀茂本山町
837	賀茂別雷神社	片岡橋		桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区上賀茂本山町
838	賀茂別雷神社	拝殿（細殿）		桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区上賀茂本山町
839	賀茂別雷神社	舞殿（橋殿）		桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区上賀茂本山町
840	賀茂別雷神社	土屋（到着殿）		桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区上賀茂本山町
841	賀茂別雷神社	楽屋		桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区上賀茂本山町
842	賀茂別雷神社	外幣殿		桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区上賀茂本山町
843	賀茂別雷神社	北神饌所（庁屋）		桧皮葺	▼	★	京都府京都市北区上賀茂本山町
844	正傳寺本堂			こけら葺	■こ	★	京都府京都市北区西賀茂鎮守庵町
845	平野神社本殿		第一・二殿◆	桧皮葺	▼	☆	京都府京都市北区平野宮本町
846	平野神社本殿		第三・四殿◆	桧皮葺	▼	☆	京都府京都市北区平野宮本町
847	大報恩寺本堂（千本釈迦堂）			桧皮葺	▼	★	京都府京都市上京区五辻通六軒町西入溝前町
848	北野天満宮	本殿、石の間、拝殿及び楽の間		桧皮葺	▼	★	京都府京都市上京区馬喰町
849	北野天満宮	中門		桧皮葺	▼	★	京都府京都市上京区馬喰町
850	北野天満宮	廻廊	左◆	桧皮葺	▼	☆	京都府京都市上京区馬喰町
851	北野天満宮	廻廊	右◆	桧皮葺	▼	☆	京都府京都市上京区馬喰町
852	北野天満宮	後門		桧皮葺	▼	☆	京都府京都市上京区馬喰町
853	北野天満宮	透塀	左透塀	桧皮葺	▼	☆	京都府京都市上京区馬喰町
854	北野天満宮	透塀	右透塀	桧皮葺	▼	☆	京都府京都市上京区馬喰町
855	表千家祖堂			茅葺・こけら・棧瓦葺	●	☆	京都府京都市上京区小川通寺之内上る本法寺前町597番地
856	冷泉家住宅（京都府京都市上京区今出川通烏丸東入）	座敷及び台所		座敷及び取合部こけら葺、台所棧瓦葺、座敷部庇こけら葺、一部銅板葺、台所部庇こけら及び棧瓦葺	■こ	★	京都府京都市上京区今出川通烏丸東入玄武町599番地
857	往生極楽院阿弥陀堂			こけら葺	■こ	★	京都府京都市左京区大原来迎院町
858	南禅寺方丈			こけら葺	■こ	★	京都府京都市左京区南禅寺福地町
859	南禅寺勅使門			桧皮葺	▼	☆	京都府京都市左京区南禅寺福地町
860	金地院本堂			こけら葺	■こ	★	京都府京都市左京区南禅寺福地町

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
861	金地院茶室			こけら葺	■こ	☆	京都府京都市左京区南禅寺福地町
862	東照宮			桧皮葺	▼	☆	京都府京都市左京区南禅寺福地町
863	慈照寺銀閣			こけら葺	■こ	★	京都府京都市左京区銀閣寺町
864	慈照寺東求堂			桧皮葺	▼	☆	京都府京都市左京区銀閣寺町
865	賀茂御祖神社	東本殿		桧皮葺	▼	★	京都府京都市左京区下鴨泉川町
866	賀茂御祖神社	西本殿		桧皮葺	▼	★	京都府京都市左京区下鴨泉川町
867	賀茂御祖神社	祝詞舎		桧皮葺	▼	★	京都府京都市左京区下鴨泉川町
868	賀茂御祖神社	幣殿		桧皮葺	▼	★	京都府京都市左京区下鴨泉川町
869	賀茂御祖神社	東西廊	東廊	桧皮葺	▼	★	京都府京都市左京区下鴨泉川町
870	賀茂御祖神社	東西廊	西廊	桧皮葺	▼	★	京都府京都市左京区下鴨泉川町
871	賀茂御祖神社	東西御料屋	東御料屋◆	桧皮葺	▼	★	京都府京都市左京区下鴨泉川町
872	賀茂御祖神社	東西御料屋	西御料屋◆	桧皮葺	▼	★	京都府京都市左京区下鴨泉川町
873	賀茂御祖神社	四脚中門		桧皮葺	▼	★	京都府京都市左京区下鴨泉川町
874	賀茂御祖神社	東西楽屋	東◆	桧皮葺	▼	★	京都府京都市左京区下鴨泉川町
875	賀茂御祖神社	東西楽屋	西◆	桧皮葺	▼	★	京都府京都市左京区下鴨泉川町
876	賀茂御祖神社	中門東西廻廊	東廻廊	桧皮葺	▼	★	京都府京都市左京区下鴨泉川町
877	賀茂御祖神社	中門東西廻廊	西廻廊	桧皮葺	▼	★	京都府京都市左京区下鴨泉川町
878	賀茂御祖神社	預り屋		桧皮葺	▼	★	京都府京都市左京区下鴨泉川町
879	賀茂御祖神社	西唐門		桧皮葺	▼	★	京都府京都市左京区下鴨泉川町
880	賀茂御祖神社	舞殿		桧皮葺	▼	★	京都府京都市左京区下鴨泉川町
881	賀茂御祖神社	神服殿		桧皮葺	▼	★	京都府京都市左京区下鴨泉川町
882	賀茂御祖神社	桶殿		桧皮葺	▼	★	京都府京都市左京区下鴨泉川町
883	賀茂御祖神社	細殿		桧皮葺	▼	★	京都府京都市左京区下鴨泉川町
884	賀茂御祖神社	供御所		桧皮葺	▼	★	京都府京都市左京区下鴨泉川町
885	賀茂御祖神社	楼門		桧皮葺	▼	★	京都府京都市左京区下鴨泉川町
886	賀茂御祖神社	楼門東西廻廊	東◆	桧皮葺	▼	★	京都府京都市左京区下鴨泉川町
887	賀茂御祖神社	楼門東西廻廊	西◆	桧皮葺	▼	★	京都府京都市左京区下鴨泉川町
888	賀茂御祖神社	撰社出雲井於神社本殿		桧皮葺	▼	★	京都府京都市左京区下鴨泉川町
889	賀茂御祖神社	撰社三井神社本殿	1◆	桧皮葺	▼	★	京都府京都市左京区下鴨泉川町
890	賀茂御祖神社	撰社三井神社本殿	2◆	桧皮葺	▼	★	京都府京都市左京区下鴨泉川町
891	賀茂御祖神社	撰社三井神社本殿	3◆	桧皮葺	▼	★	京都府京都市左京区下鴨泉川町
892	賀茂御祖神社	撰社三井神社拝殿		桧皮葺	▼	★	京都府京都市左京区下鴨泉川町
893	賀茂御祖神社	撰社三井神社棟門		桧皮葺	▼	★	京都府京都市左京区下鴨泉川町
894	賀茂御祖神社	撰社三井神社東西廊下	東廊下	桧皮葺	▼	★	京都府京都市左京区下鴨泉川町
895	賀茂御祖神社	撰社三井神社東西廊下	西廊下	桧皮葺	▼	★	京都府京都市左京区下鴨泉川町
896	吉田神社齋場所太元宮			茅葺	●	☆	京都府京都市左京区吉田神楽岡町
897	峰定寺本堂及び供水所	本堂		こけら葺	■こ	★	京都府京都市左京区花背原地町
898	峰定寺本堂及び供水所	供水所		板葺	■板	☆	京都府京都市左京区花背原地町
899	峰定寺仁王門			こけら葺	■こ	★	京都府京都市左京区花背原地町
900	由岐神社拝殿			桧皮葺	▼	★	京都府京都市左京区鞍馬本町
901	曼殊院	本堂		こけら葺	■こ	★	京都府京都市左京区一乗寺竹ノ内町



No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
902	曼殊院	書院		こけら葺	■こ	★	京都府京都市左京区一乗寺竹ノ内町
903	西翁院茶室			こけら葺、土庇杉皮葺	■こ	★	京都府京都市左京区黒谷町
904	野村碧雲荘	大黒堂		檜皮葺	▼	☆	京都府京都市左京区南禅寺下河原町37番2、同南禅寺福地町57番
905	野村碧雲荘	待月軒		檜皮葺	▼	☆	京都府京都市左京区南禅寺下河原町37番2、同南禅寺福地町57番
906	野村碧雲荘	露（田舎家）		茅葺、檜皮葺	●	☆	京都府京都市左京区南禅寺下河原町37番2、同南禅寺福地町57番
907	野村碧雲荘	羅月及び蘆葉舟		檜皮葺、棧瓦葺	▼	☆	京都府京都市左京区南禅寺下河原町37番2、同南禅寺福地町57番
908	清流亭	寄付		棧瓦葺及び杉皮葺	▼杉	☆	京都府京都市左京区南禅寺下河原町43番5
909	清流亭	立礼席		棧瓦葺及び檜皮葺	▼	☆	京都府京都市左京区南禅寺下河原町43番5
910	清風荘	茶室		檜皮葺	▼	☆	京都府京都市左京区田中関田町2番1
911	清風荘	供待		檜皮葺、一部こけら葺	▼	☆	京都府京都市左京区田中関田町2番1
912	清風荘	袴付及び待合		こけら葺、一部檜皮葺	■こ	☆	京都府京都市左京区田中関田町2番1
913	清風荘	第一中門		檜皮葺	▼	☆	京都府京都市左京区田中関田町2番1
914	清風荘	第二中門		杉皮葺	▼杉	☆	京都府京都市左京区田中関田町2番1
915	二条城	二の丸御殿唐門		桧皮葺	▼	★	京都府京都市中京区二条通堀川西入二条城町
916	清水寺本堂			桧皮葺	▼	☆	京都府京都市東山区清水一丁目
917	清水寺	仁王門		桧皮葺	▼	★	京都府京都市東山区清水一丁目
918	清水寺	西門		桧皮葺	▼	★	京都府京都市東山区清水一丁目
919	清水寺	田村堂		桧皮葺	▼	★	京都府京都市東山区清水一丁目
920	清水寺	鎮守堂（春日社）		桧皮葺	▼	☆	京都府京都市東山区清水一丁目
921	清水寺	釈迦堂		桧皮葺	▼	☆	京都府京都市東山区清水一丁目
922	清水寺	阿弥陀堂		檜皮葺	▼	☆	京都府京都市東山区清水一丁目
923	清水寺	奥院		桧皮葺	▼	☆	京都府京都市東山区清水一丁目
924	清水寺	子安塔		桧皮葺	▼	☆	京都府京都市東山区清水一丁目
925	地主神社	本殿		桧皮葺	▼	☆	京都府京都市東山区清水一丁目
926	地主神社	拝殿		桧皮葺	▼	☆	京都府京都市東山区清水一丁目
927	豊国神社唐門			桧皮葺	▼	☆	京都府京都市東山区大和大路通正面東入
928	妙法院大書院			こけら葺	■こ	★	京都府京都市東山区東大路通洪谷下る妙法院前側町
929	妙法院玄閣			こけら葺	■こ	★	京都府京都市東山区東大路通洪谷下る妙法院前側町
930	三聖寺愛染堂			こけら葺	■こ	★	京都府京都市東山区本町十五丁目
931	東福寺月下門（月華門）			桧皮葺	▼	☆	京都府京都市東山区本町十五丁目
932	東福寺常楽庵	開山堂・昭堂		棧瓦葺・伝衣閣こけら葺	■こ	☆	京都府京都市東山区本町十五丁目
933	竜吟庵方丈			こけら葺	■こ	★	京都府京都市東山区本町十五丁目
934	竜吟庵表門			こけら葺	■こ	★	京都府京都市東山区本町十五丁目
935	知恩院	大方丈		桧皮葺	▼	★	京都府京都市東山区新橋通大和大路東入三丁目林下町
936	知恩院	小方丈		桧皮葺	▼	☆	京都府京都市東山区新橋通大和大路東入三丁目林下町
937	知恩院唐門			桧皮葺	▼	★	京都府京都市東山区新橋通大和大路東入三丁目林下町
938	建仁寺方丈			こけら葺	■こ	★	京都府京都市東山区大和大路通四下る四丁目小松町
939	高台寺霊屋			桧皮葺	▼	★	京都府京都市東山区下河原通八坂鳥居前下る下河原町
940	高台寺傘亭（安閑窟）及び時雨亭	傘亭		茅葺	●	★	京都府京都市東山区下河原通八坂鳥居前下る下河原町
941	高台寺傘亭（安閑窟）及び時雨亭	時雨亭		茅葺	●	★	京都府京都市東山区下河原通八坂鳥居前下る下河原町
942	高台寺観月台			桧皮葺	▼	★	京都府京都市東山区下河原通八坂鳥居前下る下河原町

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
943	八坂神社本殿			檜皮葺	▼	★	京都府京都市東山区祇園町北側
944	八坂神社末社蛭子社社殿			こけら葺	■こ	★	京都府京都市東山区祇園町北側
945	泉涌寺開山塔及び開山堂	開山堂		檜皮葺	▼	★	京都府京都市東山区泉涌寺山内町
946	雲竜院本堂			こけら葺	■こ	★	京都府京都市東山区泉涌寺山内町
947	本願寺飛雲閣			こけら葺	■こ	★	京都府京都市下京区堀川通花屋町下る本願寺門前町
948	本願寺唐門			檜皮葺	▼	☆	京都府京都市下京区堀川通花屋町下る本願寺門前町
949	本願寺玄閣、浪之間、虎之間、太鼓之間			檜皮葺	▼	★未/☆	京都府京都市下京区堀川通花屋町下る本願寺門前町
950	本願寺浴室（黄鶴台）附廻廊			こけら葺	■こ	★	京都府京都市下京区堀川通花屋町下る本願寺門前町
951	本願寺北能舞台			檜皮葺、こけら葺	▼	★未/☆	京都府京都市下京区堀川通花屋町下る本願寺門前町
952	本願寺	阿弥陀堂門		檜皮葺	▼	☆	京都府京都市下京区堀川通花屋町下る門前町
953	本願寺能舞台（附橋掛）			檜皮葺	▼	★未/☆	京都府京都市下京区堀川通花屋町下る本願寺門前町
954	本願寺黒書院及び伝廊	黒書院		こけら葺	■こ	☆	京都府京都市下京区堀川通花屋町下る本願寺門前町
955	本願寺黒書院及び伝廊	伝廊		こけら葺	■こ	☆	京都府京都市下京区堀川通花屋町下る本願寺門前町
956	燕庵			茅葺、庇、北面3畳室及び台所棧瓦葺	●	★	京都府京都市下京区西洞院通正面下る鍛冶屋町430番地
957	教王護国寺大師堂（西院御影堂）			檜皮葺	▼	☆	京都府京都市南区九条町
958	観智院客殿			こけら葺、一部檜皮葺	■こ	★	京都府京都市南区八条通大宮西入下る柳原町
959	高山寺石水院（五所堂）			こけら葺	■こ	★	京都府京都市右京区梅ヶ畑榎尾町
960	仁和寺	御影堂		檜皮葺	▼	☆	京都府京都市右京区御室大内
961	仁和寺	御影堂中門		檜皮葺	▼	★	京都府京都市右京区御室大内
962	仁和寺	九所明神本殿	中殿	こけら葺	■こ	☆	京都府京都市右京区御室大内
963	仁和寺	九所明神本殿	左殿◆	檜皮葺	▼	★	京都府京都市右京区御室大内
964	仁和寺	九所明神本殿	右殿◆	檜皮葺	▼	★	京都府京都市右京区御室大内
965	仁和寺	遼廓亭		こけら葺	■こ	★	京都府京都市右京区御室大内
966	仁和寺	飛瀟亭		茅葺	●	★	京都府京都市右京区御室大内
967	広隆寺桂宮院本堂			檜皮葺	▼	☆	京都府京都市右京区太秦蛸岡町
968	神護寺大師堂			こけら葺	■こ	☆	京都府京都市右京区梅ヶ畑高雄町
969	妙心寺	勅使門		檜皮葺	▼	★	京都府京都市右京区花園妙心寺町
970	妙心寺	大方丈		こけら葺	■こ	★	京都府京都市右京区花園妙心寺町
971	妙心寺	玄閣		檜皮葺	▼	☆	京都府京都市右京区花園妙心寺町
972	玉鳳院四脚門（微笑庵前門）			檜皮葺	▼	☆	京都府京都市右京区花園妙心寺町
973	靈雲院書院			こけら葺	■こ	★	京都府京都市右京区花園妙心寺町
974	妙心寺	小方丈		こけら葺	■こ	★	京都府京都市右京区花園妙心寺町
975	妙心寺	庫裏		こけら葺	■こ	★	京都府京都市右京区花園妙心寺町
976	衡梅院本堂			こけら葺	■こ	★	京都府京都市右京区花園妙心寺町
977	退蔵院本堂			こけら葺	■こ	★	京都府京都市右京区花園妙心寺町
978	大覚寺客殿（対面所）			檜皮葺	▼	★	京都府京都市右京区嵯峨大沢町
979	大覚寺宸殿			檜皮葺	▼	★	京都府京都市右京区嵯峨大沢町
980	常寂光寺塔婆（多宝塔）			檜皮葺	▼	★	京都府京都市右京区嵯峨小倉山町
981	童安寺本堂			こけら葺	■こ	★	京都府京都市右京区童安寺御陵ノ下町
982	福王子神社	本殿		こけら葺	■こ	★	京都府京都市右京区宇多野福王子町
983	福王子神社	拝殿		こけら葺	■こ	★	京都府京都市右京区宇多野福王子町

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
984	醍醐寺清滝宮拜殿			桧皮葺	▼	★	京都府京都市伏見区醍醐醍醐山
985	醍醐寺薬師堂			桧皮葺	▼	☆	京都府京都市伏見区醍醐醍醐山
986	醍醐寺清滝宮本殿			桧皮葺	▼	☆	京都府京都市伏見区醍醐伽藍町
987	醍醐寺開山堂			前部桧皮葺・後部こけら葺	▼	★	京都府京都市伏見区醍醐醍醐山
988	醍醐寺如意輪堂			こけら葺	■こ	★	京都府京都市伏見区醍醐醍醐山
989	三宝院殿堂	純浄観		茅葺、庇こけら葺	●	★	京都府京都市伏見区醍醐東大路町
990	三宝院唐門			桧皮葺	▼	★	京都府京都市伏見区醍醐東大路町
991	法界寺阿弥陀堂			桧皮葺	▼	★	京都府京都市伏見区日野西大道町
992	藤森神社境内社大將軍社社殿			こけら葺	■こ	★	京都府京都市伏見区深草島居崎町
993	藤森神社境内社八幡宮本殿			こけら葺	■こ	★	京都府京都市伏見区深草島居崎町
994	御香宮神社本殿			桧皮葺	▼	★	京都府京都市伏見区御香宮門前町
995	伏見稲荷大社	本殿		桧皮葺	▼	★	京都府京都市伏見区深草藪ノ内町
996	伏見稲荷大社	権殿		檜皮葺	▼	☆	京都府京都市伏見区深草藪ノ内町
997	伏見稲荷大社	外拜殿		檜皮葺	▼	☆	京都府京都市伏見区深草藪ノ内町
998	伏見稲荷大社	楼門		檜皮葺	▼	☆	京都府京都市伏見区深草藪ノ内町
999	伏見稲荷大社	南北廻廊	南廻廊◆	檜皮葺	▼	☆	京都府京都市伏見区深草藪ノ内町
1000	伏見稲荷大社	南北廻廊	北廻廊◆	檜皮葺	▼	☆	京都府京都市伏見区深草藪ノ内町
1001	伏見稲荷大社	奥宮		檜皮葺	▼	☆	京都府京都市伏見区深草藪ノ内町
1002	伏見稲荷大社	白狐社		檜皮葺	▼	☆	京都府京都市伏見区深草藪ノ内町
1003	与杼神社拜殿			こけら葺	■こ	★	京都府京都市伏見区淀本町
1004	勧修寺書院			こけら葺	■こ	★	京都府京都市山科区勧修寺仁王堂町
1005	松尾大社本殿			桧皮葺	▼	★	京都府京都市西京区嵐山宮町
1006	西芳寺湘南亭	本家		こけら葺	■こ	☆	京都府京都市西京区松尾神ヶ谷町
1007	西芳寺湘南亭	待合及廊下		こけら葺	■こ	☆	京都府京都市西京区松尾神ヶ谷町
1008	善峰寺多宝塔			桧皮葺	▼	★	京都府京都市西京区大原野小塩町
1009	島田神社本殿			こけら葺	■こ	★	京都府福知山市字畑中
1010	金剛院塔婆（三重塔）			こけら葺	■こ	★	京都府舞鶴市大字鹿原
1011	光明寺二王門			とち葺	■と	☆	京都府綾部市睦寄町
1012	旧岡花家住宅（旧所在 京都府船井郡福徳町）			茅葺	●	★	京都府綾部市本宮町1番地1
1013	宇治上神社本殿			桧皮葺	▼	★	京都府宇治市宇治山田
1014	宇治上神社拜殿			桧皮葺	▼	★	京都府宇治市宇治山田
1015	宇治上神社撰社春日神社本殿			桧皮葺	▼	★	京都府宇治市宇治山田
1016	宇治神社本殿			桧皮葺	▼	☆	京都府宇治市宇治山田
1017	許波多神社本殿			桧皮葺	▼	★	京都府宇治市五ヶ庄古川
1018	白山神社拜殿			茅葺	●	★	京都府宇治市白川娑婆山
1019	萬福寺	法堂		こけら葺	■こ	☆	京都府宇治市五ヶ庄三番割
1020	萬福寺	東方丈		こけら葺、式台・中門・廊棧瓦葺	■こ	★	京都府宇治市五ヶ庄三番割
1021	萬福寺	西方丈		こけら葺、廊棧瓦葺	■こ	☆	京都府宇治市五ヶ庄三番割
1022	萬福寺松隠堂	客殿		こけら葺	■こ	★	京都府宇治市五ヶ庄三番割
1023	萬福寺松隠堂	庫裏		こけら葺	■こ	★	京都府宇治市五ヶ庄三番割
1024	十八神社本殿			こけら葺	■こ	☆	京都府宇治市菟道奥ノ池

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
1025	浄土院養林庵書院			桧皮葺	▼	★	京都府宇治市宇治蓮華
1026	智恩寺多宝塔			こけら葺	■こ	★	京都府宮津市宇文殊
1027	出雲大神宮本殿			桧皮葺	▼	★	京都府亀岡市千歳町
1028	梅田神社本殿			桧皮葺	▼	★	京都府亀岡市旭町
1029	愛宕神社本殿			桧皮葺	▼	☆	京都府亀岡市千歳町国分
1030	久世神社本殿			桧皮葺	▼	★	京都府城陽市久世芝ヶ原
1031	水度神社本殿			桧皮葺	▼	☆	京都府城陽市寺田水度坂
1032	荒見神社本殿			桧皮葺	▼	☆	京都府城陽市富野荒見田
1033	向日神社本殿			桧皮葺	▼	☆	京都府向日市向日町北山
1034	石清水八幡宮	撰社若宮社本殿		檜皮葺	▼	☆	京都府八幡市八幡、同橋本狩尾
1035	石清水八幡宮	撰社若宮殿社本殿		檜皮葺	▼	☆	京都府八幡市八幡、同橋本狩尾
1036	石清水八幡宮	撰社水若宮社本殿		檜皮葺	▼	☆	京都府八幡市八幡、同橋本狩尾
1037	石清水八幡宮	撰社住吉社本殿		檜皮葺	▼	☆	京都府八幡市八幡、同橋本狩尾
1038	石清水八幡宮	撰社狩尾社本殿		檜皮葺	▼	☆	京都府八幡市八幡、同橋本狩尾
1039	石清水八幡宮本社	本殿		桧皮葺	▼	★	京都府八幡市八幡
1040	石清水八幡宮本社	撰社武内社本殿		桧皮葺	▼	★	京都府八幡市八幡高坊
1041	石清水八幡宮本社	幣殿及び舞殿		桧皮葺	▼	★	京都府八幡市八幡
1042	石清水八幡宮本社	楼門		桧皮葺	▼	★	京都府八幡市八幡
1043	伊佐家住宅（京都府八幡市上津屋）	主屋		茅葺・棧瓦葺	●	★未/☆	京都府八幡市上津屋浜垣内65番地
1044	酬恩庵本堂			桧皮葺	▼	★	京都府京田辺市薪
1045	酬恩庵	方丈及び玄関	方丈	桧皮葺	▼	★	京都府京田辺市薪
1046	酬恩庵	方丈及び玄関	玄関	棧瓦葺、両端檜皮・銅板葺	▼	☆	京都府京田辺市薪
1047	酬恩庵	庫裏		こけら葺、西面庇こけら・棧瓦葺、渡廊下檜皮葺	■こ	☆	京都府京田辺市薪
1048	佐牙神社本殿		1◆	桧皮葺	▼	★	京都府京田辺市宮津
1049	佐牙神社本殿		2◆	桧皮葺	▼	★	京都府京田辺市宮津
1050	澤井家住宅（京都府綴喜郡田辺町）			茅葺、一部本瓦葺及び棧瓦葺	●	★	京都府京田辺市大住岡村55番地
1051	本願寺本堂			桧皮葺	▼	☆	京都府京丹後市久美浜町
1052	九品寺大門			桧皮葺	▼	★	京都府南丹市園部町船阪
1053	普濟寺仏殿			桧皮葺、突出部板葺	▼	☆	京都府南丹市園部町若森
1054	春日神社本殿			桧皮葺	▼	★	京都府南丹市園部町高屋
1055	大山祇神社本殿			こけら葺	■こ	☆	京都府南丹市園部町大河内
1056	石田家住宅（京都府北桑田郡美山町）			茅葺	●	★	京都府南丹市美山町大字檜原字中岡9番地
1057	小林家住宅（京都府北桑田郡美山町）	主屋		茅葺	●	★	京都府南丹市美山町大字下平屋小字寅石4番地ノ1
1058	小林家住宅（京都府北桑田郡美山町）	小屋		茅葺	●	★	京都府南丹市美山町大字下平屋小字寅石4番地ノ1
1059	浄瑠璃寺三重塔（九体寺三重塔）			桧皮葺	▼	★	京都府木津川市加茂町西小
1060	相樂神社本殿			桧皮葺	▼	☆	京都府木津川市木津町大字相樂
1061	松尾神社本殿			桧皮葺	▼	★	京都府木津川市山城町椿井
1062	御霊神社本殿			桧皮葺	▼	★	京都府木津川市加茂町大字兔並
1063	白山神社本殿			桧皮葺	▼	★	京都府木津川市加茂町大字岩船
1064	小林家住宅（京都府相楽郡山城町）			茅葺、庇棧瓦葺	●	★	京都府木津川市山城町大字上狛小字東林1番地1
1065	妙喜庵書院及び茶室（待庵）	書院		こけら葺	■こ	★	京都府乙訓郡大山崎町字大山崎

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
1066	妙喜庵書院及び茶室(待庵)	茶室(待庵)		こけら葺	■こ	★	京都府乙訓郡大山崎町大山崎
1067	雙栗神社本殿			檜皮葺	▼	☆	京都府久世郡久御山町大字佐山
1068	金胎寺多宝塔			こけら葺	■こ	★	京都府相楽郡和束町大字原山
1069	天満宮本殿			檜皮葺	▼	☆	京都府相楽郡和束町大字園
1070	春日神社本殿			檜皮葺	▼	★未/☆	京都府相楽郡精華町大字菱田
1071	大福光寺本堂			檜皮葺	▼	★	京都府船井郡京丹波町下山岩ノ上
1072	大福光寺多宝塔			檜皮葺	▼	★	京都府船井郡京丹波町下山岩ノ上
1073	九手神社本殿			檜皮葺	▼	★未/☆	京都府船井郡京丹波町豊田
1074	渡邊家住宅(京都府船井郡京丹波町)			茅葺	●	★	京都府船井郡京丹波町下山小字岩ノ上17番地
1075	観音堂			茅葺(鉄板仮葺)	●	☆	京都府船井郡京丹波町字下栗野
1076	住吉大社本殿		第一殿◆	檜皮葺	▼	★	大阪府大阪市住吉区住吉二丁目
1077	住吉大社本殿		第二殿◆	檜皮葺	▼	★	大阪府大阪市住吉区住吉二丁目
1078	住吉大社本殿		第三殿◆	檜皮葺	▼	★	大阪府大阪市住吉区住吉二丁目
1079	住吉大社本殿		第四殿◆	檜皮葺	▼	★	大阪府大阪市住吉区住吉二丁目
1080	住吉大社摂社大海神社本殿			檜皮葺	▼	★	大阪府大阪市住吉区住吉二丁目
1081	住吉大社	幣殿及び渡殿(4棟)	第一殿◆	檜皮葺	▼	☆	大阪府大阪市住吉区住吉二丁目
1082	住吉大社	幣殿及び渡殿(4棟)	第二殿◆	檜皮葺	▼	☆	大阪府大阪市住吉区住吉二丁目
1083	住吉大社	幣殿及び渡殿(4棟)	第三殿◆	檜皮葺	▼	☆	大阪府大阪市住吉区住吉二丁目
1084	住吉大社	幣殿及び渡殿(4棟)	第四殿◆	檜皮葺	▼	☆	大阪府大阪市住吉区住吉二丁目
1085	住吉大社	摂社大海神社幣殿及び渡殿		檜皮葺	▼	☆	大阪府大阪市住吉区住吉二丁目
1086	住吉大社	末社招魂社本殿(旧護摩堂)		檜皮葺	▼	☆	大阪府大阪市住吉区住吉二丁目
1087	杭全神社本殿(第二殿)			檜皮葺	▼	★	大阪府大阪市平野区平野宮町二丁目
1088	杭全神社本殿(第三殿)			檜皮葺	▼	★	大阪府大阪市平野区平野宮町二丁目
1089	杭全神社本殿(第一殿)			檜皮葺	▼	★	大阪府大阪市平野区平野宮町二丁目
1090	奥田家住宅(大阪府大阪市平野区加美鞍作町)	主屋		茅葺、土庇本瓦葺、庇銅板葺	●	★	大阪府大阪市平野区加美鞍作町一丁目8番5号
1091	多治速比売神社本殿			檜皮葺	▼	★	大阪府堺市南区宮山台二丁目
1092	高林家住宅(大阪府堺市百舌鳥赤畑町)	主屋		茅葺、庇・玄関及び取合の間本瓦葺	●	☆	大阪府堺市北区百舌鳥赤畑町五丁目647番地
1093	積川神社本殿			檜皮葺	▼	★	大阪府岸和田市積川町
1094	兵主神社本殿			檜皮葺	▼	★	大阪府岸和田市西之内町
1095	旧泉家住宅(旧所在 大阪府豊能郡能勢町)			茅葺	●	★	大阪府豊中市服部緑地1番2号
1096	旧山田家住宅(旧所在 長野県下水内郡栄村)			茅葺	●	☆	大阪府豊中市服部緑地1番2号
1097	旧椎葉家住宅(旧所在 宮崎県東臼杵郡椎葉村)	主屋		茅葺	●	★	大阪府豊中市服部緑地1番2号
1098	旧椎葉家住宅(旧所在 宮崎県東臼杵郡椎葉村)	馬屋		茅葺	●	★	大阪府豊中市服部緑地1番2号
1099	原田神社本殿			檜皮葺	▼	★	大阪府豊中市中桜塚一丁目
1100	八坂神社本殿			檜皮葺	▼	★	大阪府池田市神田四丁目
1101	泉穴師神社本殿			檜皮葺	▼	★	大阪府泉大津市豊中
1102	泉穴師神社摂社春日神社本殿			檜皮葺	▼	★	大阪府泉大津市豊中
1103	泉穴師神社摂社住吉神社本殿			檜皮葺	▼	★	大阪府泉大津市豊中
1104	普門寺方丈			こけら葺	■こ	★	大阪府高槻市富田町四丁目
1105	片基神社本殿			檜皮葺	▼	★	大阪府枚方市牧野阪二丁目
1106	交野天神社本殿			檜皮葺	▼	★	大阪府枚方市楠葉丘二丁目

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
1107	交野天神社末社八幡神社本殿			桧皮葺	▼	★	大阪府枚方市楠葉丘二丁目
1108	巖島神社末社春日神社本殿			桧皮葺	▼	★	大阪府枚方市尊延寺
1109	慈眼院多宝塔			桧皮葺	▼	★	大阪府泉佐野市日根野
1110	意賀美神社本殿			桧皮葺	▼	★	大阪府泉佐野市上之郷
1111	総福寺鎮守天満宮本殿			桧皮葺	▼	★	大阪府泉佐野市日根野
1112	錦織神社	本殿		桧皮葺	▼	★	大阪府富田林市官甲田町
1113	錦織神社	撰社春日社本殿		桧皮葺	▼	★	大阪府富田林市官甲田町
1114	錦織神社	撰社天神社本殿		桧皮葺	▼	★	大阪府富田林市官甲田町
1115	観心寺訶梨帝母天堂			桧皮葺	▼	★	大阪府河内長野市寺元
1116	観心寺建掛塔			茅葺	●	★	大阪府河内長野市寺元
1117	金剛寺多宝塔			こけら葺	■こ	☆	大阪府河内長野市天野町
1118	金剛寺御影堂			桧皮葺	▼	★	大阪府河内長野市天野町
1119	摩尼院書院			茅葺、庇本瓦葺・棧瓦葺	●	★	大阪府河内長野市天野町
1120	烏帽子形八幡神社本殿			桧皮葺	▼	★	大阪府河内長野市喜多町
1121	長野神社本殿			桧皮葺	▼	★	大阪府河内長野市長野町
1122	山本家住宅(大阪府河内長野市小深)			茅葺	●	★	大阪府河内長野市小深360番地の甲
1123	左近家住宅(大阪府河内長野市滝畑)			茅葺	●	☆	大阪府河内長野市滝畑1,700番地
1124	泉井上神社境内社和泉五社総社本殿			桧皮葺	▼	☆	大阪府和泉市府中町
1125	聖神社	本殿		桧皮葺	▼	☆	大阪府和泉市王子町
1126	聖神社	末社三神社本殿		桧皮葺	▼	☆	大阪府和泉市王子町
1127	聖神社	末社滝神社本殿		桧皮葺	▼	☆	大阪府和泉市王子町
1128	高橋家住宅(大阪府和泉市池田下町)			茅葺、庇本瓦葺	●	★	大阪府和泉市池田下町1608番地
1129	吉村家住宅(大阪府羽曳野市島泉町)	主屋		茅葺・本瓦葺、庇本瓦葺・こけら葺・棧瓦葺、玄関こけら葺	●	★	大阪府羽曳野市島泉五丁目3番5号
1130	吉村家住宅(大阪府羽曳野市島泉町)	表門		茅葺	●	★	大阪府羽曳野市島泉五丁目3番5号
1131	山添家住宅(大阪府交野市寺)			茅葺、庇棧瓦葺	●	★	大阪府交野市寺二丁目26番33号
1132	水無瀬神宮茶室			茅葺、庇こけら葺	●	★	大阪府三島郡島本町広瀬三丁目
1133	降井家書院			茅葺、庇棧瓦葺	●	☆	大阪府泉南郡熊取町大久保中二丁目1番1
1134	中家住宅(大阪府泉南郡熊取町)			茅葺、庇・突出部本瓦葺	●	★	大阪府泉南郡熊取町五門西一丁目
1135	船守神社本殿			桧皮葺	▼	★	大阪府泉南郡岬町淡輪
1136	建水分神社本殿		中殿◆	桧皮葺	▼	★	大阪府南河内郡千早赤阪村大字水分
1137	建水分神社本殿		左殿◆	桧皮葺	▼	★	大阪府南河内郡千早赤阪村大字水分
1138	建水分神社本殿		右殿◆	桧皮葺	▼	★	大阪府南河内郡千早赤阪村大字水分
1139	旧村山家住宅	玄関棟		檜皮葺	▼	☆	兵庫県神戸市東灘区御影郡家二丁目12番1号
1140	旧村山家住宅	茶室棟		茅葺、棧瓦葺、檜皮葺、鉄板葺	●	☆	兵庫県神戸市東灘区御影郡家二丁目12番1号
1141	八幡神社三重塔			桧皮葺	▼	★	兵庫県神戸市北区山田町
1142	若王子神社本殿			板葺	■板	☆	兵庫県神戸市北区山田町
1143	箱木家住宅(兵庫県神戸市北区山田町)	主屋		茅葺	●	★	兵庫県神戸市北区山田町衛原字道南1番地4
1144	箱木家住宅(兵庫県神戸市北区山田町)	座敷		茅葺	●	★	兵庫県神戸市北区山田町衛原字道南1番地4
1145	豊歳神社本殿			こけら葺	■こ	☆	兵庫県神戸市北区大沢町
1146	船屋形			桧皮葺	▼	★	兵庫県神戸市中央区中山手通五丁目3番1号相楽園内
1147	円教寺奥之院	護法堂	乙天社◆	桧皮葺	▼	★	兵庫県姫路市書写

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
1148	円教寺奥之院	護法堂	若天社◆	檜皮葺	▼	★	兵庫県姫路市書写
1149	十妙院	唐門		檜皮葺	▼	☆	兵庫県姫路市書写
1150	広峯神社本殿			檜皮葺	▼	★	兵庫県姫路市広嶺山
1151	古井家住宅(兵庫県宍粟郡安富町)			茅葺	●	★	兵庫県姫路市安富町皆河236番地1
1152	中島神社本殿			檜皮葺	▼	★	兵庫県豊岡市三宅
1153	酒垂神社本殿			こけら葺	■こ	☆	兵庫県豊岡市法花寺
1154	久久比神社本殿			こけら葺	■こ	★	兵庫県豊岡市下宮
1155	日出神社本殿			こけら葺	■こ	★	兵庫県豊岡市但東町畑山
1156	鶴林寺太子堂			檜皮葺	▼	★	兵庫県加古川市加古川町
1157	八幡神社本殿			こけら葺	■こ	☆	兵庫県宝塚市波豆
1158	八幡神社本殿			檜皮葺	▼	★	兵庫県宝塚市中筋
1159	天津神社本殿			檜皮葺	▼	★	兵庫県三木市吉川町前田
1160	歎喜院聖天堂			檜皮葺	▼	☆	兵庫県三木市吉川町毘沙門
1161	伽耶院	三坂明神社本殿		こけら葺	■こ	☆	兵庫県三木市志染町大谷
1162	稲荷神社本殿			板葺	■板	☆	兵庫県三木市吉川町富岡
1163	多田神社	本殿		檜皮葺	▼	★	兵庫県川西市多田院
1164	多田神社	拝殿		檜皮葺	▼	★	兵庫県川西市多田院
1165	八幡神社本殿			檜皮葺	▼	★	兵庫県小野市浄谷町
1166	御霊神社本殿			檜皮葺	▼	★未	兵庫県三田市貴志
1167	高亮布神社本殿			檜皮葺	▼	★	兵庫県三田市酒井
1168	住吉神社本殿			檜皮葺	▼	★	兵庫県三田市大川瀬
1169	一乗寺妙見堂			檜皮葺	▼	☆	兵庫県加西市坂本町
1170	一乗寺弁天堂			檜皮葺	▼	☆	兵庫県加西市坂本町
1171	一乗寺護法堂			檜皮葺	▼	☆	兵庫県加西市坂本町
1172	酒見寺多宝塔			1重本瓦葺・2重檜皮葺	▼	★未/☆	兵庫県加西市北条町
1173	長谷寺妙見堂			板葺	■板	★	兵庫県篠山市藤坂
1174	名草神社三重塔			こけら葺	■こ	☆	兵庫県養父市八鹿町石原妙見
1175	名草神社	本殿		こけら葺	■こ	☆	兵庫県養父市八鹿町石原
1176	名草神社	拝殿		こけら葺	■こ	☆	兵庫県養父市八鹿町石原
1177	八幡神社本殿及び拝殿			檜皮葺	▼	☆	兵庫県丹波市柏原町柏原
1178	旧友井家住宅(兵庫県水上郡山南町)			茅葺	●	★	兵庫県丹波市山南町野坂字西山田203番地
1179	赤淵神社本殿			こけら葺	■こ	☆	兵庫県朝来市和田山町枚田
1180	御形神社本殿			檜皮葺	▼	★	兵庫県宍粟市一宮町森添
1181	住吉神社本殿			檜皮葺	▼	☆	兵庫県加東市上鴨川
1182	若宮八幡宮本殿			こけら葺	■こ	★	兵庫県加東市黒谷
1183	天満神社本殿			板葺	■板	☆	兵庫県たつの市新宮町宮内
1184	賀茂神社	本殿		檜皮葺	▼	★	兵庫県たつの市御津町室津
1185	賀茂神社	撰社片岡社太田社本殿		檜皮葺	▼	★	兵庫県たつの市御津町室津
1186	賀茂神社	撰社貴布祢社若宮社本殿		檜皮葺	▼	★	兵庫県たつの市御津町室津
1187	賀茂神社	撰社樫尾社本殿		檜皮葺	▼	★	兵庫県たつの市御津町室津
1188	賀茂神社	権殿		檜皮葺	▼	★	兵庫県たつの市御津町室津

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
1189	賀茂神社	唐門		桧皮葺	▼	★	兵庫県たつの市御津町室津
1190	賀茂神社	東回廊		桧皮葺	▼	★	兵庫県たつの市御津町室津
1191	賀茂神社	西回廊		桧皮葺	▼	★	兵庫県たつの市御津町室津
1192	戸隠神社本殿			板葺	■板	★	兵庫県川辺郡猪名川町肝川
1193	薬師寺休岡若宮神社殿			桧皮葺	▼	☆	奈良県奈良市西ノ京町
1194	薬師寺休岡八幡神社社殿	本殿		桧皮葺	▼	☆	奈良県奈良市西ノ京町
1195	薬師寺休岡八幡神社社殿	東西脇殿	東◆	桧皮葺	▼	☆	奈良県奈良市西ノ京町
1196	薬師寺休岡八幡神社社殿	東西脇殿	西◆	桧皮葺	▼	☆	奈良県奈良市西ノ京町
1197	霊山寺三重塔			桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市中町
1198	霊山寺鐘樓			桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市中町
1199	春日大社本社	本殿	第一殿◆	桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市春日野町
1200	春日大社本社	本殿	第二殿◆	桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市春日野町
1201	春日大社本社	本殿	第三殿◆	桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市春日野町
1202	春日大社本社	本殿	第四殿◆	桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市春日野町
1203	春日大社本社	中門		桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市春日野町
1204	春日大社本社	東御廊		桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市春日野町
1205	春日大社本社	西及び北御廊		桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市春日野町
1206	春日大社本社	捻廊		桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市春日野町
1207	春日大社本社	幣殿		桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市春日野町
1208	春日大社本社	直会殿		桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市春日野町
1209	春日大社本社	移殿		桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市春日野町
1210	春日大社本社	宝庫		桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市春日野町
1211	春日大社本社	南門		桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市春日野町
1212	春日大社本社	慶賀門		桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市春日野町
1213	春日大社本社	清浄門		桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市春日野町
1214	春日大社本社	内侍門		桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市春日野町
1215	春日大社本社	廻廊	南門東◆	桧皮葺、一部本瓦葺	▼	★	奈良県奈良市春日野町
1216	春日大社本社	廻廊	南門慶賀門間◆	桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市春日野町
1217	春日大社本社	車舎		桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市春日野町
1218	春日大社本社	着到殿		桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市春日野町
1219	春日大社本社	竈殿		桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市春日野町
1220	春日大社本社	酒殿		桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市春日野町
1221	春日大社本社	板蔵		こけら葺	■こ	★	奈良県奈良市春日野町
1222	春日大社摂社若宮神社	本殿		桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市春日野町
1223	春日大社摂社若宮神社	拜舎		桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市春日野町
1224	春日大社摂社若宮神社	細殿及び神楽殿		桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市春日野町
1225	春日大社摂社若宮神社	手水屋		こけら葺	■こ	★	奈良県奈良市春日野町
1226	圓成寺樓門			桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市忍辱山町
1227	圓成寺	春日堂		桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市忍辱山町
1228	圓成寺	白山堂		桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市忍辱山町
1229	圓成寺宇賀神本殿			桧皮葺	▼	☆	奈良県奈良市忍辱山町



No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
1230	添御縣坐神社本殿			桧皮葺	▼	☆	奈良県奈良市三碓町
1231	都祁水分神社本殿			桧皮葺	▼	☆	奈良県奈良市都祁村大字友田
1232	宇奈多理座高御魂神社本殿			桧皮葺	▼	☆	奈良県奈良市法華寺町
1233	十六所神社	本殿		桧皮葺	▼	☆	奈良県奈良市中町
1234	十六所神社	境内社住吉神社本殿		桧皮葺	▼	☆	奈良県奈良市中町
1235	十六所神社	境内社龍王神社本殿		桧皮葺	▼	☆	奈良県奈良市中町
1236	八幡神社本殿			桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市西大寺町
1237	手向山神社境内社住吉神社本殿			桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市雑司町
1238	丹生神社本殿			桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市丹生町
1239	今西家書院			桧皮葺・棧瓦葺	▼	☆	奈良県奈良市福智院町24番地
1240	旧春日大社板倉(円窓)			茅葺	●	★	奈良県奈良市高畑町山ノ上1, 169番地
1241	崇道天皇社本殿			桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市西紀寺町
1242	夜支布山口神社摂社立磐神社本殿			桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市大柳生町
1243	長尾神社本殿			桧皮葺	▼	★	奈良県奈良市阪原町
1244	菊家住宅(奈良県添上郡月ヶ瀬村)			茅葺	●	☆	奈良県奈良市月ヶ瀬桃香野4, 907番地
1245	興福院客殿			檜皮葺	▼	★	奈良県奈良市法蓮町
1246	正暦寺福寿院			こけら葺	■こ	☆	奈良県奈良市菩提山町
1247	矢田坐久志玉比古神社	本殿		桧皮葺	▼	★	奈良県大和郡山市矢田町
1248	矢田坐久志玉比古神社	末社八幡神社本殿		桧皮葺	▼	★	奈良県大和郡山市矢田町
1249	小泉神社本殿			桧皮葺	▼	★	奈良県大和郡山市小泉町
1250	春日神社本殿			桧皮葺	▼	★	奈良県大和郡山市矢田町
1251	慈光院	書院		茅葺、茶屋及び勝手棧瓦葺	●	★	奈良県大和郡山市小泉町
1252	慈光院	茶室		こけら葺	■こ	★	奈良県大和郡山市小泉町
1253	旧白井家住宅(旧所在 奈良県高市郡高取町)	主屋		茅葺、庇本瓦葺、便所及び廊下棧瓦葺	●	★	奈良県大和郡山市矢田町545番地大和民俗公園構内
1254	旧岩本家住宅(旧所在 奈良県宇陀郡室生村)			茅葺	●	☆	奈良県大和郡山市矢田町545番地大和民俗公園構内
1255	石上神宮拜殿			桧皮葺	▼	★	奈良県天理市布留町
1256	石上神宮楼門			桧皮葺	▼	★	奈良県天理市布留町
1257	石上神宮摂社出雲建雄神社拜殿			桧皮葺	▼	★	奈良県天理市布留町
1258	長岳寺楼門			こけら葺	■こ	★	奈良県天理市柳本町
1259	長岳寺旧地藏院	本堂		桧皮葺	▼	★	奈良県天理市柳本町
1260	長岳寺旧地藏院	庫裏		杉皮葺、玄關檜皮葺	▼杉	★	奈良県天理市柳本町
1261	天皇神社本殿			桧皮葺	▼	★	奈良県天理市備前町
1262	和爾下神社本殿			桧皮葺	▼	★	奈良県天理市榎本町
1263	樞原神宮本殿			桧皮葺	▼	★	奈良県樞原市久米町
1264	久米寺多宝塔			とち葺	■と	☆	奈良県樞原市久米町
1265	人麿神社本殿			桧皮葺	▼	★	奈良県樞原市地黄町
1266	談山神社十三重塔			桧皮葺	▼	★	奈良県桜井市大字多武峰
1267	談山神社権殿			桧皮葺	▼	★	奈良県桜井市大字多武峰
1268	談山神社	本殿		桧皮葺	▼	★	奈良県桜井市大字多武峰
1269	談山神社	拝殿		桧皮葺	▼	☆	奈良県桜井市大字多武峰
1270	談山神社	東透廊		桧皮葺	▼	★	奈良県桜井市大字多武峰

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
1271	談山神社	西透廊		桧皮葺	▼	★	奈良県桜井市大字多武峰
1272	談山神社	楼門		桧皮葺	▼	☆	奈良県桜井市大字多武峰
1273	談山神社	東宝庫		桧皮葺	▼	★	奈良県桜井市大字多武峰
1274	談山神社	西宝庫		桧皮葺	▼	★	奈良県桜井市大字多武峰
1275	談山神社	摂社東殿		桧皮葺	▼	★	奈良県桜井市大字多武峰
1276	談山神社	神廟拜所		桧皮葺	▼	☆	奈良県桜井市大字多武峰
1277	談山神社	關伽井屋		こけら葺	■こ	★	奈良県桜井市大字多武峰
1278	談山神社	末社比叡神社本殿		桧皮葺	▼	★	奈良県桜井市大字多武峰
1279	大神神社拝殿			桧皮葺	▼	★	奈良県桜井市大字三輪
1280	長谷寺本坊	唐門及び回廊		檜皮葺	▼	☆	奈良県桜井市大字初瀬1109番
1281	白山神社本殿			こけら葺	■こ	★	奈良県桜井市大字阿部
1282	御霊神社	本殿		こけら葺向拝厚板葺	■こ	☆	奈良県五條市中之町
1283	御霊神社	境内社早良神社本殿		板葺	■板	☆	奈良県五條市中之町
1284	御霊神社	境内社他戸神社本殿		板葺	■板	☆	奈良県五條市中之町
1285	春日神社本殿			桧皮葺	▼	★	奈良県五條市西吉野町向賀名生
1286	西田家住宅(奈良県吉野郡西吉野村)			茅葺(鉄板仮葺)	●	★	奈良県五條市西吉野町鹿場6番地
1287	堀家住宅(奈良県吉野郡西吉野村)			茅葺、庇茅葺	●	★	奈良県五條市西吉野町和田48番地
1288	高鴨神社本殿			桧皮葺	▼	★	奈良県御所市大字鴨神
1289	長弓寺本堂			桧皮葺	▼	★	奈良県生駒市上町
1290	高山八幡宮本殿			桧皮葺	▼	★	奈良県生駒市高山町
1291	中之坊書院			こけら葺、庇檜皮葺	■こ	★	奈良県葛城市當麻
1292	博西神社本殿		1◆	檜皮葺	▼	★	奈良県葛城市寺口
1293	博西神社本殿		2◆	檜皮葺	▼	★	奈良県葛城市寺口
1294	村井家住宅(奈良県北葛城郡新庄町)	主屋		茅葺、庇本瓦葺・棧瓦葺	●	☆	奈良県葛城市南道徳189番地
1295	村井家住宅(奈良県北葛城郡新庄町)	表門		茅葺	●	★	奈良県葛城市南道徳189番地
1296	室生寺五重塔			桧皮葺	▼	★	奈良県宇陀市室生区室生
1297	室生寺金堂			こけら葺	■こ	★	奈良県宇陀市室生区室生
1298	室生寺本堂(灌頂堂)			桧皮葺	▼	★	奈良県宇陀市室生区室生
1299	室生寺弥勒堂			こけら葺	■こ	☆	奈良県宇陀市室生区室生
1300	大蔵寺本堂			こけら葺	■こ	★	奈良県宇陀市大宇陀区栗野
1301	大蔵寺大師堂			こけら葺	■こ	☆	奈良県宇陀市大宇陀区栗野
1302	宇太水分神社本殿		第一殿◆	桧皮葺	▼	★	奈良県宇陀市菟田野区古市場
1303	宇太水分神社本殿		第二殿◆	桧皮葺	▼	★	奈良県宇陀市菟田野区古市場
1304	宇太水分神社本殿		第三殿◆	桧皮葺	▼	★	奈良県宇陀市菟田野区古市場
1305	宇太水分神社末社春日神社本殿			桧皮葺	▼	★	奈良県宇陀市菟田野区古市場
1306	宇太水分神社末社宗像神社本殿			桧皮葺	▼	★	奈良県宇陀市菟田野区古市場
1307	片岡家住宅(奈良県宇陀郡大宇陀町)	主屋		茅葺、庇・玄関の間棧瓦葺	●	★	奈良県宇陀市大宇陀区田原938番地
1308	笹岡家住宅(奈良県宇陀郡大宇陀町)	主屋		茅葺、庇・下屋棧瓦葺	●	★	奈良県宇陀市大宇陀区藤井477番地
1309	藤田家住宅(奈良県生駒郡平群町)			茅葺・本瓦葺	●	★	奈良県生駒郡平群町福貴1,523番地
1310	八幡神社本殿			桧皮葺	▼	☆	奈良県生駒郡三郷町大字勢野
1311	北室院本堂			桧皮葺	▼	☆	奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺山内

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
1312	法隆寺新堂			こけら葺	■こ	☆	奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺山内
1313	北室院表門			桧皮葺	▼	☆	奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺山内
1314	西園院客殿			杉皮葺	▼杉	☆	奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺山内
1315	西園院上土門			桧皮葺	▼	☆	奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺山内
1316	寶珠院本堂			こけら葺	■こ	☆	奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺山内
1317	法隆寺西園院唐門			桧皮葺	▼	☆	奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺山内
1318	旧富貴寺羅漢堂			桧皮葺	▼	★	奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺山内
1319	伊弉册命神社本殿			こけら葺	■こ	☆	奈良県生駒郡斑鳩町大字五百井
1320	中家住宅(奈良県生駒郡安堵村)	主屋		茅葺・本瓦葺・棧瓦葺	●	★	奈良県生駒郡安堵町大字窪田133番地
1321	中家住宅(奈良県生駒郡安堵村)	持仏堂庫裏		茅葺、庇本瓦葺	●	★	奈良県生駒郡安堵町大字窪田133番地
1322	岡寺書院			こけら葺、庇銅板葺	■こ	★	奈良県高市郡明日香村大字岡
1323	吉野水分神社	本殿		桧皮葺	▼	★	奈良県吉野郡吉野町大字吉野山
1324	吉野水分神社	拝殿		こけら葺	■こ	☆	奈良県吉野郡吉野町大字吉野山
1325	吉野水分神社	幣殿		こけら葺、下屋板葺	■こ	☆	奈良県吉野郡吉野町大字吉野山
1326	吉野水分神社	楼門		とち葺	■と	☆	奈良県吉野郡吉野町大字吉野山
1327	吉野水分神社	回廊	南◆	とち葺	■と	☆	奈良県吉野郡吉野町大字吉野山
1328	吉野水分神社	回廊	北◆	とち葺	■と	☆	奈良県吉野郡吉野町大字吉野山
1329	金峯山寺本堂			桧皮葺	▼	☆	奈良県吉野郡吉野町大字吉野山
1330	吉水神社書院			桧皮葺	▼	★	奈良県吉野郡吉野町大字吉野山
1331	東照宮	本殿、石の間、拝殿		桧皮葺	▼	★	和歌山県和歌山市和歌浦
1332	東照宮	唐門		桧皮葺	▼	☆	和歌山県和歌山市和歌浦
1333	東照宮	東西端垣	東端垣	桧皮葺	▼	★	和歌山県和歌山市和歌浦
1334	東照宮	東西端垣	西端垣	桧皮葺	▼	★	和歌山県和歌山市和歌浦
1335	天満神社本殿			桧皮葺	▼	★	和歌山県和歌山市和歌浦
1336	天満神社	末社多賀神社本殿		桧皮葺	▼	☆	和歌山県和歌山市和歌浦
1337	天満神社	末社天照皇太神宮豊受大神宮本殿		桧皮葺	▼	☆	和歌山県和歌山市和歌浦
1338	加太春日神社本殿			桧皮葺	▼	★	和歌山県和歌山市加太
1339	長保寺鎮守堂			桧皮葺	▼	★	和歌山県海南市下津町上
1340	三郷八幡神社本殿			桧皮葺	▼	★	和歌山県海南市下津町黒田
1341	琴ノ浦温泉山荘	茶室		茅葺及び棧瓦葺	●	☆	和歌山県海南市船尾字矢ノ島370番地1
1342	熊野本宮大社	第一殿・第二殿(西御前・中御前)		桧皮葺	▼	☆	和歌山県田辺市本宮町
1343	熊野本宮大社	第三殿(証誠殿)		桧皮葺	▼	☆	和歌山県田辺市本宮町
1344	熊野本宮大社	第四殿(若一王子)		桧皮葺	▼	☆	和歌山県田辺市本宮町
1345	關羅神社	本殿		檜皮葺	▼	☆	和歌山県田辺市東陽
1346	關羅神社	上殿		檜皮葺	▼	☆	和歌山県田辺市東陽
1347	瀬淵八幡神社本殿			桧皮葺	▼	★	和歌山県紀の川市粉河町瀬淵
1348	三船神社	本殿		桧皮葺	▼	★	和歌山県紀の川市桃山町神田
1349	三船神社	撰社丹生明神社本殿		桧皮葺	▼	★	和歌山県紀の川市桃山町神田
1350	三船神社	撰社高野明神社本殿		桧皮葺	▼	★	和歌山県紀の川市桃山町神田
1351	野上八幡宮本殿			桧皮葺	▼	★	和歌山県海草郡紀美野町小畑
1352	野上八幡宮撰社武内神社本殿			桧皮葺	▼	★	和歌山県海草郡紀美野町小畑

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
1353	野上八幡宮撰社平野今木神社本殿			桧皮葺	▼	★	和歌山県海草郡紀美野町小畑
1354	野上八幡宮撰社高良玉垂神社本殿			とち葺	■と	☆	和歌山県海草郡紀美野町小畑
1355	十三神社	本殿		桧皮葺	▼	★	和歌山県海草郡紀美野町野中
1356	十三神社	撰社丹生神社本殿		桧皮葺	▼	★	和歌山県海草郡紀美野町野中
1357	十三神社	撰社八幡神社本殿		桧皮葺	▼	★	和歌山県海草郡紀美野町野中
1358	丹生都比売神社楼門			桧皮葺	▼	★	和歌山県伊都郡かつらぎ町大字上天野
1359	丹生都比売神社本殿		1◆	桧皮葺	▼	★	和歌山県伊都郡かつらぎ町大字上天野
1360	丹生都比売神社本殿		2◆	桧皮葺	▼	★	和歌山県伊都郡かつらぎ町大字上天野
1361	丹生都比売神社本殿		3◆	桧皮葺	▼	★	和歌山県伊都郡かつらぎ町大字上天野
1362	丹生都比売神社本殿		4◆	桧皮葺	▼	★	和歌山県伊都郡かつらぎ町大字上天野
1363	宝来山神社本殿		第一殿◆	桧皮葺	▼	★	和歌山県伊都郡かつらぎ町大字萩原
1364	宝来山神社本殿		第二殿◆	桧皮葺	▼	★	和歌山県伊都郡かつらぎ町大字萩原
1365	宝来山神社本殿		第三殿◆	桧皮葺	▼	★	和歌山県伊都郡かつらぎ町大字萩原
1366	宝来山神社本殿		第四殿◆	桧皮葺	▼	★	和歌山県伊都郡かつらぎ町大字萩原
1367	丹生官省符神社本殿		1◆	桧皮葺	▼	★	和歌山県伊都郡九度山町字慈尊院
1368	丹生官省符神社本殿		2◆	桧皮葺	▼	★	和歌山県伊都郡九度山町字慈尊院
1369	丹生官省符神社本殿		3◆	桧皮葺	▼	★	和歌山県伊都郡九度山町字慈尊院
1370	慈尊院弥勒堂			桧皮葺	▼	★	和歌山県伊都郡九度山町字慈尊院
1371	金剛峯寺不動堂			桧皮葺	▼	★	和歌山県伊都郡高野町大字高野山
1372	金剛峯寺奥院経蔵			桧皮葺	▼	★	和歌山県伊都郡高野町大字高野山
1373	金剛峯寺山王院本殿	丹生明神社		桧皮葺	▼	★	和歌山県伊都郡高野町大字高野山
1374	金剛峯寺山王院本殿	高野明神社		桧皮葺	▼	★	和歌山県伊都郡高野町大字高野山
1375	金剛峯寺山王院本殿	總社		桧皮葺	▼	★	和歌山県伊都郡高野町大字高野山
1376	金剛三昧院多宝塔			桧皮葺	▼	★	和歌山県伊都郡高野町大字高野山
1377	金剛三昧院経蔵			桧皮葺	▼	★	和歌山県伊都郡高野町大字高野山
1378	金剛三昧院客殿及び台所			檜皮葺	▼	★	和歌山県伊都郡高野町大字高野山
1379	金剛三昧院四所明神社本殿			桧皮葺	▼	★	和歌山県伊都郡高野町大字高野山
1380	普賢院四脚門			檜皮葺	▼	★	和歌山県伊都郡高野町大字高野山
1381	上杉謙信霊屋			檜皮葺	▼	★未	和歌山県伊都郡高野町大字高野山
1382	佐竹義重霊屋			桧皮葺	▼	★	和歌山県伊都郡高野町大字高野山
1383	広八幡神社本殿			桧皮葺	▼	★	和歌山県有田郡広川町大字上中野
1384	広八幡神社撰社若宮社本殿			桧皮葺	▼	★	和歌山県有田郡広川町大字上中野
1385	広八幡神社撰社高良社本殿			桧皮葺	▼	★	和歌山県有田郡広川町大字上中野
1386	広八幡神社撰社天神社本殿			桧皮葺	▼	★	和歌山県有田郡広川町大字上中野
1387	広八幡神社拝殿			こけら葺	■こ	★	和歌山県有田郡広川町大字上中野
1388	法音寺本堂			茅葺	●	★	和歌山県有田郡有田川町大字岩野河
1389	吉祥寺薬師堂			茅葺	●	★	和歌山県有田郡有田川町大字栗生
1390	白岩丹生神社本殿			桧皮葺	▼	★	和歌山県有田郡有田川町小川白岩谷
1391	鈴木家住宅(和歌山県有田郡金屋町)			茅葺	●	★	和歌山県有田郡有田川町大字中峯309番地
1392	雨錫寺阿弥陀堂			茅葺	●	★	和歌山県有田郡有田川町大字杉野原
1393	那智山青岸渡寺本堂			こけら葺	■こ	★	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町大字那智山

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
1394	熊野那智大社	第一殿（滝宮）		桧皮葺	▼	★	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町
1395	熊野那智大社	第二殿（証誠殿）		桧皮葺	▼	★	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町
1396	熊野那智大社	第三殿（中御前）		桧皮葺	▼	★	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町
1397	熊野那智大社	第四殿（西御前）		桧皮葺	▼	★	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町
1398	熊野那智大社	第五殿（若宮）		桧皮葺	▼	★	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町
1399	熊野那智大社	第六殿（八社殿）		桧皮葺	▼	★	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町
1400	熊野那智大社	御泉彦社		桧皮葺	▼	★	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町
1401	熊野那智大社	鈴門及び瑞垣		桧皮葺	▼	★	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町
1402	楞齋神社	本殿		桧皮葺	▼	★	鳥取県鳥取市上町
1403	楞齋神社	唐門		桧皮葺	▼	★	鳥取県鳥取市上町
1404	楞齋神社	拝殿及び幣殿		こけら葺	■こ	★	鳥取県鳥取市上町
1405	福田家住宅（鳥取県鳥取市紙子谷）			茅葺、庇・便所棧瓦葺	●	★	鳥取県鳥取市紙子谷60番地
1406	不動院岩屋堂			とち葺	■と	☆	鳥取県八頭郡若桜町大字岩屋堂
1407	矢部家住宅（鳥取県八頭郡八東町）			茅葺、庇棧瓦葺	●	★	鳥取県八頭郡八頭町用品1278番地
1408	三仏寺奥院（投入堂）			桧皮葺	▼	★	鳥取県東伯郡三朝町大字三徳
1409	三仏寺納経堂			こけら葺	■こ	★	鳥取県東伯郡三朝町大字三徳
1410	三仏寺地藏堂			こけら葺	■こ	★	鳥取県東伯郡三朝町大字三徳
1411	三仏寺文殊堂			こけら葺	■こ	★	鳥取県東伯郡三朝町大字三徳
1412	尾崎家住宅（鳥取県東伯郡湯梨浜町）	主屋		茅葺	●	☆	鳥取県東伯郡湯梨浜町大字宇野1518番地
1413	河本家住宅（鳥取県東伯郡琴浦町）	主屋		茅葺	●	☆	鳥取県東伯郡琴浦町麓津393
1414	大山寺阿弥陀堂			こけら葺	■こ	★	鳥取県西伯郡大山町大字大山
1415	門脇家住宅（鳥取県西伯郡大山町）	主屋		茅葺、庇・風呂場・雪隠棧瓦葺	●	★	鳥取県西伯郡大山町所子360番地
1416	大神山神社奥宮	本殿・幣殿・拝殿		こけら葺	■こ	★	鳥取県西伯郡大山町大字大山
1417	大神山神社奥宮	末社下山神社本殿・幣殿・拝殿		こけら葺	■こ	★	鳥取県西伯郡大山町大字大山
1418	神魂神社本殿			とち葺	■と	☆	島根県松江市大庭町
1419	神魂神社末社貴布祢稻荷両神社本殿			こけら葺	■こ	★	島根県松江市大庭町
1420	菅田庵及び向月亭			茅葺、庇こけら葺、くつろぎの間棧瓦葺	●	★	島根県松江市菅田町106番地
1421	美保神社本殿			桧皮葺	▼	★	島根県松江市美保関町大字美保関
1422	佐太神社	正中殿		桧皮葺	▼	★	島根県松江市鹿島町大字佐陀宮内、出雲市杵築東99番地4
1423	佐太神社	北殿		桧皮葺	▼	★	島根県松江市鹿島町大字佐陀宮内
1424	佐太神社	南殿		桧皮葺	▼	★	島根県松江市鹿島町大字佐陀宮内
1425	出雲大社本殿			桧皮葺	▼	★	島根県出雲市大社町大字杵築東
1426	出雲大社	楼門		檜皮葺	▼	☆	島根県出雲市大社町大字杵築東
1427	出雲大社	神饌所	（東）	檜皮葺	▼	★	島根県出雲市大社町大字杵築東
1428	出雲大社	神饌所	（西）	檜皮葺	▼	★	島根県出雲市大社町大字杵築東
1429	出雲大社	玉垣		檜皮葺	▼	★	島根県出雲市大社町大字杵築東
1430	出雲大社	撰社大神大后神社本殿		檜皮葺	▼	★	島根県出雲市大社町大字杵築東
1431	出雲大社	撰社神魂御子神社本殿		檜皮葺	▼	★	島根県出雲市大社町大字杵築東
1432	出雲大社	撰社神魂伊能知比売神社本殿		檜皮葺	▼	★	島根県出雲市大社町大字杵築東
1433	出雲大社	撰社門神社本殿	（東）	檜皮葺	▼	★	島根県出雲市大社町大字杵築東
1434	出雲大社	撰社門神社本殿	（西）	檜皮葺	▼	★	島根県出雲市大社町大字杵築東

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
1435	出雲大社	八足門		檜皮葺	▼	★	島根県出雲市大社町大字杵築東
1436	出雲大社	観祭楼及び廻廊		檜皮葺	▼	★	島根県出雲市大社町大字杵築東
1437	出雲大社	西廻廊		檜皮葺	▼	★	島根県出雲市大社町大字杵築東
1438	出雲大社	瑞垣		檜皮葺	▼	★	島根県出雲市大社町大字杵築東
1439	出雲大社	撰社素齋社本殿		檜皮葺	▼	★	島根県出雲市大社町大字杵築東
1440	出雲大社	撰社氏社本殿	(北)	檜皮葺	▼	★	島根県出雲市大社町大字杵築東
1441	出雲大社	撰社氏社本殿	(南)	檜皮葺	▼	★	島根県出雲市大社町大字杵築東
1442	出雲大社	末社釜社本殿		檜皮葺	▼	★	島根県出雲市大社町大字杵築東
1443	出雲大社	末社十九社本殿	(東)	檜皮葺	▼	★	島根県出雲市大社町大字杵築東
1444	出雲大社	末社十九社本殿	(西)	檜皮葺	▼	★	島根県出雲市大社町大字杵築東
1445	出雲大社	宝庫		檜皮葺	▼	★	島根県出雲市大社町大字杵築東
1446	出雲大社	会所		こけら葺	■こ	☆	島根県出雲市大社町大字杵築東
1447	日御碕神社	日沈宮(下の宮)本殿		桧皮葺	▼	★	島根県出雲市大社町大字日御碕
1448	日御碕神社	日沈宮(下の宮)幣殿		桧皮葺	▼	★	島根県出雲市大社町大字日御碕
1449	日御碕神社	日沈宮(下の宮)拝殿		桧皮葺	▼	★	島根県出雲市大社町大字日御碕
1450	日御碕神社	日沈宮(下の宮)玉垣		桧皮葺	▼	★	島根県出雲市大社町大字日御碕
1451	日御碕神社	日沈宮(下の宮)禊所		桧皮葺	▼	★	島根県出雲市大社町大字日御碕
1452	日御碕神社	日沈宮(下の宮)廻廊		桧皮葺	▼	★	島根県出雲市大社町大字日御碕
1453	日御碕神社	日沈宮(下の宮)楼門		こけら葺	■こ	★	島根県出雲市大社町大字日御碕
1454	日御碕神社	日沈宮(下の宮)門客人社		桧皮葺	▼	★	島根県出雲市大社町大字日御碕
1455	日御碕神社	神の宮(上の宮)本殿		桧皮葺	▼	★	島根県出雲市大社町大字日御碕
1456	日御碕神社	神の宮(上の宮)幣殿		桧皮葺	▼	★	島根県出雲市大社町大字日御碕
1457	日御碕神社	神の宮(上の宮)拝殿		桧皮葺	▼	★	島根県出雲市大社町大字日御碕
1458	日御碕神社	神の宮(上の宮)玉垣		桧皮葺	▼	★	島根県出雲市大社町大字日御碕
1459	日御碕神社	神の宮(上の宮)宝庫		桧皮葺	▼	★	島根県出雲市大社町大字日御碕
1460	染羽天石勝神社本殿			桧皮葺	▼	★	島根県益田市染羽町
1461	清水寺本堂			こけら葺	■こ	★	島根県安来市清水町
1462	堀江家住宅(島根県飯石郡吉田村)			茅葺	●	★	島根県雲南市吉田町大字民谷505番地
1463	櫻井家住宅(島根県仁多郡仁多町上阿井)	主屋		こけら葺	■こ	★	島根県仁多郡奥出雲町上阿井1,655番地
1464	八幡宮	本殿		こけら葺	■こ	☆	島根県鹿足郡津和野町鷲原
1465	八幡宮	楼門		茅葺及び檜皮葺、一部こけら葺	●	☆	島根県鹿足郡津和野町鷲原
1466	旧道面家住宅(島根県鹿足郡六日市町)			茅葺	●	★	島根県鹿足郡吉賀町注連川764番地
1467	玉若酢命神社	本殿		茅葺、檜皮葺	●	★	島根県隠岐郡隠岐の島町下西
1468	玉若酢命神社	随神門		茅葺	●	★	島根県隠岐郡隠岐の島町下西
1469	玉若酢命神社	社家徳岐家住宅		茅葺、玄関杉皮葺	●	★	島根県隠岐郡隠岐の島町下西
1470	水若酢神社本殿			茅葺、向拝杉皮葺	●	★	島根県隠岐郡隠岐の島町郡
1471	佐々木家住宅(島根県隠岐郡西郷町字釜)			杉皮葺=石置、棧瓦葺	▼杉	★	島根県隠岐郡隠岐の島町釜17番地
1472	吉備津神社本殿及び拝殿			桧皮葺、拜殿もこし本瓦葺	▼	★	岡山県岡山市吉備津
1473	吉備津神社北随神門			桧皮葺	▼	☆	岡山県岡山市吉備津
1474	熊野神社本殿			桧皮葺	▼	☆	岡山県倉敷市林
1475	総社本殿			こけら葺	■こ	★	岡山県津山市総社

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
1476	中山神社本殿			桧皮葺	▼	★	岡山県津山市一宮
1477	旧閑谷学校	小斎		こけら葺	■こ	★	岡山県備前市閑谷
1478	本蓮寺番神堂	東祠		こけら葺	■こ	☆	岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓
1479	本蓮寺番神堂	中祠		こけら葺	■こ	☆	岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓
1480	本蓮寺番神堂	西祠		こけら葺	■こ	☆	岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓
1481	長福寺三重塔			こけら葺	■こ	★	岡山県美作市真神
1482	林家住宅(岡山県英田郡東栗倉村)	主屋		茅葺	●	★	岡山県美作市中谷556番地
1483	林家住宅(岡山県英田郡東栗倉村)	長屋門		茅葺	●	★	岡山県美作市中谷556番地
1484	林家住宅(岡山県英田郡東栗倉村)	米倉		茅葺	●	★	岡山県美作市中谷556番地
1485	旧大國家住宅(岡山県和気郡和気町尺所)	主屋		茅葺、本瓦葺	●	☆	岡山県和気郡和気町尺所38番地
1486	旧森江家住宅(岡山県苫田郡富村)			茅葺	●	★	岡山県苫田郡鏡野町富西谷118番地
1487	本山寺本堂			桧皮葺	▼	★	岡山県久米郡美咲町定宗
1488	本山寺三重塔			こけら葺	■こ	★	岡山県久米郡美咲町定宗
1489	吉川八幡宮本殿			とち葺	■と	★	岡山県加賀郡吉備中央町吉川
1490	妙本寺番神堂			こけら葺	■こ	★	岡山県上房郡吉備中央町北
1491	不動院金堂			こけら葺	■こ	★	広島県広島市東区牛田新町三丁目
1492	不動院鐘樓			こけら葺	■こ	★	広島県広島市東区牛田新町三丁目
1493	桂濱神社本殿			こけら葺	■こ	★	広島県呉市倉橋町字前宮の浦
1494	浄土寺	露滴庵		茅葺	●	★	広島県尾道市東久保町
1495	吉原家住宅(広島県御調郡向島町)	主屋		茅葺、こけら葺	●	★	広島県尾道市向島町3, 854番地
1496	沼名前神社能舞台			こけら葺	■こ	★	広島県福山市鞆町大字後地
1497	吉備津神社本殿			桧皮葺	▼	☆	広島県福山市新市町宮内
1498	幡山家住宅(広島県双三郡三良坂町)			茅葺	●	☆	広島県三次市三良坂町灰塚1, 150番地
1499	奥家住宅(広島県双三郡吉舎町)	主屋		茅葺、底鉄板葺、台所部棧瓦葺	●	★	広島県三次市吉舎町敷地634番地
1500	旧真野家住宅(旧所在 広島県世羅郡世羅町)			茅葺	●	★	広島県三次市小田幸町字大平122番地広島県立みよし風土記の丘構内
1501	堀江家住宅(広島県比婆郡高野町)			茅葺	●	★	広島県庄原市高野町中門田字城山下257番地
1502	荒木家住宅(広島県比婆郡比和町)			茅葺	●	★	広島県庄原市比和町森脇786番地
1503	竹林寺本堂			こけら葺	■こ	★	広島県東広島市河内町入野
1504	厳島神社	本社本殿、幣殿、拝殿		桧皮葺	▼	★未	広島県廿日市市宮島町
1505	厳島神社	本社祓殿		桧皮葺	▼	★	広島県廿日市市宮島町
1506	厳島神社	摂社客人神社本殿、幣殿、拝殿		桧皮葺	▼	★	広島県廿日市市宮島町
1507	厳島神社	摂社客神社祓殿		桧皮葺	▼	★未/☆	広島県廿日市市宮島町
1508	厳島神社	廻廊	東廻廊	桧皮葺	▼	★	広島県廿日市市宮島町
1509	厳島神社	廻廊	西廻廊	桧皮葺	▼	★	広島県廿日市市宮島町
1510	厳島神社	朝坐屋		桧皮葺	▼	☆	広島県廿日市市宮島町
1511	厳島神社	能舞台		桧皮葺	▼	★未	広島県廿日市市宮島町
1512	厳島神社大鳥居			桧皮葺	▼	★	広島県廿日市市宮島町
1513	厳島神社摂社大國神社本殿			桧皮葺	▼	☆	広島県廿日市市宮島町
1514	厳島神社摂社天神社本殿			桧皮葺	▼	★	広島県廿日市市宮島町
1515	厳島神社五重塔			桧皮葺	▼	★	広島県廿日市市宮島町
1516	厳島神社多宝塔			こけら葺	■こ	☆	広島県廿日市市宮島町

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
1517	厳島神社末社荒胡子神社本殿			桧皮葺	▼	★	広島県廿日市市宮島町
1518	厳島神社摂社大元神社本殿			板葺	■板	★	広島県廿日市市宮島町
1519	厳島神社宝蔵			桧皮葺	▼	★	広島県廿日市市宮島町
1520	林家住宅(広島県佐伯郡宮島町)	表門		こけら葺、両袖棧瓦葺	■こ	★	広島県廿日市市宮島町滝町235番地
1521	功山寺仏殿			桧皮葺	▼	☆	山口県下関市長府川端町
1522	住吉神社本殿			桧皮葺	▼	★	山口県下関市楠乃
1523	住吉神社拝殿			桧皮葺	▼	★	山口県下関市楠乃
1524	瑠璃光寺五重塔			桧皮葺	▼	★	山口県山口市香山町
1525	今八幡宮本殿			こけら葺	■こ	★	山口県山口市八幡馬場
1526	今八幡宮拝殿			こけら葺	■こ	★	山口県山口市八幡馬場
1527	今八幡宮楼門			こけら葺	■こ	★	山口県山口市八幡馬場
1528	古熊神社本殿			檜皮葺	▼	★	山口県山口市古熊一丁目
1529	洞春寺山門			桧皮葺	▼	★	山口県山口市水の上町
1530	八坂神社本殿			桧皮葺	▼	☆	山口県山口市上堅小路
1531	月輪寺薬師堂			茅葺	●	★	山口県山口市徳地字上村
1532	龍福寺本堂			檜皮葺	▼	★	山口県山口市大殿大路
1533	正八幡宮	本殿		桧皮葺	▼	★	山口県山口市秋徳町西
1534	正八幡宮	拝殿		桧皮葺	▼	★	山口県山口市秋徳町西
1535	正八幡宮	楼門及び庁屋		桧皮葺	▼	★	山口県山口市秋徳町西
1536	關伽井坊多宝塔			こけら葺	■こ	★	山口県下松市大字末武上
1537	吉香神社	本殿		檜皮葺	▼	☆	山口県岩国市横山
1538	吉香神社	拝殿及び幣殿		檜皮葺	▼	☆	山口県岩国市横山
1539	吉香神社	神門		檜皮葺	▼	☆	山口県岩国市横山
1540	石城神社本殿			こけら葺	■こ	☆	山口県光市大字塩田
1541	三木家住宅(徳島県美馬郡木屋平村)			茅葺	●	★	徳島県美馬郡木屋平字貫143番地
1542	旧長岡家住宅(徳島県美馬郡脇町)			茅葺	●	★	徳島県美馬郡脇町大字猪尻字西上野34番地
1543	小采家住宅(徳島郡三好町東祖谷山村)			茅葺、庇鉄板葺	●	★	徳島郡三好町東祖谷菅生28番地
1544	木村家住宅(徳島郡三好町東祖谷山村)			茅葺、庇鉄板葺	●	★	徳島郡三好町東祖谷釣井107番地
1545	田中家住宅(徳島県名西郡石井町)	主屋		茅葺、下屋鉄板葺、突出部本瓦葺	●	★	徳島県名西郡石井町藍畑字高畑705番地
1546	小比賀家住宅(香川県高松市御殿町)	主屋		茅葺、庇本瓦葺	●	★	香川県高松市御殿町331番地
1547	小比賀家住宅(香川県高松市御殿町)	午門		茅葺、庇本瓦葺	●	★	香川県高松市御殿町331番地
1548	旧下木家住宅(旧所在 徳島県美馬郡一宇村)			茅葺、下屋杉皮葺	●	☆	香川県高松市屋島中町91番地四国民家博物館構内
1549	旧河野家住宅(旧所在 愛媛県上浮穴郡小田町)			茅葺	●	☆	香川県高松市屋島中町91番地四国民家博物館構内
1550	神谷神社本殿			桧皮葺	▼	★	香川県坂出市神谷町
1551	旧恵利家住宅(香川県大川郡大川町)			茅葺	●	★	香川県さぬき市大川町富田中3,277番地
1552	細川家住宅(香川県大川郡長尾町)			茅葺	●	★	香川県さぬき市多和額東46番地
1553	金刀比羅宮表書院及び四脚門	表書院		桧皮葺	▼	★	香川県仲多度郡琴平町
1554	石手寺鐘樓			桧皮葺	▼	★	愛媛県松山市石手二丁目
1555	石手寺訶梨帝母天堂			桧皮葺	▼	★	愛媛県松山市石手二丁目
1556	伊佐爾波神社	本殿		桧皮葺	▼	★	愛媛県松山市桜谷町
1557	伊佐爾波神社	申殿及び廊下		桧皮葺	▼	★	愛媛県松山市桜谷町



No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
1558	豊島家住宅(愛媛県松山市井門)	主屋		茅葺、庇本瓦葺	●	★	愛媛県松山市井門421番地の1
1559	大山祇神社本殿(宝殿)			檜皮葺	▼	★	愛媛県今治市大三島町宮浦
1560	大山祇神社拝殿			檜皮葺	▼	★	愛媛県今治市大三島町宮浦
1561	臥龍山荘	臥龍院		茅葺、一部棧瓦葺	●	☆	愛媛県大洲市大洲字勘兵衛屋敷411番地
1562	臥龍山荘	不老庵		茅葺及び棧瓦葺	●	☆	愛媛県大洲市大洲字勘兵衛屋敷411番地
1563	真鍋家住宅(愛媛県川之江市金生町)			茅葺	●	★	愛媛県四国中央市金生町山田井2,030番地2
1564	旧山中家住宅(旧所在 愛媛県宇摩郡別子山村)			茅葺	●	★	愛媛県上浮穴郡久万高原町上黒岩1032
1565	善光寺薬師堂			茅葺	●	☆	愛媛県北宇和郡鬼北町小松
1566	土佐神社本殿、幣殿及び拝殿	本殿		こけら葺	■こ	★	高知県高知市一宮
1567	土佐神社本殿、幣殿及び拝殿	幣殿及び拝殿		こけら葺	■こ	★	高知県高知市一宮
1568	土佐神社鼓楼			こけら葺	■こ	★	高知県高知市一宮
1569	竹林寺本堂			こけら葺	■こ	★	高知県高知市五台山
1570	朝倉神社本殿			こけら葺	■こ	★	高知県高知市朝倉
1571	旧関川家住宅(高知県高知市一宮)	主屋		茅葺	●	★	高知県高知市一宮中町三丁目11番59号
1572	国分寺金堂			こけら葺	■こ	★	高知県南国市国分
1573	鳴無神社	本殿		こけら葺	■こ	★	高知県須崎市浦ノ内奥浦東分
1574	鳴無神社	幣殿、拝殿		こけら葺	■こ	★	高知県須崎市浦ノ内奥浦東分
1575	不破八幡宮本殿			こけら葺	■こ	★	高知県四万十市不破
1576	豊楽寺薬師堂			こけら葺	■こ	★	高知県長岡郡大豊町寺内
1577	旧立川番所書院			茅葺	●	★	高知県長岡郡大豊町立川下名28番地イ
1578	山中家住宅(高知県土佐郡本川村)			茅葺	●	★	高知県吾川郡いの町越裏門宮の向89番地
1579	旧竹内家住宅(高知県幡多郡大正町)			茅葺	●	★	高知県高岡郡四万十町大正1,311番地ノ2号
1580	宮崎宮楼門			檜皮葺	▼	★	福岡県福岡市東区箱崎一丁目
1581	宮崎宮本殿			檜皮葺	▼	★	福岡県福岡市東区箱崎一丁目
1582	宮崎宮拝殿			檜皮葺	▼	☆	福岡県福岡市東区箱崎一丁目
1583	香椎宮本殿			檜皮葺	▼	★	福岡県福岡市東区香椎
1584	住吉神社本殿			檜皮葺	▼	★	福岡県福岡市博多区住吉三丁目
1585	高良大社	本殿・幣殿・拝殿		こけら葺	■こ	☆	福岡県久留米市御井町
1586	善導寺	書院		茅葺、棧瓦葺	●	★	福岡県久留米市善導寺町飯田
1587	善導寺	役寮及び対面所		茅葺、棧瓦葺	●	★	福岡県久留米市善導寺町飯田
1588	風浪神社本殿			檜皮葺	▼	☆	福岡県大川市大字酒見字宮内
1589	宗像神社辺津宮本殿			こけら葺	■こ	★	福岡県宗像市田島
1590	宗像神社辺津宮拝殿			こけら葺	■こ	★	福岡県宗像市田島
1591	太宰府天満宮本殿			檜皮葺	▼	★	福岡県太宰府市宰府
1592	太宰府天満宮末社志賀社本殿			檜皮葺	▼	★	福岡県太宰府市宰府
1593	平川家住宅(福岡県浮羽郡浮羽町)	主屋		茅葺、庇竹葺	●	★	福岡県うきは市浮羽町大字田籠388番地の1
1594	平川家住宅(福岡県浮羽郡浮羽町)	納屋		茅葺	●	★	福岡県うきは市浮羽町大字田籠388番地の1
1595	横大路家住宅(福岡県粕屋郡新宮町)			茅葺	●	★	福岡県粕屋郡新宮町大字上府420番地
1596	岩屋神社	本殿		茅・杉皮重ね葺	●	★	福岡県朝倉郡東峰村大字宝珠山
1597	英彦山神社奉幣殿			こけら葺	■こ	★	福岡県田川郡添田町大字英彦山
1598	旧数山家住宅(福岡県田川郡添田町)			茅葺、庇竹葺	●	★	福岡県田川郡添田町大字津野1,788番地

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
1599	永沼家住宅(福岡県京都郡犀川町)			茅葺、庇銅板葺	●	★	福岡県京都郡みやこ町犀川帆柱721番地
1600	吉村家住宅(佐賀県佐賀郡富士町)			茅葺、庇棧瓦葺	●	★	佐賀県佐賀市富士町大字上無津呂2, 856番地
1601	山口家住宅(佐賀県佐賀郡川副町)			茅葺、庇本瓦葺	●	★	佐賀県佐賀市川副町大字大詫間930番地
1602	川打家住宅(佐賀県多久市西多久町)			茅葺	●	☆	佐賀県多久市西多久町大字板屋6, 300番地1
1603	田嶋神社本殿			こけら葺	■こ	☆	佐賀県伊万里市波多津町畑津
1604	旧本田家住宅(長崎県長崎市中里町)			茅葺	●	★	長崎県長崎市中里町1, 478番地
1605	旧鍋島家住宅	隠居棟		茅葺	●	★	長崎県雲仙市国見町神代丙103番地1
1606	六殿神社楼門			茅葺	●	★	熊本市南区富合町木原
1607	青井阿蘇神社社殿	幣殿		茅葺	●	★	熊本県人吉市上青井町
1608	青井阿蘇神社社殿	拝殿		茅葺、一部銅板葺	●	★	熊本県人吉市上青井町
1609	青井阿蘇神社社殿	楼門		茅葺	●	★	熊本県人吉市上青井町
1610	老神社	本殿		とち葺	■と	☆	熊本県人吉市老神町
1611	岩屋熊野座神社	中央殿		板葺	■板	☆	熊本県人吉市東間上町
1612	岩屋熊野座神社	左殿		板葺	■板	☆	熊本県人吉市東間上町
1613	岩屋熊野座神社	右殿		板葺	■板	☆	熊本県人吉市東間上町
1614	岩屋熊野座神社	拝殿		茅葺	●	★	熊本県人吉市東間上町
1615	岩屋熊野座神社	覆屋		茅葺	●	★	熊本県人吉市東間上町
1616	旧境家住宅(旧所在 熊本県玉名郡玉東町)			茅葺	●	★	熊本県玉名郡和水町大字瀬川441番地1
1617	桑原家住宅(熊本県球磨郡錦町)			茅葺、庇棧瓦葺	●	★	熊本県球磨郡錦町大字一武3, 195番地
1618	青蓮寺阿弥陀堂			茅葺、一部こけら葺	●	★	熊本県球磨郡多良木町大字黒肥地
1619	太田家住宅(熊本県球磨郡多良木町)			茅葺	●	★	熊本県球磨郡多良木町大字多良木字中仁原447番地1
1620	明導寺阿弥陀堂			茅葺	●	★	熊本県球磨郡湯前町瀬戸口区
1621	八勝寺阿弥陀堂			茅葺	●	★	熊本県球磨郡湯前町字長谷場
1622	生善院観音堂			茅葺、向拝こけら葺	●	★	熊本県球磨郡水上村大字岩野
1623	十島菅原神社	本殿		こけら葺	■こ	★未	熊本県球磨郡相良村柳瀬
1624	十島菅原神社	拝殿		茅葺、一部棧瓦葺	●	★未	熊本県球磨郡相良村柳瀬
1625	山田大王神社	拝殿及び神供所		茅葺	●	★	熊本県球磨郡山江村大字山田
1626	後藤家住宅(大分県大分郡野津原町)			茅葺	●	★	大分県大分市大字荷尾村1, 161番地
1627	神尾家住宅(大分県下毛郡山国町)			茅葺	●	★	大分県中津市山国町大字守実120番地
1628	薦神社神門			こけら葺	■こ	★	大分県中津市大字大貞
1629	行徳家住宅(大分県日田市夜明)			茅葺、庇棧瓦葺	●	★	大分県日田市大字夜明3, 256番地
1630	大野老松天満社旧本殿			板葺	■板	☆	大分県日田市前津江町大野
1631	旧矢羽田家住宅(大分県日田郡大山町)			茅葺、突出部茅・杉皮重ね葺、庇杉皮葺	●	★	大分県日田市大山町大字西大山3603番3
1632	宇佐神宮本殿		第一殿◆	桧皮葺	▼	★	大分県宇佐市大字南宇佐
1633	宇佐神宮本殿		第二殿◆	桧皮葺	▼	★	大分県宇佐市大字南宇佐
1634	宇佐神宮本殿		第三殿◆	桧皮葺	▼	★	大分県宇佐市大字南宇佐
1635	龍岩寺奥院礼堂			板葺	■板	☆	大分県宇佐市院内町大字大門
1636	神角寺本堂			桧皮葺	▼	★	大分県豊後大野市朝地町島田
1637	泉福寺開山堂			こけら葺	■こ	☆	大分県国東市国東町横手
1638	泉福寺仏殿			茅葺	●	★	大分県国東市国東町横手
1639	旧黒木家住宅(旧所在 宮崎県西諸郡高原町)	おもて		茅葺、庇竹葺	●	★	宮崎県宮崎市神宮二丁目4番4号

No	件名	棟名	構造形式に含まれる名称	屋根	屋根種別	調査分類	所在
1640	旧黒木家住宅(旧所在 宮崎県西諸県郡高原町)	なかえ		茅葺、庇竹葺	●	★	宮崎県宮崎市神宮二丁目4番4号
1641	旧藤田家住宅(旧所在 宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町)			茅葺	●	★	宮崎県宮崎市神宮二丁目4番4号
1642	巨田神社本殿			とち葺	■と	★	宮崎県宮崎市佐土原町巨田
1643	神門神社本殿			板葺	■板	☆	宮崎県東臼杵郡南郷村大字神門
1644	旧増田家住宅	おもて		茅葺	●	☆	鹿児島県薩摩川内市入来町浦之名77番
1645	旧増田家住宅	なかえ		茅葺	●	☆	鹿児島県薩摩川内市入来町浦之名77番
1646	八幡神社本殿			こけら葺	■こ	★	鹿児島県伊佐市大口大田
1647	禰答院家住宅(鹿児島県大口市里)	おもて		茅葺、庇棧瓦葺	●	☆	鹿児島県伊佐市大口里1,855番地
1648	禰答院家住宅(鹿児島県大口市里)	うすにわ		茅葺、南面庇棧瓦葺、北面庇竹葺	●	☆	鹿児島県伊佐市大口里1,855番地
1649	二階堂家住宅(鹿児島県肝属郡高山町)	おもて		茅葺、庇竹葺	●	★	鹿児島県肝属郡肝付町大字新富字森ノ下5,595番地1
1650	二階堂家住宅(鹿児島県肝属郡)	なかえ		茅葺	●	★	鹿児島県肝属郡肝付町大字新富字森ノ下5,595番地1

リスト凡例

屋根種別	■こ：木材薄板類 こけら葺
	■と：木材薄板類 とち葺
	■板：木材薄板類 板葺
	▼：樹皮類 檜皮葺
	▼杉：樹皮類 杉皮葺
	●：草本類 茅葺
調査分類	★：実績報告書調査対象建物(実態予測建物)
	★未：実績報告書調査対象建物⇒一部未収集事業 (実績報告書調査対象のうち、一部の年度の実績報告書は未収集だが、その他の年度に行われた工事の実績報告書を調査しているため、実態予測建物として予測)
	★未/☆：実績報告書調査対象建物⇒未収集事業 (未収集年度以外に工事が行われていないため、推定予測建物として予測)
	☆：実績報告書調査対象外(推定予測建物)